

# 行田市障がい者計画改定のための アンケート調査報告書

行田市  
平成 29 年 11 月



## <目次>

<b>I</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
<b>II</b>	<b>調査結果の概要</b> .....	<b>5</b>
<b>III</b>	<b>調査結果</b> .....	<b>17</b>
III-1	調査結果（身体・療育・精神） .....	19
①	あなたご自身について.....	19
②	あなたの生活について.....	27
③	介助の状況について.....	37
④	福祉サービス利用、情報収集や相談について.....	46
⑤	日中の過ごし方について.....	54
⑥	外出や活動についてうかがいます.....	65
⑦	コミュニケーションについて.....	81
⑧	防災対策について.....	83
⑨	障がい者施策全般について.....	87
⑩	自由記述.....	97
III-2	調査結果（療育） .....	107
①	あなたご自身について.....	107
②	外出や活動について.....	109
③	障がい者施策全般について.....	110
④	自由記述.....	111
III-3	調査結果（精神） .....	115
①	あなたご自身について.....	115
②	外出や活動について.....	118
③	自由記述.....	119
III-4	調査結果（市民） .....	123
①	あなたご自身について.....	123
②	あなたの生活について.....	126
③	障がいのある人との交流などについて.....	128
④	福祉のまちづくりについて.....	135
⑤	自由記述.....	139



# I 調査の概要



# I 調査の概要

## (1) 調査の目的

行田市では、障がいのある・なしにかかわらず、だれもが暮らしやすいまちをつくるため、平成24年に『行田市障がい者計画』を策定し、さまざまな施策を展開してきました。今回、これまでの取組状況を点検するとともに、市民の方々にあらためて生活の様子やご意見をうかがい、より実態に即した新しい『行田市障がい者計画』を策定するため、アンケート調査を実施しました。

## (2) 調査方法

市内にお住まいの障害者手帳をお持ちの3,393名を手帳ごとに無作為抽出し、調査しました。また、市民1,607名を住民基本台帳より無作為抽出し、全体で5,000名に調査を行いました。

調査方法は、郵送配布し、返信用封筒を同封し郵送回収で行いました。

## (3) 実施時期

実施時期： 発送 平成29年9月13日（水）

回収 平成29年9月25日（月）

## (4) 回収状況

項目	配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
身体障害者手帳	2,443	1,274	52.1%	1,270	52.0%
療育手帳	524	251	47.9%	250	47.7%
精神障害者保健福祉手帳	426	194	45.5%	193	45.3%
市民	1,607	676	42.1%	676	42.1%
全体	5,000	2,395	47.9%	2,389	47.8%

## (5) 報告書を見る際の注意事項

- 図表中の「n」は、設問への回答数や回答者数を示しています。
- 調査結果の比率（%）は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位以下を四捨五入して算出し、小数点第1位までを表示しています。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- 複数回答形式の設問については、その設問の回答者数を基数として比率を算出しています。したがって、すべての回答比率が100%を超えることがあります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。





## Ⅱ 調査結果の概要



## Ⅱ 調査結果の概要

### ◆◆身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者◆◆

#### 1.あなた自身について

アンケートを記入した方について、「身体障害者手帳」所持者、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では6割以上で「本人」が回答しています。また、「療育手帳」所持者では、「家族や支援者が本人の意向を考えて記入」が54.8%となっています。

年齢について、「身体障害者手帳」所持者では「65歳以上」と回答した方が、7割以上となっています。また、「療育手帳」所持者では、「18～39歳」が38.0%、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「40～64歳」が56.5%となっています。

性別は、「身体障害者手帳」所持者、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「男女」がほぼ半々となっています。また、「療育手帳」所持者では、「男性」が6割を超えやや多くなっています。

「身体障害者手帳」所持者の手帳の等級では、「1級」が31.6%と最も多く、次いで「4級」が22.4%、「3級」が17.6%となっています。身体障がいの種類では、「肢体不自由」が51.8%と最も多く、次いで「心臓機能」が17.2%、「じん臓機能」が11.1%となっています。身体障がいの中で最も不便に感じるものでは、「肢体不自由」が最も多く、次いで「聴覚・平衡機能」、「視覚」となっています。身体障害者手帳の他に療育手帳を「持っている」方は6.2%、「持っていない」方は73.2%となっています。持っている療育手帳の等級では、「C」が12件と最も多く、「A」が11件となっています。更に、身体障がいが発生した年齢は、「40歳～64歳」が34.1%と最も多く、次いで「65歳以上」が30.4%、「19歳～39歳」が9.7%となっており、身体障がいの原因では、「病気・疾病」が61.5%と最も多く、次いで「出生時・出生前の障がい」が6.1%、「交通事故」が4.9%となっています。

「療育手帳」所持者の手帳の程度では、「B」が25.6%と最も多く、次いで「A」が24.0%、「A」が22.4%となっています。療育手帳の他に身体障害者手帳を「持っている」方は15.6%、精神障害者保健福祉手帳を「持っている」方は12.8%、両方を「持っている」方は2.0%です。また、身体障がいの種類では、「肢体不自由」が72.7%と最も多く、次いで「音声・言語またはそしゃく機能」が13.6%となっています。

「精神障害者保健福祉手帳」所持者の手帳の等級では、「2級」が68.9%と最も多く、次いで「3級」が21.8%、「1級」が8.3%となっています。精神障がいの種類では、「統合失調症」が49.2%で最も多く、次いで「気分障がい（そううつ病など）」が24.9%、「てんかん」が7.8%となっています。療育手帳の他に身体障害者手帳を「持っている」方は15.6%、精神障害者保健福祉手帳を「持っている」方は12.8%、両方を「持っている」方は2.0%です。また、初めて精神科・神経科で診察を受けたのは、「18～39歳」が61.7%と最も多く、次いで「40～64歳」が21.2%となっています。「自立支援医療」（精神通院医療）を利用している方は87.6%となっています。

各種の認定等の状況について、「身体障害者手帳」所持者では、「介護保険の要介護認定を受けている」が多く、「療育手帳」所持者で「発達障がいがある」が多くなっています。

## **2.あなたの生活について**

現在のお住まい（生活の場）は、3障がいともに「持ち家（一戸建て）」が最も多く、次いで、「民間借家（アパート、マンション、一戸建てなど）」となっています。

また、「療育手帳」所持者では、「福祉施設」が多くなっています。

現在一緒に暮らしている人について、「身体障害者手帳」所持者では、「配偶者（妻・夫）」が最も多く、次いで「子ども」、「子どもの配偶者」、「孫」となっています。「療育手帳」所持者、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、ともに「母」が最も多く、次いで「父」となっています。

生活費のおもな収入について、「身体障害者手帳」所持者では、「その他の年金（障がい者年金以外）」が最も多く、「療育手帳」所持者、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、いずれも「障がい者年金」が最も多くなっています。

1か月あたりの収入について、「療育手帳」所持者、「精神障害者保健福祉手帳」所持者ではいずれも「5万円以上～10万円未満」が最も多くなっています。また、「身体障害者手帳」所持者では、「10万円以上～20万円未満」が最も多くなっています。

現在の生活に満足しているかについて、「身体障害者手帳」所持者、「療育手帳」所持者では、「ほぼ満足」が最も多く、「満足」を合わせると半数以上の方が満足と回答しています。一方、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「不満」が最も多く、「やや不満」と合わせると半数以上の方が不満と回答しています。

生活に満足していると思う理由について、「身体障害者手帳」所持者、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では「配偶者や家族がいるから」が6割を越えており、「療育手帳」所持者では、「健康で暮らしているから」が多くなっています。

生活に満足していないと思う理由について、「身体障害者手帳」所持者、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「健康で暮らしていないから」が5割を越えています。また、「療育手帳」所持者では、「生活していくだけのお金がないから」が最も多くなっています。

現在の生活で困っていることについて、「身体障害者手帳」所持者では、「外出する機会や場所等が限られる」が最も多く、次いで「自身の体調がよくない」となっています。「療育手帳」所持者では、「人とのコミュニケーションがうまくとれない」が最も多く、次いで「外出する機会や場所等が限られる」、「金銭管理がうまくできない」となっています。「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「自身の体調がよくない」が最も多く、次いで「人とのコミュニケーションがうまくとれない」、「働けない（職業に就くことができない）」となっています。

### 3. 介助の状況について

どの程度の介助が必要かについて、「身体障害者手帳」所持者で、「できない・ほとんど手伝ってもらおう」の回答が多いのは、「外出（買い物など）」、「食事のしたくや後かたづけ」、「身の回りの掃除、洗濯」となっています。また、「療育手帳」所持者で、「できない・ほとんど手伝ってもらおう」の回答が多いのは、「家事（掃除、炊事、洗濯等）」、「外出（買い物など）」、「金銭（お金）の管理」、さらに、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「食事のしたくや後かたづけ」、「身の回りの掃除、洗濯」、「金銭管理」が多くなっています。

介助を受ける上で問題となっていることについて、3障がいともに「家族の精神的、身体的負担が大きい」、「介助（支援）してもらおうことに気を遣う」、「経済的な負担が大きい」が多くなっています。また、「療育手帳」所持者では、「特にない」が多くなっています。

ふだんの介助をおもにしている方について、「身体障害者手帳」所持者では「配偶者」、「子ども」、「施設・寮などの職員」が多くなっています。「療育手帳」所持者では、「母」、「施設・寮などの職員」が多く、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「母」、「配偶者」が多くなっています。

ふだんの介助をおもにしている方の年齢について、「身体障害者手帳」所持者、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「50歳代～70歳代」が多くなっています。「療育手帳」所持者では、「40歳代～60歳代」が多くなっています。

介助をする上で困ることについて、3障がいともに「自分が高齢等により介助できなくなる不安がある」が多くなっています。「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「精神的な負担が大きい」も多くなっています。

「身体障害者手帳」所持者で現在補装具や日常生活用具を「使っている」は42.2%、「使っていない」が49.5%となっています。また、補装具や日常生活用具などの福祉機器について希望することがあるかでは、「福祉機器の交付・給付の自己負担を軽減する」が17.5%と多く、次いで「情報提供を充実する」が13.5%、「日常生活用具の給付・貸与品目を増やす」が12.2%となっています。また、「特に希望はない」が36.1%と最も多くなっています。

### 4. 福祉サービス利用、情報収集や相談について

#### ◆利用しているサービス

利用しているサービスは、「療育手帳」所持者では「相談支援」、「生活介護」が多く、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「自立支援医療」が多くなっています。

#### ◆今後利用したい（続けたい）サービス

今後利用したいサービスは、「身体障害者手帳」所持者では、「短期入所（ショートステイ）」、「日常生活用具の給付」が多くなっており、「療育手帳」所持者では、「相談支援」、「短期入所（ショートステイ）」、「共同生活援助（グループホーム）」が多く、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「自立支援医療」、「相談支援」が多くなっています。

福祉サービスを利用していない理由について、3障がいともに「現在のところ、特に日常生活で介助や支援を受ける必要がないから」、「家族などの介助や支援があり、サービスを使う必要が

特にならぬから」が多くなっています。

福祉サービスについて困っていることや心配なことについて、3障がいともに「制度のしくみがわからない」、「どのサービス提供事業者を選んだらよいかわからない」が多くなっています。

必要な情報を集めたり、悩み事などを相談するときに、困ることについて、「身体障害者手帳」所持者では、「家族や知人に相談したり、情報を得られるので特に困っていない」が最も多く、次いで「どこに問い合わせたらよいかわからない」となっています。「療育手帳」所持者では、「家族や知人に相談したり、情報を得られるので特に困っていない」と「どこに問い合わせたらよいかわからない」がともに多く、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「どこに問い合わせたらよいかわからない」が最も多く、次いで「家族や知人に相談したり、情報を得られるので特に困っていない」、「身近な場に相談するところがない」が多くなっています。

## **5.日中の過ごし方について**

平日の昼間は、おもにどこで（何をして）過ごしているかについて、「身体障害者手帳」所持者、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「自宅にいて特に何もしていない」が最も多くなっています。「療育手帳」所持者では、「幼稚園や保育所、学校、障がい児通園施設などに通っている」、「作業所などで働いている（「福祉的就労」）」が多くなっています。

通園・通学して困ることについては、「療育手帳」所持者の「付き添いがいないと通えない」が18件と多く、次いで「先生の理解や配慮が足りない」が11件となっています。

仕事に就くおもなききっかけについて、「身体障害者手帳」所持者では、「ハローワークの紹介」、「新聞・広告などで自分で探した」がともに最も多く、「療育手帳」所持者では、「学校での進路指導・実習」、「障がい者就労支援センター」が多く、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「ハローワークの紹介」、「新聞・広告などで自分で探した」が多くなっています。

仕事をする上で不安や不満について、3障がいともに「収入が少ない」が多くなっています。また、「精神障害者福祉手帳」所持者で「仕事がきつい」、「職場の人間関係が難しい」も多くなっています。

どのような支援があれば企業等での一般就労に移行できるかについて、「療育手帳」所持者61人では「職場の環境や仕事の内容、時間などの配慮」が25件、「働きながら悩みや困ったことを相談できるしくみ」が18件と多くなっています。

働いていない（働けない）理由について、「身体障害者手帳」所持者では、「高齢のため」が最も多く、「療育手帳」所持者、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では「障がいや病気など健康上の理由」が最も多くなっています。

将来、望んでいる暮らしについては、3障がいともに「現在の家族と一緒に暮らしたい」が最も多くなっています。

将来、望んでいる暮らしをしようとするとき、問題になることについては、3障がいともに「収入が十分でない」、「生活を支援してくれる人がいない」が多くなっています。

収入がいくら位不足するかについて、3障がいともに「10万円以上」が最も多く、次いで「5万円～8万円」となっています。

不足する額を補てんするために、どのような方法を望むかについて、3障がいともに「年金や手当等の公的所得保障の充実」が最も多く、次いで「身体障害者手帳」所持者、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「一般就労やアルバイト等による賃金」が多く、「療育手帳」所持者では、「障がい福祉サービス事業所や作業所等における工賃の増額」が多くなっています。

5年後の生活に不安なことについて、「身体障害者手帳」所持者では、「病気になること」、「更に障がいが増えること」が多くなっています。また、「療育手帳」所持者では、「家族がいなくなること」が最も多く、次いで「病気になること」が多くなっています。「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「家族がいなくなること」、「更に障がいが増えること」が最も多くなっています。

## **6.外出や活動について**

「身体障害者手帳」所持者が外出する時の交通手段では、「自家用車(乗せてもらう)」が40.9%と最も多く、次いで「自家用車(自分で運転)・オートバイ」が36.8%、「徒歩」が29.3%となっています。

外出の際に困ることについては、「身体障害者手帳」所持者の自由記述では、「行田市駅にエレベーターやエスカレーターがないこと」、「歩道の段差」、「トイレの不備(少ない、和式、汚れているなど)」、「バス(本数が少ない)」、「タクシー(車椅子で乗れない、料金が高いなど)」が多くなっています。「療育手帳」所持者では、「緊急時など意思の疎通が難しい」が38.8%と最も多く、次いで「交通機関の利用が難しい」が32.4%となっています。「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「自分が傷つく不安がある」が25.4%と最も多く、次いで「交通機関の利用が難しい」が24.9%となっています。

外出の際に、家族以外の支援を受けているかについては、「療育手帳」所持者の「移動支援」、「生活サポート」が多くなっています。また、3障がいともに「受けていない」が6割前後から7割となっています。

「市内循環バス」を利用しているかについて、「身体障害者手帳」所持者、「療育手帳」所持者で、「利用する」が1割前後、「精神障害者保健福祉手帳」所持者で「利用する」が2割以上となっています。

「市内循環バス」をひと月に何回ぐらい利用するかについては、3障がいともに「1～5回」が8割以上となっています。

趣味や学習、スポーツなどの活動をするときに困ること、または活動を行っていない理由について、「療育手帳」所持者、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「一緒に参加する友人、仲間がいらない」が最も多くなっています。次いで「療育手帳」所持者では、「障がいのある人同士が気軽に集まれる場所がない・少ない」が多く、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「経済的な余裕がない」が多くなっています。また、「身体障害者手帳」所持者では、「特にない」、「興味がないので参加しない」が多くなっています。

## 7.コミュニケーションについて

視覚障がいのある方の情報収集の手段は、「録音テープ、CD」が13.8%と最も多く、次いで「拡大読書器」が10.6%、「文書読み上げ装置（スピーチオ、テルミーなど）」、「対面朗読」が同じ7.4%となっています。

聴覚・平衡機能または音声・言語・そしゃく機能障がいのある方の情報収集の手段、もしくは意思疎通は、「メモ帳での筆記」が22.2%と最も多く、次いで「字幕放送」が15.6%、「パソコンや電子メール」が10.6%となっています。

## 8.防災対策について

災害時にひとりで避難（または対処）できるかについて、「身体障害者手帳」所持者、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「できる」の割合が4割から5割と多くなっています。また、「療育手帳」所持者では、「できない」が約7割と多くなっています。

万一災害が起きた際に、避難（対処）の手助けや誘導をしてくれる人が、身近にいるかについて、「昼間・夜間ともにいる」が「身体障害者手帳」所持者で6割弱、「療育手帳」所持者で、7割以上となっています。また、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「昼間・夜間ともにいない」が約2割となっています。

「避難行動要支援者名簿」を知っているかについて、「療育手帳」所持者では、「知っており、登録している」が15.6%となっています。また、「身体障害者手帳」所持者では、「知っているが、登録していない」が17.5%となっており、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「知らなかった」が85.0%となっています。

災害に備えて必要だと思うことについて、「身体障害者手帳」所持者、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「避難先での医療・治療体制の整備」が多くなっています。また、「療育手帳」所持者では、「障がいの特性ごとに対応した安心できる避難場所の整備」が多くなっています。

## 9.障がい者施策全般について

障がい児教育の考え方について、3障がいともに「一人ひとりの障がいの種類や程度に応じて、適切な指導や必要な支援を行う特別支援教育がよい」が、3割から4割と多くなっています。

障がいがあることが原因で、日常生活の中で人権を損なう扱いを受けた経験があるかについて、「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「希望する仕事につけなかった」が多く、「療育手帳」所持者では「職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて低い」が多くなっています。

障がいを理由とした差別の解消を推進するための法律である「障害者差別解消法」を知っているかについて、「知っている」は「身体障害者手帳」所持者で7.5%、「療育手帳」所持者で14.4%、「精神障害者保健福祉手帳」所持者で5.2%となっています。

障がい者の権利利益の擁護に資することを目的とした「障害者虐待防止法」を知っているかについて、「知っている」は「身体障害者手帳」所持者で11.6%、「療育手帳」所持者で18.0%、「精神障害者保健福祉手帳」所持者で9.8%となっています。



行田市において「障がい者差別禁止条例」の制定の必要性についての考え方で、「必要である」は「身体障害者手帳」所持者で 50.9%、「療育手帳」所持者で 60.4%、「精神障害者保健福祉手帳」所持者で 53.9%と 5 割から 6 割の方が必要と回答しています。

「成年後見制度」を知っているかについて、「知っている」は「身体障害者手帳」所持者で 27.3%、「療育手帳」所持者で 31.2%、「精神障害者保健福祉手帳」所持者で 20.7%となっています。

万一自分自身では判断ができなくなった場合、「成年後見制度」を利用し財産管理などを任せることについて、「任せてもよい」は「身体障害者手帳」所持者で 15.0%、「療育手帳」所持者で 20.8%、「精神障害者保健福祉手帳」所持者で 15.5%となっています。また、「すでに利用している」は、「療育手帳」所持者で 3.6%、「精神障害者保健福祉手帳」所持者で 2.6%となっています。

行田市としては特にこれから、特に施策に力を入れてほしいことについて、「身体障害者」所持者では、「障がいのある人の生活を支援するための情報提供や相談体制を充実する」が 25.0%と最も多く、次いで「障がいのある人も利用しやすいよう、公共施設の設備や道路等を改善する」が 22.4%となっています。「精神障害者保健福祉手帳」所持者では、「障がいのある人の働く場の確保や就労環境を改善する」が 45.6%と最も多く、次いで「障がいのある人の生活を支援するための情報提供や相談体制を充実する」が 36.3%となっています。また、「療育手帳」所持者では、「障がいのある人の働く場の確保や就労環境を改善する」が 34.8%と最も多く、次いで「障がいのある人の生活を支援するための情報提供や相談体制を充実する」が 31.2%、「就労継続支援事業所、更生施設、作業所など、福祉的就労の場を整備する」が 29.6%、「グループホームなど同じ障がいのある人同士で暮らせる場を確保する」が 28.4%となっています。

## ◆◆市民◆◆

### 1.あなた自身について

性別については、「男」が45.9%、「女」が54.0%と女性が多くなっています。

年齢については、「70歳以上」が31.2%と最も多く、次いで「60歳代」が26.9%、「50歳代」が14.5%と年齢が上がるに従い多くなっています。

職業については、「無職」が27.2%と最も多く、次いで「会社員、公務員、団体などの勤め人」が27.1%、「専業主婦（夫）」が18.8%となっています。

行田市に住んでいる期間は、「市外から転入して20年以上住んでいる」が40.4%と最も多く、次いで「生まれたときからずっと住んでいる」が33.9%、「行田市で生まれ一時市外に住んでいたが、戻ってきた」が10.9%となっています。

現在の住所、市内の地区については、「持田」が16.3%と最も多く、次いで「長野」が12.4%、「星河」が10.4%となっています。

### 2.あなたの生活について

現在の生活に満足しているかでは、「ほぼ満足」が55.8%と最も多く、「満足」と合わせると71.6%と7割以上の方が満足と回答しています。

また、「やや不満」、「不満」を合わせると21.4%となっています。

生活に満足していると思う理由については、「配偶者や家族がいるから」が62.0%と最も多く、次いで「健康で暮らしているから」が51.9%、「自分が好きなことをしているから」が24.0%となっています。

生活に満足していないと思う理由については、「生活していくだけのお金がないから」が30.3%と最も多く、次いで「自分が好きなことをしていないから」が26.9%、「障がいがあるから」が26.2%となっています。

### 3.障がいのある人との交流などについて

今まで障がいのある人と、日常生活の中で接する機会があったかでは、「家族や親戚に障がいのある人がいる・いた」が32.7%と最も多く、次いで「ふれあう機会はなかった」が26.6%、「友人や知人に障がいのある人がいる・いた」が19.4%となっています。

今までに学んだ経験については、「車いすの使い方」が24.3%と最も多く、次いで「高齢者の困りごとや高齢者擬似体験」が11.7%、「目の不自由な人の誘導や案内のし方」が10.7%となっています。また、半数以上の方が「上記のようなことを学んだことはない」と回答しています。

障がいのある人が街なかなどで実際に困っているのを見かけたとき、どのような行動をとれると思うかでは、「困っている人に頼まれたときに、対応したことがある、またはできると思う」が31.2%と最も多く、次いで「できることはあると思うが、なかなか行動には移せないと思う」が26.2%、「自ら声をかけ、困っていることについて手伝ったことがある、またはできると思う」が25.1%となっています。

「障がいのある人もない人も、互いに人格と個性を尊重し支えあい、人々の多様な在り方を相互に認め合える社会（共生社会）を実現しよう」という考え方については、「賛成する」が58.6%と最も多く、「ある程度賛成する」と合わせると91.7%と9割以上の方が賛成すると回答しています。また、「あまり賛成できない」、「まったく賛成できない」を合わせると1.1%となっています。

地域社会の中に障がいのある人への差別・偏見があると思うかでは、「ある」の回答は「(3) 精神障がい者に対して」が43.5%、「(2) 知的障がい者に対して」が42.9%、「(1) 身体障がい者に対して」が37.1%となっています。また、「ない」の回答では、「(1) 身体障がい者に対して」が32.2%で、他の障がいよりも多くなっています。

今までに障がい者を差別したことがあるかでは、「ある」が11.2%、「ない」が60.2%、「どういことが差別になるのかわからない」が25.1%となっています。

ここ数年、社会の中で障がいのある人に対する理解は深まってきていると思うかでは、「ある程度深まっている」が51.0%と最も多く、「かなり深まっている」と合わせると57.5%となっています。また、「あまり深まっていない」、「まったく深まっていない」を合わせると25.4%となっています。

行田市における「障がい者差別禁止条例」の制定の必要性については、「必要である」が61.7%、「必要ない」が5.2%、「わからない」が28.7%となっています。

障がいのある人とない人がお互いに理解しあい、共に生きる社会をつくっていくために必要なことでは、「学校教育の中で、障がいや福祉に関する学習を充実する」が46.0%と最も多く、次いで「建物・設備などが障がい者にも利用しやすいよう改善する」37.3%、「障がいの状況に応じて働けるよう、職場の就労環境を改善する」が36.1%となっています。

#### **4.福祉のまちづくりについて**

障がいのある人の支援について、主体になって取り組む順位が1位とされたのは、「行政」が65.1%、「障がい当事者」が24.3%、「ボランティア」が3.1%となっています。

ことばについて、「内容まで知っている」の回答で多いのは、「(7) 市総合福祉会館（『やすらぎの里』）」、「(8) 成年後見制度」となっています。また、「知らなかった」の回答で多いのは、「(1) 障がい者週間（12月3～9日）」、「(6) 彩の国ふれあいピック」となっています。

市内の公共施設などを、障がいのある人や高齢者も利用しやすいようにするために特に必要だと思うことでは、「道路の段差の解消」が59.9%と最も多く、次いで「歩道の設置・拡幅」が32.8%、「建物の出入口のスロープ化」が31.8%となっています。

行田市としてこれから、障がいのある人のために、特にどのような施策に力を入れる必要があると思うことでは、「障がいのある人の働く場の確保や就労環境を改善する」が42.3%と最も多く、次いで「障がいのある人が参加しやすい生涯学習活動等を充実する」が28.6%、「学齢期等において障がいのある子どもたちの可能性を伸ばせる教育を進め」が26.9%、「病気・障がいの発生を予防し、早い段階で適切な治療や療育を進める」が26.8%となっています。



### Ⅲ 調査結果



### Ⅲ-1 調査結果(身体・療育・精神)

◎身体障害者調査と同じ設問について、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の集計結果を併記します。手帳の記述がないものについては、身体障害者手帳所持者の回答で、療育及び精神障害者手帳のみの設問は、それぞれⅢ-2、Ⅲ-3に掲載します。

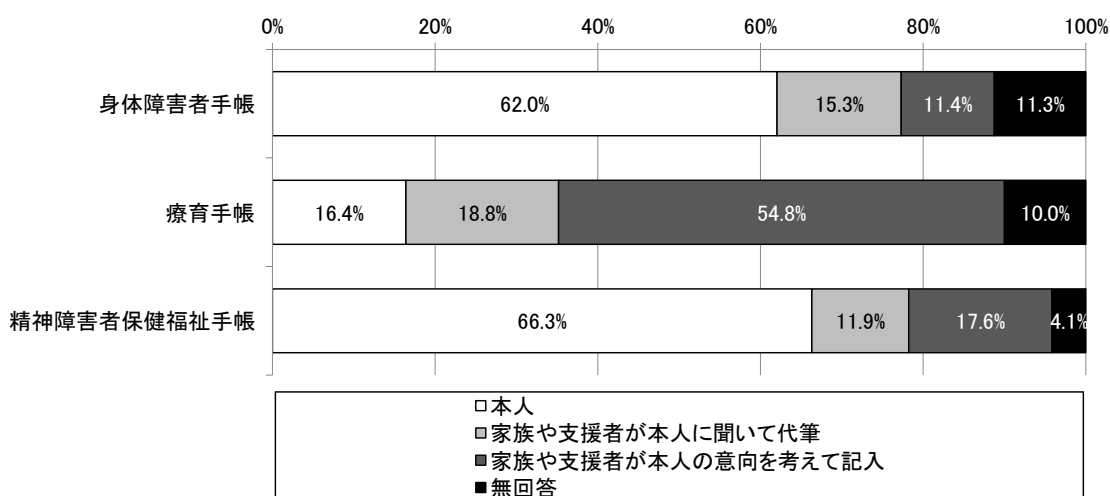
#### ①あなたご自身について

**問1 このアンケートにご記入いただく方はどなたですか。(1つに○)**

★療育手帳(問1)・精神障害者保健福祉手帳(問1)

アンケートを記入した方について障がい別では、「身体障害者手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」は6割以上で「本人」が回答しています。

また、「療育手帳」では、「家族や支援者が本人の意向を考えて記入」が54.8%となっています。



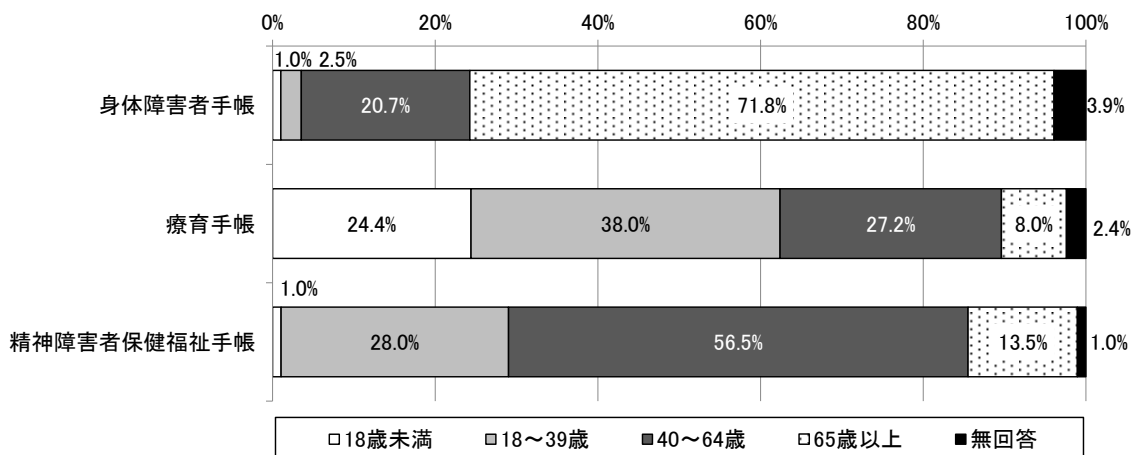
項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
本人	788	62.0%	41	16.4%	128	66.3%
家族や支援者が本人に聞いて代筆	194	15.3%	47	18.8%	23	11.9%
家族や支援者が本人の意向を考えて記入	145	11.4%	137	54.8%	34	17.6%
無回答	143	11.3%	25	10.0%	8	4.1%
全体	1,270	100.0%	250	100.0%	193	100.0%

**問2 あなたは何歳ですか。(あなたとは、障がいのある方ご自身のことをいいます)**

**★療育手帳(問2)・精神障害者保健福祉手帳(問2)**

年齢の障がい別では、「身体障害者手帳」で「65歳以上」と回答した方が、7割以上となっています。

また、「療育手帳」では、「18～39歳」が38.0%、「精神障害者保健福祉手帳」では、「40～64歳」が56.5%となっています。



項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
18歳未満	13	1.0%	61	24.4%	2	1.0%
18～39歳	32	2.5%	95	38.0%	54	28.0%
40～64歳	263	20.7%	68	27.2%	109	56.5%
65歳以上	912	71.8%	20	8.0%	26	13.5%
無回答	50	3.9%	6	2.4%	2	1.0%
全体	1,270	100.0%	250	100.0%	193	100.0%

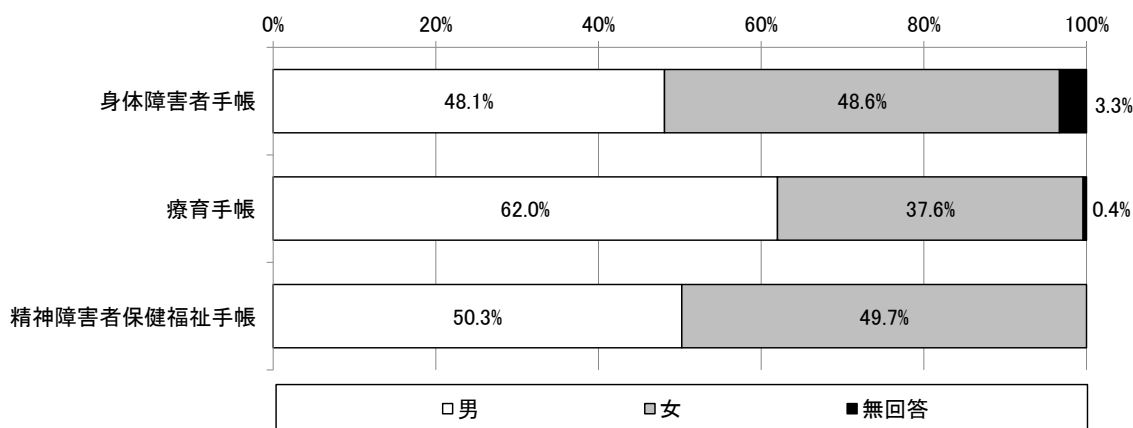


### 問3 あなたの性別は。(1つに○)

#### ★療育手帳(問3)・精神障害者保健福祉手帳(問3)

性別の障がい別では、「身体障害者手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」で、「男女」がほぼ半々となっています。

「療育手帳」では、「男性」が6割を超えやや多くなっています。

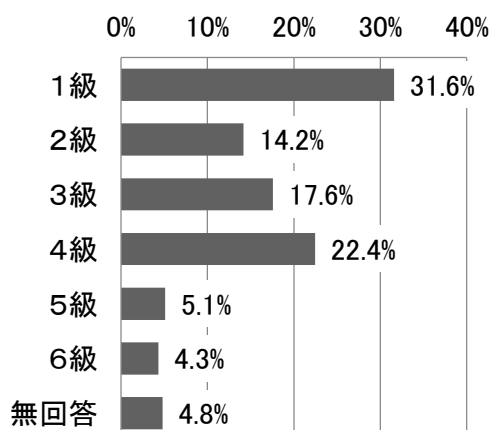


項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
男	611	48.1%	155	62.0%	97	50.3%
女	617	48.6%	94	37.6%	96	49.7%
無回答	42	3.3%	1	0.4%	0	0.0%
全体	1,270	100.0%	250	100.0%	193	100.0%

### 問4 あなたの身体障害者手帳の等級は次のどれですか。(手帳を見て1つに○)

#### ★身体障害者手帳のみの設問(以下、但し書きのない設問は、同様)

身体障害者手帳の等級では、「1級」が31.6%と最も多く、次いで「4級」が22.4%、「3級」が17.6%となっています。

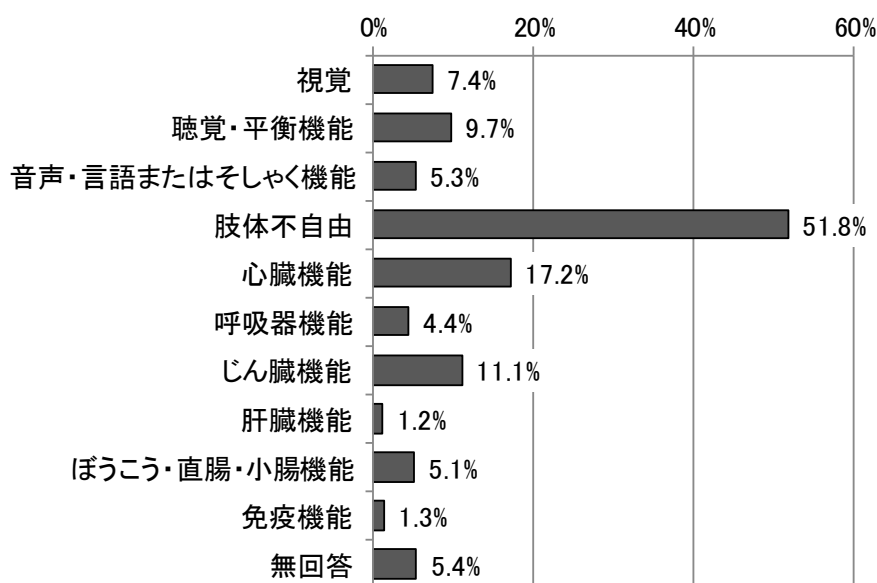


項目	n	%
1級	401	31.6%
2級	180	14.2%
3級	223	17.6%
4級	285	22.4%
5級	65	5.1%
6級	55	4.3%
無回答	61	4.8%
全体	1,270	100.0%

**問5 あなたの身体障がいの種類は次のどれですか。あてはまるものすべてに○をつけ、2つ以上ある時は、その中で生活上、最も不便を感じるものに◎をつけてください。**

身体障がいの種類では、「肢体不自由」が51.8%と最も多く、次いで「心臓機能」が17.2%、「じん臓機能」が11.1%となっています。

また、最も不便を感じるものでは、「肢体不自由」が最も多く、次いで「聴覚・平衡機能」、「視覚」となっています。



項目	n	%
視覚	94	7.4%
聴覚・平衡機能	123	9.7%
音声・言語またはそしゃく機能	67	5.3%
肢体不自由	658	51.8%
心臓機能	218	17.2%
呼吸器機能	56	4.4%
じん臓機能	141	11.1%
肝臓機能	15	1.2%
ぼうこう・直腸・小腸機能	65	5.1%
免疫機能	17	1.3%
無回答	69	5.4%
回答者数	1,270	

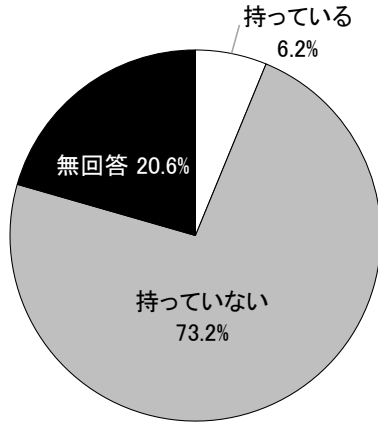
◎最も不便を感じるもの

項目	n	%
視覚	10	0.8%
聴覚・平衡機能	11	0.9%
音声・言語またはそしゃく機能	3	0.2%
肢体不自由	53	4.2%
心臓機能	8	0.6%
呼吸器機能	4	0.3%
じん臓機能	5	0.4%
肝臓機能	1	0.1%
ぼうこう・直腸・小腸機能	3	0.2%
免疫機能	0	0.0%
無回答	1,172	92.3%
全体	1,270	100%

※回答者数が少ないため、表のみ掲載

**問6 あなたは、療育手帳をお持ちですか。(1つに○)**

療育手帳の所持については、「持っている」が6.2%、「持っていない」が73.2%となっています。



項目	n	%
持っている	79	6.2%
持っていない	930	73.2%
無回答	261	20.6%
全体	1,270	100.0%

(問6で「1. 持っている」とお答えの方へ)

**問6-1 あなたの療育手帳の等級は次のどれですか。(手帳を見て1つに○)**

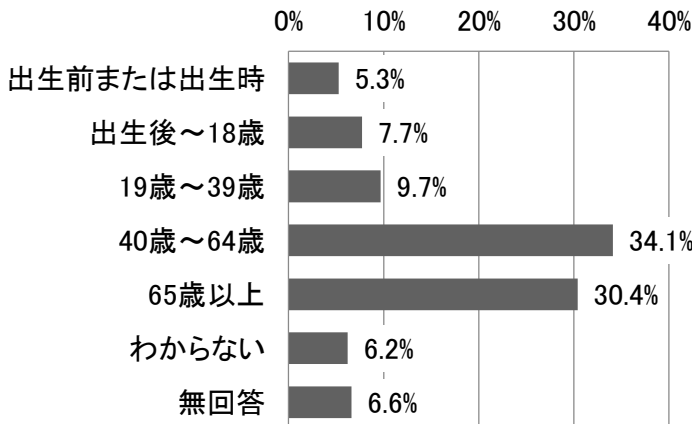
療育手帳の等級では、「C」が12件と最も多く、「A」が11件となっています。

項目	n	%
Ⓐ	11	13.9%
A	7	8.9%
B	3	3.8%
C	12	15.2%
無回答	46	58.2%
回答者数	79	100.0%
非該当	1,191	
全体	1,270	

※回答者数が少ないため、表のみ掲載

**問7 あなたの身体障がいは何歳頃に発生しましたか。(1つに○)**

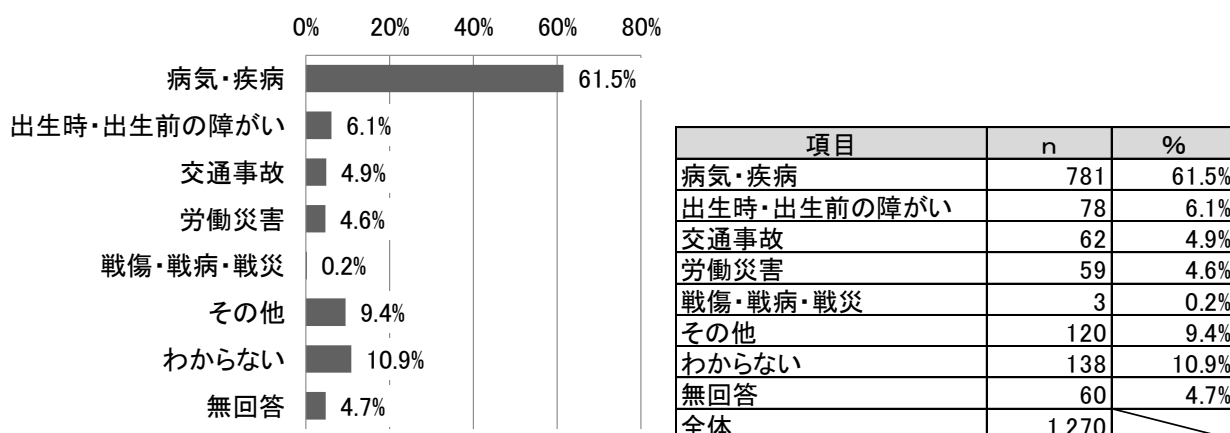
身体障がいが発生した年齢では、「40歳～64歳」が34.1%と最も多く、次いで「65歳以上」が30.4%、「19歳～39歳」が9.7%となっています。



項目	n	%
出生前または出生時	67	5.3%
出生後～18歳	98	7.7%
19歳～39歳	123	9.7%
40歳～64歳	433	34.1%
65歳以上	386	30.4%
わからない	79	6.2%
無回答	84	6.6%
全体	1,270	100.0%

**問8 身体障がいの原因は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)**

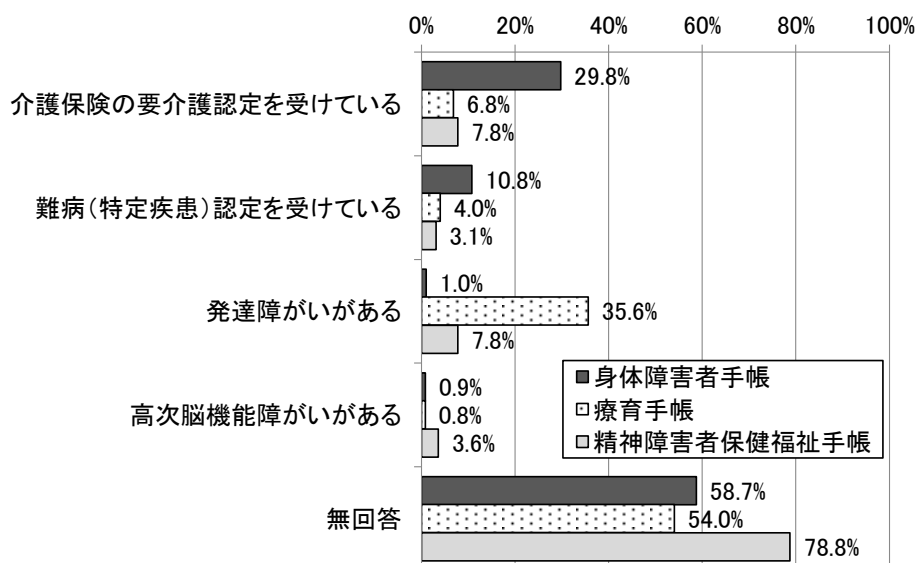
身体障がいの原因では、「病気・疾病」が61.5%と最も多く、次いで「出生時・出生前の障がい」が6.1%、「交通事故」が4.9%となっています。



**問9 あなたは、下記の選択肢のいずれかに当てはまりますか。(あてはまるものすべてに○)**

★療育手帳(問6)・精神障害者保健福祉手帳(問8)

認定について障がい別では、「身体障害者手帳」では、「介護保険の要介護認定を受けている」が多く、「療育手帳」で「発達障がいがある」が多くなっています。



項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者	
	n	%	n	%	n	%
介護保険の要介護認定を受けている	378	29.8%	17	6.8%	15	7.8%
難病(特定疾患)認定を受けている	137	10.8%	10	4.0%	6	3.1%
発達障がいがある	13	1.0%	89	35.6%	15	7.8%
高次脳機能障がいがある	11	0.9%	2	0.8%	7	3.6%
無回答	746	58.7%	135	54.0%	152	78.8%
全体	1,270		250		193	

※なお、この質問において「難病(特定疾患)認定を受けている」というのは、「埼玉県から特定疾患医療に関する受給者証の交付を受けている方」のことを言います。

(問9で「2. 難病(特定疾患)認定を受けている」とお答えの方へ)

問9-1 病名は何ですか。(病名を直接ご記入ください) あなたの生活についてうかがいます。

★療育手帳(問6-1)・精神障害者保健福祉手帳(問8-1)

**【身体障害者手帳】**

- 膠原病
- 膠原、皮膚筋炎多発性筋肉
- 両膝手術
- 網膜色素変性症
- 慢性腎不全
- 慢性腎炎
- 慢性関節リウマチによる四肢関節機能障害
- 変形性関節症右股関節人工骨髄置換、左股関節人工骨髄置換
- 変形性関節症、右左股関節人工骨髄
- 変形性関節症
- 肺気腫、肺癌
- 肺機能疾患(肺気腫)
- 背骨髄小脳変性症
- 難聴4級
- 突発性拡張型心筋症
- 洞機能不全症候群による臓機能障害
- 洞機能不全症候群
- 透析
- 糖尿病性腎症による腎臓機能障害、身辺活動困難
- 糖尿病
- 胆道閉鎖症
- 大動脈弁閉鎖不全症
- 大腸ガン
- 大腿骨骨頭壊死
- 大血管転位症
- 多発性硬化症
- 多発血管炎性内芽腫症
- 僧帽弁閉鎖不全、狭窄による心臓機能障害
- 全身性強症
- 全身性エリテマトーデス
- 繊維筋痛症
- 脊柱管狭窄後縦靭帯硬化症
- 脊髄小脳変性症
- 脊髄かん狭窄症
- 腎不全
- 腎臓病
- 腎臓機能障害
- 人工透析治療を行う、慢性腎不全
- 人工腎臓を実施している慢性腎不全
- 心臓弁膜症による臓器機能障害(弁置換)
- 心臓弁膜症
- 心臓病、腎臓病
- 心臓機能障害
- 小脳変性症・突発性血小板紫斑病
- 重症筋無力症
- 腫瘍生大腸炎
- 疾病による心臓機能障害(ペースメーカー)
- 混合性結合組織病
- 広範脊柱管狭窄症
- 交通事故
- 後縦靭帯骨化症による両下肢機能障害
- 後縦靭帯骨化症
- 顕微鏡的多発血管炎による腎臓機能障害
- 筋委縮性硬化症
- 筋ジストロフィー
- 狭心症
- 強皮症
- 気管支軟化症
- 関節リウマチ
- 間質性肺炎
- 感音性難聴による聴力レベル左右 92dc
- 黄色靭帯骨化症
- 一次性ネフローゼ症候群
- 悪性新生物
- 悪性関節リウマチ
- 嚥唾
- リウマチ甲状腺橋本病
- リウマチ
- ベーチェット病
- ペースメーカー
- ハンチントン病
- パーキンソン病
- 天疱瘡
- ダーティウォーカー症候群・ウェスト症候群
- じん肺で治療中
- クローン病
- CKD
- CHARGE症候群

■神経線維腫Ⅱ型

**【療育手帳(問6-1)】**

■てんかん

■脊髄小脳変性症

■ジュベール症候群

■神経線維腫症

■軟骨無形成症

**【精神障害者保健福祉手帳(問8-1)】**

■統合失調症、膀胱がん

■統合失調症（強迫性障害）

■統合失調症

■てんかん

■リウマチ甲状腺橋本病

■ウエスト症候群

■パーキンソン病

■パーキンソン病

■スタージウェーバー症候群、自己免疫性溶血性貧血

■プラダーウィリー症候群

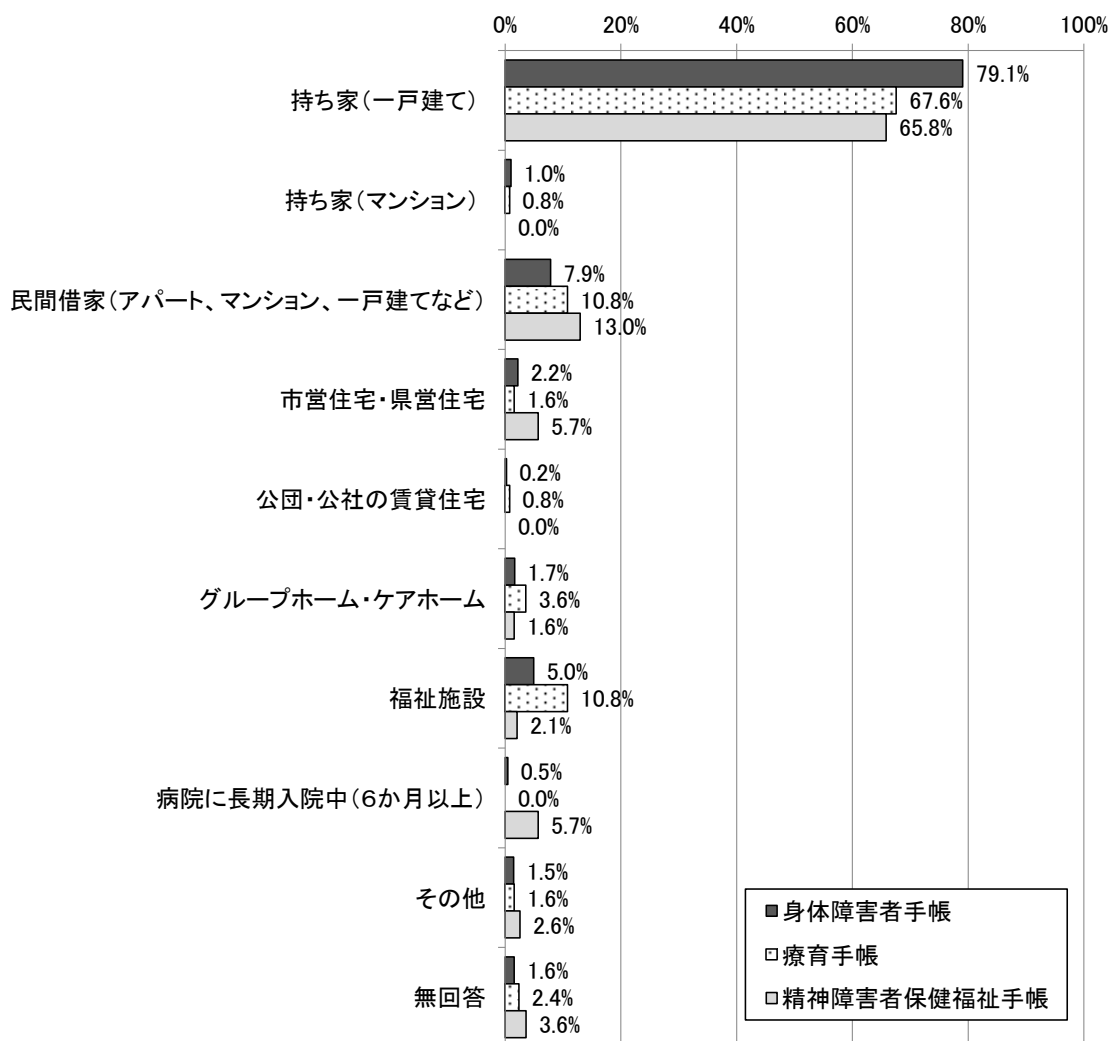
## ②あなたの生活について

問 10 あなたの現在のお住まい（生活の場）はどこですか。7月1日現在病院に入院中で、入院期間が6か月未満の方は、入院する前のお住まいについてお答えください。（1つに○）

### ★療育手帳(問7)・精神障害者保健福祉手帳(問9)

現在のお住まい（生活の場）は、3障がいともに「持ち家（一戸建て）」が最も多く、次いで、「民間借家（アパート、マンション、一戸建てなど）」となっています。

また、「療育手帳」では、「福祉施設」が多くなっています。



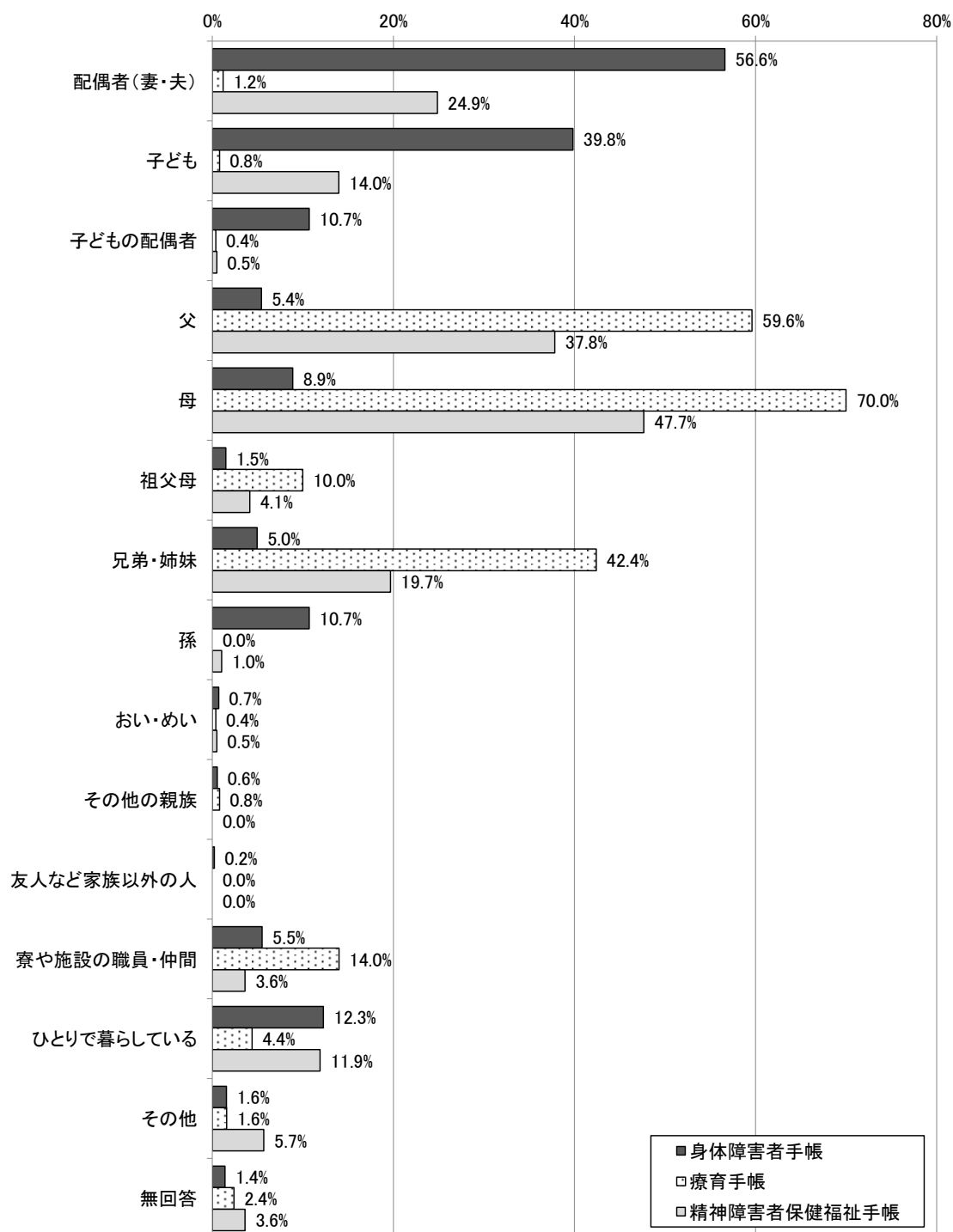
項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
持ち家(一戸建て)	1,004	79.1%	169	67.6%	127	65.8%
持ち家(マンション)	13	1.0%	2	0.8%	0	0.0%
民間借家(アパート、マンション、一戸建てなど)	100	7.9%	27	10.8%	25	13.0%
市営住宅・県営住宅	28	2.2%	4	1.6%	11	5.7%
公団・公社の賃貸住宅	3	0.2%	2	0.8%	0	0.0%
グループホーム・ケアホーム	21	1.7%	9	3.6%	3	1.6%
福祉施設	63	5.0%	27	10.8%	4	2.1%
病院に長期入院中(6か月以上)	6	0.5%	0	0.0%	11	5.7%
その他	19	1.5%	4	1.6%	5	2.6%
無回答	20	1.6%	6	2.4%	7	3.6%
全体	1,270	100.0%	250	100.0%	193	100.0%

**問 11 現在、どなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)**

**★療育手帳(問8)・精神障害者保健福祉手帳(問 10)**

現在、一緒に暮らしている人の障がい別では、「身体障害者手帳」で、「配偶者（妻・夫）」が最も多く、次いで「子ども」、「子どもの配偶者」、「孫」となっています。

「療育手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」ともに、「母」が最も多く、次いで「父」となっています。



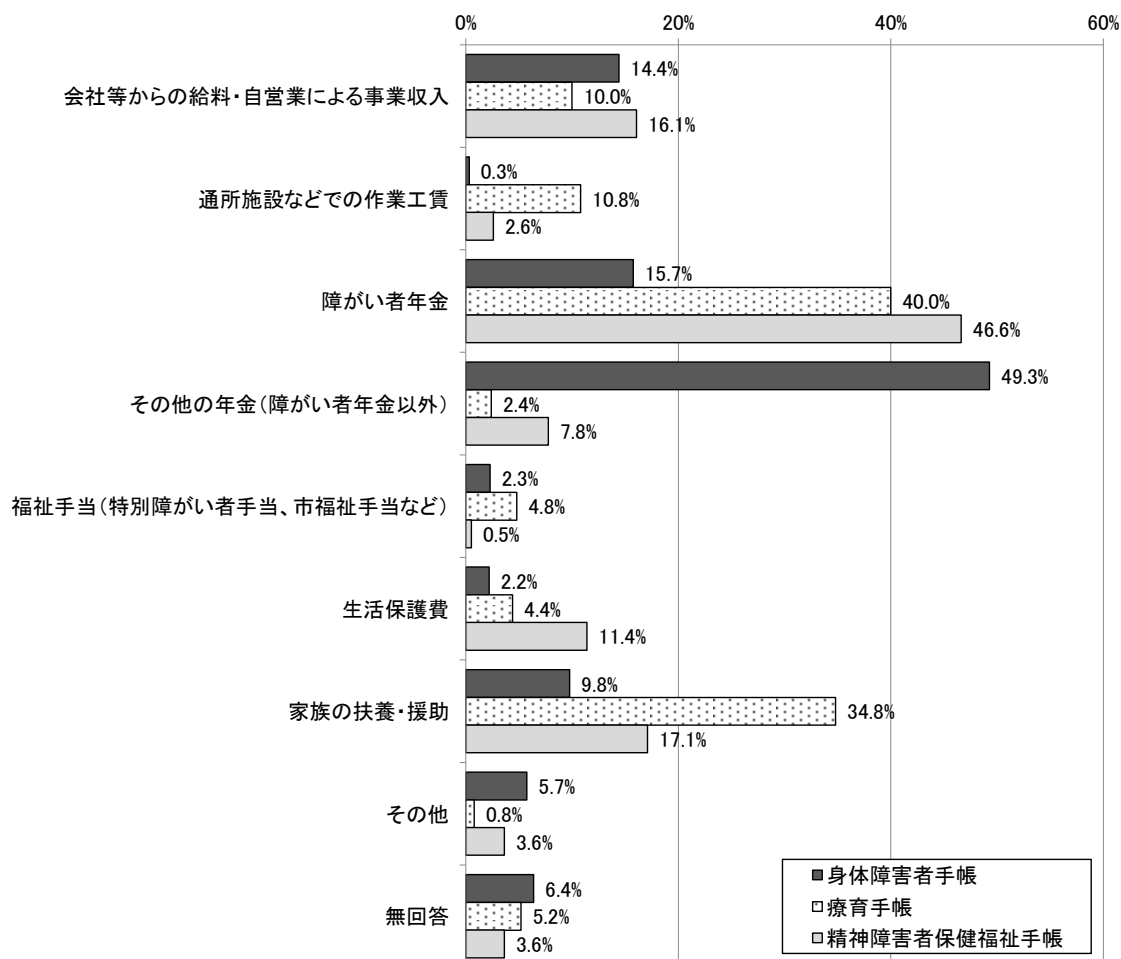


項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者 保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
配偶者(妻・夫)	719	56.6%	3	1.2%	48	24.9%
子ども	506	39.8%	2	0.8%	27	14.0%
子どもの配偶者	136	10.7%	1	0.4%	1	0.5%
父	69	5.4%	149	59.6%	73	37.8%
母	113	8.9%	175	70.0%	92	47.7%
祖父母	19	1.5%	25	10.0%	8	4.1%
兄弟・姉妹	63	5.0%	106	42.4%	38	19.7%
孫	136	10.7%	0	0.0%	2	1.0%
おい・めい	9	0.7%	1	0.4%	1	0.5%
その他の親族	7	0.6%	2	0.8%	0	0.0%
友人など家族以外の人	3	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
寮や施設の職員・仲間	70	5.5%	35	14.0%	7	3.6%
ひとりで暮らしている	156	12.3%	11	4.4%	23	11.9%
その他	20	1.6%	4	1.6%	11	5.7%
無回答	18	1.4%	6	2.4%	7	3.6%
全体	1,270		250		193	

**問12 あなた（ご本人）が生活する上で得ているおもな収入は何ですか。（1つに○）**

**★療育手帳(問9)・精神障害者保健福祉手帳(問11)**

生活費のおもな収入について障がい別では、「身体障害者手帳」で、「その他の年金（障がい者年金以外）」が最も多く、「療育手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」で、いずれも「障がい者年金」が最も多くなっています。



項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
会社等からの給料・自営業による事業収入	183	14.4%	25	10.0%	31	16.1%
通所施設などでの作業工賃	4	0.3%	27	10.8%	5	2.6%
障がい者年金	200	15.7%	100	40.0%	90	46.6%
その他の年金(障がい者年金以外)	626	49.3%	6	2.4%	15	7.8%
福祉手当(特別障がい者手当、市福祉手当など)	29	2.3%	12	4.8%	1	0.5%
生活保護費	28	2.2%	11	4.4%	22	11.4%
家族の扶養・援助	124	9.8%	87	34.8%	33	17.1%
その他	73	5.7%	2	0.8%	7	3.6%
無回答	81	6.4%	13	5.2%	7	3.6%
全体	1,270		250		193	

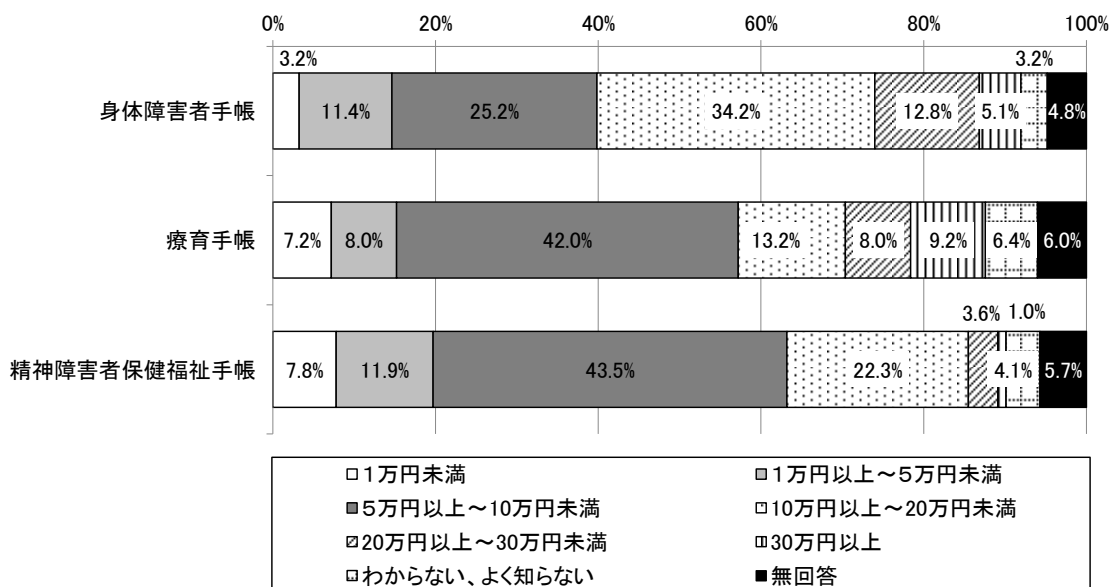
※なお、この質問において「通所施設」とは、福祉作業所、就労継続支援施設、就労移行支援施設、地域活動支援センターを指します。

**問 13 あなた（ご本人）の収入は、1か月あたりどのくらいですか。年金・手当・生活保護費・親族からの援助なども含めてください。（1つに○）**

**★療育手帳(問 10)・精神障害者保健福祉手帳(問 12)**

1か月あたりの収入について障がい別では、「療育手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」のいずれも「5万円以上～10万円未満」が最も多くなっています。

また、「身体障害者手帳」では、「10万円以上～20万円未満」が最も多くなっています。



項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
1万円未満	41	3.2%	18	7.2%	15	7.8%
1万円以上～5万円未満	145	11.4%	20	8.0%	23	11.9%
5万円以上～10万円未満	320	25.2%	105	42.0%	84	43.5%
10万円以上～20万円未満	434	34.2%	33	13.2%	43	22.3%
20万円以上～30万円未満	163	12.8%	20	8.0%	7	3.6%
30万円以上	65	5.1%	23	9.2%	2	1.0%
わからない、よく知らない	41	3.2%	16	6.4%	8	4.1%
無回答	61	4.8%	15	6.0%	11	5.7%
全体	1,270	100.0%	250	100.0%	193	100.0%

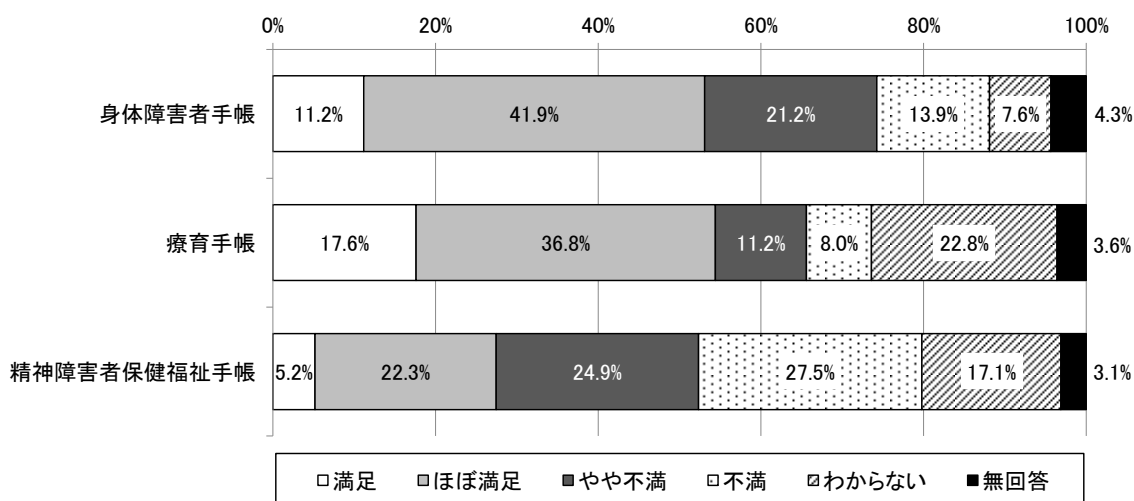
※調査の対象が18歳以下の方の場合は、ご家庭のおもな収入として答えています。

**問 14 あなたは現在の生活に満足していますか。(1つに○)**

**★療育手帳(問 11)・精神障害者保健福祉手帳(問 13)**

現在の生活に満足しているかの障がい別では、「身体障害者手帳」、「療育手帳」で、「ほぼ満足」が最も多く、「満足」を合わせると半数以上の方が満足と回答しています。

一方、「精神障害者保健福祉手帳」では、「不満」が最も多く、「やや不満」と合わせると半数以上の方が不満と回答しています。



項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
満足	142	11.2%	44	17.6%	10	5.2%
ほぼ満足	532	41.9%	92	36.8%	43	22.3%
やや不満	269	21.2%	28	11.2%	48	24.9%
不満	176	13.9%	20	8.0%	53	27.5%
わからない	96	7.6%	57	22.8%	33	17.1%
無回答	55	4.3%	9	3.6%	6	3.1%
全体	1,270	100.0%	250	100.0%	193	100.0%

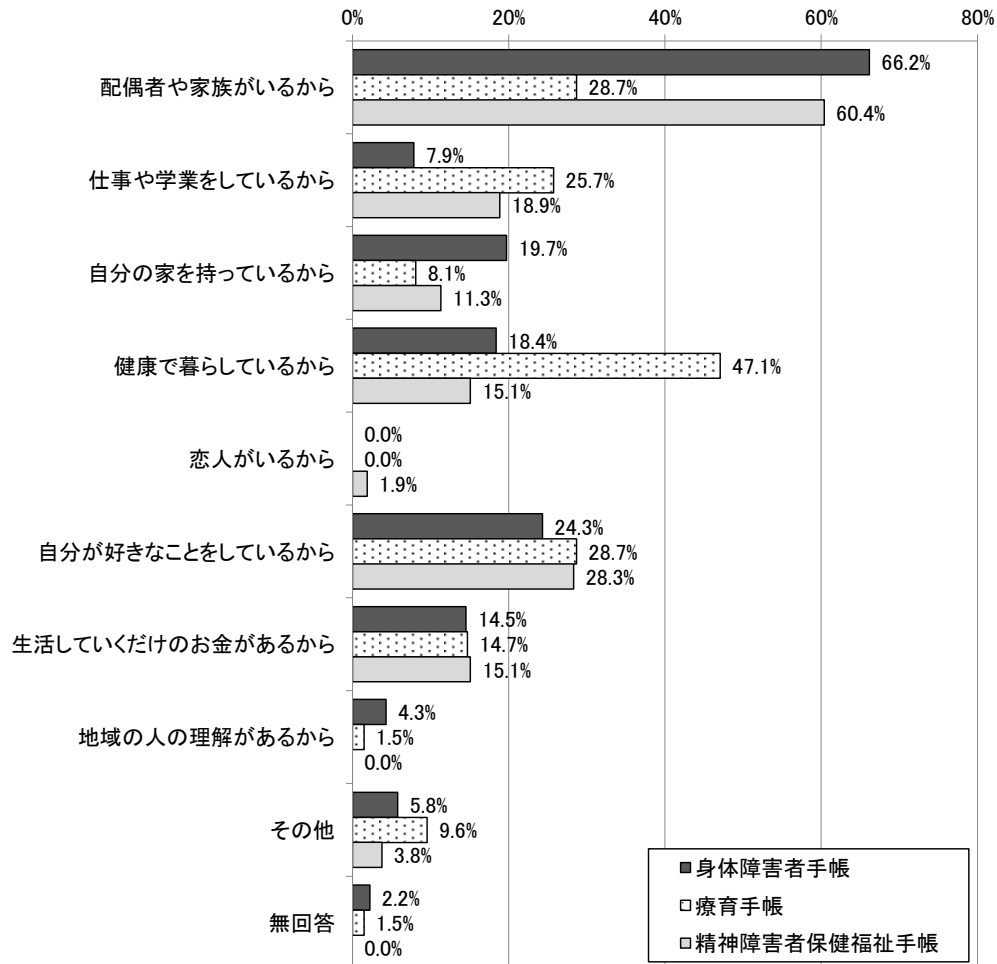
(問14で「1. 満足」か「2. ほぼ満足」とお答えの方へ)

**問 14-1 あなたが、生活に満足していると思う理由は何ですか。(2つまでに○)**

★療育手帳(問 11-1)・精神障害者保健福祉手帳(問 13-1)

生活に満足していると思う理由について障がい別では、「身体障害者手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」で、「配偶者や家族がいるから」が6割を越えており、「療育手帳」で、「健康で暮らしているから」が多くなっています。

また、3障がいともに「自分が好きなことをしているから」が多くなっています。



項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
配偶者や家族がいるから	446	66.2%	39	28.7%	32	60.4%
仕事や学業をしているから	53	7.9%	35	25.7%	10	18.9%
自分の家を持っているから	133	19.7%	11	8.1%	6	11.3%
健康で暮らしているから	124	18.4%	64	47.1%	8	15.1%
恋人がいるから	0	0.0%	0	0.0%	1	1.9%
自分が好きなことをしているから	164	24.3%	39	28.7%	15	28.3%
生活していくだけのお金があるから	98	14.5%	20	14.7%	8	15.1%
地域の人々の理解があるから	29	4.3%	2	1.5%	0	0.0%
その他	39	5.8%	13	9.6%	2	3.8%
無回答	15	2.2%	2	1.5%	0	0.0%
回答者数	674		136		53	
非該当	596		114		140	
全体	1,270		250		193	

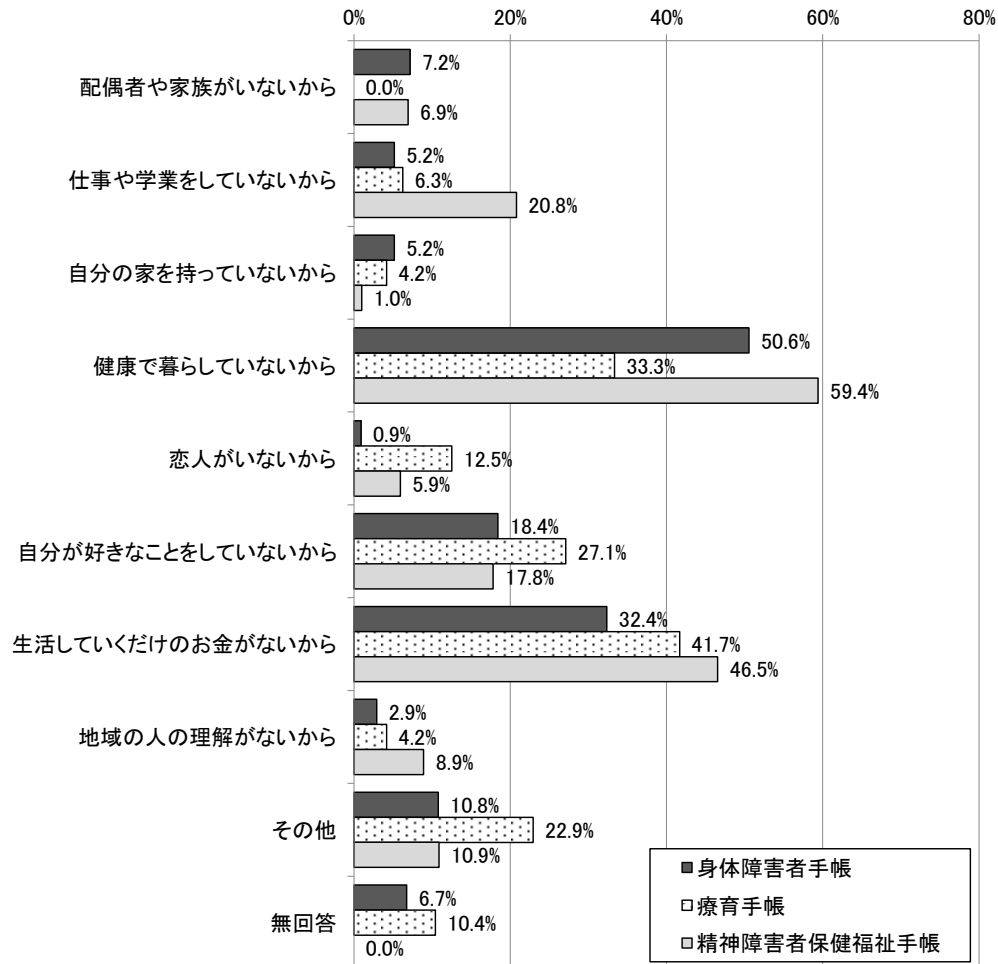
(問14で「3. やや不満」か「4. 不満」とお答えの方へ)

**問 14-2 あなたが、生活に満足していないと思う理由は何ですか。(2つまでに○)**

★療育手帳(問 11-2)・精神障害者保健福祉手帳(問 13-2)

生活に満足していないと思う理由について障がい別では、「身体障害者手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」で、「健康で暮らしていないから」が5割を越えています。

また、「療育手帳」では、「生活していくだけのお金がないから」が最も多くなっています。



項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
配偶者や家族がないから	32	7.2%	0	0.0%	7	6.9%
仕事や学業をしていないから	23	5.2%	3	6.3%	21	20.8%
自分の家を持っていないから	23	5.2%	2	4.2%	1	1.0%
健康で暮らしていないから	225	50.6%	16	33.3%	60	59.4%
恋人がないから	4	0.9%	6	12.5%	6	5.9%
自分が好きなことをしていないから	82	18.4%	13	27.1%	18	17.8%
生活していくだけのお金がないから	144	32.4%	20	41.7%	47	46.5%
地域の人との理解がないから	13	2.9%	2	4.2%	9	8.9%
その他	48	10.8%	11	22.9%	11	10.9%
無回答	30	6.7%	5	10.4%	0	0.0%
回答者数	445		48		101	
非該当	825		202		92	
全体	1,270		250		193	

**問 15 あなたは、現在の生活で困っていることがありますか。**  
**(あてはまるものすべてに○)**

**★療育手帳(問 12)・精神障害者保健福祉手帳(問 14)**

現在の生活で困っていることについて障がい別では、「身体障害者手帳」で、「外出する機会や場所等が限られる」が最も多く、次いで「自身の体調がよくない」となっています。

「療育手帳」では、「人とのコミュニケーションがうまくとれない」が最も多く、次いで「外出する機会や場所等が限られる」、「金銭管理がうまくできない」となっています。

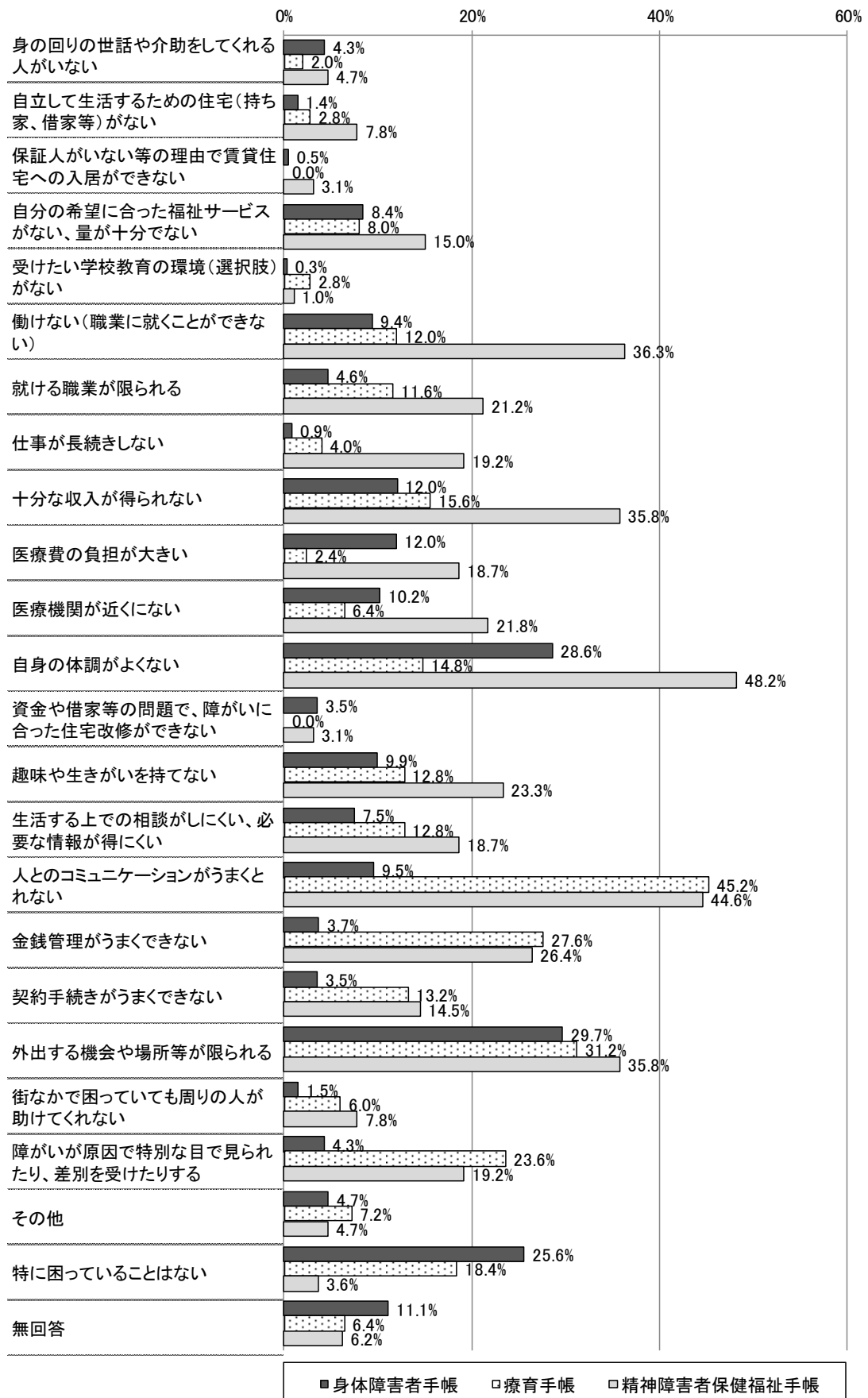
「精神障害者保健福祉手帳」では、「自身の体調がよくない」が最も多く、次いで「人とのコミュニケーションがうまくとれない」、「働けない(職業に就くことができない)」となっています。

また、「特に困っていることはない」の回答では、「身体障害者手帳」が25.6%となっています。

項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者 保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
身の回りの世話や介助をしてくれる人がいない	55	4.3%	5	2.0%	9	4.7%
自立して生活するための住宅(持ち家、借家等)がない	18	1.4%	7	2.8%	15	7.8%
保証人がいない等の理由で賃貸住宅への入居ができない	6	0.5%	0	0.0%	6	3.1%
自分の希望に合った福祉サービスがない、量が十分でない	107	8.4%	20	8.0%	29	15.0%
受けた学校教育の環境(選択肢)がない	4	0.3%	7	2.8%	2	1.0%
働けない(職業に就くことができない)	119	9.4%	30	12.0%	70	36.3%
就ける職業が限られる	59	4.6%	29	11.6%	41	21.2%
仕事が長続きしない	11	0.9%	10	4.0%	37	19.2%
十分な収入が得られない	153	12.0%	39	15.6%	69	35.8%
医療費の負担が大きい	152	12.0%	6	2.4%	36	18.7%
医療機関が近くにない	130	10.2%	16	6.4%	42	21.8%
自身の体調がよくない	363	28.6%	37	14.8%	93	48.2%
資金や借家等の問題で、障がいに合った住宅改修ができない	45	3.5%	0	0.0%	6	3.1%
趣味や生きがいを持ってない	126	9.9%	32	12.8%	45	23.3%
生活する上での相談がしにくい、必要な情報が得にくい	95	7.5%	32	12.8%	36	18.7%
人とのコミュニケーションがうまくとれない	121	9.5%	113	45.2%	86	44.6%
金銭管理がうまくできない	47	3.7%	69	27.6%	51	26.4%
契約手続きがうまくできない	45	3.5%	33	13.2%	28	14.5%
外出する機会や場所等が限られる	377	29.7%	78	31.2%	69	35.8%
街なかで困っていても周りの人が助けてくれない	19	1.5%	15	6.0%	15	7.8%
障がいの原因で特別な目で見られたり、差別を受けたりする	54	4.3%	59	23.6%	37	19.2%
その他	60	4.7%	18	7.2%	9	4.7%
特に困っていることはない	325	25.6%	46	18.4%	7	3.6%
無回答	141	11.1%	16	6.4%	12	6.2%
全体	1,270		250		193	

※グラフを見やすくするため、表を先に掲載しています。

問15 あなたは、現在の生活で困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)





### ③ 介助の状況について

問 16 あなたは、次のようなことについて、どの程度介助が必要ですか。①～⑩それぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

★療育手帳(問 13)・精神障害者保健福祉手帳(問 15)

どの程度の介助が必要かについて障がい別では、「身体障害者手帳」で、「できない・ほとんど手伝ってもらう」の回答が多いのは、「外出（買い物など）」、「食事のしたくや後かたづけ」、「身の回りの掃除、洗濯」となっています。

また、「療育手帳」では、「できない・ほとんど手伝ってもらう」の回答が多いのは、「家事（掃除、炊事、洗濯等）」、「外出（買い物など）」、「金銭（お金）の管理」、さらに、「精神障害者保健福祉手帳」では、「食事のしたくや後かたづけ」、「身の回りの掃除、洗濯」、「金銭管理」が多くなっています。



- ひとりできる(補装具等の使用も含む)
- 少し手伝ってもらう
- できない・ほとんど手伝ってもらう
- 無回答

項目(度数)		ひとりできる (補装具等の 使用も含む)	少し手伝っ てもらう	できない・ほと んど手伝っ てもらう	無回答	全体
食事(ごはん)	身体障害者手帳	877	125	68	200	1,270
	療育手帳	147	50	29	24	250
	精神障害者保健福祉手帳	145	21	10	17	193
着替え	身体障害者手帳	807	155	120	188	1,270
	療育手帳	135	61	30	24	250
	精神障害者保健福祉手帳	154	15	7	17	193
トイレ	身体障害者手帳	851	97	126	196	1,270
	療育手帳	134	58	31	27	250
	精神障害者保健福祉手帳	162	8	6	17	193
入浴(お風呂)	身体障害者手帳	749	127	212	182	1,270
	療育手帳	114	40	69	27	250
	精神障害者保健福祉手帳	148	15	13	17	193
家の中の移動	身体障害者手帳	845	123	96	206	1,270
	療育手帳	186	13	23	28	250
外出(買い物など)	身体障害者手帳	552	192	341	185	1,270
	療育手帳	56	51	123	20	250
	精神障害者保健福祉手帳	87	51	31	22	191
食事のしたくや後かたづけ	身体障害者手帳	583	150	352	185	1,270
	精神障害者保健福祉手帳	69	46	59	19	193
身の回りの掃除、洗濯 家事(掃除、炊事、洗濯等)	身体障害者手帳	580	165	342	183	1,270
	療育手帳	40	40	143	27	250
	精神障害者保健福祉手帳	64	55	53	21	193
会話、コミュニケーション (人とのつき合い、コミュニケーション)	身体障害者手帳	820	153	81	216	1,270
	療育手帳	52	81	94	23	250
	精神障害者保健福祉手帳	98	49	26	20	193
服薬(薬をのむ)	療育手帳	86	56	77	31	250
	精神障害者保健福祉手帳	135	23	16	19	193
金銭(お金)の管理	療育手帳	35	38	149	28	250
	精神障害者保健福祉手帳	84	59	29	21	193
寝返り	身体障害者手帳	908	72	82	208	1,270
生活リズムを保つ(規則正しい生活)	療育手帳	81	70	76	23	250

項目(構成比)		ひとりできる (補装具等の 使用も含む)	少し手伝っ てもらう	できない・ほと んど手伝っ てもらう	無回答	全体
食事(ごはん)	身体障害者手帳	69.1%	9.8%	5.4%	15.7%	100.0%
	療育手帳	58.8%	20.0%	11.6%	9.6%	100.0%
	精神障害者保健福祉手帳	75.1%	10.9%	5.2%	8.8%	100.0%
着替え	身体障害者手帳	63.5%	12.2%	9.4%	14.8%	100.0%
	療育手帳	54.0%	24.4%	12.0%	9.6%	100.0%
	精神障害者保健福祉手帳	79.8%	7.8%	3.6%	8.8%	100.0%
トイレ	身体障害者手帳	67.0%	7.6%	9.9%	15.4%	100.0%
	療育手帳	53.6%	23.2%	12.4%	10.8%	100.0%
	精神障害者保健福祉手帳	83.9%	4.1%	3.1%	8.8%	100.0%
入浴(お風呂)	身体障害者手帳	59.0%	10.0%	16.7%	14.3%	100.0%
	療育手帳	45.6%	16.0%	27.6%	10.8%	100.0%
	精神障害者保健福祉手帳	76.7%	7.8%	6.7%	8.8%	100.0%
家の中の移動	身体障害者手帳	66.5%	9.7%	7.6%	16.2%	100.0%
	療育手帳	74.4%	5.2%	9.2%	11.2%	100.0%
外出(買い物など)	身体障害者手帳	43.5%	15.1%	26.9%	14.6%	100.0%
	療育手帳	22.4%	20.4%	49.2%	8.0%	100.0%
	精神障害者保健福祉手帳	45.5%	26.7%	16.2%	11.5%	100.0%
食事のしたくや後かたづけ	身体障害者手帳	45.9%	11.8%	27.7%	14.6%	100.0%
	精神障害者保健福祉手帳	35.8%	23.8%	30.6%	9.8%	100.0%
身の回りの掃除、洗濯 家事(掃除、炊事、洗濯等)	身体障害者手帳	45.7%	13.0%	26.9%	14.4%	100.0%
	療育手帳	16.0%	16.0%	57.2%	10.8%	100.0%
	精神障害者保健福祉手帳	33.2%	28.5%	27.5%	10.9%	100.0%
会話、コミュニケーション (人とのつき合い、コミュニケーション)	身体障害者手帳	64.6%	12.0%	6.4%	17.0%	100.0%
	療育手帳	20.8%	32.4%	37.6%	9.2%	100.0%
	精神障害者保健福祉手帳	50.8%	25.4%	13.5%	10.4%	100.0%
服薬(薬をのむ)	療育手帳	34.4%	22.4%	30.8%	12.4%	100.0%
	精神障害者保健福祉手帳	69.9%	11.9%	8.3%	9.8%	100.0%
金銭(お金)の管理	療育手帳	14.0%	15.2%	59.6%	11.2%	100.0%
	精神障害者保健福祉手帳	43.5%	30.6%	15.0%	10.9%	100.0%
寝返り	身体障害者手帳	71.5%	5.7%	6.5%	16.4%	100.0%
生活リズムを保つ(規則正しい生活)	療育手帳	32.4%	28.0%	30.4%	9.2%	100.0%

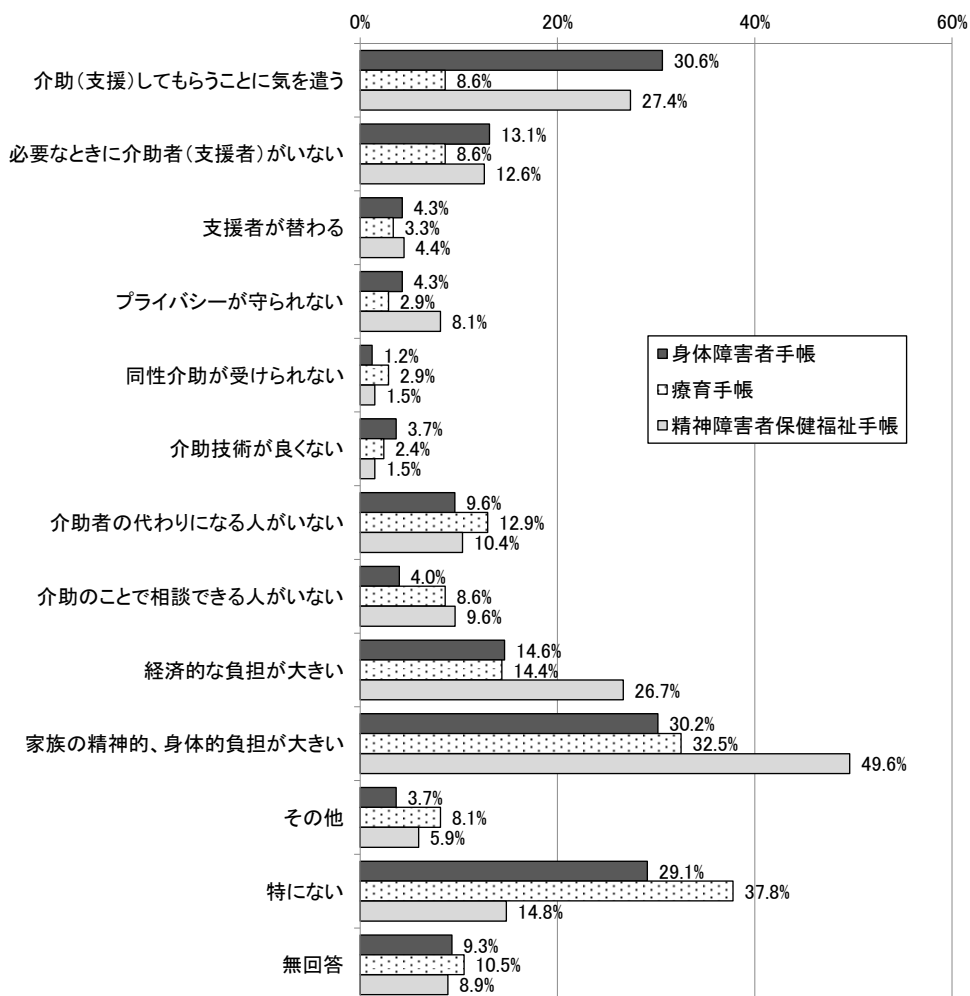
(問 16 で 1 つでも「2. 少し手伝ってもらおう」か「3. できない・ほとんど手伝ってもらおう」に○をつけた方へ)

**問 17 介助を受ける上で問題となっていることはありますか。**  
(あてはまるものすべてに○)

★療育手帳(問 14)・精神障害者保健福祉手帳(問 16)

介助を受ける上で問題となっていることについて、3障がいともに「家族の精神的、身体的負担が大きい」、「介助(支援)してもらおうことに気を遣う」、「経済的な負担が大きい」が多くなっています。

また、「療育手帳」では、「特にない」が多くなっています。



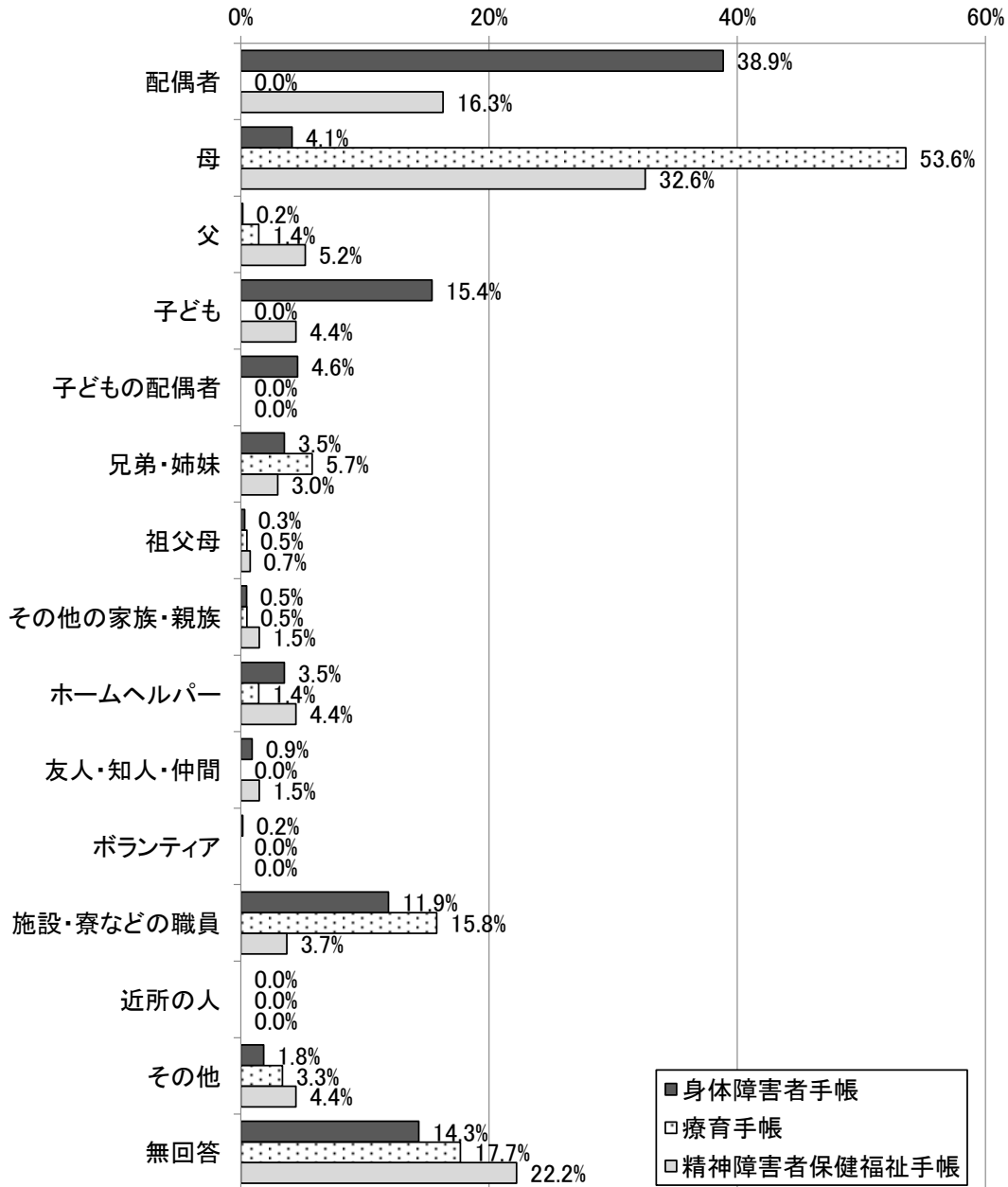
項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
介助(支援)してもらおうことに気を遣う	201	30.6%	18	8.6%	37	27.4%
必要ときに介助者(支援者)がいない	86	13.1%	18	8.6%	17	12.6%
支援者が替わる	28	4.3%	7	3.3%	6	4.4%
プライバシーが守られない	28	4.3%	6	2.9%	11	8.1%
同性介助が受けられない	8	1.2%	6	2.9%	2	1.5%
介助技術が良くない	24	3.7%	5	2.4%	2	1.5%
介助者の代わりにする人がいない	63	9.6%	27	12.9%	14	10.4%
介助のことで相談できる人がいない	26	4.0%	18	8.6%	13	9.6%
経済的な負担が大きい	96	14.6%	30	14.4%	36	26.7%
家族の精神的、身体的負担が大きい	198	30.2%	68	32.5%	67	49.6%
その他	24	3.7%	17	8.1%	8	5.9%
特にない	191	29.1%	79	37.8%	20	14.8%
無回答	61	9.3%	22	10.5%	12	8.9%
回答者数	656		209		135	
非該当	614		41		58	
全体	1,270		250		193	

**問 18 ふだんあなたの介助をおもにしているのはどなたですか。(1つに○)**

★療育手帳(問 15)・精神障害者保健福祉手帳(問 17)

ふだんの介助をおもにしている方について障がい別では、「身体障害者手帳」では、「配偶者」、「子ども」、「施設・寮などの職員」が多くなっています。

「療育手帳」では、「母」、「施設・寮などの職員」が多く、「精神障害者保健福祉手帳」では、「母」、「配偶者」が多くなっています。



項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者 保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
配偶者	255	38.9%	0	0.0%	22	16.3%
母	27	4.1%	112	53.6%	44	32.6%
父	1	0.2%	3	1.4%	7	5.2%
子ども	101	15.4%	0	0.0%	6	4.4%
子どもの配偶者	30	4.6%	0	0.0%	0	0.0%
兄弟・姉妹	23	3.5%	12	5.7%	4	3.0%
祖父母	2	0.3%	1	0.5%	1	0.7%
その他の家族・親族	3	0.5%	1	0.5%	2	1.5%
ホームヘルパー	23	3.5%	3	1.4%	6	4.4%
友人・知人・仲間	6	0.9%	0	0.0%	2	1.5%
ボランティア	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
施設・寮などの職員	78	11.9%	33	15.8%	5	3.7%
近所の人	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	12	1.8%	7	3.3%	6	4.4%
無回答	94	14.3%	37	17.7%	30	22.2%
回答者数	656	100.0%	209	100.0%	135	100.0%
非該当	614		41		58	
全体	1,270		250		193	

※療育手帳のアンケートでは、配偶者は、(妻・夫)と表記しています。

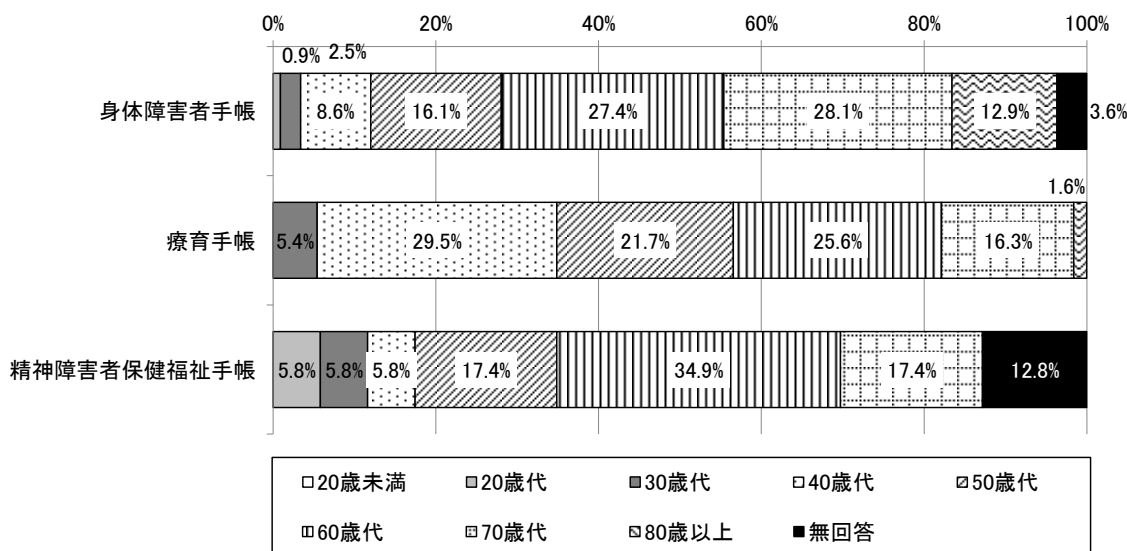
(問18で「1. 配偶者」～「8. その他の家族・親族」とお答えの方へ)【おもに介助をしている方におうかがいします】

**問 18-1 あなたはおいくつですか。(1つに○)**

★療育手帳(問 15-1)・精神障害者保健福祉手帳(問 17-1)

ふだんの介助をおもにしている方の年齢について障がい別では、「身体障害者手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」で、「50歳代～70歳代」が多くなっています。

「療育手帳」では、「40歳代～60歳代」が多くなっています。



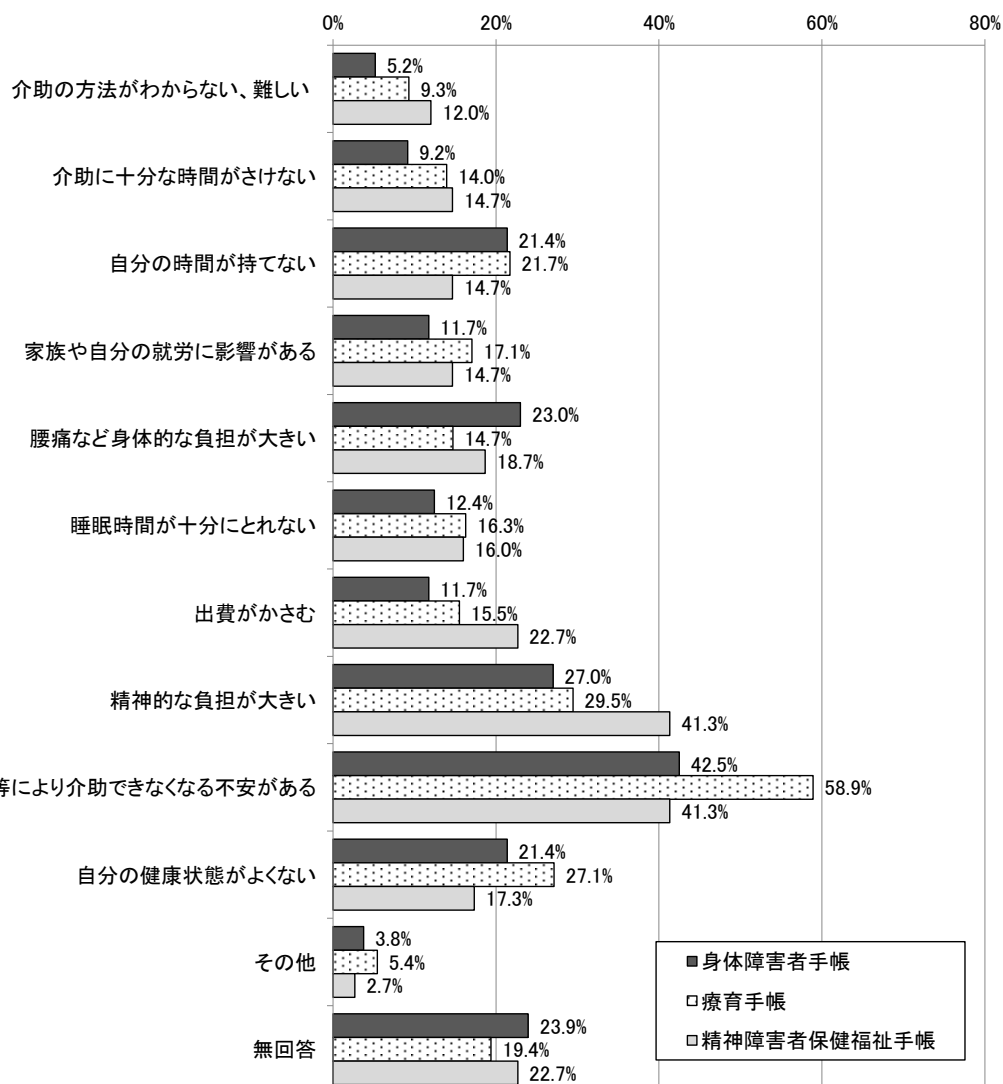
項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
20歳未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20歳代	4	0.9%	0	0.0%	5	5.8%
30歳代	11	2.5%	7	5.4%	5	5.8%
40歳代	38	8.6%	38	29.5%	5	5.8%
50歳代	71	16.1%	28	21.7%	15	17.4%
60歳代	121	27.4%	33	25.6%	30	34.9%
70歳代	124	28.1%	21	16.3%	15	17.4%
80歳以上	57	12.9%	2	1.6%	0	0.0%
無回答	16	3.6%	0	0.0%	11	12.8%
回答者数	442	100.0%	129	100.0%	86	100.0%
非該当	828		121		107	
全体	1,270		250		193	

(問 18-1 をお答えの方へ)

**問 18-2 介助をする上でお困りのことはありますか。(あてはまるものすべてに○)**

★療育手帳(問 15-2)・精神障害者保健福祉手帳(問 17-2)

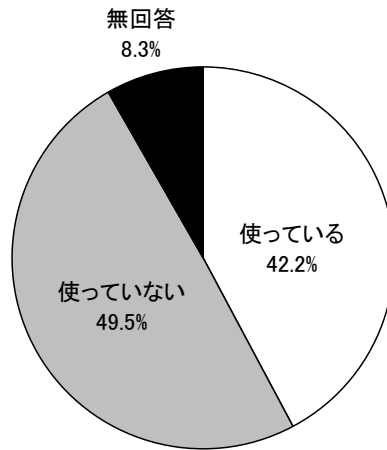
介助をする上で困ることについて、3障がいともに「自分が高齢等により介助できなくなる不安がある」が多くなっています。「精神障害者保健福祉手帳」では、「精神的な負担が大きい」も多くなっています。



項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
介助の方法がわからない、難しい	22	5.2%	12	9.3%	9	12.0%
介助に十分な時間がさけない	39	9.2%	18	14.0%	11	14.7%
自分の時間が持てない	91	21.4%	28	21.7%	11	14.7%
家族や自分の就労に影響がある	50	11.7%	22	17.1%	11	14.7%
腰痛など身体的な負担が大きい	98	23.0%	19	14.7%	14	18.7%
睡眠時間が十分にとれない	53	12.4%	21	16.3%	12	16.0%
出費がかさむ	50	11.7%	20	15.5%	17	22.7%
精神的な負担が大きい	115	27.0%	38	29.5%	31	41.3%
自分が高齢等により介助できなくなる不安がある	181	42.5%	76	58.9%	31	41.3%
自分の健康状態がよくない	91	21.4%	35	27.1%	13	17.3%
その他	16	3.8%	7	5.4%	2	2.7%
無回答	102	23.9%	25	19.4%	17	22.7%
回答者数	426		129		75	
非該当	844		121		118	
全体	1,270		250		193	

**問 19 あなたは、現在補装具や日常生活用具を使っていますか。(1つに○)**

現在補装具や日常生活用具を使っているかでは、「使っている」が 42.2%、「使っていない」が 49.5%となっています。



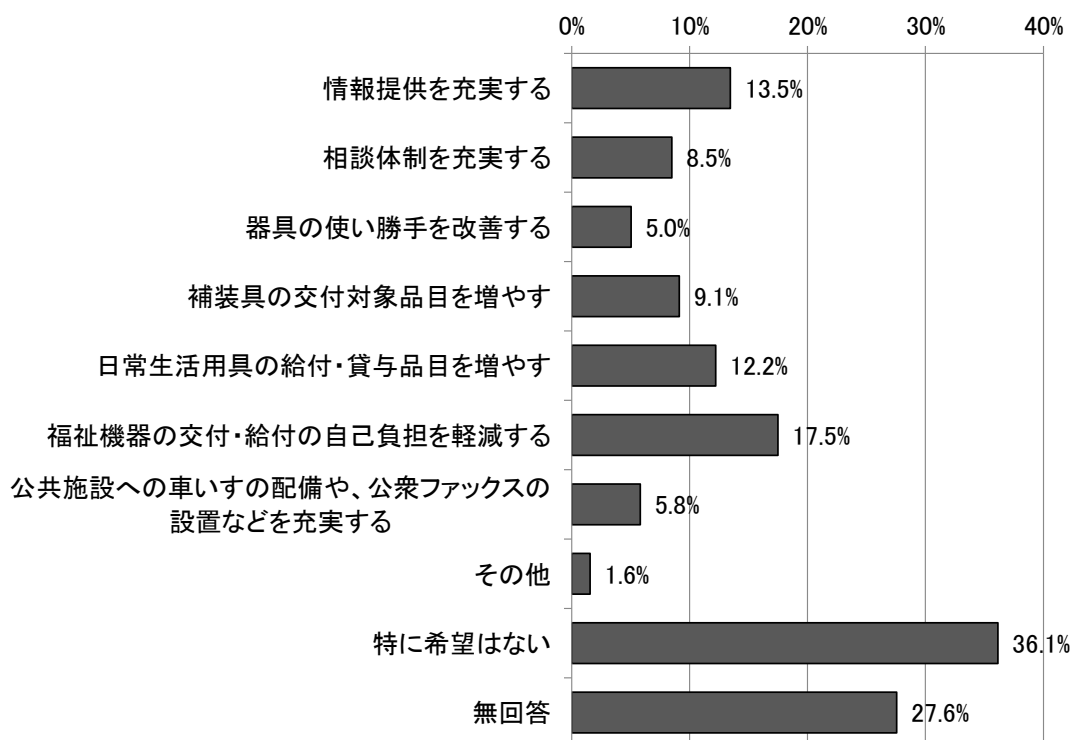
項目	n	%
使っている	536	42.2%
使っていない	629	49.5%
無回答	105	8.3%
全体	1,270	100.0%



**問 20 あなたは、補装具や日常生活用具などの福祉機器について希望することがありますか。(あてはまるものすべてに○)**

補装具や日常生活用具などの福祉機器について希望することがあるかでは、「福祉機器の交付・給付の自己負担を軽減する」が17.5%と多く、次いで「情報提供を充実する」が13.5%、「日常生活用具の給付・貸与品目を増やす」が12.2%となっています。

また、「特に希望はない」が36.1%と最も多くなっています。



項目	n	%
情報提供を充実する	171	13.5%
相談体制を充実する	108	8.5%
器具の使い勝手を改善する	64	5.0%
補装具の交付対象品目を増やす	116	9.1%
日常生活用具の給付・貸与品目を増やす	155	12.2%
福祉機器の交付・給付の自己負担を軽減する	222	17.5%
公共施設への車いすの配備や、公衆ファックスの設置などを充実する	74	5.8%
その他	20	1.6%
特に希望はない	459	36.1%
無回答	350	27.6%
全体	1,270	

#### ④福祉サービス利用、情報収集や相談について

問 21 あなたは次の障がい福祉サービスを利用していますか。また、今後、利用したいと思いますか。(それぞれのサービスについて、あてはまる場合、番号に○)

★療育手帳(問 16)・精神障害者保健福祉手帳(問 18)

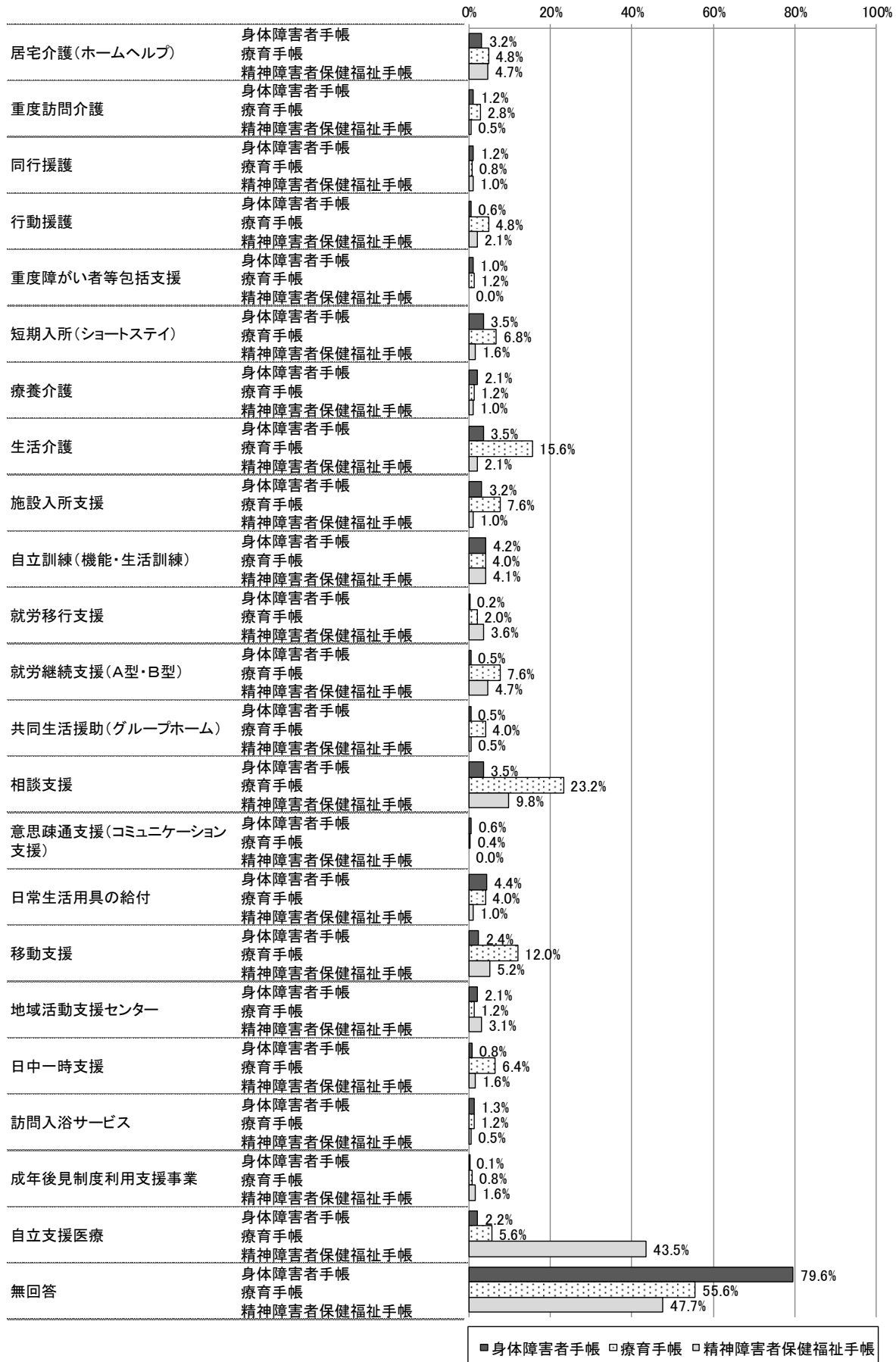
##### ◆利用しているサービス

利用しているサービスの障がい別では、「療育手帳」で、「相談支援」、「生活介護」が多く、「精神障害者保健福祉手帳」で、「自立支援医療」が多くなっています。

項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者 保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
居宅介護(ホームヘルプ)	41	3.2%	12	4.8%	9	4.7%
重度訪問介護	15	1.2%	7	2.8%	1	0.5%
同行援護	15	1.2%	2	0.8%	2	1.0%
行動援護	7	0.6%	12	4.8%	4	2.1%
重度障がい者等包括支援	13	1.0%	3	1.2%	0	0.0%
短期入所(ショートステイ)	45	3.5%	17	6.8%	3	1.6%
療養介護	27	2.1%	3	1.2%	2	1.0%
生活介護	45	3.5%	39	15.6%	4	2.1%
施設入所支援	41	3.2%	19	7.6%	2	1.0%
自立訓練(機能・生活訓練)	53	4.2%	10	4.0%	8	4.1%
就労移行支援	3	0.2%	5	2.0%	7	3.6%
就労継続支援(A型・B型)	6	0.5%	19	7.6%	9	4.7%
共同生活援助(グループホーム)	6	0.5%	10	4.0%	1	0.5%
相談支援	45	3.5%	58	23.2%	19	9.8%
意思疎通支援(コミュニケーション支援)	8	0.6%	1	0.4%	0	0.0%
日常生活用具の給付	56	4.4%	10	4.0%	2	1.0%
移動支援	31	2.4%	30	12.0%	10	5.2%
地域活動支援センター	27	2.1%	3	1.2%	6	3.1%
日中一時支援	10	0.8%	16	6.4%	3	1.6%
訪問入浴サービス	17	1.3%	3	1.2%	1	0.5%
成年後見制度利用支援事業	1	0.1%	2	0.8%	3	1.6%
自立支援医療	28	2.2%	14	5.6%	84	43.5%
無回答	1,011	79.6%	139	55.6%	92	47.7%
全体	1,270		250		193	

※グラフを見やすくするため、表を先に掲載しています。

問 21 あなたは次の障がい福祉サービスを利用していますか。また、今後、利用したいと思  
いますか。(それぞれのサービスについて、あてはまる場合、番号に○)



### 18歳未満のご本人、またはそのご家族の方に回答をお願いします。

利用しているサービスを障がい別では、「療育手帳」の「放課後デイサービス」、「障がい児相談支援」が多くなっています。

項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者	
	n	%	n	%	n	%
児童発達支援	4	30.8%	9	14.8%	0	0.0%
医療型児童発達支援	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%
放課後等デイサービス	2	15.4%	28	45.9%	0	0.0%
保育所等訪問支援	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
障がい児相談支援	4	30.8%	11	18.0%	0	0.0%
無回答	7	53.8%	27	44.3%	2	100.0%
回答者数	13		61		2	
非該当	1257		189		191	
全体	1,270		250		193	

※回答者数が少ないため、表のみ掲載

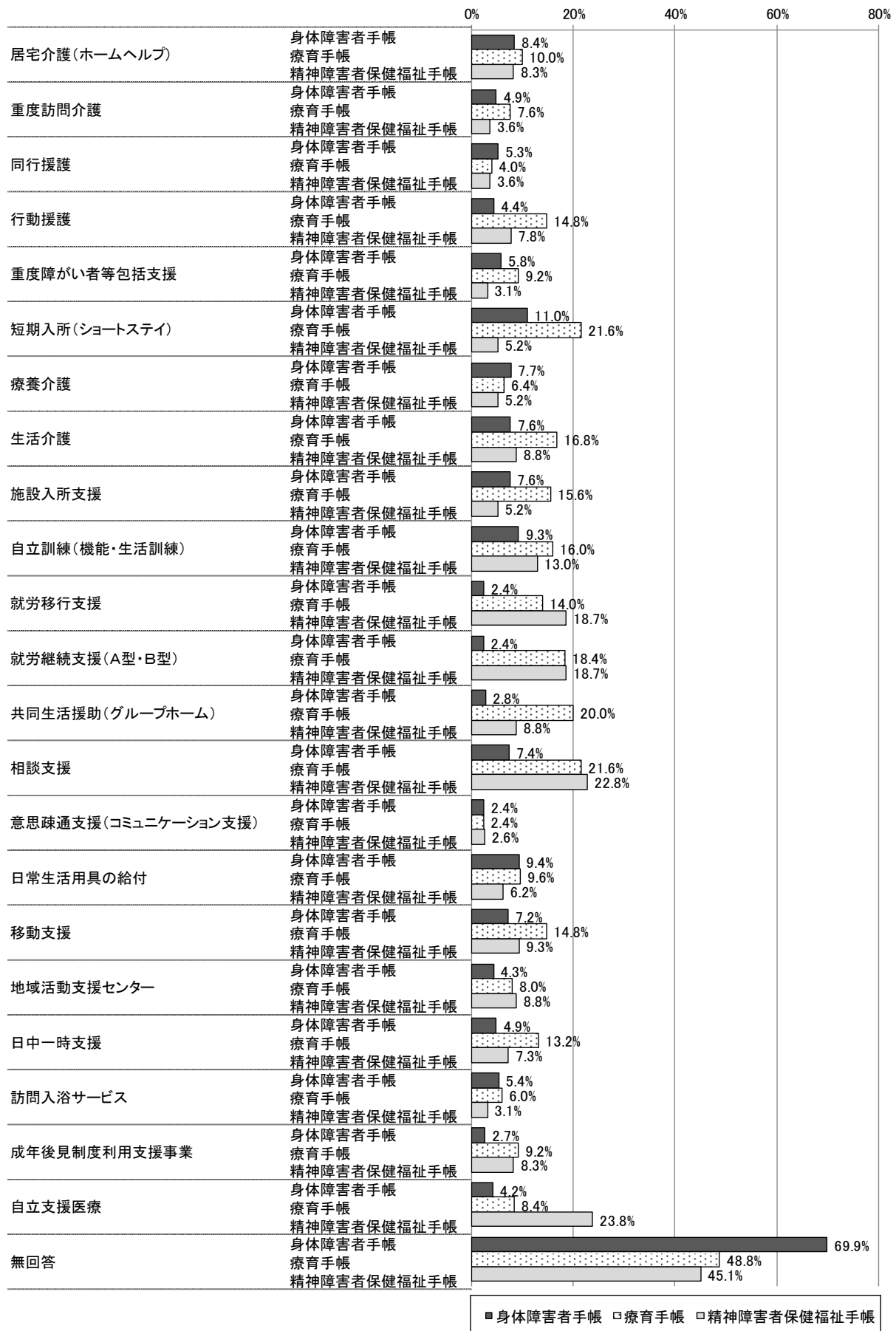
### ◆今後利用したい（続けたい）サービス

今後利用したいサービスの障がい別では、「身体障害者手帳」で、「短期入所（ショートステイ）」、「日常生活用具の給付」が多くなっており、「療育手帳」で、「相談支援」、「短期入所（ショートステイ）」、「共同生活援助（グループホーム）」が多く、「精神障害者保健福祉手帳」で、「自立支援医療」、「相談支援」が多くなっています。

項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者 保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
居宅介護（ホームヘルプ）	107	8.4%	25	10.0%	16	8.3%
重度訪問介護	62	4.9%	19	7.6%	7	3.6%
同行援護	67	5.3%	10	4.0%	7	3.6%
行動援護	56	4.4%	37	14.8%	15	7.8%
重度障がい者等包括支援	74	5.8%	23	9.2%	6	3.1%
短期入所（ショートステイ）	140	11.0%	54	21.6%	10	5.2%
療養介護	98	7.7%	16	6.4%	10	5.2%
生活介護	97	7.6%	42	16.8%	17	8.8%
施設入所支援	96	7.6%	39	15.6%	10	5.2%
自立訓練（機能・生活訓練）	118	9.3%	40	16.0%	25	13.0%
就労移行支援	31	2.4%	35	14.0%	36	18.7%
就労継続支援（A型・B型）	30	2.4%	46	18.4%	36	18.7%
共同生活援助（グループホーム）	35	2.8%	50	20.0%	17	8.8%
相談支援	94	7.4%	54	21.6%	44	22.8%
意思疎通支援（コミュニケーション支援）	31	2.4%	6	2.4%	5	2.6%
日常生活用具の給付	119	9.4%	24	9.6%	12	6.2%
移動支援	92	7.2%	37	14.8%	18	9.3%
地域活動支援センター	55	4.3%	20	8.0%	17	8.8%
日中一時支援	62	4.9%	33	13.2%	14	7.3%
訪問入浴サービス	68	5.4%	15	6.0%	6	3.1%
成年後見制度利用支援事業	34	2.7%	23	9.2%	16	8.3%
自立支援医療	53	4.2%	21	8.4%	46	23.8%
無回答	888	69.9%	122	48.8%	87	45.1%
全体	1,270		250		193	

※グラフを見やすくするため、表を先に掲載しています。

◆今後利用したい（続けたい）サービス



**18歳未満のご本人、またはそのご家族の方に回答をお願いします。**

今後利用したいサービスの障がい別では、「療育手帳」の「放課後デイサービス」、「児童発達支援」、「障がい児相談支援」が多くなっています。

項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者	
	n	%	n	%	n	%
児童発達支援	4	30.8%	15	24.6%	1	50.0%
医療型児童発達支援	3	23.1%	6	9.8%	1	50.0%
放課後等デイサービス	6	46.2%	22	36.1%	1	50.0%
保育所等訪問支援	4	30.8%	5	8.2%	0	0.0%
障がい児相談支援	5	38.5%	11	18.0%	1	50.0%
無回答	5	38.5%	30	49.2%	1	50.0%
回答者数	13		61		2	
非該当	1,257		189		191	
全体	1,270		250		193	

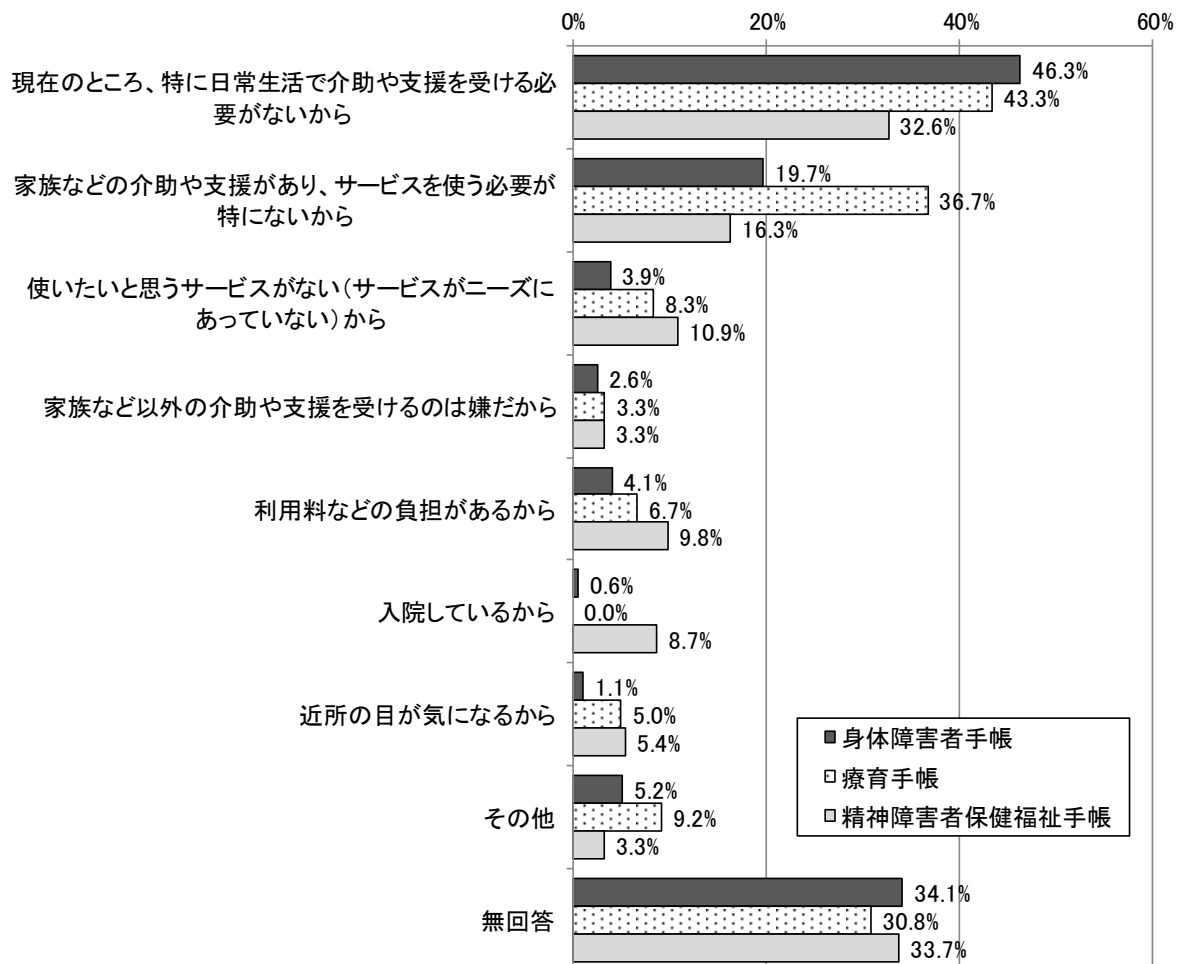
※回答者数が少ないため、表のみ掲載

(問 21 で「利用している」とお答えのサービスがなかった方へ)

**問 22 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものにすべて○)**

★療育手帳(問 17)・精神障害者保健福祉手帳(問 19)

福祉サービスを利用していない理由について、3障がいともに「現在のところ、特に日常生活で介助や支援を受ける必要がないから」、「家族などの介助や支援があり、サービスを使う必要が特にないから」が多くなっています。

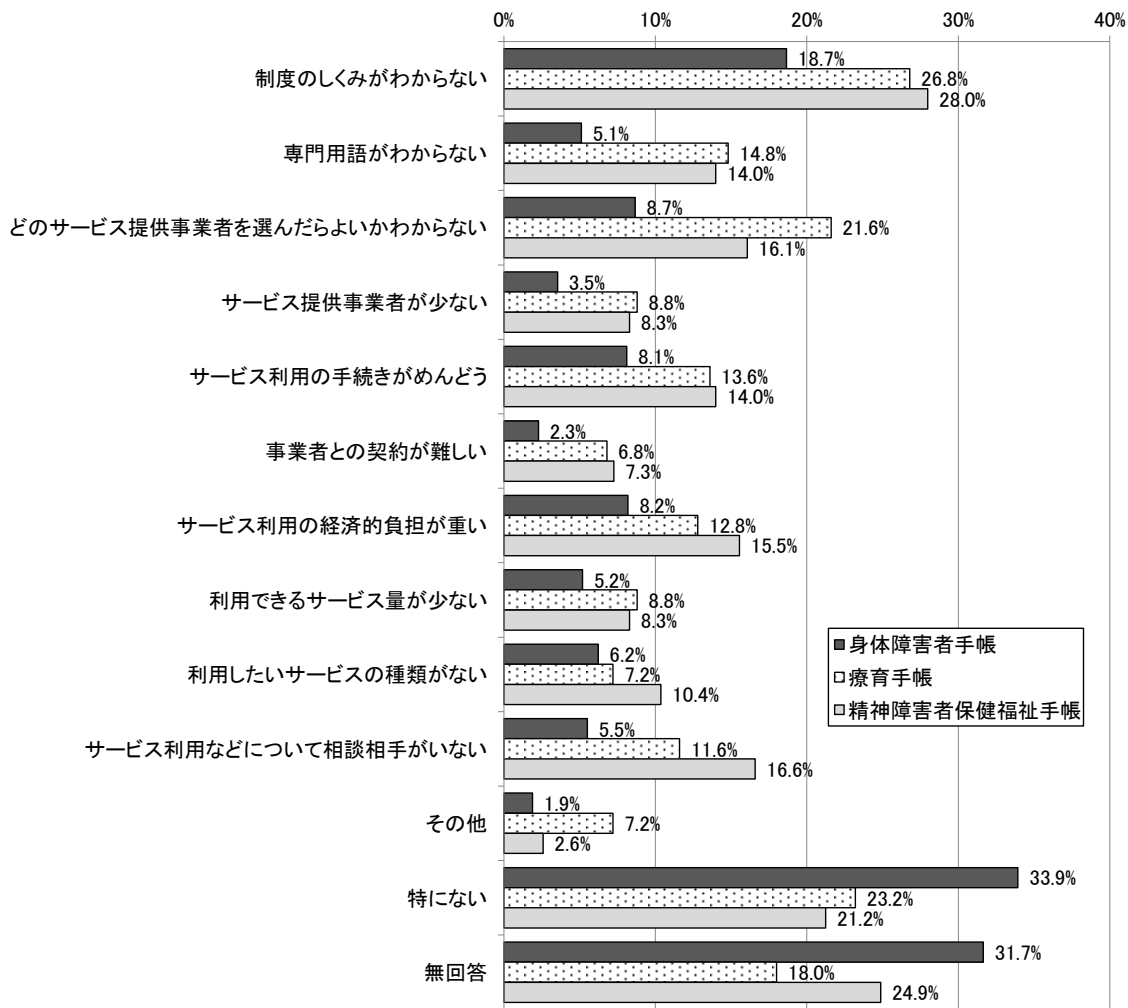


項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
現在のところ、特に日常生活で介助や支援を受ける必要がないから	467	46.3%	52	43.3%	30	32.6%
家族などの介助や支援があり、サービスを使う必要が特にないから	199	19.7%	44	36.7%	15	16.3%
使いたいと思うサービスがない(サービスがニーズにあっていない)から	39	3.9%	10	8.3%	10	10.9%
家族など以外の介助や支援を受けるのは嫌だから	26	2.6%	4	3.3%	3	3.3%
利用料などの負担があるから	41	4.1%	8	6.7%	9	9.8%
入院しているから	6	0.6%	0	0.0%	8	8.7%
近所の目が気になるから	11	1.1%	6	5.0%	5	5.4%
その他	52	5.2%	11	9.2%	3	3.3%
無回答	344	34.1%	37	30.8%	31	33.7%
回答者数	1,009		120		92	
非該当	261		130		101	
全体	1,270		250		193	

**問 23 現在の障がいのある人のための福祉サービスについて困っていることや心配なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)**

★療育手帳(問 18)・精神障害者保健福祉手帳(問 20)

福祉サービスについて困っていることや心配なことについて、3障がいともに「制度のしくみがわからない」、「どのサービス提供事業者を選んだらよいかわからない」が多くなっています。また、「精神障害者手帳」では、「サービスなどについて相談相手がない」も多くなっています。



項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
制度のしくみがわからない	237	18.7%	67	26.8%	54	28.0%
専門用語がわからない	65	5.1%	37	14.8%	27	14.0%
どのサービス提供事業者を選んだらよいかわからない	110	8.7%	54	21.6%	31	16.1%
サービス提供事業者が少ない	45	3.5%	22	8.8%	16	8.3%
サービス利用の手続きがめんどう	103	8.1%	34	13.6%	27	14.0%
事業者との契約が難しい	29	2.3%	17	6.8%	14	7.3%
サービス利用の経済的負担が重い	104	8.2%	32	12.8%	30	15.5%
利用できるサービス量が少ない	66	5.2%	22	8.8%	16	8.3%
利用したいサービスの種類がない	79	6.2%	18	7.2%	20	10.4%
サービス利用などについて相談相手がない	70	5.5%	29	11.6%	32	16.6%
その他	24	1.9%	18	7.2%	5	2.6%
特にない	431	33.9%	58	23.2%	41	21.2%
無回答	402	31.7%	45	18.0%	48	24.9%
全体	1,270		250		193	

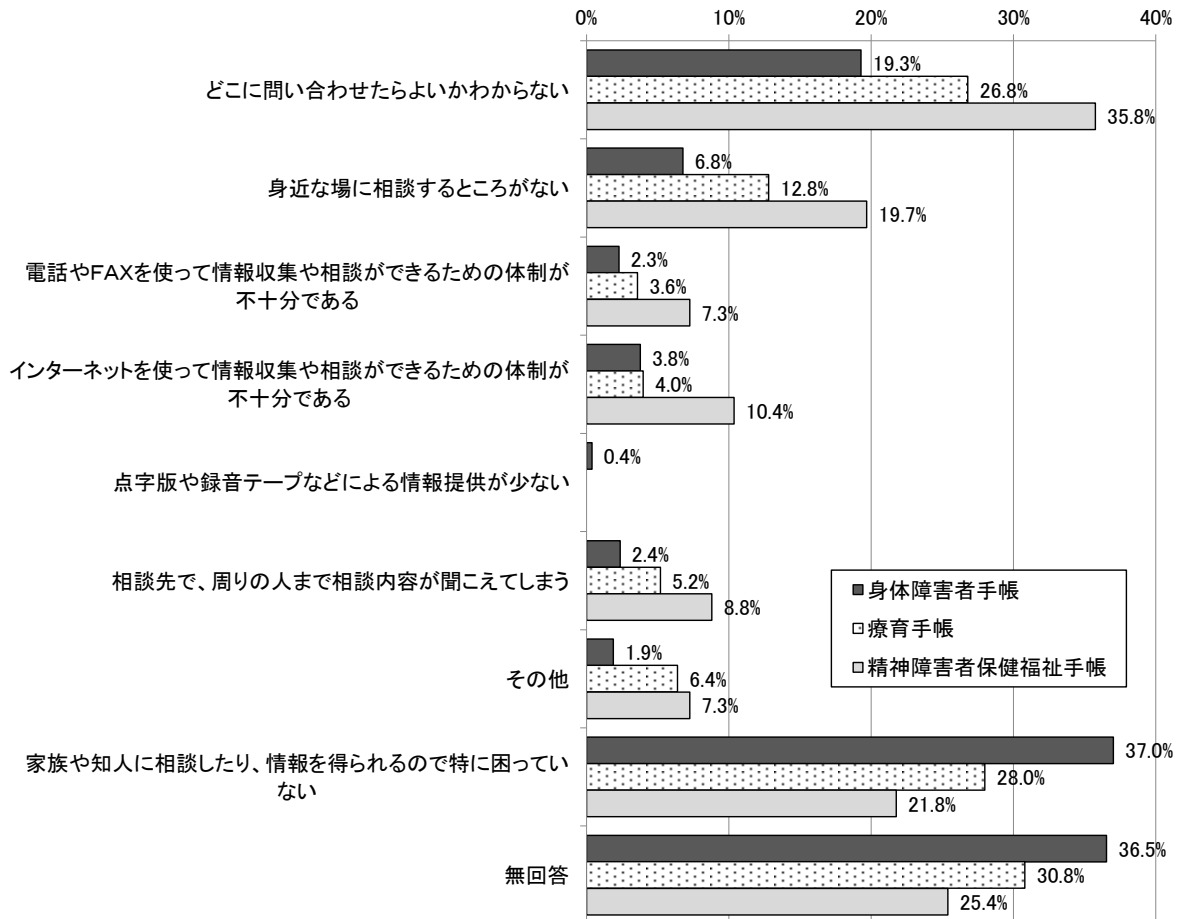


**問 24 あなたは、福祉サービスや日頃の生活について必要な情報を集めたり、悩み事などを相談するときに、困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)**

**★療育手帳(問 19)・精神障害者保健福祉手帳(問 21)**

必要な情報を集めたり、悩み事などを相談するときに、困ることについて障がい別では、「身体障害者手帳」、「療育手帳」で、「家族や知人に相談したり、情報を得られるので特に困っていない」が最も多くなっています。

また、3障がいとも多いのは、「どこに問い合わせたらよいかわからない」となっています。



項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
どこに問い合わせたらよいかわからない	245	19.3%	67	26.8%	69	35.8%
身近な場に相談するところがない	86	6.8%	32	12.8%	38	19.7%
電話やFAXを使って情報収集や相談ができるための体制が不十分である	29	2.3%	9	3.6%	14	7.3%
インターネットを使って情報収集や相談ができるための体制が不十分である	48	3.8%	10	4.0%	20	10.4%
点字版や録音テープなどによる情報提供が少ない	5	0.4%				
相談先で、周りの人まで相談内容が聞こえてしまう	30	2.4%	13	5.2%	17	8.8%
その他	24	1.9%	16	6.4%	14	7.3%
家族や知人に相談したり、情報を得られるので特に困っていない	470	37.0%	70	28.0%	42	21.8%
無回答	464	36.5%	77	30.8%	49	25.4%
全体	1,270		250		193	

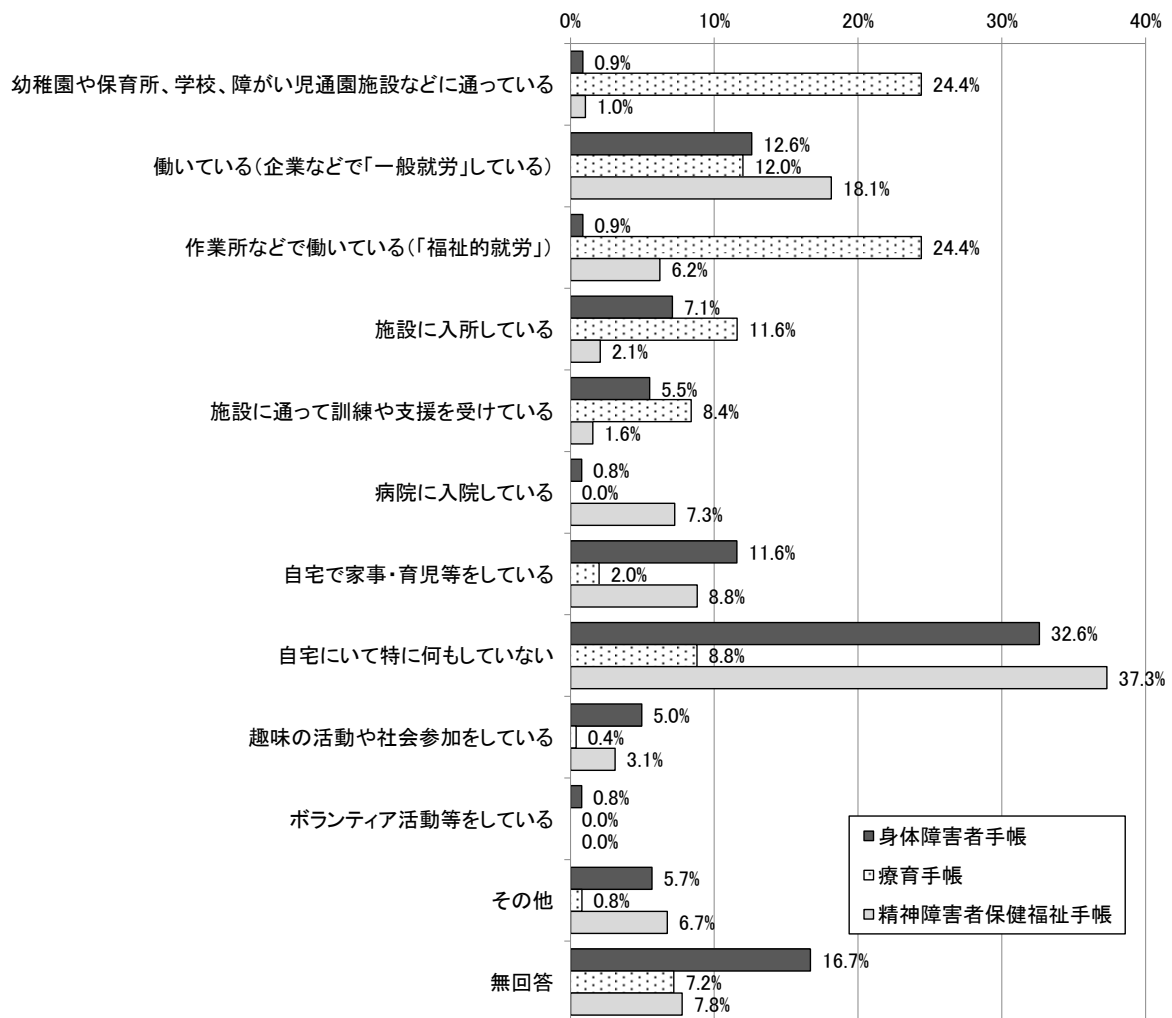
## ⑤日中の過ごし方について

問 25 あなたは、平日の昼間は、おもにどこで（何をして）過ごしていますか。  
（1つに○）

### ★療育手帳(問 20)・精神障害者保健福祉手帳(問 22)

平日の昼間は、おもにどこで（何をして）過ごしているかについて障がい別では、「身体障害者手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」で、「自宅にいて特に何もしていない」が最も多くなっています。

「療育手帳」では、「幼稚園や保育所、学校、障がい児通園施設などに通っている」、「作業所などで働いている（「福祉的就労」）」が多くなっています。



項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
幼稚園や保育所、学校、障がい児通園施設などに通っている	11	0.9%	61	24.4%	2	1.0%
働いている(企業などで「一般就労」している)	160	12.6%	30	12.0%	35	18.1%
作業所などで働いている(「福祉的就労」)	11	0.9%	61	24.4%	12	6.2%
施設に入所している	90	7.1%	29	11.6%	4	2.1%
施設に通って訓練や支援を受けている	70	5.5%	21	8.4%	3	1.6%
病院に入院している	10	0.8%	0	0.0%	14	7.3%
自宅で家事・育児等をしている	147	11.6%	5	2.0%	17	8.8%
自宅にいて特に何もしていない	414	32.6%	22	8.8%	72	37.3%
趣味の活動や社会参加をしている	63	5.0%	1	0.4%	6	3.1%
ボランティア活動等をしている	10	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
その他	72	5.7%	2	0.8%	13	6.7%
無回答	212	16.7%	18	7.2%	15	7.8%
全体	1,270	100.0%	250	100.0%	193	100.0%

(問25で「1. 幼稚園や保育所、学校、障がい児通園施設などに通っている」とお答えの方へ)

**問 25-1 通園・通学して困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)**

★療育手帳(問 20-1)・精神障害者保健福祉手帳(問 22-1)。

通園・通学して困ることについて障がい別では、「療育手帳」の「付き添いがいないと通えない」が18件と多く、次いで「先生の理解や配慮が足りない」が11件となっています。

項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
付き添いがいないと通えない	6	54.5%	18	29.5%	0	0.0%
ひとりで通えるが、交通事故などが心配	0	0.0%	9	14.8%	1	50.0%
学校等の設備が障がい者の利用に十分配慮されていない	2	18.2%	3	4.9%	0	0.0%
障がいのない子どもと一緒に学べない	2	18.2%	8	13.1%	1	50.0%
先生の理解や配慮が足りない	0	0.0%	11	18.0%	2	100.0%
周りの子どもたちに障がい理解されない	2	18.2%	8	13.1%	2	100.0%
交流教育の内容がもの足りない	1	9.1%	6	9.8%	0	0.0%
その他	1	9.1%	4	6.6%	0	0.0%
特に困っていることはない	4	36.4%	24	39.3%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	11		61		2	
非該当	1,259		189		191	
全体	1,270		250		193	

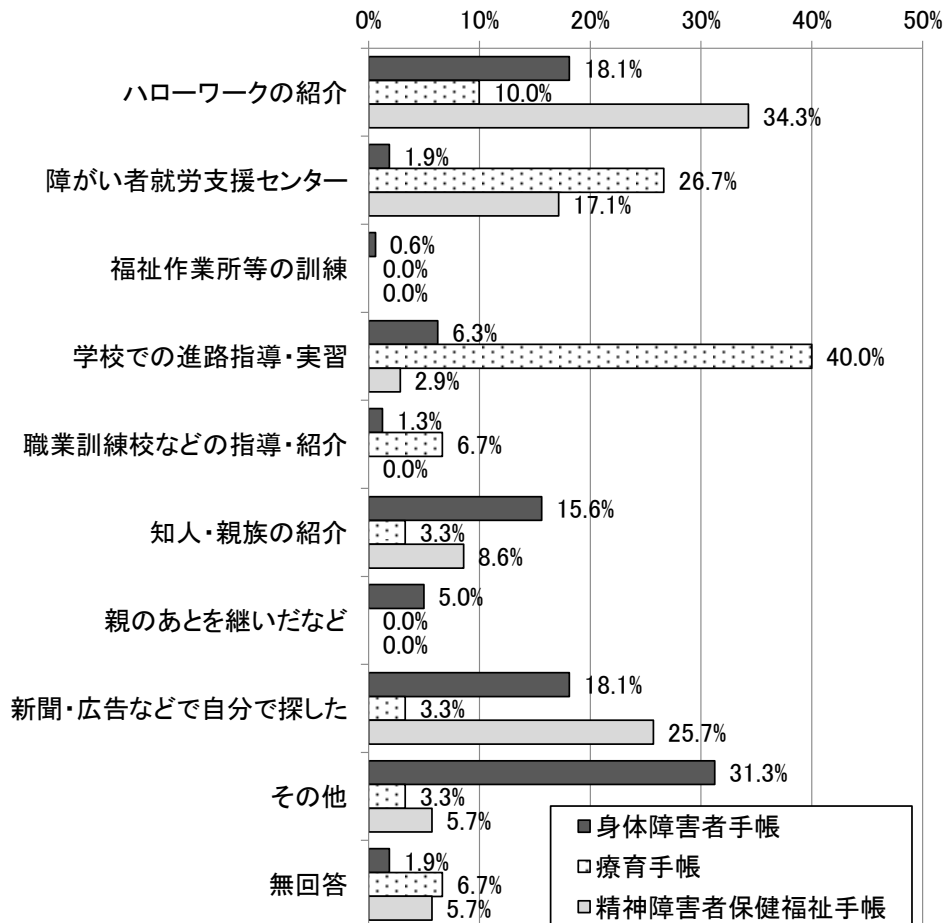
※回答者数が少ないため表のみ掲載

(問 25 で「2. 働いている (企業などで「一般就労」している)」とお答えの方へ)

**問 25-2 仕事に就くおもなきっかけは何でしたか。(1つに○)**

★療育手帳(問 20-2)・精神障害者保健福祉手帳(問 22-2)

仕事に就くおもなきっかけについて障がい別では、「身体障害者手帳」で、「ハローワークの紹介」、「新聞・広告などで自分で探した」がともに最も多くなっており、「療育手帳」で、「学校での進路指導・実習」、「障がい者就労支援センター」が多く、「精神障害者保健福祉手帳」で、「ハローワークの紹介」、「新聞・広告などで自分で探した」が多くなっています。



項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
ハローワークの紹介	29	18.1%	3	10.0%	12	34.3%
障がい者就労支援センター	3	1.9%	8	26.7%	6	17.1%
福祉作業所等の訓練	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
学校での進路指導・実習	10	6.3%	12	40.0%	1	2.9%
職業訓練校などの指導・紹介	2	1.3%	2	6.7%	0	0.0%
知人・親族の紹介	25	15.6%	1	3.3%	3	8.6%
親のあとを継いだなど	8	5.0%	0	0.0%	0	0.0%
新聞・広告などで自分で探した	29	18.1%	1	3.3%	9	25.7%
その他	50	31.3%	1	3.3%	2	5.7%
無回答	3	1.9%	2	6.7%	2	5.7%
回答者数	160		30		35	
非該当	1110		220		158	
全体	1,270		250		193	

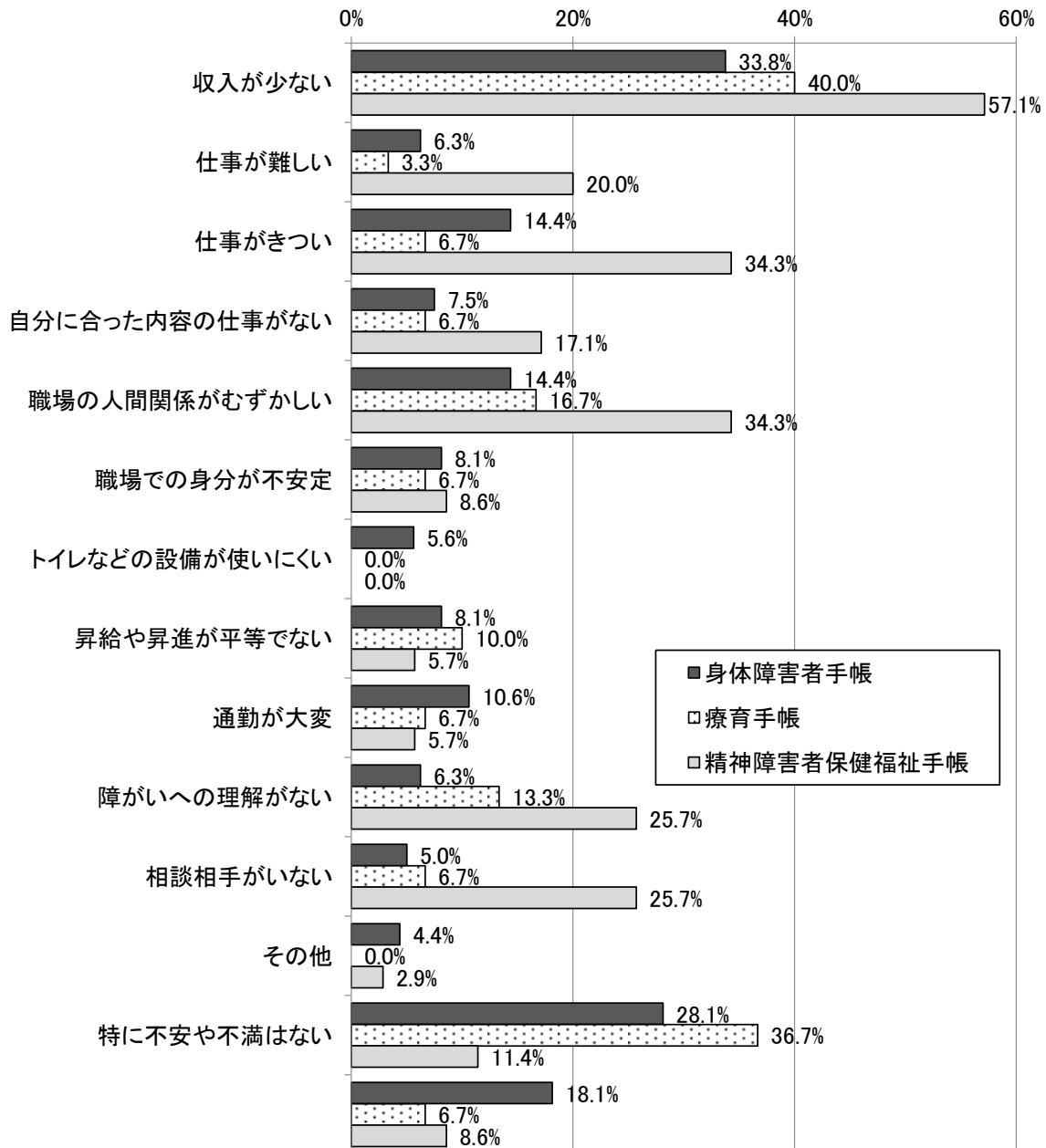
(問 25 で「2. 働いている (企業などで「一般就労」している)」とお答えの方へ)

**問 25-3 仕事をする上で不安や不満はありますか。(あてはまるものすべてに○)**

★療育手帳(問 20-3)・精神障害者保健福祉手帳(問 22-3)。

仕事をする上で不安や不満について、3障がいともに「収入が少ない」が多くなっています。また、「精神障害者福祉手帳」で「仕事がきつい」、「職場の人間関係が難しい」も多くなっています。

「特に不安や不満がない」の回答では、「身体障害者手帳」、「療育手帳」が多くなっています。



項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者 保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
収入が少ない	54	33.8%	12	40.0%	20	57.1%
仕事が難しい	10	6.3%	1	3.3%	7	20.0%
仕事がきつい	23	14.4%	2	6.7%	12	34.3%
自分に合った内容の仕事がない	12	7.5%	2	6.7%	6	17.1%
職場の人間関係がむずかしい	23	14.4%	5	16.7%	12	34.3%
職場での身分が不安定	13	8.1%	2	6.7%	3	8.6%
トイレなどの設備が使いにくい	9	5.6%	0	0.0%	0	0.0%
昇給や昇進が平等でない	13	8.1%	3	10.0%	2	5.7%
通勤が大変	17	10.6%	2	6.7%	2	5.7%
障がいへの理解がない(自分のことをわかってもらえない)	10	6.3%	4	13.3%	9	25.7%
相談相手がいらない	8	5.0%	2	6.7%	9	25.7%
その他	7	4.4%	0	0.0%	1	2.9%
特に不安や不満はない	45	28.1%	11	36.7%	4	11.4%
無回答	29	18.1%	2	6.7%	3	8.6%
回答者数	160		30		35	
非該当	1,110		220		158	
全体	1,270		250		193	

(問25で「3. 作業所などで働いている(「福祉的就労」)」とお答えの方へ)

問 25-4 あなたは、どのような支援があれば企業等での一般就労に移行できると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

★療育手帳(問 20-4)・精神障害者保健福祉手帳(問 22-4)。

どのような支援があれば企業等での一般就労に移行できるかについて障がい別では、「療育手帳」で「職場の環境や仕事の内容、時間などの配慮」が 25 件、「働きながら悩みや困ったことを相談できるしくみ」が 18 件と多くなっています。

項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者 保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
就職の相談や仕事の紹介などの支援	1	9.1%	14	23.0%	6	50.0%
働きながら悩みや困ったことを相談できるしくみ	2	18.2%	18	29.5%	7	58.3%
ジョブコーチなど就労定着支援・職場訪問など継続的支援	0	0.0%	10	16.4%	4	33.3%
職場体験や実習訓練の機会や場所の拡充	2	18.2%	14	23.0%	3	25.0%
職場の環境や仕事の内容、時間などの配慮	2	18.2%	25	41.0%	7	58.3%
その他	0	0.0%	13	21.3%	0	0.0%
特にない(働きたくはない)	3	27.3%	5	8.2%	0	0.0%
無回答	5	45.5%	7	11.5%	3	25.0%
回答者数	11		61		12	
非該当	1,259		189		181	
全体	1,270		250		193	

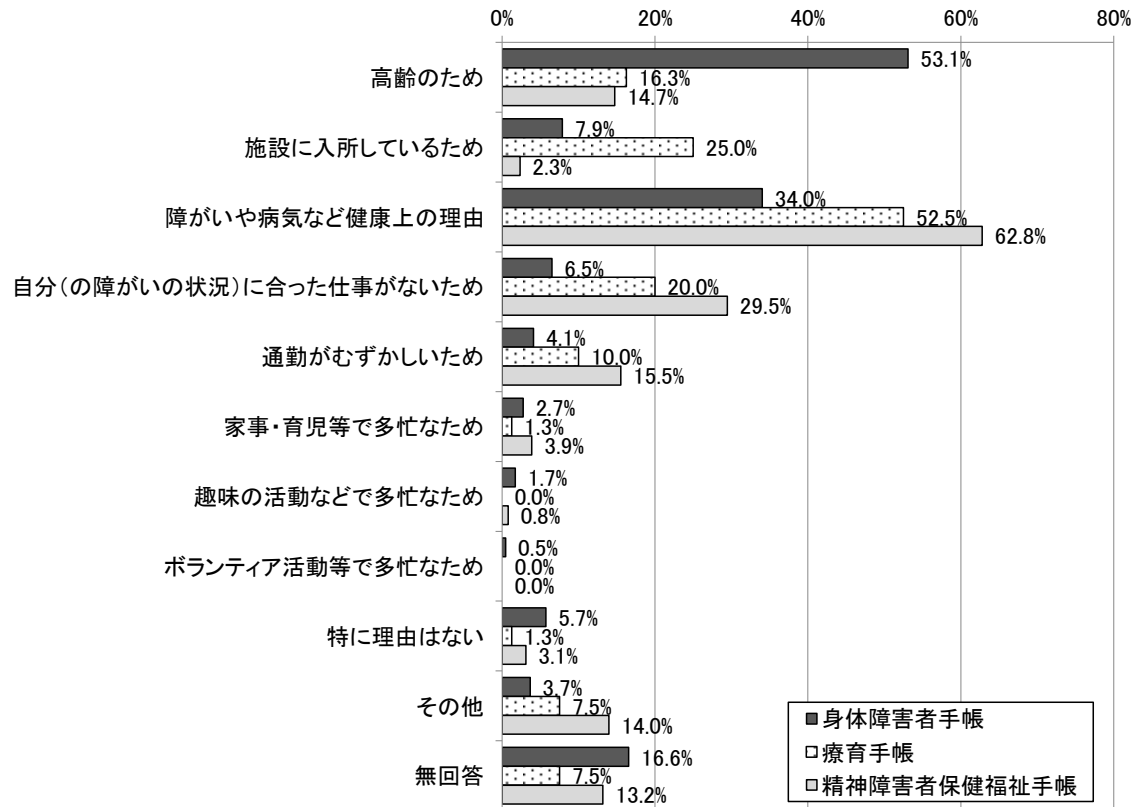
※回答者数が少ないため表のみ掲載

(問 25 で「4. 施設に入所している」～「11. その他」とお答えの方へ)

**問 25-5 あなたが働いていない（働けない）理由は何ですか。**  
**（あてはまるものすべてに○）**

★療育手帳(問 20-4)・精神障害者保健福祉手帳(問 22-4)。

働いていない（働けない）理由について障がい別では、「身体障害者手帳」では、「高齢のため」が最も多く、「療育手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」では「障がいや病気など健康上の理由」が最も多くなっています。

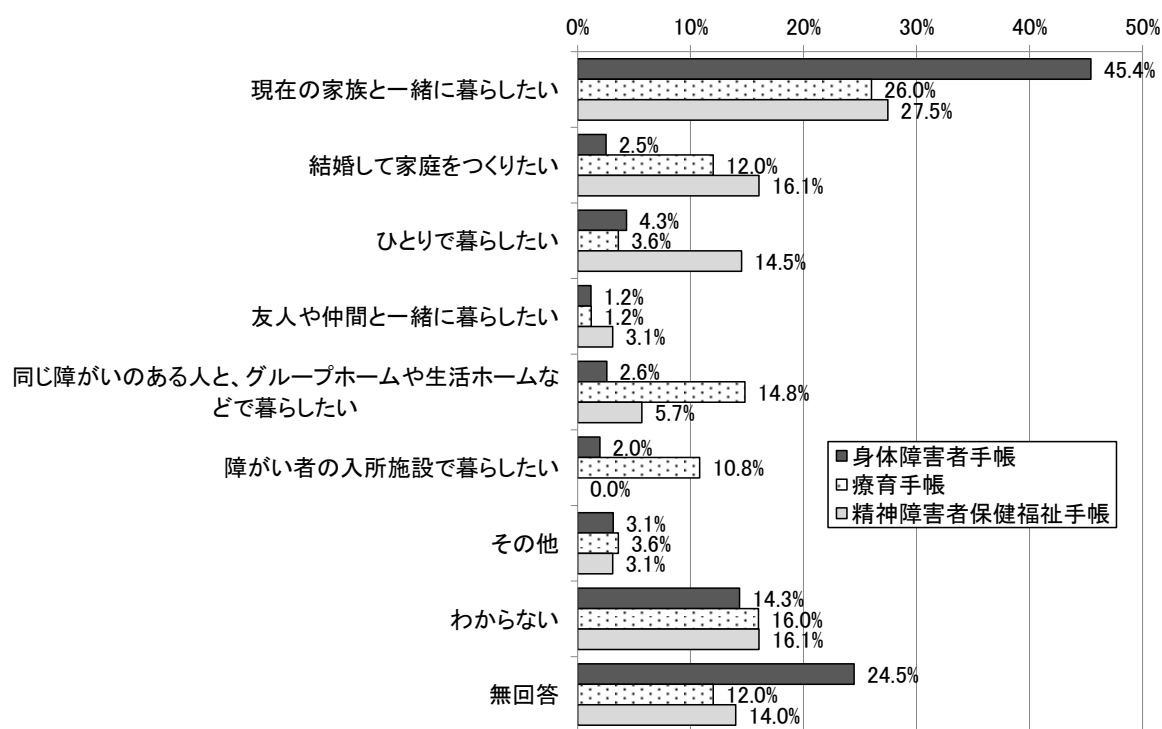


項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
高齢のため	465	53.1%	13	16.3%	19	14.7%
施設に入所しているため	69	7.9%	20	25.0%	3	2.3%
障がいや病気など健康上の理由	298	34.0%	42	52.5%	81	62.8%
自分(の障がいの状況)に合った仕事がないため	57	6.5%	16	20.0%	38	29.5%
通勤がむずかしいため	36	4.1%	8	10.0%	20	15.5%
家事・育児等で多忙なため	24	2.7%	1	1.3%	5	3.9%
趣味の活動などで多忙なため	15	1.7%	0	0.0%	1	0.8%
ボランティア活動等で多忙なため	4	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
特に理由はない	50	5.7%	1	1.3%	4	3.1%
その他	32	3.7%	6	7.5%	18	14.0%
無回答	145	16.6%	6	7.5%	17	13.2%
回答者数	876		80		129	
非該当	394		170		64	
全体	1,270		250		193	

**問 26 あなたは将来、どのような暮らしをしたいですか。現在お子さんの方は、おとなになったときの希望をお答えください。(1つに○)**

★療育手帳(問 21)・精神障害者保健福祉手帳(問 23)。

将来、望んでいる暮らしについて、3障がいともに「現在の家族と一緒に暮らしたい」が最も多くなっています。



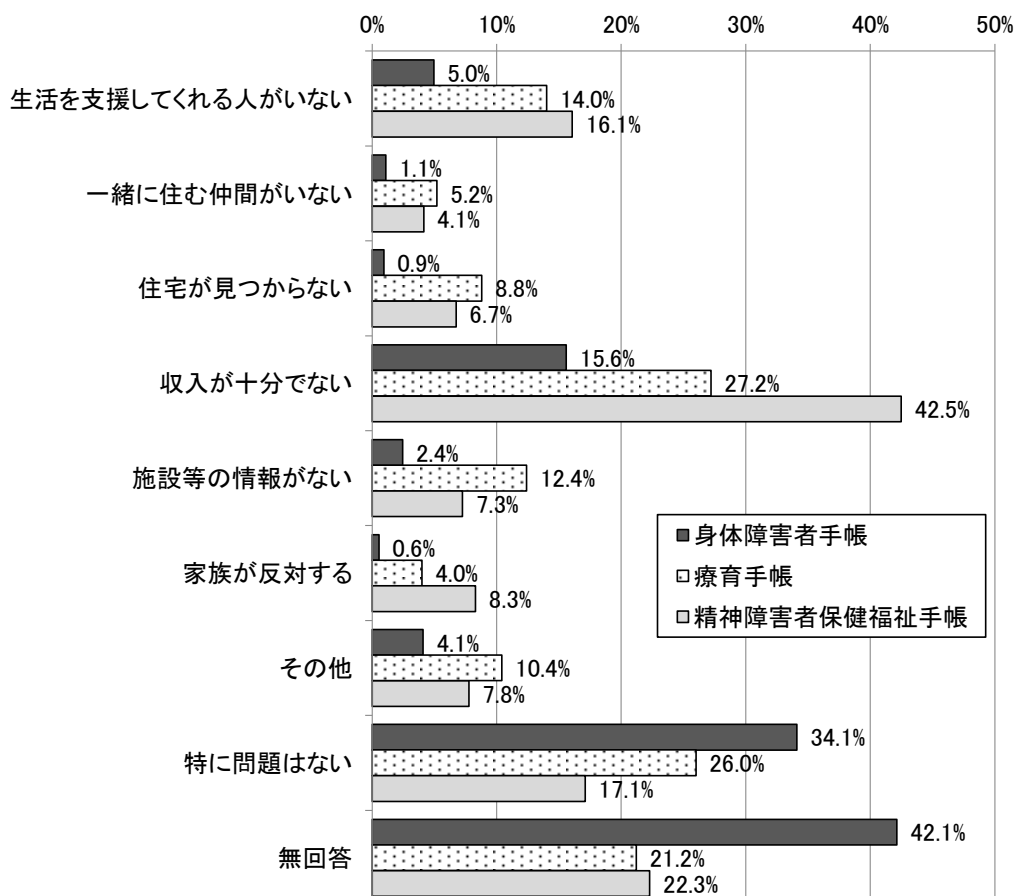
項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
現在の家族と一緒に暮らしたい	577	45.4%	65	26.0%	53	27.5%
結婚して家庭をつくりたい	32	2.5%	30	12.0%	31	16.1%
ひとりで暮らしたい	55	4.3%	9	3.6%	28	14.5%
友人や仲間と一緒に暮らしたい	15	1.2%	3	1.2%	6	3.1%
同じ障がいのある人と、グループホームや生活ホームなどで暮らしたい	33	2.6%	37	14.8%	11	5.7%
障がい者の入所施設で暮らしたい	25	2.0%	27	10.8%	0	0.0%
その他	40	3.1%	9	3.6%	6	3.1%
わからない	182	14.3%	40	16.0%	31	16.1%
無回答	311	24.5%	30	12.0%	27	14.0%
全体	1,270	100.0%	250	100.0%	193	100.0%



**問 26-1 あなたが問 26 で選んだ生活をしようとするとき、問題になることはありますか。(あてはまるものすべてに○)**

★療育手帳(問 21-1)・精神障害者保健福祉手帳(問 23-1)。

将来、望んでいる暮らしをしようとするとき、問題になることについて、3障がいともに「収入が十分でない」、「生活を支援してくれる人がいない」が多くなっています。



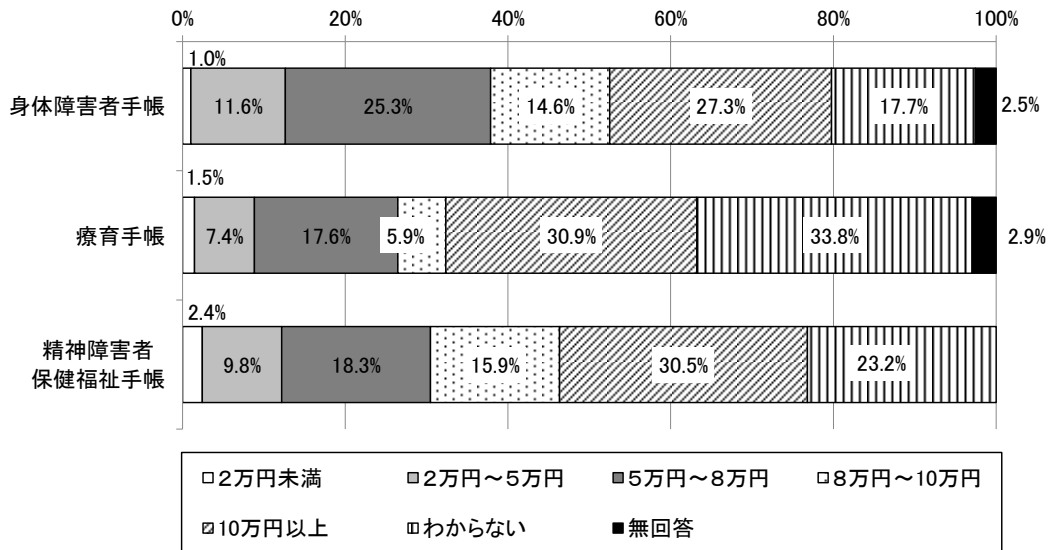
項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
生活を支援してくれる人がいない	63	5.0%	35	14.0%	31	16.1%
一緒に住む仲間がいない	14	1.1%	13	5.2%	8	4.1%
住宅が見つからない	12	0.9%	22	8.8%	13	6.7%
収入が十分でない	198	15.6%	68	27.2%	82	42.5%
施設等の情報がない	31	2.4%	31	12.4%	14	7.3%
家族が反対する	7	0.6%	10	4.0%	16	8.3%
その他	52	4.1%	26	10.4%	15	7.8%
特に問題はない	433	34.1%	65	26.0%	33	17.1%
無回答	535	42.1%	53	21.2%	43	22.3%
全体	1,270		250		193	

(問26-1で「4・収入が十分でない」とお答えの方へ)

問 26-2 いくら位不足すると思いますか。(1つに○)

★療育手帳(問 21-2)・精神障害者保健福祉手帳(問 23-2)

収入がいくら位不足するかについて、3障がいともに「10万円以上」が最も多く、次いで「5万円～8万円」となっています。



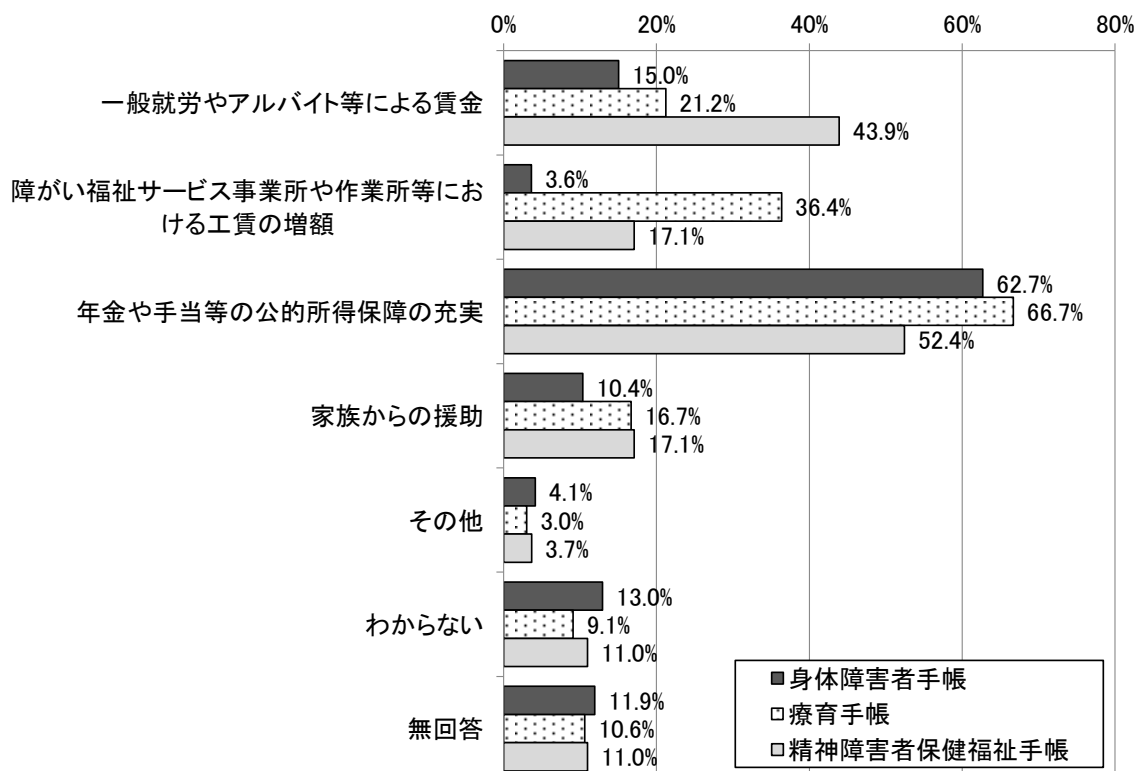
項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
2万円未満	2	1.0%	1	1.5%	2	2.4%
2万円～5万円	23	11.6%	5	7.4%	8	9.8%
5万円～8万円	50	25.3%	12	17.6%	15	18.3%
8万円～10万円	29	14.6%	4	5.9%	13	15.9%
10万円以上	54	27.3%	21	30.9%	25	30.5%
わからない	35	17.7%	23	33.8%	19	23.2%
無回答	5	2.5%	2	2.9%	0	0.0%
回答者数	198	100.0%	68	100.0%	82	100.0%
非該当	1,072		182		111	
全体	1,270		250		193	

(問26-2をお答えの方へ)

問 26-3 不足する額を補てんするために、どのような方法を望みますか。  
(あてはまるものすべてに○)

★療育手帳(問 21-3)・精神障害者保健福祉手帳(問 23-3)

不足する額を補てんするために、どのような方法を望むかについて、3障がいともに「年金や手当等の公的所得保障の充実」が最も多く、次いで「身体障害者手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」で、「一般就労やアルバイト等による賃金」が多く、「療育手帳」で、「障がい福祉サービス事業所や作業所等における工賃の増額」が多くなっています。

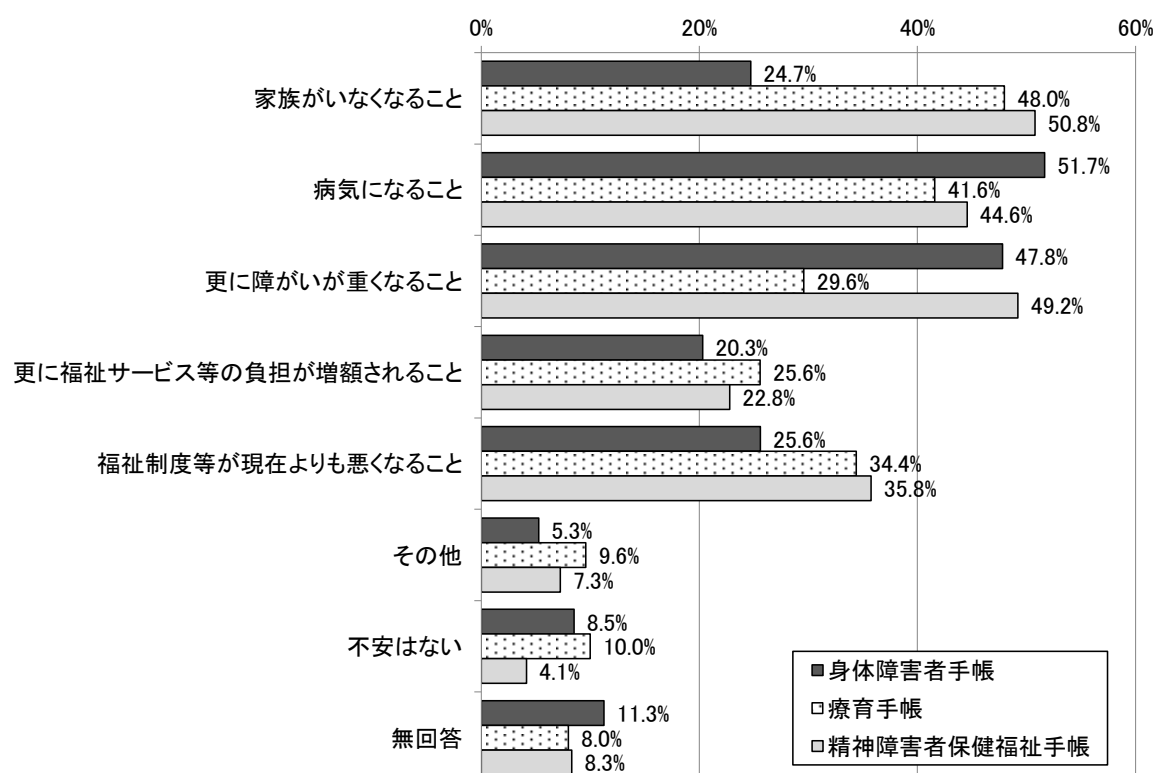


項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
一般就労やアルバイト等による賃金	29	15.0%	14	21.2%	36	43.9%
障がい福祉サービス事業所や作業所等における工賃の増額	7	3.6%	24	36.4%	14	17.1%
年金や手当等の公的所得保障の充実	121	62.7%	44	66.7%	43	52.4%
家族からの援助	20	10.4%	11	16.7%	14	17.1%
その他	8	4.1%	2	3.0%	3	3.7%
わからない	25	13.0%	6	9.1%	9	11.0%
無回答	23	11.9%	7	10.6%	9	11.0%
回答者数	193		66		82	
非該当	1,077		184		111	
全体	1,270		250		193	

**問 27 あなたは、5年後の生活に不安なことがありますか。**  
(あてはまるものすべてに○)

★療育手帳(問 22)・精神障害者保健福祉手帳(問 24)。

5年後の生活に不安なことについて障がい別では、「身体障害者手帳」で、「病気になること」、「更に障がいが増えること」が多くなっています。また、「療育手帳」では、「家族がいなくなること」が最も多く、次いで「病気になること」が多くなっています。「精神障害者保健福祉手帳」では、「家族がいなくなること」、「更に障がいが増えること」が最も多くなっています。

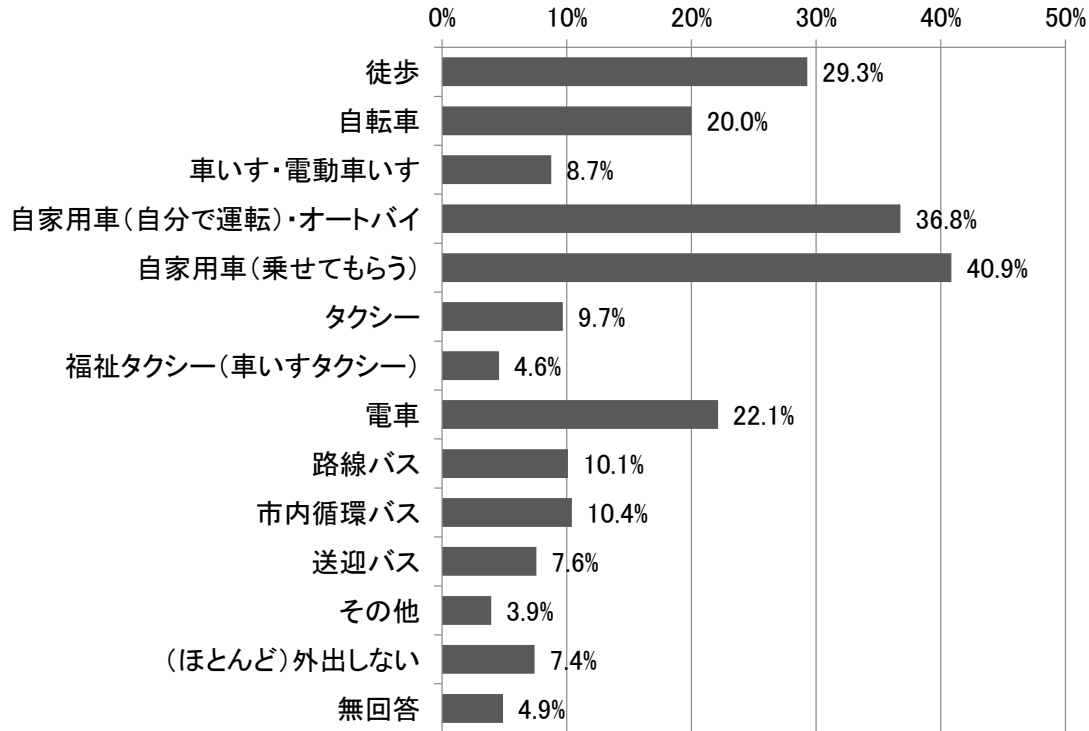


項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
家族がいなくなること	314	24.7%	120	48.0%	98	50.8%
病気になること	656	51.7%	104	41.6%	86	44.6%
更に障がいが増えること	607	47.8%	74	29.6%	95	49.2%
更に福祉サービス等の負担が増額されること	258	20.3%	64	25.6%	44	22.8%
福祉制度等が現在よりも悪くなること	325	25.6%	86	34.4%	69	35.8%
その他	67	5.3%	24	9.6%	14	7.3%
不安はない	108	8.5%	25	10.0%	8	4.1%
無回答	143	11.3%	20	8.0%	16	8.3%
全体	1,270		250		193	

## ⑥外出や活動についてうかがいます

### 問 28 あなたが外出する時の交通手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

あなたが外出する時の交通手段では、「自家用車（乗せてもらう）」が40.9%と最も多く、次いで「自家用車（自分で運転）・オートバイ」が36.8%、「徒歩」が29.3%となっています。



項目	n	%
徒歩	372	29.3%
自転車	254	20.0%
車いす・電動車いす	111	8.7%
自家用車(自分で運転)・オートバイ	467	36.8%
自家用車(乗せてもらう)	519	40.9%
タクシー	123	9.7%
福祉タクシー(車いすタクシー)	58	4.6%
電車	281	22.1%
路線バス	128	10.1%
市内循環バス	132	10.4%
送迎バス	96	7.6%
その他	50	3.9%
(ほとんど)外出しない	94	7.4%
無回答	62	4.9%
全体	1,270	

**問 29 あなたが外出するときに、困ることはありますか。特に行田市内のことについて、できるだけ具体的な場所などを挙げながらお答えください。(例を参考に、回答欄の中にご自由にお書きください。)**

■不便な居住区であるのに市内循環バスの本数が少ない。道路が狭く舗装したところが凸凹で歩くのに困難。路盤がしっかりしていないのではないのでしょうか。自動車の通る所に穴が開いている。病院に市内循環で行きたいが病院の近くに停留所が無い。タクシーを利用するにしても料金が高くなってしまう。買い物をするスーパーが近くにない。高齢者にとって年金で生活するのに住みよい市でない。市役所の方に自動車ではなく市内循環バスや歩いて状況を確認して頂きたい。同じ税金を支払っていて便利などころ不便などころ差がありすぎる。

【女・65歳以上】

■トイレが少ない。使いにくい。【男・65歳以上】

■医療施設が福祉車両を一時的に置いて安全に乗車する場所が少ない。壮行会の行田クリニックは危険で困っている。【無回答・無回答】

■自宅近くにバス停が無い。バスの本数が少ない。【女・18歳未満】

■市営バスの停留所が自宅のそばに無い。市営バスの場合なにか目印みたいなものを持っていてバスが止まってくれればいいと思います。【女・65歳以上】

■車椅子用の専用スペースが少ない。【女・65歳以上】

■車椅子で移動できる交通手段がない。妻が車を運転しているが高齢のためそれも近々出来なくなる。車椅子が乗れる交通手段を充実して欲しい。【男・65歳以上】

■日常生活の中で食材着類、薬、日用品など大型店などが無い。色々と移動しなければならない。【男・65歳以上】

■道路の横断歩道が少ない。【男・65歳以上】

■行田市駅の近くのローソンのところに信号が欲しい。【男・65歳以上】

■障害者の駐車スペースに健常者が堂々と駐車なんかならないものか。【男・65歳以上】

■交通機関について→デマンドタクシーを利用したいが車椅子では乗車できない。道路について→新町か本町の歩道の段差がきつい。その他→車椅子で利用できるラブホテルがない。

【男・40～64歳】

■医療機関に入院受診する場合福祉タクシーの料金が高いので重度障害者には負担が重すぎます。ほとんど外出出来ませんが外出時歩道が狭いので車椅子を使用時非常に困ります。

【男・65歳以上】

■歩道等のポールにぶつかることがある。車の運転で横断歩道や停止線などが消えかけているところが行田市は多い気がする。【男・40～64歳】

■凸凹道が多い。【男・65歳以上】

■車椅子で玄関出られないので散歩させたいけど。【男・65歳以上】

■障害者用のトイレがある場所が少ない。東行田駅(秩父線)の歩道が狭い。【女・40～64歳】

■市内バスの停留所が遠い。【男・65歳以上】

■医者にかかるときバリアフリーがされていないところがある。【女・65歳以上】

■乗り合いタクシーのように自宅まで送迎してくれる交通手段が欲しい。バス停まで行けないので循環バスがあっても使えない。元気な人しか使えないのでは、障害者や高齢者にとっては意味が無い。【女・65歳以上】

■市内循環バスの路線を見ると大通りに面している所に停留所はあるが、不便な古い通りにバス停が無いのため利用の便が無い農村地に移住している為、大道路に出るには20分程度歩かなくてはならない。高齢のため歩くのが苦。現在はデマンドタクシーで有難く感じています。

【女・65歳以上】

■言う事を間違えるときがあるのであまり喋らない。【男・40～64歳】

■トイレが和式が多く利用できない。階段の1段が高すぎる。福祉施設関係は、ほとんど市のはずれにあり不便である。健常者を中心に作られている感じがする。【女・65歳以上】

■買い物時、シルバーカーを押していくが歩道の傾きが大きくて真っ直ぐに歩くことが難しい。改善はできないものか。歩道と道路の交差地が多々。その傾きが急なので歩くのも大変。行

田市駅にエレベーターがないのでとても不便。市外へ電車で行くとき別の駅を使っているのが大変。【女・40～64歳】

- 自宅から行田病院へ行く場合直行のバスの便がない。行田駅へ行って乗り継ぎをしなければならない。バス停に屋根の無いところが多すぎる。【女・65歳以上】
- 行田総合病院付近の道路の段差が多い。【女・65歳以上】
- 初詣に行きたいが砂利道段差が多い。歩行できないと美容院利用が難しい。(段差椅子移動) 外食しにくい。行けるところの情報が欲しい。【女・40～64歳】
- JRが遠いのでとても困っています。妻に送ってもらっていますが妻が居なくなったらと思うと心配です。【男・40～64歳】
- 道路や歩道等について。段差が多すぎる。歩道が狭い。1センチ程の高さでも厳しい思いをします。【女・40～64歳】
- 道の段差が多い。車道はよく舗装工事されているが歩道はガタガタ道が多い。【女・40～64歳】
- 市内循環バスだけでなく運賃がかかっても病院行きのバスを出して欲しい。【女・65歳以上】
- 秩父線行田市駅のホームとタクシー乗り場の間の階段がきつい。膝がもっと悪くなると電車に乗れない。【女・65歳以上】
- 外出手段が自転車なので交通量の少ない裏道を選んでる。【男・65歳以上】
- 行田市駅にエレベーターがない武州荒川駅の改札からホームへ屋根が無いこと。須加小学校の校庭トイレが小さく狭く男女共用で和式で使えない事。体育祭等では自宅にいちいち帰ります。(避難所として使うときどうしたらいいでしょう) 須加地区の県道に横断歩道が少なく歩道も片側だけなので交通量の多い県道を横切って行くのが危険。(公民館近く)(足を引かずって行くので時間がかかる) えんぴつ公園からトイレが遠くて足の不自由な身としては大変苦労している。【女・40～64歳】
- 利用したい公共施設が遠く(やすらぎ)とても不便。持田地区在住。【女・65歳以上】
- バスの便数が少ない。【女・65歳以上】
- 歩道が狭く傾斜があるので車椅子が押しにくい。車椅子で利用できるタクシーを増やして気軽に利用できるようにして欲しい。公共施設のトイレを車椅子で入れ手すりのついている広いトイレを増やしてほしい。【女・65歳以上】
- 福祉タクシーが高い。【男・40～64歳】
- 行田市総合病院の障害者用の駐車場が一般の人が止めている事が多いので遠くの駐車場へ止めている為大変不自由な思いをしている。【男・65歳以上】
- JR行田駅にエレベーターはあるがエスカレーターがあればいいと思う。【男・40～64歳】
- 市内に流れる緊急放送がよく聞き取れません。家に居るときは家族が教えてくれますが一人で外出したときは困ってしまいます。悪い知らせのとき。【男・65歳以上】
- 佐間地区に歩道がない。【男・65歳以上】
- 長野ベルク付近の歩道が整備されていない、市に相談したが、県に言ってと言われた。不安で外出できない。整備をお願いします。【女・65歳以上】
- 車椅子の移動は腕力が必要です市役所の入り口のスロープがきつい、障害担当が遠すぎる、押したり引いたりするドアはきつい。道路はガタガタ。交通機関に物を置く棚がない。【女・18～40歳】
- 市内循環バスが少ないのではデマンドタクシーを使うことになり経費が大変。【無回答・無回答】
- 自分で運転できなくなった時、送迎のバスがあるといい。【無回答・無回答】
- タクシーだけ。【男・65歳以上】
- 階段は苦痛なのでエレベーター、エスカレーターがほしい。【男・65歳以上】
- 徒歩で15～20分までなら歩けるが店がない。【女・65歳以上】
- 古代蓮公園のスロープの勾配がきつい。トイレを洋式に。【男・40～64歳】
- 家族の補助なしでは出かけさせられないが、外出のサポート体制を充実させてほしい。【男・40～64歳】

- スーパーなど荷物を届けてもらいたい。お金は払います。【女・65歳以上】
- 車椅子の為、スーパーなど段差があると困る。障害のない人が障害マークを付けて止めているので止められない。【女・65歳以上】
- どこの駐車場も狭く酸素のカートを降ろしたりする作業が苦勞する、車いすのマークのところを使えるわけではないので大変。買い物もカートがないので大変。【女・40～64歳】
- 各施設等で休憩するベンチが少ない。【男・65歳以上】
- 将来、車の運転ができなくなった時、病院にも行けなくなる、病院が遠いので困る。【女・65歳以上】
- 身障者のトイレをすべて洗浄式にしてほしい。JR行田駅、下りのエスカレーターがほしい。身障者は下りの方が歩行が怖いです。【男・65歳以上】
- 125号バイパスに街灯が少ない、歩道がない。【女・40～64歳】
- 店に車いすが無いところがあるので不便。【女・65歳以上】
- 自転車で外出するとき、南大通線は車が多いので歩道を利用しがちですが車の出入りのため、切り下げあり、上り下りが大変。統一しては？古墳群線佐間の産業道路から先は歩道もなく道が狭いので怖いです、どうかしてください。【男・65歳以上】
- 遠くへ行くときの足がない。気軽に安く頼めるタクシーのようなサービスがあれば。【男・65歳以上】
- 行田市駅にエレベーター。エスカレーターを付けてほしい。ホームから改札口まで荷物を運んでほしい押しボタンを付けるとか、市でなんとかして。【女・65歳以上】
- JRを利用して東京へ出かけるときに東口にエスカレーターがない、エレベーターはあるが障害者には歩く時間が長くなり電車に乗り遅れるときがありました。改善をお願いします。【男・65歳以上】
- スーパーに買い物に行っても疲れてしまう。【女・40～64歳】
- 障害者用の駐車場がいつもいっぱい止められない。【女・40～64歳】
- スーパー、レストラン、日用品店、洋品店等、福祉タクシーが使えない。【女・65歳以上】
- 水城公園のトイレが汚くて使えない。【女・65歳以上】
- 福祉タクシーを予約しなくても使えるように急な時でも使えることを願いたい。【男・65歳以上】
- デマンドタクシー、便利に利用させていただいていますが降車の場所が限られていますので自分の目的の場所に行く場合降ろされてから足腰が悪いので困っております。とても歩けません。お願いします。【女・65歳以上】
- 医院の入り口の段差が困る。【女・65歳以上】
- 市役所周辺の歩道が狭い、水城公園の駐車場を釣り人が占領している、公民館利用者が不便を感じている。【男・65歳以上】
- 歩行困難です。【女・65歳以上】
- 和田、街灯が少ない。【女・65歳以上】
- みらいから産業道路経路。【男・40～64歳】
- 市内循環バスの本数が少ない、乗り換え場所をターミナル1か所にしてほしい。【男・65歳以上】
- 熊谷駅バスがない。歩道が狭い、未舗装多く後ろから自動車、自転車が来たとき危険、持田保育園から夢庵の間の歩道の信号を自動にしてほしい。【女・18～40歳】
- 歩道等の段差が多い。【女・65歳以上】
- すべての駅が遠い。路線バスの停留所が遠い。吹上のバスが産業道路を通ってほしい。【女・65歳以上】
- 歩道の段差、デコボコ、歩道を自転車が通行、歩道に自動車が止めてある。【男・40～64歳】
- お金の管理が一人で出来ない、コミュニケーションがうまくできない。そのため外出ができない。【女・65歳以上】
- タクシーで行っても店の中をカートで転がすのもだんだんできなくなる、福祉タクシーは高いらしいので使えない。【女・65歳以上】



- 障害があることを気づいてもらえず電車やバスで高齢者に席を譲ることがある、トイレが少なく店を利用している。歩道を走っている若者の自転車が怖い。【女・40～64歳】
- トイレは全て洋式にしてほしい。【男・65歳以上】
- ATM画面が車いすだと見づらい、歩道の路面が狭い道幅が狭い。【男・40～64歳】
- 自宅から駅に行くとき循環バスは市内しか行かないので使えない。【男・40～64歳】
- 病院や施設等で名前を呼ばれてもわからない。【女・18～40歳】
- タクシーを呼ぶ時も耳が遠いので電話が使えない。【男・65歳以上】
- 障害者駐車場が少ない。【男・65歳以上】
- 街の中央部に行くのが不便。【男・65歳以上】
- 見た目では障害があることに気づいてもらえない。【女・18～40歳】
- 佐間のレストランえびなの交差点で吹上からの右折車があるときは非常に狭いので大変である。市内⇄JR 行田駅・市内⇄安らぎ間のバスの増便 or 増設を考えてほしい。【男・65歳以上】
- 流しのタクシーがない中、デマンドタクシーを利用していますがとても良いと思っております。また、夫が84歳で免許を返納し、タクシー券をいただき助かっています。続けていたできたいです。【女・65歳以上】
- 歩道と車道の接続部スロープが強すぎる。(新町通・常盤通り。JR 行田駅前通り) 行田市駅にエスカレーターを設置をお願いしたい。公共交通機関の運賃が高すぎる。(100円から250円くらいに) 電車バスの運行便数が少ない。特に秩父線。バス・・・行田～佐間～吹上駅線10～15分間隔に。もっと徹底したマイカーの規制を。鉄道運賃がバスと同様に障害者割引適用に。(JRは101KM以上。東京でないと単独での適用) 【男・65歳以上】
- 道を知らない。【女・65歳以上】
- 障害者用駐車場が少ない。【男・40～64歳】
- 埼玉地区からJRの駅へのバス路線が少ない。【男・40～64歳】
- ベルクに行くとき自転車で相手がぶつかってきたことが何回もあった。【女・18～40歳】
- 市内循環バスに乗ったときに目的地で降りようとしたとき運転手に早く下りなさいとせかされて大変困りました。【無回答・65歳以上】
- 市内循環バスですがバスの便数が少ない。それと発着所が地区に一か所しかなく徒歩か自転車で乗る場所までいかななくてはならず不便です。体の弱いものにとっては利用しづらいです。【女・65歳以上】
- 路線バスが家の近くを通らない。乗り物(特にバス)に酔うので長い時間乗ってられない。【女・40～64歳】
- 自分一人で出かけることがない。【女・65歳以上】
- 行田地方庁舎の障害者用のトイレが分かりにくい。使いにくい。【女・40～64歳】
- 外出することに施設の理解が乏しい。人工肛門増設者専用の浴場・トイレのある公的施設があれば助かる。【無回答・無回答】
- 行田市以外に外出するとき交通移動が不便。(時間が限られるか手段が少ない) 【男・40～64歳】
- さきたま緑道の歩道がでこぼこで自転車道との交差もあり危険。【男・40～64歳】
- 動けないので介助する人の体力負担がある。【男・65歳以上】
- 高齢のため外出時には子供が常に一緒に行動してくれるためなし。【女・65歳以上】
- 熊谷駅までのバスを復活してほしいです。【男・40～64歳】
- 公共施設・・・洋式トイレがないところも少ないところもあるので洋式トイレを増やしてほしい。【女・65歳以上】
- ショッピングセンターや大型店舗など障害者用駐車場スペースがありますがほとんどが健常者が駐車していて止められる場合が少ない。歩行が困難な私には大変困りますが健常者はまったく気にしません。行田市役所でもそうです。【男・65歳以上】
- 市内の歩道が非常に悪い。大変歩きづらい。駅などで切符が買えない。【女・65歳以上】
- 外出したくても車いす生活なのでできない。受診などは施設の車で車いすごと乗れるものを

- 使う。家族が気晴らしに連れて行ってあげたいがふつうの車では無理。介護仕様に車を直したいが値段が高い。宝くじでも当たればねと親子で笑っている。いろいろなところに行ってみたい。行田でも行ったことがないところもたくさんあるのに。【女・40～64歳】
- 行田市駅の階段。ドラッグストアに車いすの設置がない。歩道と道路差が大きくこう配がきつい。【女・65歳以上】
  - 以前電車を使っていた時のことではあるが秩父鉄道の行田市駅にはエレベーターがなく入り口から階段であがって再びホームに階段で降りることになり二度階段を上り下りしなければならなかったときは大変苦勞であった。【男・65歳以上】
  - 自動車が近くに来ても分からない。警笛を鳴らしても聞こえない。駅などで切符が買えない。(文字がよく見えないから。どこのボタンを押してよいか分からない。結局駅員を見つけて買ってもらふことになる)【男・65歳以上】
  - 市内の小中学校の体育館に洋式トイレならび身障者用トイレの設置を希望します。(二年前南小学校の校庭をお借りした行事に参加した際体育館に洋式トイレがなく大変困りました。【女・65歳以上】
  - 全体的に椅子が少ない。あっても野外では汚い。【男・65歳以上】
  - 一人で外出することはありませんので特に困ることはありません。【男・65歳以上】
  - 雨の時お店などで車から降りるとき屋根がないので濡れてしまうので雨の日は出かけられない。【男・18～40歳】
  - 市内循環バスをよく利用します。大変助かっていますがもう少し本数が増えればいいですね。【女・40～64歳】
  - 市内に段差が多い。歩道の雑草がかられていない。【女・65歳以上】
  - 障害者の駐車場が少ない・スーパーなど。【女・40～64歳】
  - 医療ケアが必要な障害児の行ける保育園・幼稚園がない。【女・65歳以上】
  - 特に眼科その他の医者に行くときに介助してくれている(妻)ができなくなった時が不安を感じます。【男・65歳以上】
  - 循環バスの本数が少ない。【男・40～64歳】
  - 駅から離れている踏切の道路が凸凹が多い。他の人が時々、押し車が穴にはまっている人がいる。(私ではありません)【女・65歳以上】
  - 老人が多い。シルバーカーが通れない。【女・65歳以上】
  - 病気で右半身不自由なので停留所まで歩いていけない。【女・65歳以上】
  - 歩道が狭い場所が多い。歩道が整備されてなくて歩きづらい場所多し。【女・65歳以上】
  - 歩道に危険があるが、私は耳が良く聞こえません。だからあまり近年は行きませんが。でも息子がよく連れていってくれるので外は好きですから行きます。
  - 音声の出る本などあれば良い。【男・40～64歳】
  - 行田市内循環バスの本数が少なく、希望する時間での利用ができません。JRならびに秩父鉄道の駅までの距離も遠く、最も近い駅でも徒歩20分以上の時間がかかり、容易に外出ができません。公共交通の充実を希望いたします。【女・40～64歳】
  - ・通勤の際、朝日バスを利用しているが、バスの本数が少ない。・市内循環バスの本数ももっと増やしてほしい。【男・65歳以上】
  - 市内循環バスの便数が少なくまた、バス停が家から足が不自由な為、少し遠いです。【女・65歳以上】
  - 病院の駐車場の障害者専用スペースが少ない。【女・40～64歳】
  - 自転車専用レーンが無い道がせまい、あぶない。【男・65歳以上】
  - 現状は車を運転できるので、特に困る事はない。【女・65歳以上】
  - 私はあまり出歩かないのであまり不便は感じません。私は11年間ケアセンターに通っていますが、1度も従業員が暴力をふるった所を見た事はありません。その点、行田市は良いと言われるのではないかと思います。【女・65歳以上】
  - 高齢の為、娘にできるだけ車に乗らないよう言われているが、買い物、病院に行く時困る。娘が来てくれた時は乗せていってくれる。【男・65歳以上】

- 電車、バスの便数が少ない。市内循環バス：バス停が遠い。【男・65歳以上】
- 介護者が必要である。現在、おむつ使用の為、支援等困る。【男・40～64歳】
- 障害者用のトイレが少ない。道路の段差が多い。【女・65歳以上】
- 今は自分で運転できるが免許が返納になった時は時間をかけて公共の交通手段を利用するか、家族に助けてもらう方法で通院せねばなりません。【男・65歳以上】
- バスの行く先、表示がわからない。駅の階段。【男・65歳以上】
- ペースメーカーだと、外からはわかりにくい。障害者用スペースにて車を止めにくい。高齢でもあり、ぜひとも障害者用スペースに車を止めたい。【男・40～64歳】
- 市内の歩道の凸凹が多く、歩くのが大変。行田市駅にエスカレーターがない。バスの便が悪い。【女・65歳以上】
- 自転車専用路側帯がほしい。横道に歩道がほしい。【女・65歳以上】
- 目が不自由な為一人で行動出来ず。【男・40～64歳】
- 文字での情報が少ない。【女・65歳以上】
- 公衆トイレで予備のペーパーがないトイレがある。【女・65歳以上】
- 循環バスのルートかわかりにくい。【男・65歳以上】
- 駐車場守っている人が少ない。個人カードがあるのであれば登録済な訳だからパーキングみたいな機械を導入した方が良い。市役所など。【女・65歳以上】
- スーパーに障害者用の駐車場が少ない。あっても健常者が使っていて空いていないことが多い。【男・40～64歳】
- JR行田駅で障害者用の切符が買えない。【男・65歳以上】
- 公共施設のトイレがもっと洋式があればいいと思います。【男・65歳以上】
- ・市役所への行き来に循環バスの時刻に終バスの時間が早すぎる。・行田市～熊谷市へ向かえる路線バスがない。・公共施設へ向かうバスの時間が少なすぎる。・行田市駅のエスカレーター、エレベーターがない。【女・65歳以上】
- JRを利用するのに駅まで自家用車で送ってもらうしかない。路線バスがなく、市内循環バスも本数が少ない。【男・65歳以上】
- 行田市駅にエスカレーターがない（北側）、トイレの際、和式便器しかない場合。（駅、古い飲食店等）【女・65歳以上】
- ①公衆トイレで障害者用のないケースが多い。なるべく早く障害者用を設置して欲しい。②歩道と車道の区別のない狭い道路を歩く時に不安を感じる。生活道路だけに規制は難しいと思うが何とかならないか？【女・65歳以上】
- 膝、腰の悪い物には、下り階段がきつい。古い公民館には、ほとんどこの対策がされていない。【男・65歳以上】
- 運転者との予定が合わない時、自由には外出できない（スーパーやホームセンター等）、病院（科によって曜日が決まっている）【男・65歳以上】
- 行田市駅にエスカレーターがない。【男・65歳以上】
- 市内循環バスの回数を増やしてほしい。大型店（スーパー等）の近くにバスの停留所を設けてほしい。【男・65歳以上】
- JR行田駅に（市内循環バス停と反対側）自家用車の送迎時に使うベンチが欲しい。もっと大きく雨に濡れない屋根（今のは中途半端）【女・65歳以上】
- 足が悪い為歩くのが困難なので自転車移動で行動しています。道路の幅が狭く危ない身をよく感じます。障害者用スペースの道路があると安全に生活できるのですが市の予算でお願いします。市内循環バスも足の不自由私には利用出来ません。歩くことが困難なのでから・・・道路の段差以前の問題です。【男・65歳以上】
- 歩道の段差、公園等のトイレ（介護用）の不足。【女・65歳以上】
- 歩行が困難。【無回答・無回答】
- 町中に買い物に出かけた時サービス業者は車椅子からの視点の違いに理解がなく、走る様に押されて目的の買い物ができない。また行田に引越してきてから、障害者という事で近隣の嫌がらせ（主に夜中）が多く、庭の花壇にも何らかのイタズラをされて新しい花を植えても

- すぐに枯れてしまう。まだ書ききれないほどの嫌がらせを受けているが、ここの自治会の班長が率先してやっているの、止まらない。10年間ずっと続いている。【男・65歳以上】
- 市内循環バスが市内乗り換えなしで移動可能であればと思う。公園、病院、スーパー、市役所、図書館、駅等が乗り換えなしで行ければ行動範囲が広がると思うし、より健康的な生活が出来るのではと思う。【女・40～64歳】
  - 交通機関について。電車、バス等がまったく無く、タクシーについても夜間は使用できない。どうしたらよいか、本当に不安です。高齢になると運転も難しくなり、陸の孤島同然です。循環バスはまったく役に立ちません。ただ通っているだけで、市民の役にはあまりなっていません。これでは外出などできません。もっと実質的なことを考えてほしいです。オンデマンドもあまり便利ではないですが少しは役にたっています。【男・65歳以上】
  - 市内循環バスについて。路線、行田市駅～市役所～行田市駅乗り換えなしで利用できるようにしてもらいたい。こうすれば市外の病院等へもアクセスが向上する。市内を回るだけでは意味がない。農村部からのアクセスを考えてほしい。1時間に1本ぐらいで走らせてほしい。【男・65歳以上】
  - 病院以外に出かけることがないというのが困っています。少しは外に出かけさせてあげたいのですが、それも大変なことなのはわかっています。自分が行動をおこすのも怖い。施設にお願いするのは申し訳ないです。【男・65歳以上】
  - 市内循環バスの時刻時間で13時台の左回りがもう1本あれば便利が良いのですが？JR行く時14:07ぐらいまでないので不便です。他の時間帯は良いのですが。運転手さんの都合もあると思いますが。【女・40～64歳】
  - 生活上最低限必要な買い物、通院をするにも公共交通機関では用が足りず、結局自家用車に乗せてもらうしかない。【女・65歳以上】
  - 市全体で仕方がない部分もあるが、やすらぎの里に頼り過ぎでは。【女・65歳以上】
  - 自分で運転して通院していますが、病院の駐車場(障害者スペース)に健常者が置いてある為遠方に置いて歩いてくるのがすごく大変なので、徹底して頂きたいです。【女・65歳以上】
  - 市内循環バスの路線数の充実。【男・40～64歳】
  - 障害者マークのある駐車場が少ない。また健常者の車がすでに止めてあり近くに駐車できない。【男・65歳以上】
  - 市道(県道)に段差(凸凹)が多い。【男・65歳以上】
  - ・スーパーなどのレジで係員の言う事がはっきり聞き取れない。・バスの音声ガイドが聞き取れない。・バスの運転手の言う事がわからない。【男・40～64歳】
  - ・現在JR行田市からの路線バスは市の福祉バスのみでの運行であり、利用時間の便数の問題があり、極めて利用しにくい。・以前は秩父バスの路線があり、廃止となったがその後、相当の年月が経過しており人口や生活環境も大きく変わっているので再考を！【男・65歳以上】
  - 障害者用の駐車枠が少ない。市内循環バスの本数が少ない。【男・65歳以上】
  - 車椅子でひとりでタクシーに乗れない。【女・65歳以上】
  - 駅まで直通バス等がない。【男・65歳以上】
  - 病院が中心である。現在家族が送り迎え、診察を手伝っている。【男・65歳以上】
  - 身体が不自由なので外出できない。【男・65歳以上】
  - 歩行困難で外出はほとんど出来ない。市内バスも近くに停留所がありますが、行く先、妻と一緒にでないといけない。一人になったら移動を考えられないので不安である。【女・65歳以上】
  - いっぱいある。自宅へタクシー呼ぶと高額になる。【男・65歳以上】
  - ・デマンドタクシーの利用について。・乗降場所を自由に選択できるようにしてほしい。・外食出来る場所(うどん、ラーメン、スシ等)。・お寺、床屋等。【女・65歳以上】
  - 市内循環バスの時間があきすぎて(広すぎて)乗る事が出来ない・・・【女・65歳以上】
  - 身体障害者と気付いてもらえない。バスの便数が少ない。【男・65歳以上】
  - 要望①セブンイレブンの入る道路カーブミラー②押しボタン信号を通常の反復信号機に③西新町東側から入るカーブミラーを反対方向の確認が出来るようもう一つのカーブミラー。

【女・65歳以上】

■団地に住んでいますが砂利がある為、歩きづらい。道路から団地内に入る場所に段差がある。

【男・40～64歳】

■障害者用のトイレが使いづらい。【男・40～64歳】

■歩道の整備。本線のバスの便数をもう少し多く希望する。【女・65歳以上】

■市内に介護タクシーがない。【男・40～64歳】

■右足が不自由なのでエレベーター、エスカレーターがないと不便です。【男・65歳以上】

■市役所、病院、スーパーなど障害者用の駐車スペースが少ない、銀行は狭いし、ない。【男・65歳以上】

■市役所、スーパーなど障害者駐車場に一般の人が止めていて止められない。【男・65歳以上】

■循環バスの本数が少ない。【女・65歳以上】

■自転車道と歩道の区別がなくて危ない、夜間自転車が無灯で走行しているので危険。【女・18～40歳】

■行田市内の循環バスの運転手さんは車いすの扱い方が不十分である。【女・65歳以上】

■横断中に信号が変わってしまう。【男・65歳以上】

■障害者トイレが使いにくい。【女・18～40歳】

■大宮方面へ外出する場合行田からだとバスで吹上へ出るか秩父線で熊谷まで出るとか2択しかない。(高崎線乗れない) 特に行田の東側在住の人達は行田駅や吹上駅より北鴻巣駅が近いので武蔵水路沿いを行田⇔北鴻巣駅のバスがあれば便利だと思う。【女・65歳以上】

■歩道の敷石がういている。民家の植木が道路へせり出している。ベイシア側の細い道に車が進入。【女・65歳以上】

■電車を利用するが秩父線の駅にエレベーターがない。【男・65歳以上】

■車が運転できなくなったとき行田市の割引タクシーを使うことになるとは思いますが、タクシーが病院とか郵便局などで自分の用事の所へは行かないそうですが、決まったところだけでは困ります。手続きした意味がない。【女・65歳以上】

■行田市駅の階段が長い。エレベーターがあったら助かる。行田市駅から出ている吹上行きバスが少ない。病院に行くのに JR を使用。自宅を出て行田市駅に自転車を置いて新町のバス停まで歩くのが大変。(自転車置き場がない) 吹上行きバスが行田市駅に寄って頂けたらありがたいです。(本町→行田市駅→新町一丁目)【無回答・無回答】

■交通機関について。秩父鉄道の本数及び駅員不在が多いです。【女・40～64歳】

■デマンドタクシーが運行され、便利ですが指定場所について不便を感じます。タクシー並みに乗り降り出来たら嬉しいです。行田市駅を利用したいのですがエレベーターエスカレーターがなく不便。市役所の休日営業が午前中だけなのは利用しにくい。【女・65歳以上】

■外出しても休む場所がない。【女・65歳以上】

■視覚障害児を受け入れてくれる保育園幼稚園が少ない。あっても人数体制の関係で受け入れてもらえない。【男・40～64歳】

■通学路や横断歩道など車の一時停止を守る人が少ない。市内循環バスがあるためとても便利です。【男・65歳以上】

■いつも出かけるときは車に乗せてもらっているので、あまり困ったことはありません。【男・65歳以上】

■南河原の役場の近くで歩道に電柱があって自転車で通るのが大変。17号の信号が総合病院の十字路のところですが青で渡りきれなくて真ん中で待っているようなときがある。【女・65歳以上】

■安らぎの里。プール等利用したいと思いましたが交通の便が悪く行くことが出来ない。行田駅から市役所までの間の歩道が斜めになっていて歩けない。125号道路などは歩道がないに等しい所が多い。【男・65歳以上】

■スーパーやショッピングモールの障害者用駐車場がいっぱいで車が停められないことがある。店内の貸し出し用の車椅子がない店舗がある。【男・65歳以上】

■デマンドタクシーを利用しますがあるタクシーを利用しようと電話を1～2日前に電話を

しても乗車拒否されて来てもらえず困ったことがあります。今は秩父タクシーを利用しています。デマンドという1台しかないので行けないと言われていつも同じ事を言う。私だけではないようです。【男・40～64歳】

- 公共施設にて洋式トイレを増やして欲しい。交通機関について。行田市駅にエレベーター又はエスカレーターを設置して欲しい。道路歩道について。歩行者専用通路をもっと作ってほしい。【女・40～64歳】
- 市内を回るバスに乗れない。行田市に住んでいますが埼玉地区でも片原地区にはバスは通らないので乗れないので困ります。できれば片原地区まで来て欲しい。【女・40～64歳】
- 障害者用トイレが狭くて使いづらい。【男・65歳以上】
- 段差が多い。【女・65歳以上】
- 駅の階段が辛い。エレベーターがない。隣町のバスがない。【男・65歳以上】
- デマンドタクシーが出来たので通院に助かります。【女・無回答】
- 電車利用の際、階段が長すぎてエスカレーターを設置して欲しい。【無回答・無回答】
- 食事に連れてってもらっても段差が多く車椅子に乗っているとその店に入れない。車椅子用のトイレが少ない。【女・65歳以上】
- 路線バスの便数が少ない。道路が平らでない。【男・40～64歳】
- 家族が居ないとき外出するとき、市内循環バスの便数が少ない。【女・65歳以上】
- 元荒川通りの歩道がなくて困ります。熊谷まではあるのですが行田に入るとなくなり、困っています。JR行田駅付近での歩道の整備をお願いしたい。信号もなく車の視覚障害者には困るばかりです。段差も多い。【男・65歳以上】
- バス便が少ない。熊谷駅～犬塚。【女・65歳以上】
- 行田市駅エスカレーターが少ない、ポストが少ない。【無回答・無回答】
- 坂が多い、階段が多い。【女・65歳以上】
- 市役所の出入り口の段差、ドアが開けづらい。【男・40～64歳】
- 古墳公園内の障害者トイレが朝9時前には使用できないのが困る。【男・40～64歳】
- 生活インフラが不便。【女・65歳以上】
- 自転車で医者に通っているが乗れなくなったらと思うと不安。息子と暮らしていますが、会社が自由に休めないので生活が大変になると思います。【女・65歳以上】
- 古代蓮会館の駐車場から会館に入るのに付添が大変そうでした。【男・65歳以上】
- 冬場のカーブミラーが曇っていて見えない。【女・65歳以上】
- 古代蓮会館は駐車場から遠いので無理とのことでした。【男・65歳以上】
- 道が狭い、段差が多い、車いす仕様になってない。【男・65歳以上】
- 混雑している所にはどこにも行けない。【男・40～64歳】
- 障害のあることに気づいてもらえない。【男・65歳以上】
- 自転車道の設置、整備を進めてほしい。【女・40～64歳】
- 市内循環バスの本数が少ない。【女・40～64歳】
- 行田市駅にエスカレーターの設置を。障害者にも高齢者にも必要です。【男・65歳以上】
- 市内循環バスの本数が少ない。【男・65歳以上】
- 寝たきり。【男・40～64歳】
- 自転車や車に乗れなくなった時近くにスーパーがない。【男・65歳以上】
- 公共施設、コンビニ、あらゆるところに車いす用のトイレを付けてほしい。【女・18歳未満】
- スーパーその他で障害者用駐車場に健常者が止めていて不便。【男・65歳以上】
- 歩道の切り下げに段差がある。【無回答・無回答】
- 身体障害者用駐車場に健常者が止めて駐車できない。ステッカーが簡単に買えないように考えて【男・65歳以上】
- 外出時に緊急事態になった時音声言語の障害で周りの人に知らせることが簡単に出来ない。【女・40～64歳】
- 市内バスの便数が少ない。【男・65歳以上】
- 建物の中は狭くて不便、もっと広くなるといい。【女・40～64歳】

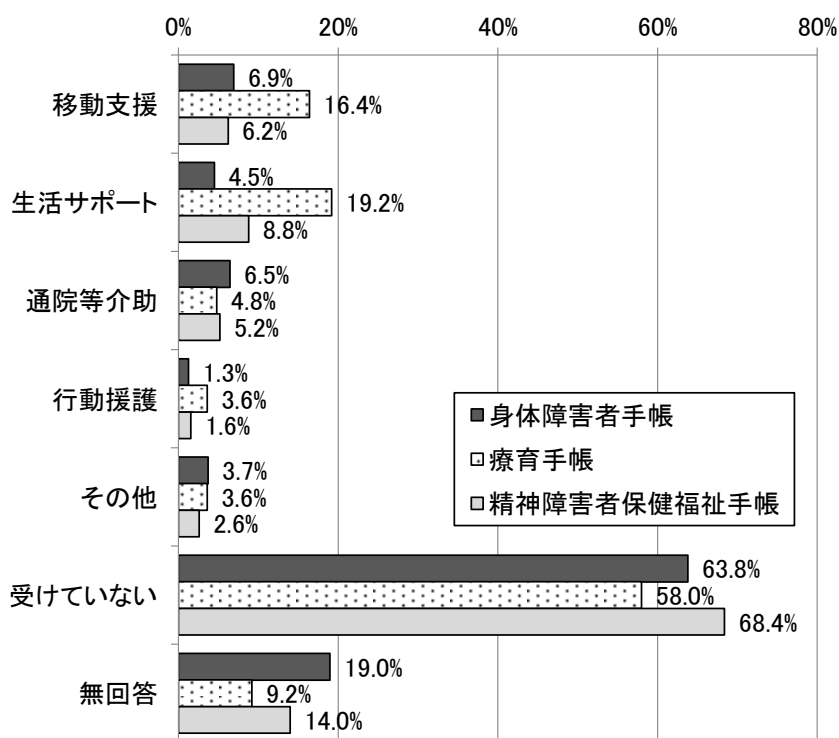
- 路線バス、循環バスの利用が大変、運転手さんが慣れていないため他のお客さんに迷惑がかかる。【男・65歳以上】
- 公共トイレの使い方がわからない。市内循環バスの乗り場が遠い。【男・18歳未満】
- 公園全般段差やデコボコが多い。【男・65歳以上】
- 電車、バスの便が少ない、高崎線、朝日バス、電車代が高い、タクシー代が高い、秩父線。【女・65歳以上】
- 行田市駅にエレベーターがないので秩父線を利用しています。熊谷駅までタクシーで行かないと来られない。【男・40～64歳】
- 障害者駐車場に健常者が止めていることが多い。【男・40～64歳】
- 福祉タクシーはスケジュールが混み合っていてすぐに行けない、タクシーは高い。【男・65歳以上】
- 公共施設に行くときに市内循環バスの乗り換えがあるので不便です。【女・65歳以上】
- 行田市役所、トイレが暗くて狭い。行田駅の券売機が使いづらい、エレベーターの中と外でタバコを吸っている人がいて臭い、ロータリーと横断歩道の段差が一人では通れない、ライオンズマンションの川沿いがデコボコ。駐車場スペースに屋根がない停車スペースのマークが薄くなっている、車いすチケットは値段も場所も決められ選択肢の自由がない。【女・40～64歳】
- 駅に直通する路線バスが走っていないしバス停もない、循環バスの利用者が少ない、病院前にもバス停を作って便利にしてほしい。【男・65歳以上】
- 行田市役所のトイレが使いにくい。【男・65歳以上】
- 産文の駐車場が狭くなったことが許せない。【男・65歳以上】
- 中心の市役所まで距離があるので不便。買い物も遠い。羽生市の方が近いので買い物は羽生市になる。又、群馬のジョイフル。【男・65歳以上】
- クリニックへの通院ですが、現在のところは、同じ市内に住んでいる娘の付添で助かっていますが、いつまで頼れるか先々の事を考えると不安ですが、それまで生きていますよね？他、用足しの用件がある時などタクシーを利用しますが、料金支払いの際、身体障害者高齢者用の料金支払い現金に代わって無料乗車券か割引乗車券が運用できれば助かります。【女・65歳以上】
- 行田駅にエスカレーターが欲しい。【男・65歳以上】

**問 30 あなたは、移動や外出の際に、以下に示すような家族以外の支援を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)**

**★療育手帳(問 24)・精神障害者保健福祉手帳(問 26)**

移動や外出の際に、家族以外の支援を受けているかについて障がい別では、「療育手帳」の「移動支援」、「生活サポート」が多くなっています。

また、3障がいともに「受けていない」が6割前後から7割となっています。



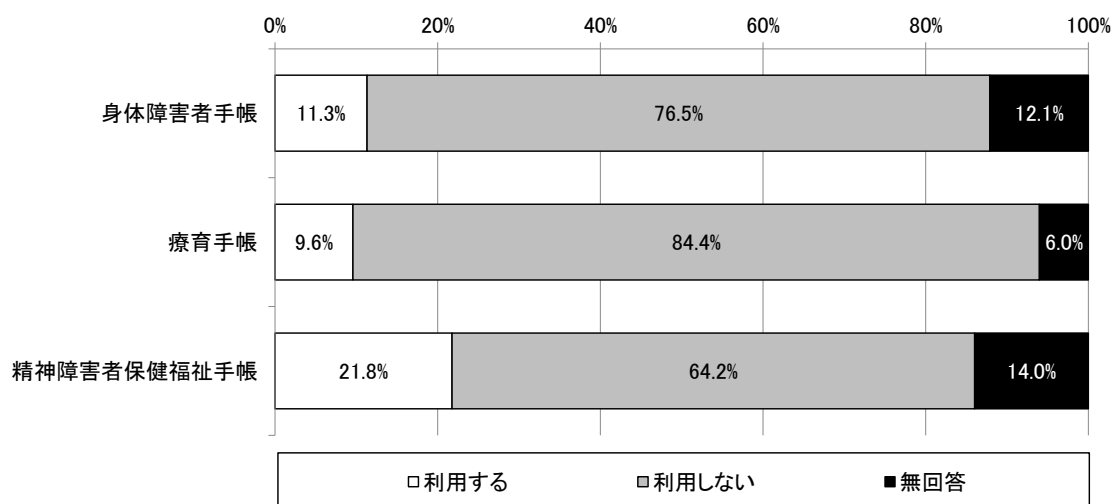
項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
移動支援	88	6.9%	41	16.4%	12	6.2%
生活サポート	57	4.5%	48	19.2%	17	8.8%
通院等介助	82	6.5%	12	4.8%	10	5.2%
行動援護	16	1.3%	9	3.6%	3	1.6%
その他	47	3.7%	9	3.6%	5	2.6%
受けていない	810	63.8%	145	58.0%	132	68.4%
無回答	241	19.0%	23	9.2%	27	14.0%
全体	1,270		250		193	



**問 31 「市内循環バス」を利用していますか。(1つに○)**

**★療育手帳(問 25)・精神障害者保健福祉手帳(問 27)**

「市内循環バス」を利用しているかについて障がい別では、「身体障害者手帳」、「療育手帳」で、「利用する」が1割前後、「精神障害者保健福祉手帳」で「利用する」が2割以上となっています。



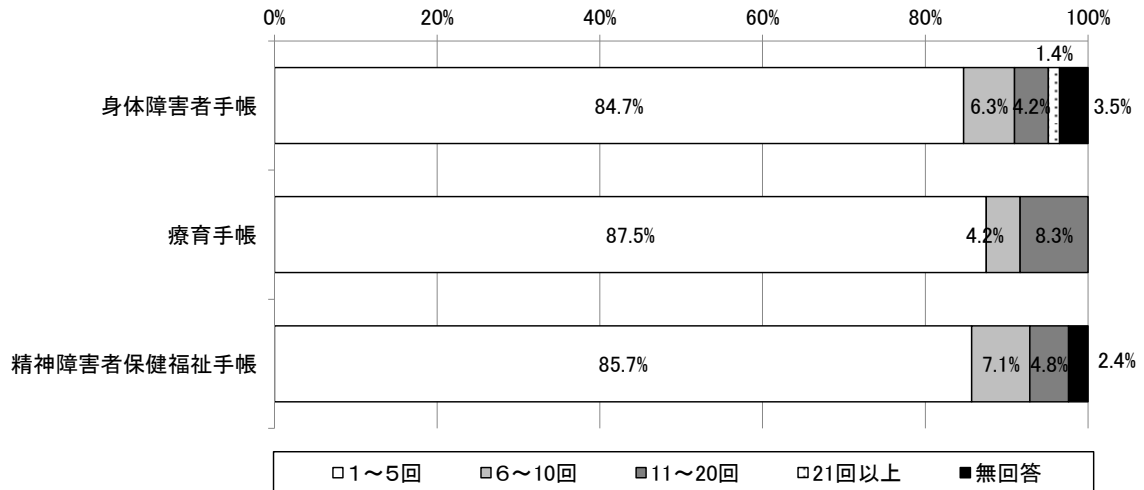
項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
利用する	144	11.3%	24	9.6%	42	21.8%
利用しない	972	76.5%	211	84.4%	124	64.2%
無回答	154	12.1%	15	6.0%	27	14.0%
全体	1,270	100.0%	250	100.0%	193	100.0%

(問31で「1. 利用する」とお答えの方へ)

**問 31-1 ひと月に何回ぐらい利用しますか。(1つに○)**

★療育手帳(問 25-1)・精神障害者保健福祉手帳(問 27-1)

「市内循環バス」をひと月に何回ぐらい利用するかについて、3障がいともに「1～5回」が8割以上となっています。



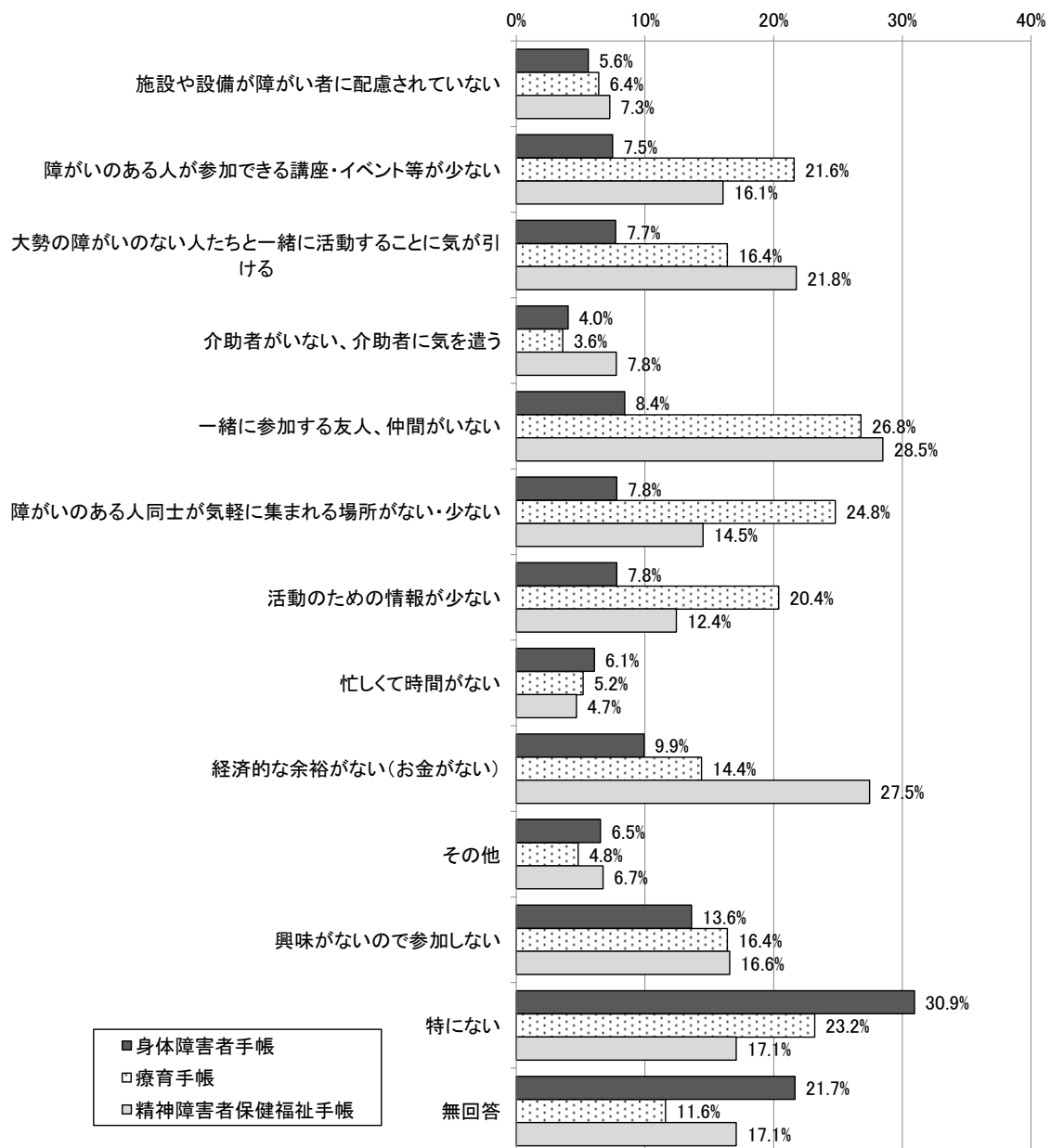
項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
1～5回	122	84.7%	21	87.5%	36	85.7%
6～10回	9	6.3%	1	4.2%	3	7.1%
11～20回	6	4.2%	2	8.3%	2	4.8%
21回以上	2	1.4%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	5	3.5%	0	0.0%	1	2.4%
回答者数	144	100.0%	24	100.0%	42	100.0%
非該当	1,126		226		151	
全体	1,270		250		193	

**問 32 あなたが趣味や学習、スポーツなどの活動をするときに困ること、または活動を行っていない理由は、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)**

★療育手帳(問 26)・精神障害者保健福祉手帳(問 28)

趣味や学習、スポーツなどの活動をするときに困ること、または活動を行っていない理由について障がい別では、「療育手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」で、「一緒に参加する友人、仲間がいない」が最も多くなっています。次いで「療育手帳」で、「障がいのある人同士が気軽に集まれる場所がない・少ない」が多く、「精神障害者保健福祉手帳」で、「経済的な余裕がない」が多くなっています。

また、「身体障害者手帳」では、「特にない」、「興味がないので参加しない」が多くなっています。



項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者 保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
施設や設備が障がい者に配慮されていない	71	5.6%	16	6.4%	14	7.3%
障がいのある人が参加できる講座・イベント 等が少ない	95	7.5%	54	21.6%	31	16.1%
大勢の障がいのない人たちと一緒に活動す ることに気が引ける	98	7.7%	41	16.4%	42	21.8%
介助者がいない、介助者に気を遣う	51	4.0%	9	3.6%	15	7.8%
一緒に参加する友人、仲間がいない	107	8.4%	67	26.8%	55	28.5%
障がいのある人同士が気軽に集まれる場所 がない・少ない	99	7.8%	62	24.8%	28	14.5%
活動のための情報が少ない	99	7.8%	51	20.4%	24	12.4%
忙しくて時間がない	77	6.1%	13	5.2%	9	4.7%
経済的な余裕がない(お金がない)	126	9.9%	36	14.4%	53	27.5%
その他	83	6.5%	12	4.8%	13	6.7%
興味がないので参加しない	173	13.6%	41	16.4%	32	16.6%
特にない	393	30.9%	58	23.2%	33	17.1%
無回答	275	21.7%	29	11.6%	33	17.1%
全体	1,270		250		193	

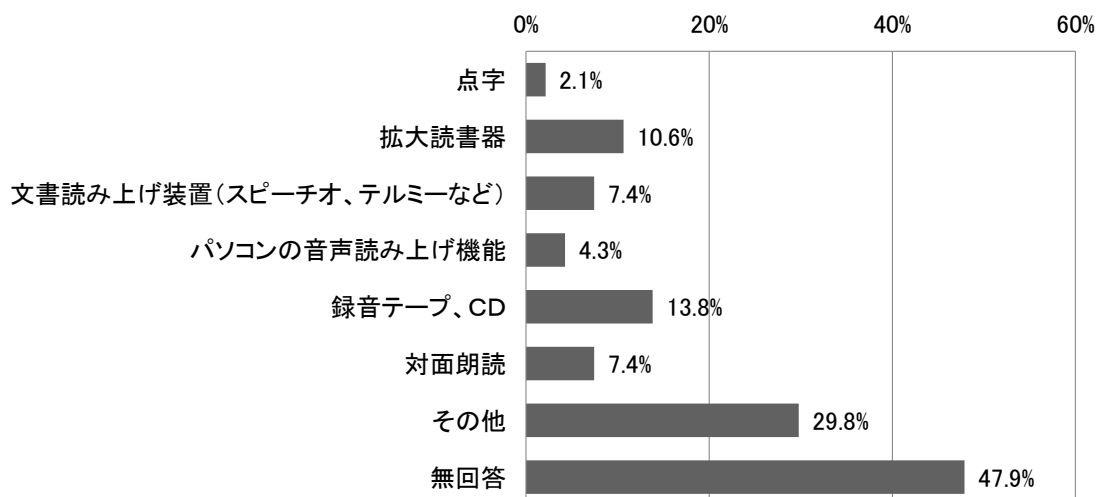
## ⑦コミュニケーションについて

(視覚障がいのある方へ)

問 33 あなたは、どのような手段で情報を収集していますか。

(あてはまるものすべて○)

視覚障がいの方の情報収集の手段は、「録音テープ、CD」が 13.8%と最も多く、次いで「拡大読書器」が 10.6%、「文書読み上げ装置（スピーチオ、テルミーなど）」、「対面朗読」が同数の 7.4%となっています。

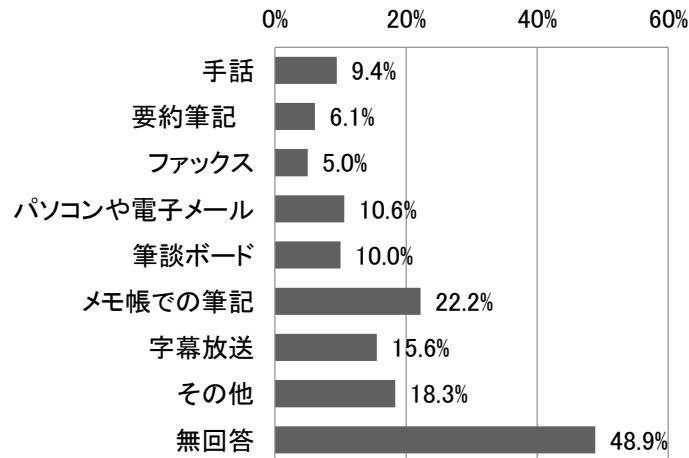


項目	n	%
点字	2	2.1%
拡大読書器	10	10.6%
文書読み上げ装置(スピーチオ、テルミーなど)	7	7.4%
パソコンの音声読み上げ機能	4	4.3%
録音テープ、CD	13	13.8%
対面朗読	7	7.4%
その他	28	29.8%
無回答	45	47.9%
回答者数	94	
非該当	1,176	
全体	1,270	

(聴覚・平衡機能または音声・言語・そしゃく機能障がいのある方へ)

**問 34 あなたは、どのような手段で情報収集や意思疎通をしていますか。  
(あてはまるものにすべて○)**

聴覚・平衡機能または音声・言語・そしゃく機能障がいのある方の情報収集の手段、もしくは意思疎通は、「メモ帳での筆記」が 22.2%と最も多く、次いで「字幕放送」が 15.6%、「パソコンや電子メール」が 10.6%となっています。



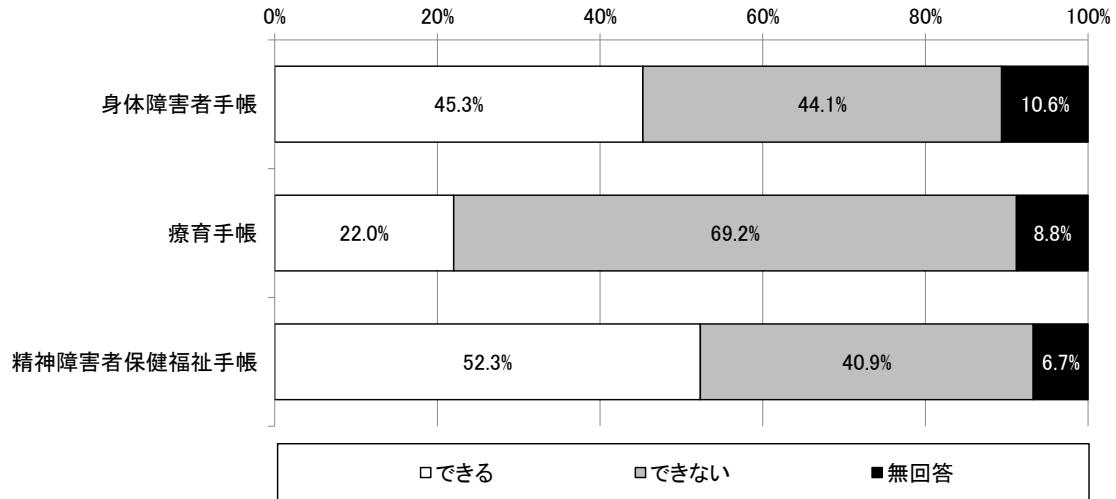
項目	n	%
手話	17	9.4%
要約筆記	11	6.1%
ファックス	9	5.0%
パソコンや電子メール	19	10.6%
筆談ボード	18	10.0%
メモ帳での筆記	40	22.2%
字幕放送	28	15.6%
その他	33	18.3%
無回答	88	48.9%
回答者数	180	
非該当	1,090	
全体	1,270	

## ⑧防災対策について

問 35 あなたは、災害時にひとりで避難（または対処）できますか。（1つに○）

★療育手帳(問 27)・精神障害者保健福祉手帳(問 29)

災害時にひとりで避難（または対処）できるかについて障がい別では、「身体障害者手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」で、「できる」の割合が4割から5割と多くなっています。また、「療育手帳」では、「できない」が約7割と多くなっています。



項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
できる	575	45.3%	55	22.0%	101	52.3%
できない	560	44.1%	173	69.2%	79	40.9%
無回答	135	10.6%	22	8.8%	13	6.7%
全体	1,270	100.0%	250	100.0%	193	100.0%

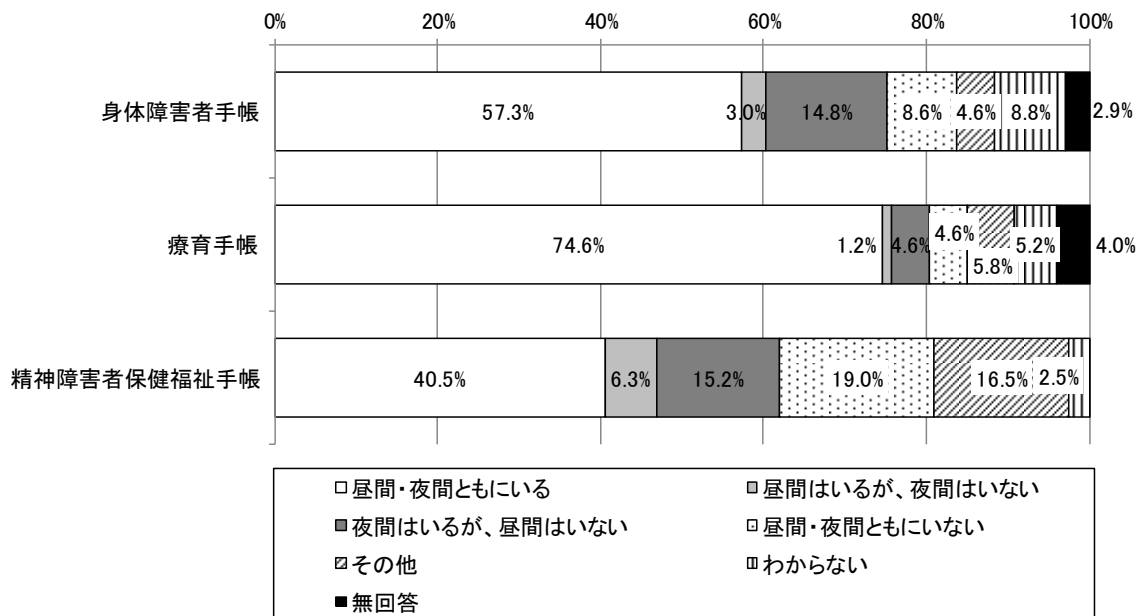
(問35で「2.できない」とお答えの方へ)

問 35-1 万一災害が起きた際に、避難（対処）の手助けや誘導をしてくれる人が、身近にいますか。（1つに○）

★療育手帳(問 27-1)・精神障害者保健福祉手帳(問 29-1)

万一災害が起きた際に、避難（対処）の手助けや誘導をしてくれる人が、身近にいるかについて障がい別では、「昼間・夜間ともにいる」が「身体障害者手帳」で6割弱、「療育手帳」で、7割以上となっています。

また、「精神障害者保健福祉手帳」では、「昼間・夜間ともいない」が約2割となっています。



項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
昼間・夜間ともにいる	321	57.3%	129	74.6%	32	40.5%
昼間はあるが、夜間はない	17	3.0%	2	1.2%	5	6.3%
夜間はあるが、昼間はない	83	14.8%	8	4.6%	12	15.2%
昼間・夜間ともいない	48	8.6%	8	4.6%	15	19.0%
その他	26	4.6%	10	5.8%	13	16.5%
わからない	49	8.8%	9	5.2%	2	2.5%
無回答	16	2.9%	7	4.0%	0	0.0%
回答者数	560	100.0%	173	100.0%	79	100.0%
非該当	710		77		114	
全体	1,270		250		193	

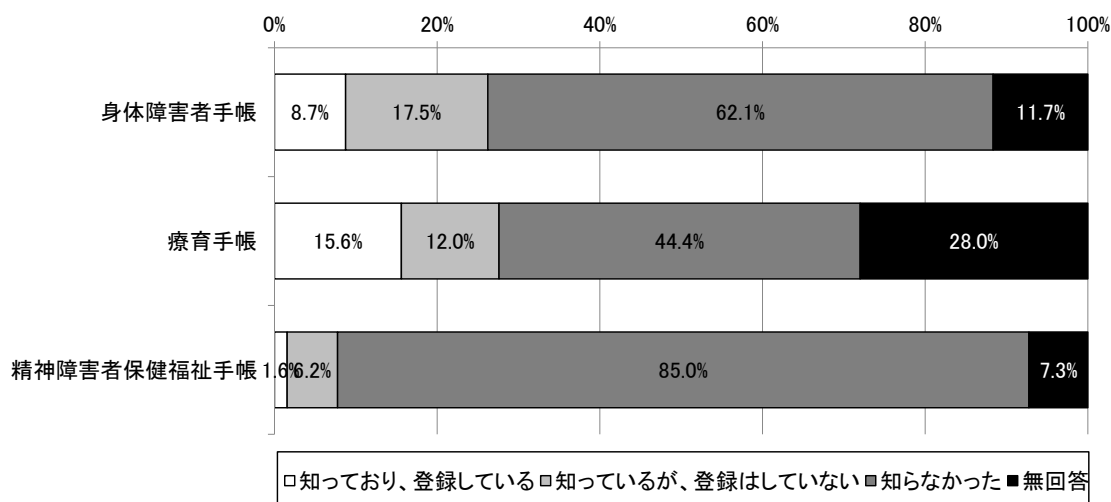


問 36 行田市では、障がい者や高齢者など災害発生時の避難等に特に支援を要する方の避難を迅速に行うために、「避難行動要支援者名簿」を作成し、該当者の登録を進めています。あなたは、この「避難行動要支援者名簿」をご存知でしたか。(1つに○)

★療育手帳(問 28)・精神障害者保健福祉手帳(問 30)

「避難行動要支援者名簿」を知っているかについて障がい別では、「療育手帳」で、「知っており、登録している」が15.6%となっています。

また、「身体障害者手帳」では、「知っているが、登録していない」が17.5%となっており、「精神障害者保健福祉手帳」では、「知らなかった」が8割を超えています。



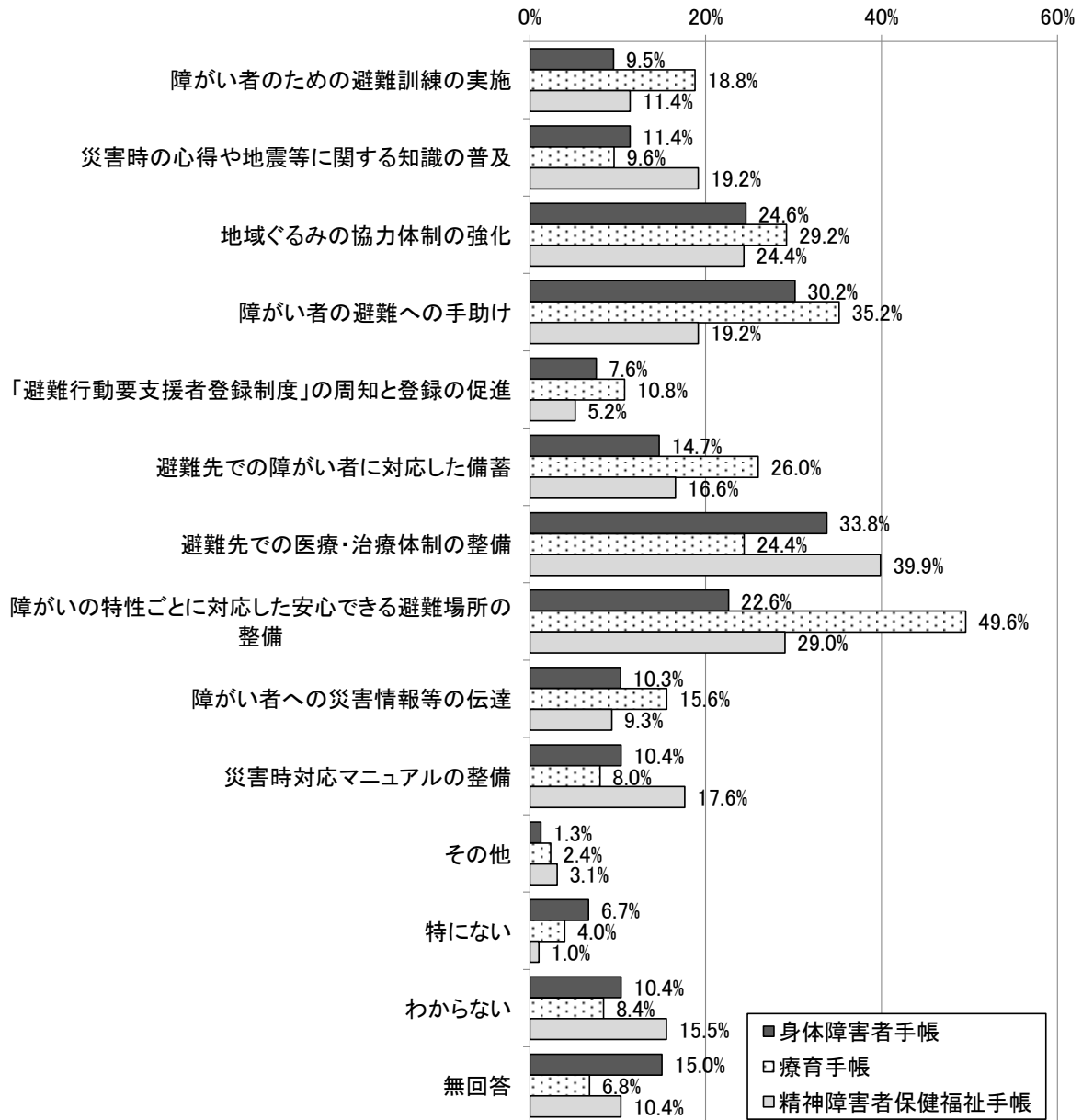
項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
知っており、登録している	111	8.7%	39	15.6%	3	1.6%
知っているが、登録はしていない	222	17.5%	30	12.0%	12	6.2%
知らなかった	789	62.1%	111	44.4%	164	85.0%
無回答	148	11.7%	70	28.0%	14	7.3%
全体	1,270	100.0%	250	100.0%	193	100.0%

**問 37 災害に備えてどのようなことが必要だと思いますか。(3つまでに○)**

★療育手帳(問 29)・精神障害者保健福祉手帳(問 31)

災害に備えて必要だと思うことについて障がい別では、「身体障害者手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」で、「避難先での医療・治療体制の整備」が多くなっています。

また、「療育手帳」で、「障がいの特性ごとに対応した安心できる避難場所の整備」が多くなっています。



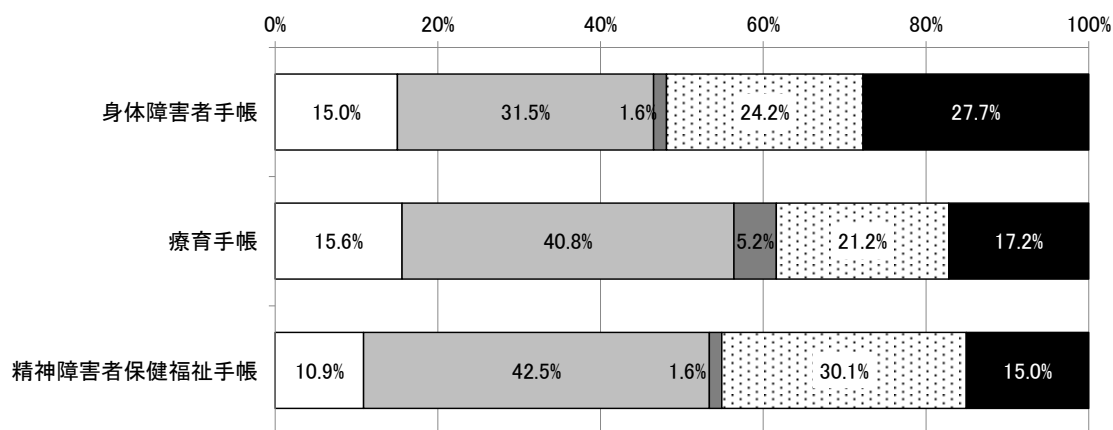
項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者 保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
障がい者のための避難訓練の実施	121	9.5%	47	18.8%	22	11.4%
災害時の心得や地震等に関する知識の普及	145	11.4%	24	9.6%	37	19.2%
地域ぐるみの協力体制の強化	312	24.6%	73	29.2%	47	24.4%
障がい者の避難への手助け	383	30.2%	88	35.2%	37	19.2%
「避難行動要支援者登録制度」の周知と登録の促進	96	7.6%	27	10.8%	10	5.2%
避難先での障がい者に対応した備蓄	187	14.7%	65	26.0%	32	16.6%
避難先での医療・治療体制の整備	429	33.8%	61	24.4%	77	39.9%
障がいの特性ごとに対応した安心できる避難場所の整備	287	22.6%	124	49.6%	56	29.0%
障がい者への災害情報等の伝達	131	10.3%	39	15.6%	18	9.3%
災害時対応マニュアルの整備	132	10.4%	20	8.0%	34	17.6%
その他	16	1.3%	6	2.4%	6	3.1%
特になし	85	6.7%	10	4.0%	2	1.0%
わからない	132	10.4%	21	8.4%	30	15.5%
無回答	191	15.0%	17	6.8%	20	10.4%
全体	1,270		250		193	

## ⑨障がい者施策全般について

問 38 あなたは、これからの障がい児教育についてどのようにお考えですか。  
(1つに○)

★療育手帳(問 30)・精神障害者保健福祉手帳(問 32)

障がい児教育の考え方について、3障がいともに「一人ひとりの障がいの種類や程度に応じて、適切な指導や必要な支援を行う特別支援教育がよい」が、3割から4割と多くなっています。



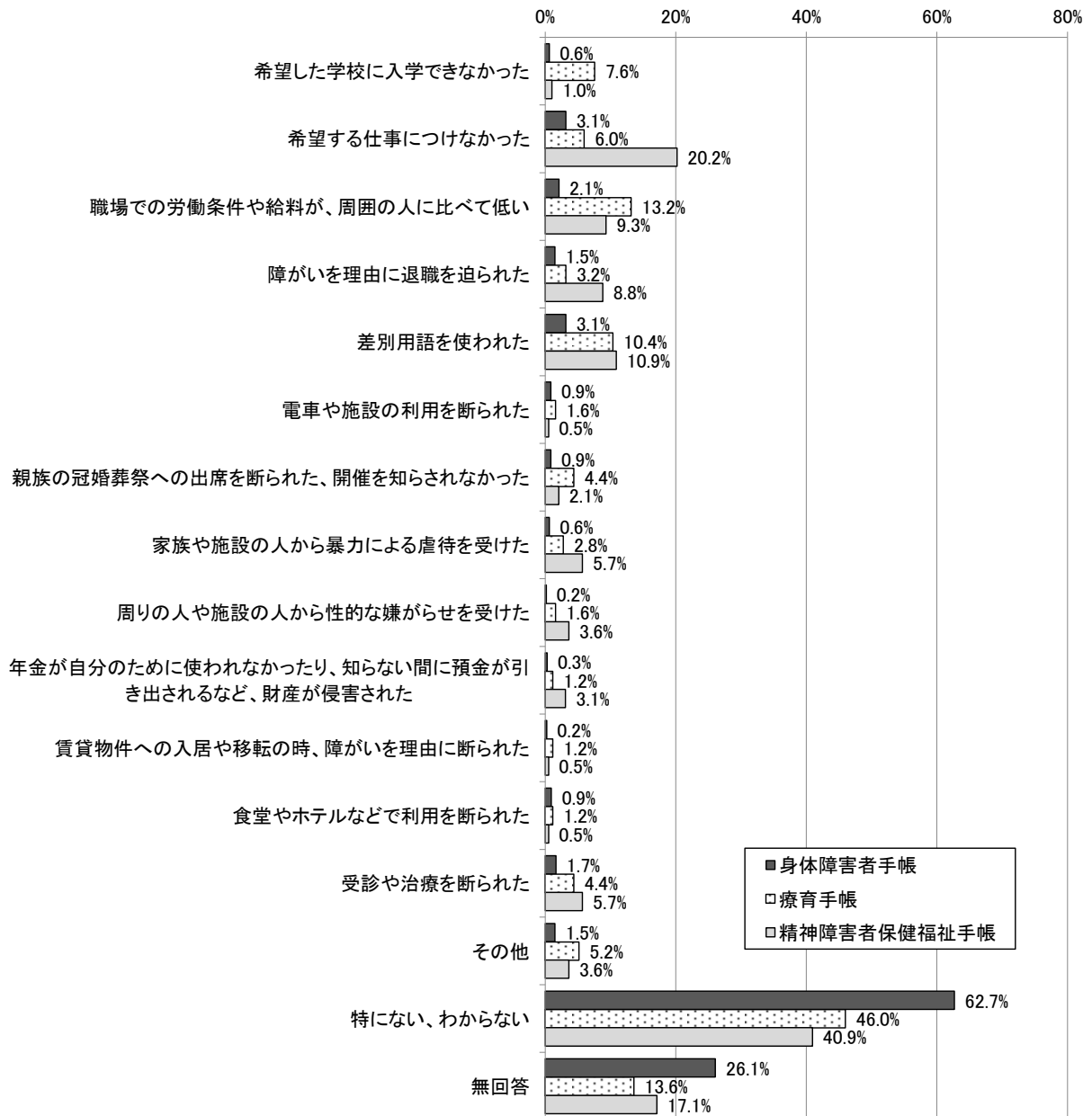
- 障がいのある児童生徒と障がいのない児童生徒、同じ場所で教育を受ける統合教育がよい
- 一人ひとりの障がいの種類や程度に応じて、適切な指導や必要な支援を行う特別支援教育がよい
- その他
- わからない
- 無回答

項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者 保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
障がいのある児童生徒と障がいのない児童生徒、同じ場所で教育を受ける統合教育がよい	191	15.0%	39	15.6%	21	10.9%
一人ひとりの障がいの種類や程度に応じて、適切な指導や必要な支援を行う特別支援教育がよい	400	31.5%	102	40.8%	82	42.5%
その他	20	1.6%	13	5.2%	3	1.6%
わからない	307	24.2%	53	21.2%	58	30.1%
無回答	352	27.7%	43	17.2%	29	15.0%
全体	1,270	100.0%	250	100.0%	193	100.0%

**問 39 あなたは、障がいがあることが原因で、日常生活の中で下記のような人権を損なう扱いを受けた経験がありますか。(あてはまるものすべてに○)**

★療育手帳(問 31)・精神障害者保健福祉手帳(問 33)

障がいがあることが原因で、日常生活の中で人権を損なう扱いを受けた経験があるかについて障がい別では、「精神障害者保健福祉手帳」で、「希望する仕事につけなかった」が多く、「療育手帳」で「職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて低い」が多くなっています。

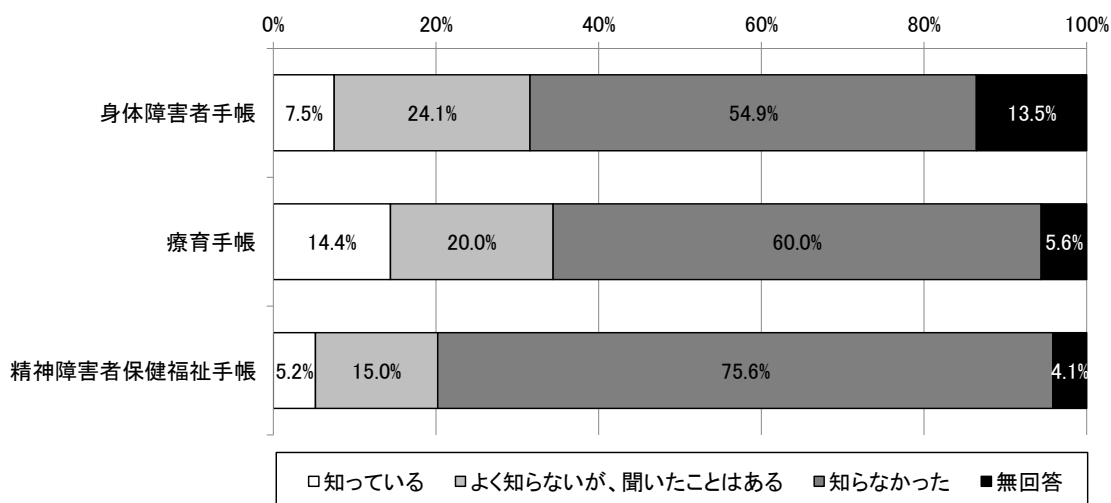


項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者 保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
希望した学校に入学できなかった	8	0.6%	19	7.6%	2	1.0%
希望する仕事につけなかった	40	3.1%	15	6.0%	39	20.2%
職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて低い	27	2.1%	33	13.2%	18	9.3%
障がいを理由に退職を迫られた	19	1.5%	8	3.2%	17	8.8%
差別用語を使われた	40	3.1%	26	10.4%	21	10.9%
電車や施設の利用を断られた	11	0.9%	4	1.6%	1	0.5%
親族の冠婚葬祭への出席を断られた、開催を知らされなかった	11	0.9%	11	4.4%	4	2.1%
家族や施設の人から暴力による虐待を受けた	8	0.6%	7	2.8%	11	5.7%
周りの人や施設の人から性的な嫌がらせを受けた	2	0.2%	4	1.6%	7	3.6%
年金が自分のために使われなかったり、知らない間に預金が引き出されるなど、財産が侵害された	4	0.3%	3	1.2%	6	3.1%
賃貸物件への入居や移転の時、障がいを理由に断られた	3	0.2%	3	1.2%	1	0.5%
食堂やホテルなどで利用を断られた	12	0.9%	3	1.2%	1	0.5%
受診や治療を断られた	21	1.7%	11	4.4%	11	5.7%
その他	19	1.5%	13	5.2%	7	3.6%
特になし、わからない	796	62.7%	115	46.0%	79	40.9%
無回答	331	26.1%	34	13.6%	33	17.1%
全体	1,270		250		193	

問 40 障がいのある人もない人も、互いにその人らしさを認め合いながら、共に生きる社会をつくることを目指し、障がいを理由とした差別の解消を推進するための法律である「障害者差別解消法」をご存知ですか。(1つに○)

★療育手帳(問 32)・精神障害者保健福祉手帳(問 34)

障がいを理由とした差別の解消を推進するための法律である「障害者差別解消法」を知っているかについて障がい別では、「知っている」は「身体障害者手帳」で7.5%、「療育手帳」で14.4%、「精神障害者保健福祉手帳」で5.2%となっています。

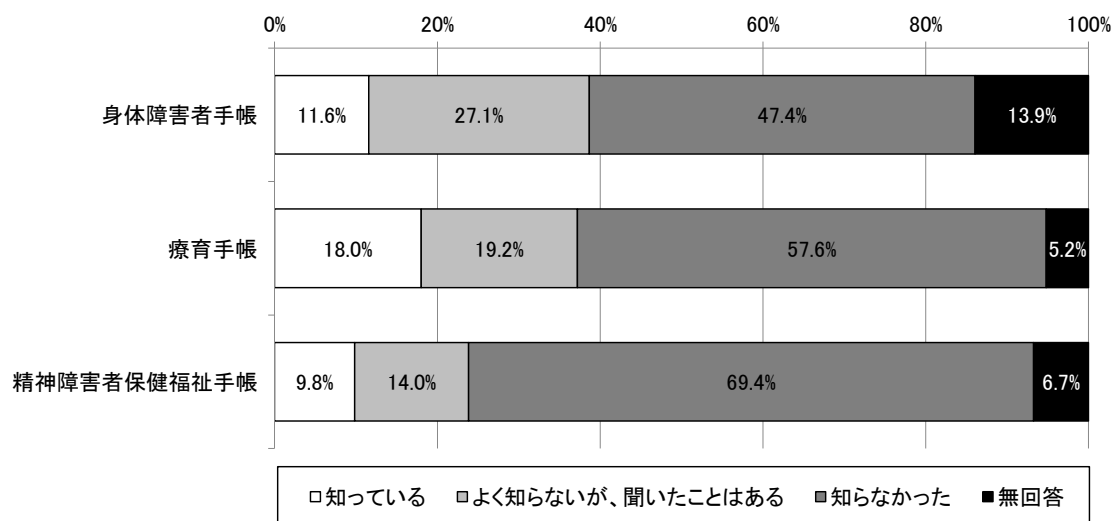


項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
知っている	95	7.5%	36	14.4%	10	5.2%
よく知らないが、聞いたことはある	306	24.1%	50	20.0%	29	15.0%
知らなかった	697	54.9%	150	60.0%	146	75.6%
無回答	172	13.5%	14	5.6%	8	4.1%
全体	1,270	100.0%	250	100.0%	193	100.0%

**問 41 障がい者に対する虐待を防止することで、尊厳を守り自立及び社会参加を助け、障がい者の権利利益の擁護に資することを目的とした「障害者虐待防止法」をご存知ですか。(1つに○)**

★療育手帳(問 33)・精神障害者保健福祉手帳(問 35)

障がい者の権利利益の擁護に資することを目的とした「障害者虐待防止法」を知っているかについて障がい別では、「知っている」は「身体障害者手帳」で11.6%、「療育手帳」で18.0%、「精神障害者保健福祉手帳」で9.8%となっています。

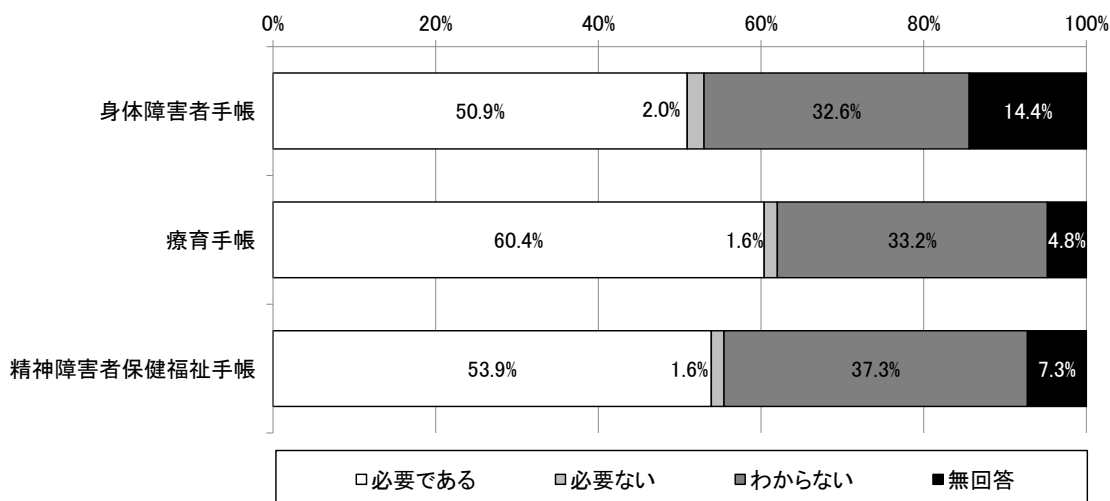


項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
知っている	147	11.6%	45	18.0%	19	9.8%
よく知らないが、聞いたことはある	344	27.1%	48	19.2%	27	14.0%
知らなかった	602	47.4%	144	57.6%	134	69.4%
無回答	177	13.9%	13	5.2%	13	6.7%
全体	1,270	100.0%	250	100.0%	193	100.0%

**問 42 今後、行田市において「障がい者差別禁止条例」の制定の必要性をどのように考えますか。(1つに○)**

**★療育手帳(問 34)・精神障害者保健福祉手帳(問 36)**

行田市において「障がい者差別禁止条例」の制定の必要性についての考え方について障がい別では、「必要である」は「身体障害者手帳」で50.9%、「療育手帳」で60.4%、「精神障害者保健福祉手帳」で53.9%と5割から6割の方が必要と回答しています。



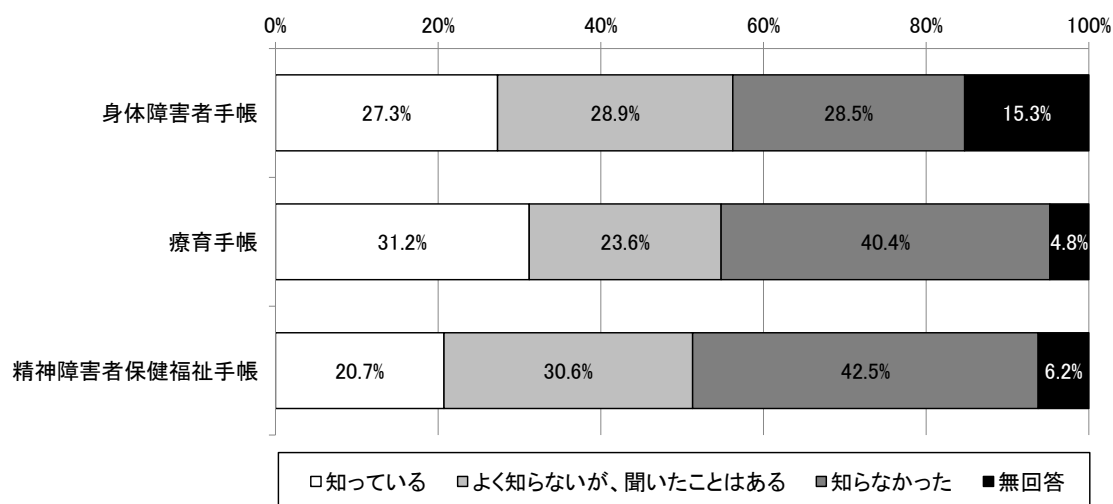
項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
必要である	647	50.9%	151	60.4%	104	53.9%
必要ない	26	2.0%	4	1.6%	3	1.6%
わからない	414	32.6%	83	33.2%	72	37.3%
無回答	183	14.4%	12	4.8%	14	7.3%
全体	1,270	100.0%	250	100.0%	193	100.0%



**問 43 あなたは「成年後見制度」をご存知ですか。(1つに○)**

★療育手帳(問 35)・精神障害者保健福祉手帳(問 37)

「成年後見制度」を知っているかについて障がい別では、「知っている」は「身体障害者手帳」で27.3%、「療育手帳」で31.2%、「精神障害者保健福祉手帳」で20.7%となっています。



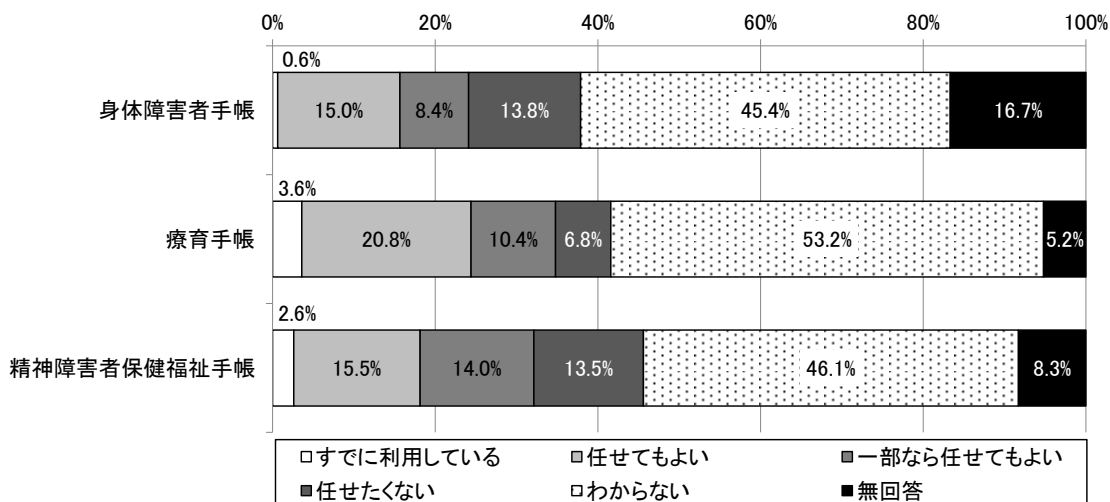
項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
知っている	347	27.3%	78	31.2%	40	20.7%
よく知らないが、聞いたことはある	367	28.9%	59	23.6%	59	30.6%
知らなかった	362	28.5%	101	40.4%	82	42.5%
無回答	194	15.3%	12	4.8%	12	6.2%
全体	1,270	100.0%	250	100.0%	193	100.0%

**問 44 あなたは、万一自分自身では判断ができなくなった場合、「成年後見制度」を利用し財産管理などを任せることについて、どう思いますか。(1つに○)**

**★療育手帳(問 36)・精神障害者保健福祉手帳(問 38)**

万一自分自身では判断ができなくなった場合、「成年後見制度」を利用し財産管理などを任せることについて障がい別では、「任せてもよい」は「身体障害者手帳」で15.0%、「療育手帳」で20.8%、「精神障害者保健福祉手帳」で15.5%となっています。

また、「すでに利用している」は、「療育手帳」で、3.6%となっています。



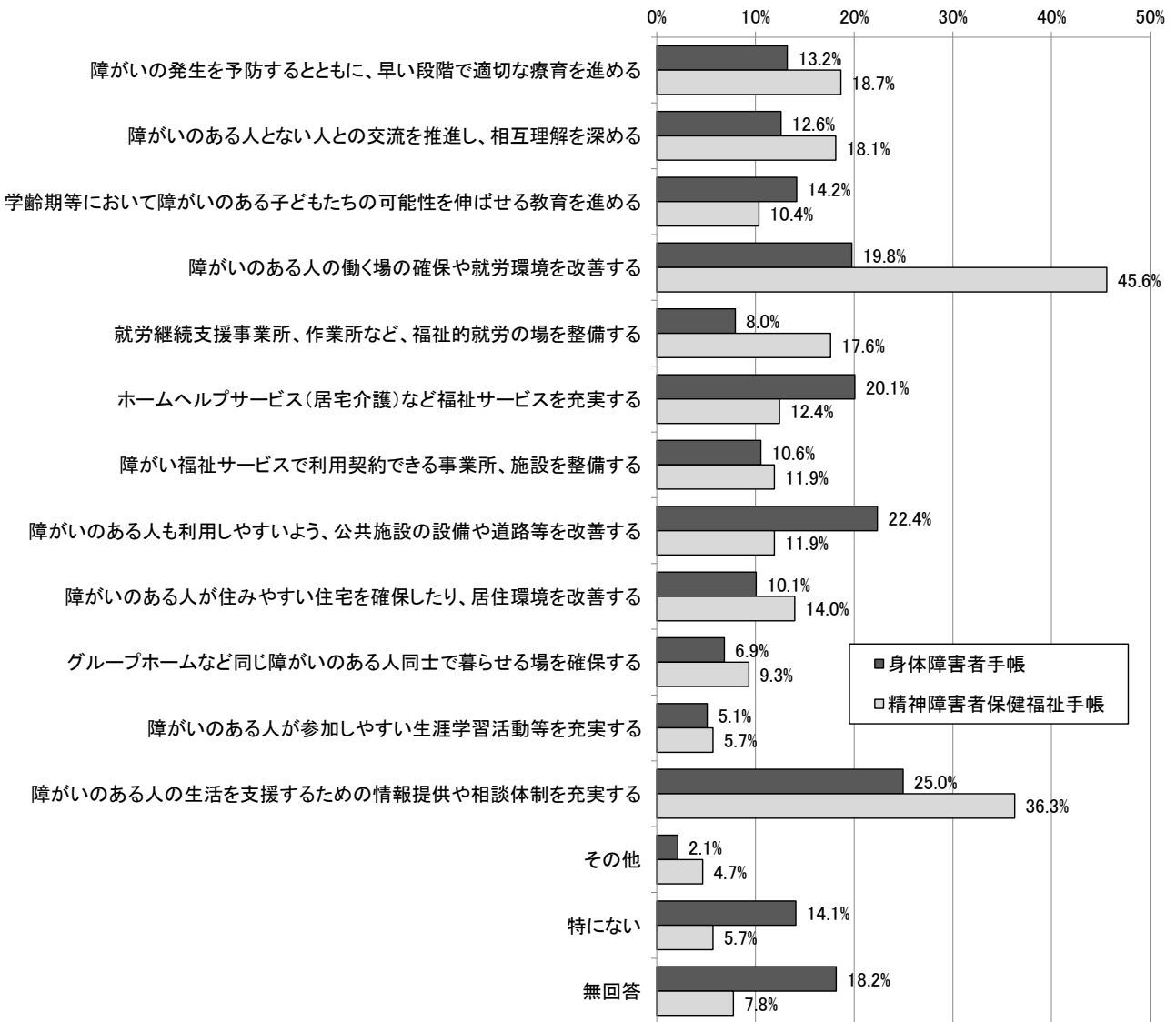
項目	身体障害者手帳		療育手帳		精神障害者保健福祉手帳	
	n	%	n	%	n	%
すでに利用している	8	0.6%	9	3.6%	5	2.6%
任せてもよい	191	15.0%	52	20.8%	30	15.5%
一部なら任せてもよい	107	8.4%	26	10.4%	27	14.0%
任せたくない	175	13.8%	17	6.8%	26	13.5%
わからない	577	45.4%	133	53.2%	89	46.1%
無回答	212	16.7%	13	5.2%	16	8.3%
全体	1,270	100.0%	250	100.0%	193	100.0%

**問 45 行田市としてはこれから、特にどのような施策に力を入れてほしいと思いますか。(3つまでに○)**

**★精神障害者保健福祉手帳(問 39)**

行田市としては特にこれから、特に施策に力を入れてほしいことについて障がい別では、「身体障害者手帳」で、「障がいのある人の生活を支援するための情報提供や相談体制を充実する」が最も多く、次いで「障がいのある人も利用しやすいよう、公共施設の設備や道路等を改善する」となっています。

また、「精神障害者保健福祉手帳」で、「障がいのある人の働く場の確保や就労環境を改善する」が4割を超え最も多く、次いで「障がいのある人の生活を支援するための情報提供や相談体制を充実する」が多くなっています。



項目	身体障害者手帳		精神障害者 保健福祉手帳	
	n	%	n	%
障がいの発生を予防するとともに、早い段階で適切な療育を進める	168	13.2%	36	18.7%
障がいのある人とない人との交流を推進し、相互理解を深める	160	12.6%	35	18.1%
学齢期等において障がいのある子どもたちの可能性を伸ばせる教育を進める	180	14.2%	20	10.4%
障がいのある人の働く場の確保や就労環境を改善する	251	19.8%	88	45.6%
就労継続支援事業所、作業所など、福祉的就労の場を整備する	101	8.0%	34	17.6%
ホームヘルプサービス(居宅介護)など福祉サービスを充実する	255	20.1%	24	12.4%
障がい福祉サービスで利用契約できる事業所、施設を整備する	134	10.6%	23	11.9%
障がいのある人も利用しやすいよう、公共施設の設備や道路等を改善する	284	22.4%	23	11.9%
障がいのある人が住みやすい住宅を確保したり、居住環境を改善する	128	10.1%	27	14.0%
グループホームなど同じ障がいのある人同士で暮らせる場を確保する	87	6.9%	18	9.3%
障がいのある人が参加しやすい生涯学習活動等を充実する	65	5.1%	11	5.7%
障がいのある人の生活を支援するための情報提供や相談体制を充実する	317	25.0%	70	36.3%
その他	27	2.1%	9	4.7%
特になし	179	14.1%	11	5.7%
無回答	231	18.2%	15	7.8%
全体	1,270		193	

## ⑩自由記述

### ◎ 最後に、ご意見、ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。

- 私は1級身体障害者ではありますが、家族にも恵まれ地域の方にも恵まれ感謝の気持ちでいっぱい生活しております。自分の持っている知識と技術で皆様にお返しをしています。  
【男・65歳以上】
- 障害者自身の行田市で、生活しやすい様にと、このようなアンケート募集感謝します。でも、高齢と体力不足で書き込むのが大変でした。デマンドタクシーなど大いに助かります。普及に力を入れてください。一人になり自分の事が出来なくなったらどうしようと常に不安になります。不安解消のためのPRをよろしくお願いします。【女・65歳以上】
- 市役所周辺だけではなく市全体を見て頂きたい。私の知り合いにも子供たちのいる市に移り住みたいという人が多いのでこのままですと人口減少になる前に対策を考えたほうがいいと思います。不便なところに住んでいる人にも目を向けて欲しいと思います。【女・65歳以上】
- 行田市役所福祉課の職員に相談しても苦情は受けるが施設等に指導は出来ないと言われ、結局、埼玉県庁福祉部に相談して調査と改善指導を施設にして頂きました。市役所は適切な情報を提供してほしい。相談だけ受け付けてくれても解決策に結び付けないなら出来るところを考えて欲しいです。結局自分で施設を探さなくちゃいけないと言われた時は何の為の相談受付かと途方に暮れました。これでは市民は孤立させられてしまうのだなと実感しました。納税者の納得いく福祉政策が出来る行田市であってほしいです。無理ならその理由を公表してほしいです。自治体によって違うので選択の数を増やしたい。【無回答・無回答】
- 在籍している小学校の校長先生教頭先生の障害児に対する対応や教育に積極的ではない様子がとても残念。特に障害のある子供は人との関わりがより大切だと思うので改善を期待したい。【女・18歳未満】
- 高齢になり、今後、どんな生活が待っているか全くわかりません。でも、元気で生活できる限りこれからも頑張っていきたいと思います。81歳になった今ですが家族のために役に立つ人間でありたいと毎日を送っています。不自由なところや痛いところがあってもこれが私の普通の毎日だからと思いながら。【女・65歳以上】
- 身体障害者に対する協力をお願いします。【男・65歳以上】
- 南河原に住んでいますが JR 行田駅に直接行けないので熊谷駅から電車に乗っています。市政では福祉に気を配ってもらい有難いことです。【女・65歳以上】
- 場外放送の音が聞き取りにくい。【男・65歳以上】
- 相談の内容についてもアンケートをとるべき。【男・40～64歳】
- なるべく早く要望に答えるようにして下さい。【女・65歳以上】
- 考えて頂けませんか？産業災害による右上肢の第一指を欠くもの。【男・65歳以上】
- 私は交通事故で右手の親指をなくしました。最初は大変でしたが今では洋裁以外は出来ます。  
【女・65歳以上】
- 車椅子で出入り出来る店や病院、床屋、商店など改善してほしい。【女・40～64歳】
- 障害や高齢化は避けて通れません。いかに暮らしやすく生活し、最後を迎えるかは大変重要な問題です。自助、共助、公助の相互間の取り組みで安心した老後の生活を考えています。  
【男・65歳以上】
- 複数の病院受診、薬合わず。病気で治療をしています。保険が適用せず60万の実費で放射線治療をしました。又後期高齢者で3割の医療費になり、個人の保険料も主人の年金収入と合併となり多いです。せめて障害者の医療費は少しでも負担が軽くならないでしょうか。  
【女・65歳以上】
- 歩行が困難になりつつある今、生活するうえで交通の便があるなしを身にしみる感じがします。100円で利用できるバスは是非利用したいものですが残念ながら停留所が遠い為利用できません。表通りだけでなく村部の生活も考えて頂きたい。【女・65歳以上】
- 食生活の大事なことを伝えて欲しい。(水分を多くとるなど)【男・40～64歳】
- 災害発生時の備蓄品に大人用の紙おむつや紙パットはあるのでしょうか？311の時に必

- 要性を感じました。長期に保存しても悪くなるものではないので。【男・65歳以上】
- 外見ではわからない障害者はバス電車等乗り物で優先席に座ることが難しい。なにか印になるものがあれば有難い。【女・65歳以上】
  - 信号に音声があるといいと思う。歩道の段差が多すぎ。歩くとき不便。行田市全体に歩道をつけてほしい。【男・65歳以上】
  - 自治会のあり方。借家において近隣との交流がほとんど無い昨今です。自治会に半強制的に入れられ順番に回ってくる役員。規約の中には障害のある人は除くとあつたりするが私は障害者であると大手を振って個人情報と言いたくありません。障害者の弱みにつけこんでよからぬ電話も横行しています。【男・40～64歳】
  - 老人ホームに入ると実費が多くなるのに、何も手当てが無い。もう少し考えて負担を少なくしてもらいたい。支援サービスもお願いします。【男・65歳以上】
  - 私は、今の所、特に困っていることはないですが、年毎に障害程度が増すと思いますので、この様なアンケートは引き続き実施して頂きたいと思います。【男・65歳以上】
  - 福祉課などの方への障害や病院への教育をお願いします。【女・40～64歳】
  - 障害者が一般企業で働いていてもすべての人が理解している事はないに等しい。【男・40～64歳】
  - 所得税や住民税の減税について詳しい情報と対応について知りたい。【男・65歳以上】
  - 今は、夫の支えで不自由なく生活していますが、夫が亡くなった後の生活に不安を感じます。ヘルパーを利用しないとと思っています。利用の仕方金額等時間等市役所に行かずに電話等で専門サービスがあれば。【女・65歳以上】
  - 障害があっても障害を感じさせない社会を望みます。【男・65歳以上】
  - もっと障害者に対して支援補助を充実させて明るい行田市を造って行って欲しい。【男・40～64歳】
  - やさしい町楽しい町行田市になるようにお祈り致します。【女・65歳以上】
  - 定年退職後再就職先（パート）を探しているが働き先が見付からない。希望した仕事で面接は通っても最終的に障害者ということで断られてしまう。障害者の定年後でも働ける（希望者）環境を整えてほしい。定年後の障害者は特に高齢ということもあり再就職が困難。シルバーでも健康な人という制約がある。障害者でも障害のない人と同じ仕事を出来る人はいます。【男・40～64歳】
  - 外出先で一番困ることはトイレです。洋式のトイレが必要です。【女・65歳以上】
  - 情報提供よろしくお願いします。【女・65歳以上】
  - 聴覚障害にとって幼いころの言語獲得が大切。その為により高度な補聴器が必要。もっと支援を多くしていただけたら、多くの子供達がもっとうまく言語獲得が可能になると思う。様々な予算が削減される中、大変だと思いますが、将来のある子供たちの為にもよろしくお願いします。【男・18歳未満】
  - いい取り組みだと思います。アンケートの発表も市報等で紹介してください。【男・40～64歳】
  - 障害の人の為の計画改定ですが、障害者の計画改定により不便になることがないように望みます。【男・40～64歳】
  - 障害者差別禁止条例は必要な事だと思います。サポート等問題はたくさんあると思いますが、行田市の取り組みを応援しています。【女・40～64歳】
  - より良い生活ができるようにお願いします。【女・65歳以上】
  - 1ヶ月に1度福祉課の窓口に行っています。みなさん親切で感謝しています。【無回答・無回答】
  - 歩道整備は市から県に言ってほしい、高齢化が進んでいるのだから、真剣に取り組んでほしい。【女・65歳以上】
  - 字が小さくて答えづらい。【女・40～64歳】
  - 百姓を頑張っています。【男・65歳以上】
  - 他人から見えない障害についても広く知らせてほしいと思います。【男・65歳以上】

- 繊維筋痛症はとてつらいのに、支援・等級を得られない、動くのも、じっとしているのも痛い。5級はあんまりです。金銭面もフォローしてください。【女・18～40歳】
- 障害はありますが、自分の事は全てできますが、できなくなった時、市にお願いしたいですが家族間でも相談してもらいます。【女・65歳以上】
- やすらぎの里機能回復訓練、このまま継続お願いします。【男・65歳以上】
- 生活保護の金額を増やしてほしい。【女・65歳以上】
- アンケートがわかりにくい。【男・40～64歳】
- 要介護1.2の介護施設の利用回数や時間を増やしてほしい施設への市の補助金を増やせないか。【男・65歳以上】
- 治療以外にも金銭的に費用もかかり、生活するのも大変。できればもう少し金銭的にサポート願いたい。【女・40～64歳】
- 医療費に対して大変助かっています。【男・65歳以上】
- 障害者が市内でどのようなサービスを受けられるのか定期的に教えてください。医療費申請についても他の市と違いがあるので不安になります。【女・40～64歳】
- 高齢者等多い為認知症が進んでいても介護施設へ入れない。【男・65歳以上】
- 姪に介護を希望しているのですが、話に乗ってくれません。今すぐ困っています。どうかしてください。【女・65歳以上】
- 夫が私の病状が徐々に進行していくことを理解してくれず、できなくなってきた家事等をしてもらうとき必ず嫌味を言う。言葉づかいも悪くなって、夫に話しかけることが怖くて仕方ない。できることなら別居したいが一人で生きていくことができないので、日々ご機嫌取りで心の疲労も限界にきている。【女・40～64歳】
- ガソリン券の使用できる店がない。【無回答・無回答】
- 補聴器をつけても会話は無理になって3年、今は介護保険制度利用です。【男・65歳以上】
- 妻も難病で医療負担が大である、税制面での負担を減らしてほしい。【男・40～64歳】
- 1人暮らしの為、市にお世話になりたいと思います。【女・65歳以上】
- 固定的な収入がある人間には補助等が打ち切られるのでは、と不安になりました。収入解答欄があったので。【男・40～64歳】
- 市に置いて医療費負担があるので良いと思います。【女・無回答】
- 将来病気が進行して寝たきりになるのが嫌です。今後とも障害者の為にご尽力をお願いします。【男・65歳以上】
- 市役所の中が暗い、福祉課の柱のセロテープの跡がべたべたに残っている。職員に5Sが徹底していないのでは？【男・65歳以上】
- ホームページに情報がない。【女・18～40歳】
- 災害時要支援者登録に申請をしたいがどのような手続きの方法があるのか知りたい。【女・65歳以上】
- 障害者が両親の死後、今まで住んでいた家で何らかのサポートを受けて、生前と同様に生活できるような形態が成立することを望みます、ただし、障害者本人の意向優先とは思いますが。【女・65歳以上】
- 足が不自由な人はタクシーが高くお金がない、こんなアンケートに答えて実現するのはいつのことやら【女・65歳以上】
- 重度の夫を自宅で介護しています、いろいろな支援ありがとうございます。【男・65歳以上】
- 市長はじめ、福祉に関わる役所の方々に市内を車いすで移動してほしい。【男・40～64歳】
- 障害者手帳を持っている人にタクシー等の割引券を発行してもらいたい。【男・65歳以上】
- どんな職場であれ差別は絶対いけません。昇給差別はいかかなもののでしょうか、できないことがあればまわりのものが補助すれば足ります。ご一考をお願いします。【男・65歳以上】
- アンケート調査の質問が多い。もう少し少なくしてほしい。【男・40～64歳】
- 行田市「福祉課」にはいつも良くして頂き、感謝いたしております。今後とも障害が進んでいく中でより一層の支援をお願いしたいです。【男・65歳以上】

- 障害者になってまだ8ヶ月。これからどうなるのか先が見えません。一日一日生活していくしかないと思います。【男・40～64歳】
- 高齢者なのでその日を健康で生きていけるように頑張ります。【男・65歳以上】
- 障害によって等級によって利用できる様々な制度をわかりやすく情報の提供をしてほしい。【女・40～64歳】
- 市役所の人はこちらから聞かないと何も教えてくれない。障害者に対して行田市待遇が悪い。福祉課の人は不愛想。変な目で見ると。障害者手帳発行するのにお金かかりすぎ。診断書代くらい払ってほしい。ほかの市町村のほうが障害者に対してやさしい。障害者同士の交流で知りました。【男・40～64歳】
- 日頃、お世話様になっております。窓口での対応あたたかくともうれしく思います。ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。【女・65歳以上】
- 旦那と借家を借りて2.5万円家賃で2人暮らしていますが年金が一月に11万円くらいでは生活に足りません。あと5万円くらいでいいから多くしてください。よろしく。【女・18～40歳】
- 病院の駐車場で障害者用スペースは空いていない場合があるので困ることがある。【男・65歳以上】
- 手厚い経済面での援助をお願いします。【女・65歳以上】
- このアンケート調査については、年齢別なのか障害のある児童生徒なのかよくわからない。90代・80代～60代とか年齢別の条件が必要かと思いますが。途中で読む気がなくなる。若い人が都会に出ていくので空き家問題の方が喫緊の問題ではないか。【女・65歳以上】
- 人工透析の治療を受け始めて30年になりますが国の支援である社会保障費のおかげで本当に助かっています。感謝の気持ちでいっぱいです。ですが透析生活が長くなるとストレスからか軽いうつやパニック障害なども時々起こります。専門的なことや健康相談、心理的なことほかの障害者を交えての懇談会などを開催していただけたらと思います。【女・65歳以上】
- 50代で障害者にもう少し社会で仕事がしたかった。障害者と言われもう誰にも役に立てず手間をかけてしてもらえないと思ってしまい、かなり切なくて涙した。同じ障害を持つ人に支えられ前向きになった。【女・40～64歳】
- グループホーム・ケアハウスなどで経営の実践を教えている人が障害者に対する扱いが極めて冷たい。これから社会福祉法人だろうかと疑念を持つことがある。監視官公庁に目を光らせてもらいたい。【無回答・無回答】
- 車いすが必要な時など親切に教えていただき助かりました。【男・40～64歳】
- 障害者と健康人の給料の差があまりにも差がありすぎると思います。【女・65歳以上】
- 福祉・介護ではお世話になり大変助かっています。しかし以前一部の職員の対応に制度に疑心が生じました。特に福祉介護にありましては、職員の人格が重んじられる課であってほしいと願っています。【女・65歳以上】
- きれいごとや上っ面なことを言っても何も変わらなければ意味がない。行田市はもっと予算の使い方を社会保障（特に生活保護者補助）に重さを置いて頂きたい。日本の各市町村に恥じない市政を願います。【男・40～64歳】
- 行田市に障害を持った方々がどの程度どのくらいの人数がいるのか？また、市はどのような対応をしているのか。私自身あまり知りませんでした。私自身は、軽い障害ですので日々、人とのコミュニケーション・食事・体を鍛えることには十分でありませんが、気を使っています。（絵画クラブ主人との散歩・ストレッチ・野菜の多い食事）これからはもっと障害者に対する勉強も必要だと思います。【女・65歳以上】
- 障害者用駐車場に健常者家族などが平気でとめて親子でスキップしていくのを見るのはつらい。羽生イオンだけはカード式ゲートを設けていますがこの問題は障害者には通用しません。【男・65歳以上】
- 障害のある人がこの量と内容の回答は負担ではないかなと思います。返信する封筒も小さく検討してください。【女・40～64歳】
- 私はデイケアに週4回行っていますが、支払いの時、高くなり生活費が大変です。ざっくば



らんに意見を聞いてくれるの(ケアマネ)ではなく私に合ったふさわしい人を探しています。

【女・40～64歳】

- 受けられるサービスをすすめてほしい。【女・65歳以上】
- カラオケ体操など楽しくて健康になる場所がほしい。認知症が増えている現在ですが増えないようにダンス・運動・頭を使うことがあるといいと思う。また、集い、公園内でお茶を飲みながらおしゃべりする。【男・40～64歳】
- 老々介護をしておりましたが、病人の手足麻痺が進み介護者(妻)の体力が劣り倒れて骨折すると大変なので介護付き施設に入りました。今まで支給されたおむつやガソリン券が打ち切られました。少しの貯金と年金が頼りの私どもには痛手です。重度心身障害者医療受給資格者証を受けています。おむつ・ガソリン券の補助の再考をお願いします。【男・65歳以上】
- 私は大きな病気をしましたが、身の回りを自分でできるようにとリハビリを頑張ってきたし、今ではできる範囲で体を動かしています。とにかく病気・けがをしない体づくりが大切なことを一番感じています。障害者本人はもちろん大変ですが、家族の支援も考えてほしい。なるべく外に出ることができる方法を考えてほしい。【女・40～64歳】
- 先日、敬老の日のお祝い品(タオル一枚)頂きました。以前はドロップの飴があったと思います。戦前戦中戦後を生き抜いて働いて苦労してきた人がすべてだと思います。タオル一枚はいかがなものか。もっと感謝する心があってもいいと思います。他市では90才になると座布団と市長がお祝いに来てくれます。この意見は市長・市議会議員に見せてください。もっと福祉を考えてください。【女・40～64歳】
- 医療ケアが必要な障害児でも受け入れてくれる保育園・幼稚園が必要です。子育て世代定住促進をしているならなおさら公立の保育園を増やす・効率の幼稚園を設立してほしいです。【女・65歳以上】
- 障害者の人に対していろいろと考えてくれていると思います。感謝しています。㊸の1は人に思いやりも小さいときから勉強できていじめがなくなると思うし、障害者の子のために将来助ける仕事に就きたいと思うことも増えると思います。(医者・看護師・介護士)など【女・65歳以上】
- 一人一人が違うので細かい対応が必要となる。【無回答・無回答】
- 高齢になって脳障害を患ってから言語が聞き取りにくいので皆に迷惑がかかり話をするのに気が引ける。【女・65歳以上】
- いろいろ市が心配してくることでありがとうございます。もう歳が歳で先がないので、生きられるだけ生きていくつもりです。行田で生まれて80年生きてきました。でももう先がないようですね。いろいろなことがありましたが一生を過ごしてきました。本当にありがとうございます。【男・40～64歳】
- 紙面のアンケートだけでは、障害のある方達が本当に必要としている福祉サービスが何かわからないのではないかと思います。目に見える公共施設の改革だけではなく、障害のある方たちに対する意識の改革も必要だと思う。【男・65歳以上】
- 支援を受けるについて自分で決められるようになればリハビリの回数が多く受けられ、早くよくなると思います。【男・65歳以上】
- アンケートも形式的にやっているのだと思うが本気で改善をする気があるのか?市長の姿勢を聞きたい。目先の人気取の行動がどうか?行田の10年後、20年後のビジョンが示されない今の状態が行田の政治文化諦め。【女・65歳以上】
- アンケートなんか無駄です。生活者がどれだけ困っているかわかってないし、年金の仕組みに疑問です。年金事務所に相談行った時、障害者年金受けられますと言われたけれど、いざ手続きすると、初診証明が無ければ無理ですと追い帰された。ショックでした。この仕組みに納得がいきません。そのものの仕組みに腹が立ちます。【男・65歳以上】
- 障害者の経済状況は一部の人を除き、就業実態からして自立した生活を望むのは、困難な状況である。せめて年金と併せて10万円以上の所得確保を目指して欲しい。【女・65歳以上】
- 私たち**服部**は夫婦で脳梗塞を発生しました。夫婦なので不便な所もあります。でもお互いに助け合って行かなければと思っています。そうなってくれば良いなと思っています。【女・

65 歳以上】

- 今は施設の人に全部お任せしています。【女・65 歳以上】
- 提出期限にもっと余裕をもって送付お願い致します。【男・65 歳以上】
- 現在、東松山の施設に入居しているが、費用が高く、行田市内の特養施設おきなに入居申し込み中だが11カ月待っているが、入居できず、経済的に限界にきています。頼る所もなく、夫と二人家族です。特養施設の入居が1日でも早く実現するよう願っています。このままでは介護難民となり共倒れとなってしまいます。【男・40～64 歳】
- 今、私（伊藤久五郎家、6 人家族）はアスベストの屋根の建物に囲まれた生活をしているために一日14～16回、喉の奥がキュキュウと痛くなり咳がそのたび15～18回出て苦しいです。私の家の前の倉庫、約363㎡（110坪）の屋根もアスベストで当時65件に対する特別同和対策事業により市や国からの補助金で建てられた物ですが今では5件程しか使っていません。約30年前に建てられた物件ですが、アスベストの屋根と知りながら市や県は何時まで放置するのでしょうか（お答えください）また私の隣の屋根もアスベストで風が吹くたびガタガタと音を立て擦れてキラキラと青白い光が風に流されて不気味です。【女・65 歳以上】
- このようなアンケートをとって果たして向上的なまとめが出来るかどうか、私だったら時間がかかっても生活している現場に足を運び、一件一件皆様の生活が違うようにどのようにしたら家族にあう協力体制が出来るか、努力したいと思っておりますが、机の上で何が出来るかやはり外に出て身の回り等を見る目が必要と思われれます。【男・65 歳以上】
- 今のところ状態が落ちついているので困っていることはないですが、家族が少ないので将来が不安です。またそれゆえ自分自身が家族の介護をしなければならなくなる場合もあるし、常に予防などを心がけております。【女・65 歳以上】
- このようなアンケートを初め、障害者支援のため行政が努力している事に、敬意を表します。今後共宜しくお願いいたします。行田市に住んでいて幸せです。【女・65 歳以上】
- 各自治会の民生委の皆様は15年間の内1回も顔を出してくれない。家族がいても、いなくとも障害者の家、親のいない家など励ましの言葉があってもいいと思っております。昔と今変わりあると思っておりますけど少々はその気持ちがあってもよいかと思っております。【無回答・無回答】
- 現在、重度心身障害者医療費受給者ですが、市外の病院で受診した時、申請書を提出していません。申請書に、マイナンバーをその都度記入しなければなりません、1度登録しておけば毎回の記入を省略することはできないでしょうか？セキュリティの面で心配になります。よろしく願います。【男・40～64 歳】
- 行田には安心して行くことのできる病院がない。多数の人が遠くはなれた病院で治療している。皆が安心して行ける総合病院（市民病院）の設立を望む。【女・65 歳以上】
- ・デマンドタクシーがとてもありがたいです。（感謝です）・福祉タクシー券が5枚で終わりです。3月までが心配です。【女・18～40 歳】
- 介護認定について見る人によって介護度に差があるように思う。また認定も3カ月ごとまたは6カ月ごとに見直しは出来ないものか。年間同じ介護度ではない人もいると思うので改訂してほしい。圧迫骨折等により一人で歩く（杖使用）事が出来なくなっても以前と介護度が変わらない。人によっては少し歩けても同じではおかしいのでは？【男・65 歳以上】
- 障害の有無に関係なく、全ての人がお互いに助け合って生活出来る市になってほしいと思っております。【女・65 歳以上】
- 障害者の支援は大切だが障害者を抱える家庭の生活支援はもっと重要であり、必要である。行政とはこの点からの更なる配慮を望む。【女・65 歳以上】
- 現在、特に不自由もなく仕事もしております。現在の状況が長く続くよう、努力してゆきたいと思っています。【女・65 歳以上】
- 職業訓練に通っているけど、なかなか就職がなく収入もないので心細いです。好きな事が出来ません。同じ位の人との交流また活動の場があったらな～と願っています。このままではだんだんとひきこもりになりそうです。【女・65 歳以上】
- 差別禁止の件無理と考えます。唯々静かを望みますのでよろしく。【男・65 歳以上】

- 外見は障害者か否か判断できないので権利を主張したり、障害者である事を隠したり、真に身勝手な事だと思っています。収入も少額より多額の方が良い(色々な事が解決できるから)義務には鈍感で権利に敏感になっている昨今。色々な支援に感謝しています。◎封筒のバーコードは何。アンケートなのに個人特定されているようでイヤです。【女・65歳以上】
- 心臓機能障害(ペースメーカー埋め込み)は、心房細動、心室細動があり、ペースメーカーで心臓機能維持を行っている。現在ペースメーカーで心臓機能を維持しているが、人によっては万全ではなく、心房心室細動を起こす危険があり、3年で更新(等級)は不当であると考え。小生は心房細動で2回の手術を行い、改善はされたが万全ではない。法律の改正が必要と考える。等級更新は不要であると考え。また再更新が可能にするべきである。【女・65歳以上】
- 毎年、「重度障害者自動車燃料費助成券」をもらっていますが、手入れの給油所しか使えないので、非常に不自由しています。手入れの給油所は市役所の近くの1カ所しかなく、「何かあるのでは・・・」とってしまいます。(けっこう多くの人が思っています)行田市内のどこでも使えるように改善できないものでしょうか?セルフの店でも金額指定で給油はできるので、無理ではないのでは・・・【女・65歳以上】
- アンケートに回答しましたが、意味があるのでしょうか?以前市役所福祉課に勤めている方に差別を受け、嫌な思いをしました。そんな方々が先頭に立ち障害者の気持ちがわかるとは思いません。まずそこから考えを直していただきたいと強く思います。残念です。【男・65歳以上】
- ガソリン券を1ヶ月1000円ではなく、もう少し上げて下さい。羽生病院、鴻巣病院に行くので・・・【女・65歳以上】
- 人間の平等、公平という意味をどう解釈するのか?人間の個性とは・・・障害者も一つの個性ではないのでしょうか?【女・40~64歳】
- 利用者目線に立った「循環バス」にしてほしい。市街地の南大通線の利用者だけのものになっている。農村部からのアクセスを考えてほしい。できなければ「循環バス」を廃止し、タクシー利用補助券の交付等考えてほしい。空っぽバスを走らせることはない。「費用対効果」を考えてほしい。【男・65歳以上】
- 施設利用がもっと円滑に行われるように仕組みを簡単にしてほしいと思います。収入の少ない家庭には税金の免除を増やして欲しいです。【男・65歳以上】
- 自分の障害はどれかわかっているので分かり易く記入できるようにしてほしい。人生の後半で障害者になった人、生まれた時からの人といらっしゃるのでひとまとめにできないと思う。【男・18歳未満】
- 短期入所で感じました。ヘルパーさん、職員さんのいたれりつくせりの生活です。自分で出来る事は本人にしてもらう事になりませんか?見守りという形で?全部見て頂くと何か無気力になるような気がします。家に帰った時にその分私がしてあげなくてはと思います。事故を無くす為には仕方ない事なのでしょうね!何か1つで良いから改善して下さい。【女・65歳以上】
- 質問の仕方(書き方)が分かりづらい。【男・40~64歳】
- 社会福祉協議会に車椅子の1週間の貸し出しをお願いしたら、介護は何級か?とか(とってない)と言うと貸せないと言われた。何のための福祉かがっかりです。一番の福祉を受けているのは、困った障害者を助けるべき。役所の人は何も仕事をしないで高給を得ていることです。【無回答・無回答】
- このようなアンケートを定期的に行うことで、市民にとってよりよい町づくりができると思います。【男・40~64歳】
- 障害者は収入が無い為に家をリフォームしようとしても年金だけでは無理。【男・65歳以上】
- いつもお世話様です。お父さんもです。よろしくお願い致します。ありがとうございました。【女・65歳以上】
- 医療費が安くなりましたこと喜んでおります。【男・無回答】
- 難病膠原皮膚筋炎多発性筋肉10年障害者作業施設8年おりますが、一般就職できないかと

難しいかなと思っております。生活のために考えております？アンケート調査ありがとうございました。【男・65歳以上】

- 歩道には側溝下水のフタの上を使用している道路が多い。段差や隙間で足元が不安定になりやすい正規に歩道を設置か改良して欲しい。【女・65歳以上】
- 市営住宅に入居してしまうとエレベーター付の県営に入りたいと思っても1度ここを出て、一般のアパートに住んでからじゃないとかえられないのが不便ですね。【男・40～64歳】
- 障害者手帳をもらってから感じたことは不自由、不便等ありますが自分だけしかわからないことですので前向きに生きていかなければと生活しています。【女・65歳以上】
- 高齢で病気の親の元へ通うのに交通費がかかります、交通費の減免をお願いします【男・40～64歳】
- 色々な所で車いすが借りられるとよい。【男・65歳以上】
- 同じ3級で障害者根金をもらえる人とももらえない人がいる、平等にしてください。【男・65歳以上】
- 厚生年金と共済年金が途中でやめたためか、もらえない。問い合わせても理解できない、目の障害で相談にも行けず不安です。【女・40～64歳】
- 現状で受けられるサービスの案内がない。行政から案内が欲しい。【女・65歳以上】
- B級グルメもいいですが、障害者が元気に生活できる市政を本気で行っていただきたい。【女・40～64歳】
- スーパーなどの車スペースにみんな気軽に車をおくこと。【女・18～40歳】
- 本人介護3。今年6月胃ろうの手術をしてハートフルに泊りでお世話になっています。私は物忘れと脊柱管狭窄症のため右腰が痛く介護1です、一人娘は千葉に住んでいます、仕事を辞め、平日5日行田へ来て見舞い、買い物・洗濯、リハビリの送り迎えは手伝ってくれます。ハートフルで一生世話をしてくれるよう切望します。【女・18～40歳】
- 担当課の皆様へ感謝します。【女・65歳以上】
- アンケート内容が多く困りました。もう少し内容を考えてください。【男・40～64歳】
- 現在は、配偶者と居るから大丈夫ですが、どちらか一人になったら、子供たちと相談して福祉サービス等利用させていただきます。自分の事が出来る時は、一人暮らし高次脳機能障害等は延命しないで安楽死認めて戴き、安らかに眠らせて欲しいと要望です。【男・40～64歳】
- 脚の悪い私にとって読書は楽しみです。立派な図書館が出来て嬉しいのですが遠いです。熊谷駅近くにある図書館の分室のような小さいので良いから行田市駅近くにあると便利。デマンドタクシー便利です。ありがとうございました。【無回答・無回答】
- 障害児でも受け入れる公立の保育園を増やすか公立の幼稚園を設立してほしいです。昨年保育園落ちました。もしくは児童発達支援を保育園幼稚園と同等位まで（母子分離給食など）充実して欲しいです。【男・40～64歳】
- 移動中にスマホの使用を禁止してください。歩いているとき車の運転中など携帯に夢中で危なくて信号も守らず怖いです。【男・65歳以上】
- 質問数が多すぎる。もっと完結に。5分以内で返答できるよう。【男・65歳以上】
- どんな支援があるのか具体的にわからない。【男・65歳以上】
- 差別は昔ほどなくなりましたが、まだまだ弱い者はおいてきぼりにされているように思える。特に障害者はまだまだです。【男・40～64歳】
- 体の具合が悪くなったときには、デイサービス等をお世話になると思います。【女・40～64歳】
- バスの本数を増加して欲しい。隣の市町村にバスで行けるようにして欲しい。【男・65歳以上】
- 高齢者には親切にして欲しいと思います。ありがとうございます。行田市でも100歳以上の人が100人以上居るとの事で色々大変なことがあると思いますが高齢の方には親切にしてあげてください。【女・65歳以上】
- ストマー使用のみで障害意識なし。【女・65歳以上】
- 仲間がいることがとても大事で元気がもらえます、ただこれから高齢となり仲間と会えなく

なったりすることが寂しくなります、障害者の方は前向きで元気でびっくりします、そういう姿を見ていると私は恥ずかしくなります、私は障害者だと人に言えないから。【男・40～64歳】

- 近くで診察してくれる病院がない。夜間困っている。【男・65歳以上】
- 年金と少ない息子の収入。税金も滞納。私に生活保護できるでしょうか？【女・65歳以上】
- 成年後見制度の必要性を障害を持っている人のご家族などに理解しやすい資料があったらと思います。発達障害を早期発見できる体制があると障害とならないこともあるのではと思います。【男・65歳以上】
- 障害の度合いや種類に応じた生活や学習ができるような支援があれば子供たちにとって過ごしやすいと思います。【女・65歳以上】
- 音声、言語・そしゃく機能障害で手帳を頂きましたが、特に生活に困ることもなく、結婚もして普通に生活しております。【女・40～64歳】
- うつ病と認知症の症状がすごく夜中に何度も排尿の訴えをしてくる。睡眠不足です。【男・65歳以上】
- 住みよい行田に。【男・65歳以上】
- 障害者らしくとは、どのようなことでしょうか？自由に行動したいのですが、なかなかできず人つきあいは難しいですね。最近行田市民の温かさを実感できるようになりました。【女・65歳以上】
- 主人は42歳で車の事故に合い、身体障害になり、仕事をしなくて市役所などに相談に行きましたが受け入れてくれる所がなくやるせない気持ちです。なんでもいので働ける場所を作ってほしいです。【女・65歳以上】
- 呼吸器装置の医療的ケア児で特別支援学校ですら、親の待機が必要です、現在は小学校に通っていますが、数時間でも付添をしなくてもいいように看護師配置を希望します。【無回答・無回答】
- 障害者福祉サービスの事業所の車が障害者用の駐車場に止めてある。障害者を降ろしたら移動してほしかった【男・65歳以上】
- 障害児の利用できるサービスが少ない、特に重度の心身障害者に対応できる施設がなく家族が閉鎖的になってしまう。【女・65歳以上】
- この先が心配です、今以上の福祉を。【女・65歳以上】
- 行田は災害時の有り方と、いろいろ変わりつつある、宜しく願います。【女・40～64歳】
- 軽、中等度難聴児の助成制度が不十分に思います。学校教育に必要な器具の助成をお願いします、難聴を理由に保育園に入園を拒否されました。民間保育園は親身になってくれそうですが市営は冷たいなと思いました。【男・65歳以上】
- 防災無線の声が低い、耳が悪い人もいる。【男・40～64歳】
- 障害者枠で一般就労していますが賃金が安く仕事もきつく大変です。一方で障害者等級が高いせいで行政のサポート、福祉サービス、助成を受けるのが厳しくて生活していくうえで一番不利で金銭面的に辛いです人生が楽しくないです。【女・65歳以上】
- 障害者促進雇用法における雇用率も従前に比べて引き上げられてきたが実際にハローワークでの求人欄を見ても求人企業がまだまだ少ない、このたび、行田市および市内の事業所への障害者の求人にもと力を入れていただきたい。【男・40～64歳】
- 利用できるサービスが少ないと思う、相談できる場所も少なく悩んでいる、障害がわかってから母親は不安定になるのでそれを支える体制を整えてほしい。保健所の対応も悪い、障害がわかっているのにそのまま放置されている感が半端ない、思い悩み鬱になりそうだ。【女・40～64歳】
- 行田市は障害者に対し行政サービスが良い方だと思います、市役所の方々の対応も良い、これからはサービスの向上を。【男・65歳以上】
- 今後、このようなアンケートを必要とする現状がどうかと思う。レベルが低すぎる。【男・65歳以上】
- 市政運営に当たって特に障がい者の対する思いやりのある各種の施策と講じていただいて

おりますことに対しまして心から厚く感謝いたしております。なお、今後とも何分よろしく  
配慮の程お願い申し上げます。【女・65歳以上】

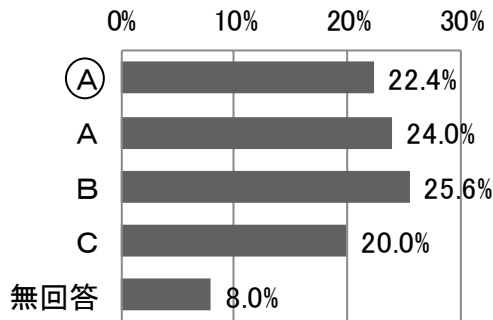
### Ⅲ-2 調査結果(療育)

※療育手帳調査のみの設問の集計結果

#### ①あなたご自身について

#### 問4 あなたの療育手帳の程度は次のどれですか。(手帳を見て1つに○)

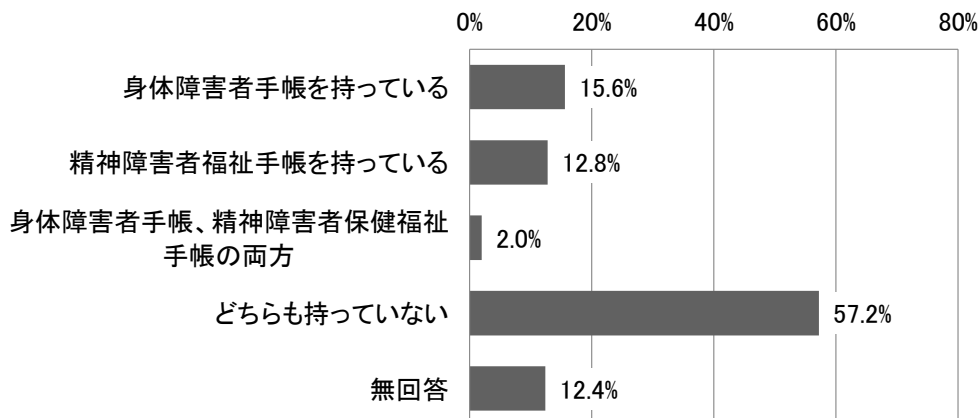
療育手帳の程度では、「B」が25.6%と最も多く、次いで「A」が24.0%、「**Ⓐ**」が22.4%となっています。



項目	n	%
Ⓐ	56	22.4%
A	60	24.0%
B	64	25.6%
C	50	20.0%
無回答	20	8.0%
全体	250	100.0%

#### 問5 あなたは、身体障害者手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(1つに○)

身体障害者手帳または精神障害者保健福祉手帳を持っているかでは、「どちらも持っていない」が57.2%と最も多くなっています。

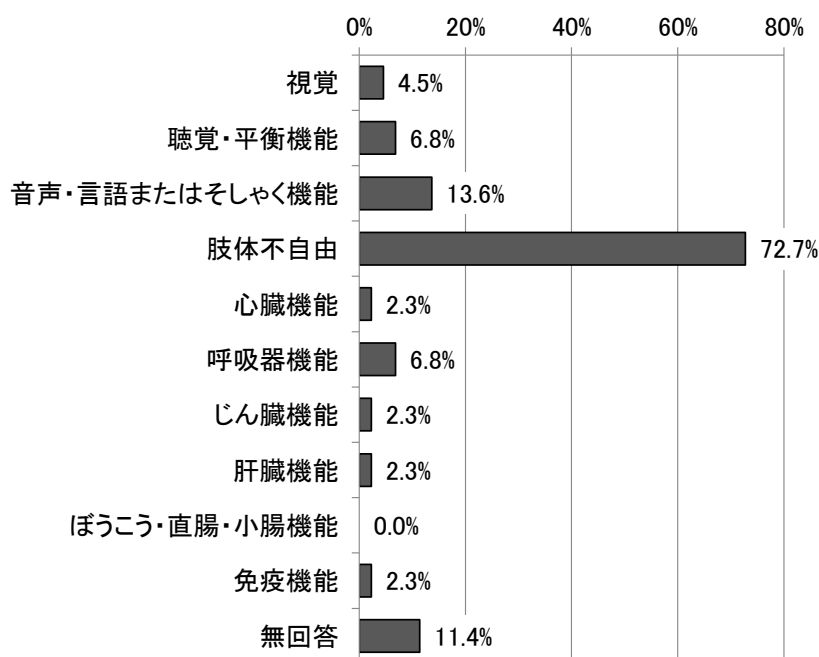


項目	n	%
身体障害者手帳を持っている	39	15.6%
精神障害者福祉手帳を持っている	32	12.8%
身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳の両方	5	2.0%
どちらも持っていない	143	57.2%
無回答	31	12.4%
全体	250	100.0%

（問5で「1. 身体障害者手帳を持っている」または「3. 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳の両方」とお答えの方へ）

**問5-1 あなたの身体障害者手帳（あかの手帳）に書いてある障がいの種類は次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）**

身体障害者手帳（あかの手帳）に書いてある障がいの種類では、「肢体不自由」が72.7%と最も多く、次いで「音声・言語またはそしゃく機能」が13.6%、「聴覚・平衡機能」、「呼吸器機能」が同数の6.8%となっています。



項目	n	%
視覚	2	4.5%
聴覚・平衡機能	3	6.8%
音声・言語またはそしゃく機能	6	13.6%
肢体不自由	32	72.7%
心臓機能	1	2.3%
呼吸器機能	3	6.8%
じん臓機能	1	2.3%
肝臓機能	1	2.3%
ぼうこう・直腸・小腸機能	0	0.0%
免疫機能	1	2.3%
無回答	5	11.4%
回答者数	44	
非該当	206	
全体	250	

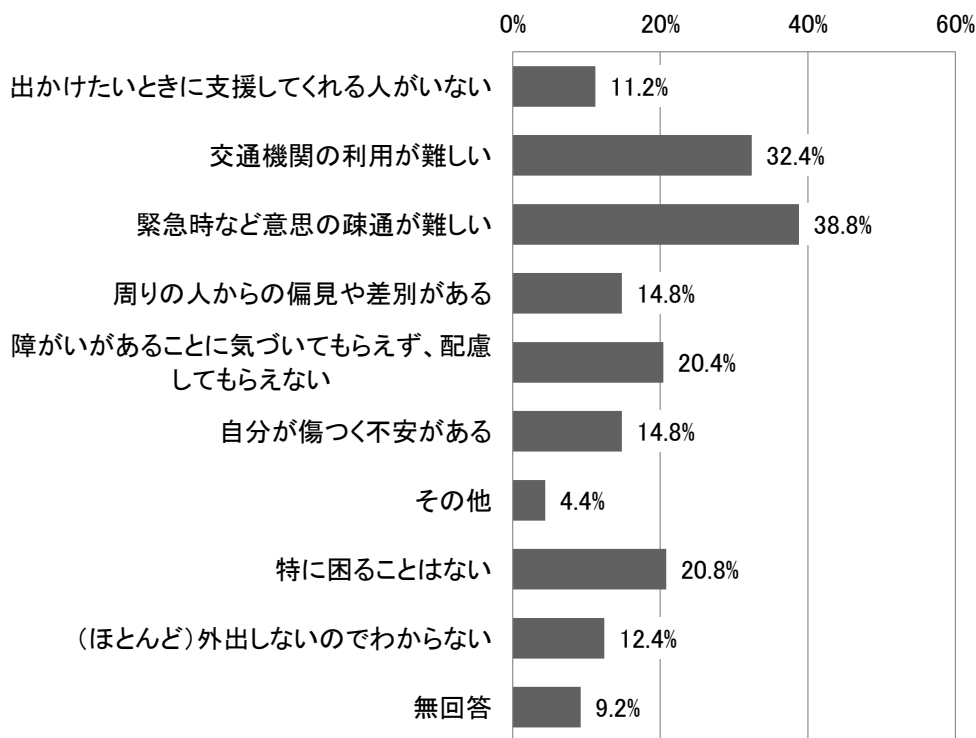


## ②外出や活動について

**問 23 あなたが外出するときに、困ることはありますか。特に行田市内のことについてお考えください。(あてはまるものすべてに○)**

行田市内で外出するときに、困ることでは、「緊急時など意思の疎通が難しい」が 38.8%と最も多く、次いで「交通機関の利用が難しい」が 32.4%、「障がいがあることに気づいてもらえず、配慮してもらえない」が 20.4%となっています。

また、2割以上の方が「特に困ることはない」と回答しています。

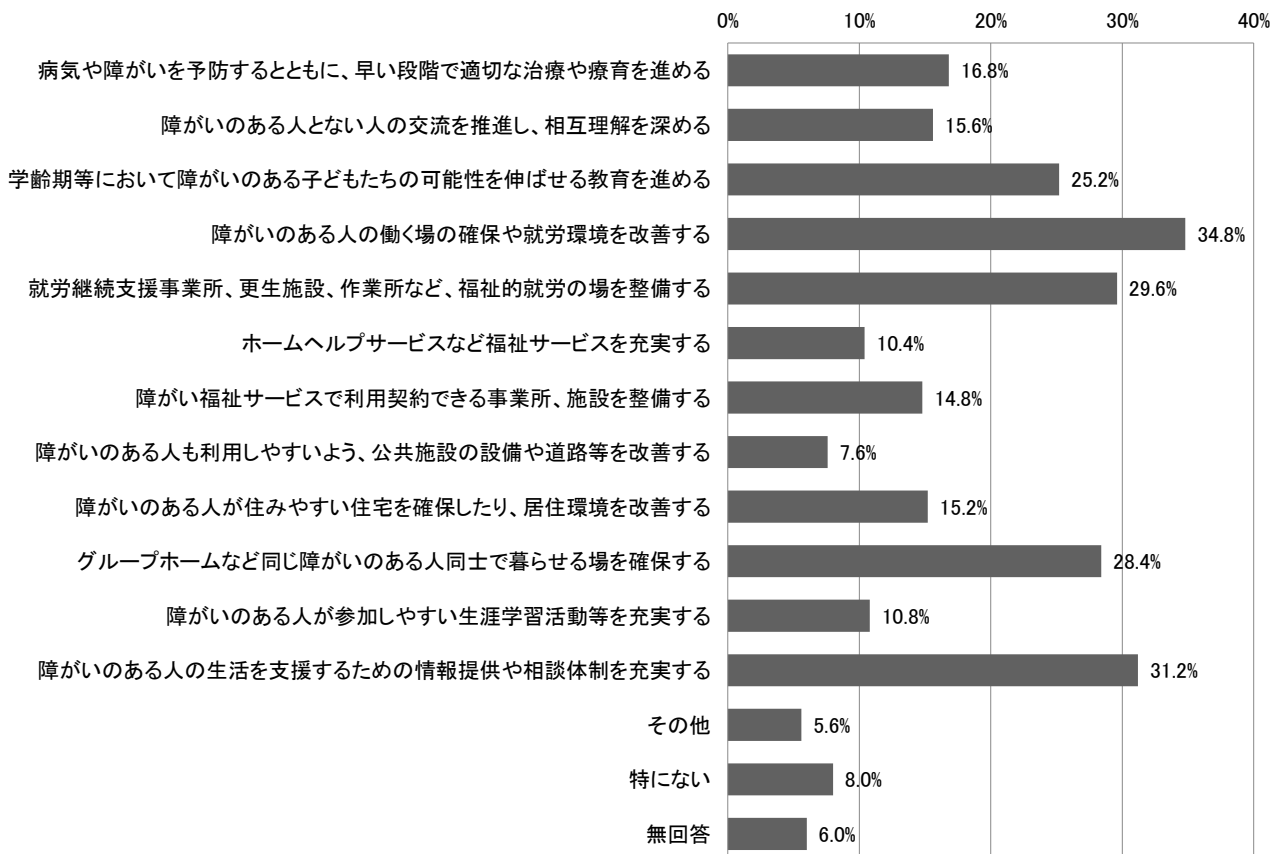


項目	n	%
出かけたときに支援してくれる人がいない	28	11.2%
交通機関の利用が難しい	81	32.4%
緊急時など意思の疎通が難しい	97	38.8%
周りの人からの偏見や差別がある	37	14.8%
障がいがあることに気づいてもらえず、配慮してもらえない	51	20.4%
自分が傷つく不安がある	37	14.8%
その他	11	4.4%
特に困ることはない	52	20.8%
(ほとんど)外出しないのでわからない	31	12.4%
無回答	23	9.2%
全体	250	

### ③障がい者施策全般について

問 36 行田市としてはこれから、特にどのような施策に力を入れてほしいと思いますか。(3つまでに○)

行田市としてこれから、どのような施策に力を入れてほしいかでは、「障がいのある人の働く場の確保や就労環境を改善する」が34.8%と最も多く、次いで「障がいのある人の生活を支援するための情報提供や相談体制を充実する」が31.2%、「就労継続支援事業所、更生施設、作業所など、福祉的就労の場（福祉施設）を整備する」が29.6%となっています。



項目	n	%
病気や障がいを予防するとともに、早い段階で適切な治療や療育を進める	42	16.8%
障がいのある人とない人の交流を推進し、相互理解を深める	39	15.6%
学齢期等において障がいのある子どもたちの可能性を伸ばせる教育を進める	63	25.2%
障がいのある人の働く場の確保や就労環境を改善する	87	34.8%
就労継続支援事業所、更生施設、作業所など、福祉的就労の場（福祉施設）を整備する	74	29.6%
ホームヘルプサービス（居宅介護）など福祉サービスを充実する	26	10.4%
障がい福祉サービスで利用契約できる事業所、施設を整備する	37	14.8%
障がいのある人も利用しやすいよう、公共施設の設備や道路等を改善する	19	7.6%
障がいのある人が住みやすい住宅を確保したり、居住環境を改善する	38	15.2%
グループホームなど同じ障がいのある人同士で暮らせる場を確保する	71	28.4%
障がいのある人が参加しやすい生涯学習活動等を充実する	27	10.8%
障がいのある人の生活を支援するための情報提供や相談体制を充実する	78	31.2%
その他	14	5.6%
特にない	20	8.0%
無回答	15	6.0%
全体	250	

#### ④自由記述

##### ◎ 最後に、ご意見、ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。

- 行田市は市が中心となっている作業所施設が少ない。特に生活保護やグループホームが少ない。存在はするけど空きがないので、みんな必死に探しています。もっと市が関わって、こういった施設を作るべきだと思います。【女性・20歳未満】
- 18歳以上になると生活サポートの費用が上がるので大変使いづらくなると思う。作業所が16時頃で終わってしまうため、それ以降の預かりが難しく、親等の介助者が勤務出来ないため早急に改善が必要と思う。【女性・20歳未満】
- 息子は知的障害があり、さらに脳梗塞を発症しトイレに行くのも困難で二人がかりで大変です。80歳と77歳でいつまで面倒みられるか心配です。車に車いすのマークが欲しいです。障害者にやさしい行田市であって欲しいです。【男性・50歳代】
- 「重度障害者自動車燃料費の助成」ですが、セルフサービスの店舗が増え、現在利用している所も無くなるようなので銀行振り込み等にもしてもらえると助かります。以前住んでいた市は振り込みでした。【男性・20歳未満】
- 熊谷から上尾まで通勤しているので災害時のためにヘルプカードを作って欲しい。【女性・20歳代】
- 私は他県から来たが、この街は住みやすいと思うが、人はやさしいと思えない。隣近所の人でも心をあまり開いていない。【男性・20歳未満】
- 自分(母)の老いを感じるようになってきた。体調も良くない。漠然たる不安はいつもある。【女性・20歳代】
- 成年後見制度に安心して任せられるようにしてほしい。親が面倒をみられなくなった後の生活を援助してくれるサービスを充実させてほしい。【女性・20歳代】
- 成年後見制度については来室して説明してほしい。【男性・40歳代】
- 差別を受けたり、扱いがひどかったり、なかなか理解されず悲しいです。この先、生きていくのが不安になり嫌になります。より良い社会を築いてもらいたいです。【女性・20歳未満】
- 行田にずっと住みたいので住む所がほしいです。【男性・30歳代】
- 老人介護サービスの時間はたくさん取れるのに、重度障害サービス枠が少ない。例えば、訪問入浴サービスは月に4回受けられるが、体調不良などで受けられない時は持ち越して翌月の利用となる。年間48回受けられる権利がほしい。最低でも、夏場の週一回は少なすぎる。【女性・20歳代】
- 質問が難しかったです。【女性・20歳代】
- 私のところに、このアンケート用紙を送るな。【男性・無回答】
- 生活ホームで過ごせるほどの収入も無い。親も高齢になり没後の生活が心配だ。【女性・20歳代】
- 入園を希望する障害児が皆入園出来るよう園へのサポート、調整等をしていただきたい。【女性・20歳未満】
- 高齢者、大人の障害者への福祉サービスは多くあるが、学齢期の障害児に対するサービスは少ない。大切な時期であるので、もっとたくさんのサービスを期待しています。【女性・20歳未満】
- 療育手帳は本人・家族に分かりやすいようにケースを分けるべき。福祉課のパートさんはハッキリ受け答えが出来ないことがあり不安になる。【男性・20歳未満】
- 災害時の避難行動要支援者名簿に登録はしているが、その後何もないのが不安である。医療ケアも必要なため、どこへ避難すれば良いのか分からない。返信用封筒にのり付きテープがついたものを使ってください。【男性・20歳代】
- 個人情報確保をお願いしたい。【男性・30歳代】
- 避難行動要支援者名簿は市役所にあるのでしょうか？【男性・30歳代】
- どんな子供でもわが子はかわいいものですが、母親は常に自分を責め、わが子の将来を心配続けています。家族の笑顔と健康が障害を持つ子供にとって安心して成長出来るものだと思います。行田市のいろいろなサービスを利用し、これからも子育て頑張っていきます。【男

性・20歳未満】

- 段差の解消や道路の整備。外出時のトイレ利用で大人用オムツかえベッドが無いので行田市内の施設に出かけられません。【女性・20歳未満】
- ①手続きの簡素化②情報の提供③市職員の福祉行政についてのレベルアップ④市内障害者施設や事業所等をチェックしてほしい【男性・30歳代】
- 療育手帳取得の手続きや放課後等デイサービスを利用する相談をしてきましたが、毎回、担当職員の態度が悪く不快に感じている。紹介してもらった先に契約しにいったら全然ニーズと合わず、無駄足になったこともある。民間サービスがあれば自費でも良いから利用したいくらいに最近思っている。障害関係の課の職員でしたら、市民の声に耳を傾け、心の温かい方ならもっと相談しやすいのでは……。今まで差別を受けてきました。どうか、職員の皆さんから理解を深めてください。嫌な顔はしないでください。【女性・20歳未満】
- 両親がいなくなっても、すぐ入所出来る場所を、すぐ見つけて入れてほしい。【女性・40歳代】
- 三人兄弟の末っ子ですが、私は82歳になる母親ですが先のことは分かりません。心配です。【男性・50歳代】
- 親が亡くなった後、障害をもつ子が安心して暮らしていけるグループホームや施設を作って欲しい。障害者や年金を持っている人達に住みよい街づくりをしてほしい。【女性・30歳代】
- 準社員なので収入が少ないこと。昇給がないので困っています。【男性・20歳代】
- 知的障害者の入所施設をもっと作って欲しい。障害が重いとグループホームは受け入れてくれません。入所施設はショートステイでさえ予約が全く取れません。障害者の親は病気になっても入院することが出来ません。精神的、体力的にも一杯です。切実な問題です。【女性・20歳未満】
- 障害のある人も一人の社会の一員として、自分で働き、自立出来るような形を作って欲しい。現在では、軽度障害の場合は年金にしても給料にしても、とても自立して生活するのは難しい。親も子も悩みを持っていても、相談し、どう解決し前に進んで良いか分からない。特別支援学校に行っても先生に相談出来るとは限らない。【女性・20歳未満】
- 行田市は私立の幼稚園ですが、障害のある子供を受け入れるには、先生の数が足りないと、どこの幼稚園も言います。私たちの税金を使って、障害のある子供が入園出来るようにしてください。【男性・20歳未満】
- いろいろな手続きの簡単、明瞭をお願いしたい。書類等の解釈が分からないことがある。【女性・20歳未満】
- 市内に医療的ケアが受けられる放課後デイサービスを作って欲しい。【男性・20歳未満】
- 障害者を隔離するような体制を止めてほしい。小中学校の特別支援学級を止めて、普通学級に加配の先生を希望します。障害を持つ子と幼少のころから関わりが当たり前になることで偏見や差別が少なくなると思います。【男性・20歳未満】
- 行田市は他市に比べて福祉サービスが充実しているように思います。このまま現状を維持してもらえると支える家族としてはとても助かります。グループホームが少し少ないように思います。今後、そういった施設も増やして欲しいです。【女性・60歳代】
- アンケートを取っただけでなく、しっかり活かしていただきたい。そして、その結果も知りたい。【男性・20歳代】
- 障害者年金を切られて4年。母は認知症となり、私の病気も年々ひどくなっています。自分一人で生きていく自身も無く、最近では生きるのも辛くなってきました。私は、この先どうすればいいのでしょうか。【男性・40歳代】
- 東松山市のように国のモデルプランになるような福祉の町を目指して欲しい。人口が増加するかも。【男性・20歳代】
- 市内の大病院ほど脳神経や心臓に持病を抱える障害者の受け入れを拒むように感じます。都内の病院に比べて遅れていると思います。市内の個人病院は障害児・者をとても良く面倒見てくれますが、いざ入院となると大病院が難色を示すので不安です。医者医師会はもっと先進的な考えを持ってください。福祉課のみなさんには、いろいろと感謝しています。【男性・

## 20歳未満】

- 11歳の子供に届いたアンケートですが、子供目線での回答はほとんど出来ません。今後、支援者へのアンケートも必要だと思います。【女性・20歳未満】
- 訓練所に、もう少し長くいるにはどうしたら良いですか？福祉課の皆さん、私を助けてください。【女性・40歳代】
- ねーちゃんが1日も長く元気でいてほしい。生まれつき知的障害で限られたことしか出来ないからです。年金で8万円家賃を払って、光熱費払ったら、ねーちゃんがいないと生活できないからだ。【男性・60歳代】
- このようなアンケートをとって行田市で実行できるか不安。【男性・70歳以上】
- 私の家は家族4人ですが、私が一人残ったら家事が出来ません。成年後見制度を利用しようと思いますが、私が障害者だということは母の実家にしか話していません。この先、不安です。【男性・30歳代】
- いろいろなサポートを受けながら過ごしてきたのですが今はそれを利用出来なくなっています。楽しい行事も「行かない！」の意思表示をしています。今は、自分で自分をサポートしています。母より【男性・40歳代】
- 後見人選びにはいろいろ迷いや不安が生じています。出来れば二人以上をつけた方がよいとか、費用はどのような決まりがあるのかとか個人差があるのでしょうか？親の考えですが。【男性・40歳代】
- アンケート集計後、結果や対策をどのようにしようとしているのか・・・等、その後が知りたいです。アンケートが活かされているか心配です。【男性・20歳代】
- 療育手帳、程度、Cでは金銭的支援が無く、困る。少しでも将来の為に出して欲しい。【女性・20歳未満】
- いろいろな福祉制度がありますが、知らないものも多いので、市の方からこんな制度もありますと発信してほしいです。利用している制度で期限があるものについても連絡してほしいです。【男性・30歳代】
- 小児科を受診している時は、生まれつきの病気をほとんどの医師が知っていたのですが、大人になり内科にかかるようになったら病気や障害に関わる知識を持っている医師や看護師がほとんどいないことに驚きました。治療を受けるにも不安があります。【男性・20歳代】
- 諸手続きや相談窓口など欲しい情報が分かるようなガイドブックのようなものがあつたらいいなと思いました。【男性・20歳未満】
- 福祉の手続きは複雑で難しいものです。窓口では知識のある職員の方に対応してもらいたいです。配慮の欠ける対応が多く残念です。【女性・無回答】
- 幼稚園、保育園に入園を希望しても受け入れられず、入れないお子さんが沢山いる。また受け入れてもらっても十分な配慮が受けられず退園せざるをえないお子さんもいる。それぞれ金銭面を理由に断られるので補助の拡大、またその補助金が正当に使われているかチェックしてほしい。もしくは市で公立のこども園等、障害を理由に断られる事のない施設を作してほしい。【男性・20歳未満】
- 自宅にて重度障害の娘を介護しています。親も高齢になり、先の事を考える時不安になります。羽生の支援センター広範囲のため多忙の様子です。重度心身障害者高齢になると身体障害と重複されます。(現在は車椅子生活です)重度心身障害でも身体と同じ公的支援があればと思います。手帳の申請は難しい状態です。【女性・40歳代】
- 障害をもつ子供を育てて、心配なことは私たち親がいなくなった後どのように生活していくのかです。私が元気なうちに道筋がつくようにしてあげなければと思っています。グループホームなどの情報の集め方など教えて頂けるところがほしいです。【男性・20歳未満】
- 母が高齢になったため生活ベースがないことが不安！【男性・20歳代】
- 子供が将来、就労、自立するための仕事の間や生活の間(施設やグループホーム)が行田市は大変遅れていると感じる。障害のため一般就労できず、作業所等でお世話になると、親として悲しすぎる賃金で、将来が本当に心配でならないです。高齢者もですが、自分の力ではどうにも生活を向上することが困難な障害児(者)の人として幸せに暮らせる環境づくりを

ひお願いしたい。聞き取りだけで終わらせないでください！【男性・20歳未満】

■本人はこのアンケートの内容は全然わからない。軽い人向けと思います。【男性・20歳代】

■まだ小学生ですが、これからの進路、本人の将来など先の事が全くわからず、不安です。親がいつまでも元気でついてあげられるわけではないので。【男性・20歳未満】

■足袋蔵の改修とか保存に回すお金があるのなら、それを福祉に回すなど、優先順位と大方の市民のニーズを尊重した市政を行ってほしい。日本遺産関連のことについてはまわりの知人等皆反感の声は多くきかれています。親より【男性・20歳未満】

■・いつもいろいろとお世話になりありがとうございます。これからもよろしく申し上げます。・レスパイトサービスにはいつも助けられています。今後もこのサービスを継続していただけるようお願いします。【女性・20歳代】

■おむつ給付事業を利用させていただいています。紙おむつの配送先は住所の自宅にと決まっているようですが、是非利用しているケアホーム先まで配送してほしいです。他の市では配送してくれますが、行田市のみ自宅のみとなっています。どうかケアホームの配送をお願いします。【女性・20歳代】

■父親です。手帳が発行された時に福祉の相談をしに役所に行きましたが、担当の方が制度を十分に理解されていないように感じられ、結局冊子を渡されただけで終わり。サービスにつながりませんでした。【女性・無回答】

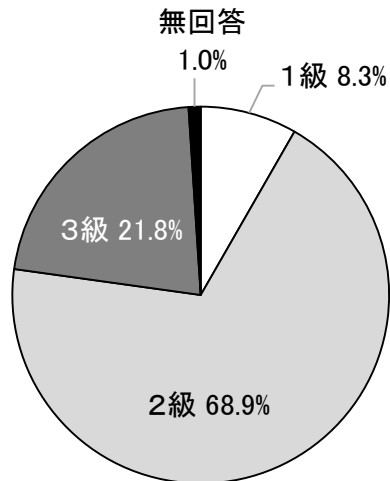
### Ⅲ-3 調査結果(精神)

※精神障害者保健福祉手帳調査のみの設問の集計結果

#### ①あなたご自身について

**問4 あなたの精神障害者保健福祉手帳の等級は次のどれですか。  
(手帳を見て1つに○)**

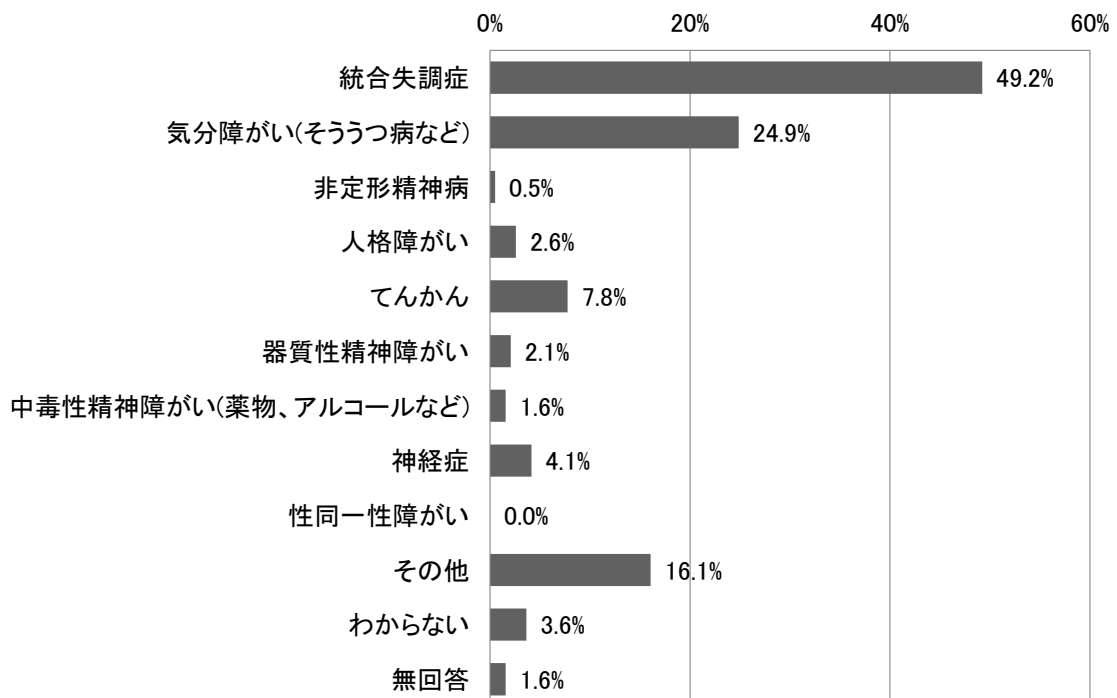
精神障害者保健福祉手帳の等級については、「1級」が8.3%、「2級」が68.9%、「3級」が21.8%となっています。



項目	n	%
1級	16	8.3%
2級	133	68.9%
3級	42	21.8%
無回答	2	1.0%
全体	193	100.0%

**問5 あなたの精神障がいの種類は次のどれですか。あてはまるものすべてに○をつけ、2つ以上ある時は、その中で生活上、最も不便を感じる障がいに◎をつけてください。**

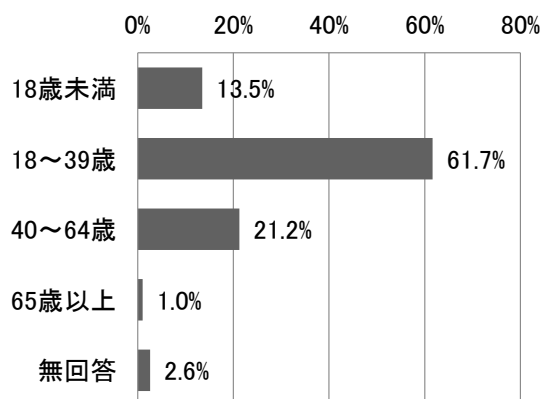
精神障がいの種類については、「統合失調症」が49.2%と最も多く、次いで「気分障がい(そううつ病など)」が24.9%、「てんかん」が7.8%となっています。



項目	n	%
統合失調症	95	49.2%
気分障害(そううつ病など)	48	24.9%
非定形精神病	1	0.5%
人格障害	5	2.6%
てんかん	15	7.8%
器質性精神障害	4	2.1%
中毒性精神障害(薬物、アルコールなど)	3	1.6%
神経症	8	4.1%
性同一性障害	0	0.0%
その他	31	16.1%
わからない	7	3.6%
無回答	3	1.6%
全体	193	

**問6 あなたが初めて精神科・神経科で診察を受けたのは何歳頃ですか。**

初めて精神科・神経科で診察を受けた歳は、「18～39歳」が61.7%と最も多く、次いで「40～64歳」が21.2%、「18歳未満」が13.5%となっています。

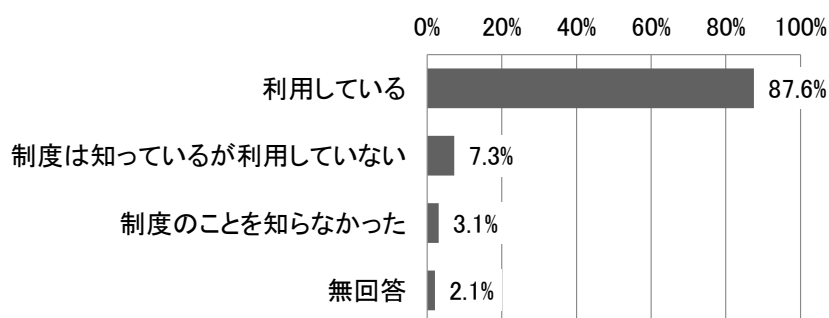


項目	n	%
18歳未満	26	13.5%
18～39歳	119	61.7%
40～64歳	41	21.2%
65歳以上	2	1.0%
無回答	5	2.6%
全体	193	100.0%



**問7 あなたは、「自立支援医療」（精神通院医療）を利用していますか。（1つに○）**

「自立支援医療」（精神通院医療）を利用しているかでは、「利用している」が87.6%と最も多くなっています。



項目	n	%
利用している	169	87.6%
制度は知っているが利用していない	14	7.3%
制度のことを知らなかった	6	3.1%
無回答	4	2.1%
全体	193	100.0%

※なお、この質問において「難病（特定疾患）認定を受けている」というのは、「埼玉県から特定疾患医療に関する受給者証の交付を受けている方」のことを言うこととします。

（問8で「2. 難病認定（特定疾患）認定を受けている」をお選びの方へ）

**問8-1 病名は何ですか。（病名を直接ご記入ください）**

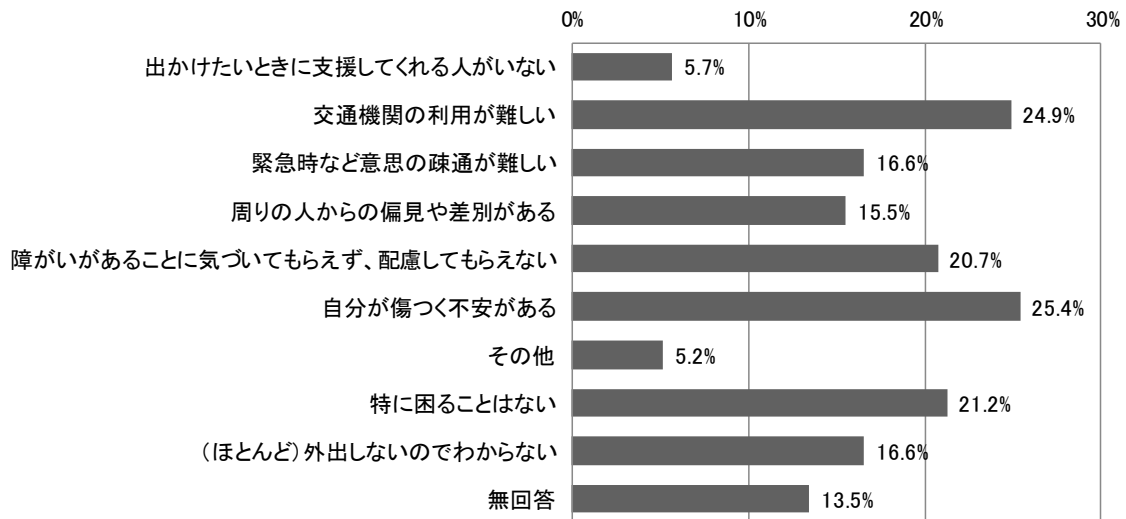
- 統合失調症、ぼうこうがん
- 統合失調症（強迫性障害）
- てんかん

## ②外出や活動について

**問 25 あなたが外出するときに、困ることはありますか。特に行田市内のことについてお考えください。(あてはまるものすべてに○)**

行田市内に外出するときに、特に困ることでは、「自分が傷つく不安がある」が 25.4%と最も多く、次いで「交通機関の利用が難しい」が 24.9%、「障がいがあることに気づいてもらえず、配慮してもらえない」が 20.7%となっています。

また、「特に困ることはない」が 21.2%となっています。



項目	n	%
出かけたときに支援してくれる人がいない	11	5.7%
交通機関の利用が難しい	48	24.9%
緊急時など意思の疎通が難しい	32	16.6%
周りの人からの偏見や差別がある	30	15.5%
障がいがあることに気づいてもらえず、配慮してもらえない	40	20.7%
自分が傷つく不安がある	49	25.4%
その他	10	5.2%
特に困ることはない	41	21.2%
(ほとんど)外出しないのでわからない	32	16.6%
無回答	26	13.5%
全体	193	

### ③自由記述

#### ◎ 最後に、ご意見、ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。

- 生活サポートのイベントが年に2回あるのですが、自分より障害の重い人がたくさんいます。なので、障害の程度が似たような人が気軽に集まれるイベントを公民館などで開催してほしいです。【18～39歳・女】
- 成年後見制度は手続きが大変で配偶者は後見人として認定されるようにしてほしい。【65歳以上・女】
- 私は知的障害はなく、心に障害を持った精神障害者です。何だか内容的に知的障害者と勘違いされている内容を感じました。私には心で準備しておかないと答えられない時が時々あります。そういう時、相手に失礼だったり不自然な行動をとってしまったりします。家族から半月に5千円しかおこずかいが受け取れないのも不満です。【18～39歳・女】
- 夫が先に死亡した場合を考えると、将来の事（ヘルパーさん）を考えると不安になります。【65歳以上・女】
- 重度障害者への医療費の支援、デマンドタクシー等。障害者に対する扱いが充実しつつある。【40～64歳・女】
- 現在1歳になる息子と夫との3人暮らしでホームヘルプサービスで育児支援を受けています。将来、夫が亡くなってしまった時に何をどうしたら子供を守れるのか育てていけるのか経済面でとても不安を感じてしまいます。そういった相談窓口を増やしてほしい、作ってほしいです。【18～39歳・女】
- 障がいといっても障がい特性が人それぞれに違うので、なかなか理解して頂けないことがとても苦痛です。社会全体で支え合う世の中になれば、障がい者が障がいを感じることなく生活がしやすくなるのではないかと思います。昔よりは障がい者への差別や偏見は少なくなったとは思いますが、行政からの働きかけをお願いします。【18歳未満・男】
- 入院をしてお金の負担が大きい。父親も介護施設に通っています。お金が足りません。働きながら介護をされていて疲れしました。会社でも親戚でも近所でも相談できる人がいません。【40～64歳・女】
- 同じ病気の方のグループホームに入りたくてもお金が高くて入れない。障害年金だけでは生活が出来ない。今は親が居るからなんとかかなっているが、いなくなった時は困ります。【40～64歳・男】
- 中野江位子 50才が毎日家にいて働かない。親の年金で生活している。親も年でどうしようもない。病院なり生活保護でも受けてもらいたい。10年以上家から一步も出ない。助けてほしい。僕は結婚してほしいと申し込まれているが親が反対している。結婚したい。母親は頭を手術している。僕はまともに働いて生活しているが、頭がおかしいと母親がいう。【40～64歳・男】
- 障害に負けずに頑張りたいです。障害のある方への理解は今の社会は本当に難しいと思います。障害のある方も差別なく共存できるように。ひとりでも障害のある方がいるのだと知ってもらうためにも早いうちに教育が必要だと思います。精神障害は目に見えないので、やっぱりその人を受け入れてあげる感性が大事だと思います。そういう人になりたいです。このアンケートをきっかけに障害についてもう一度問い直すことができました。ありがとうございました。よろしくお願ひ致します。【18～39歳・女】
- 障害者年金の増額を強く望みます。【18～39歳・女】
- 今後、すぐに正常者が障害者の心理・状態の立場を理解し決して差別する社会はさけて欲しい。正常者が障害者の気持ちを理解できれば、お互いの立場を同等し、日本の社会を改善し、そのことによって平和な社会が生まれると思います。決して差別は反対です。このことを心掛ければ日本は世界レベルで高い国に発展すると思います。【40～64歳・男】
- 地域の理解が物凄くないので困ってしまいます。障害への差別もあります。（保健センターの方に理解していただきたいです）病気になりたくてなっているのではありません。（困った時の居場所がないです）人間は皆その人の立場にならないとわからないのです。家族もそうです。お互いにストレスが溜まって疲れてしまいます。病院の先生だけではなく身近な人

- にも必要であります。特に居場所であります。【65歳以上・女】
- 通院している所で担当の医者が親身になってくれない。【40～64歳・女】
  - 行田市は精神科専門の病院がなく、今の先生が高齢なため、将来、行田市に通う病院がなくなるのではないかと思います。どうか精神科病院の設立をお願いいたします。【18～39歳・男】
  - 「心身共に健康な人」という求人などを見ると複雑な気持ちになる。特に公共機関での求人に多い。職業選択の自由はないのか？精神障害者の就労はとても厳しい。行田市が改善に取り組んでほしい。【40～64歳・女】
  - DV相談したら命の危険がないため保護できないといわれた。精神的苦痛は我慢しろといわれた。軽々しくよくそんなことが言える。市役所がこんなことしてもお金のムダ。時間のムダ。埼玉県も行田市もおかしい。事件がおきてから動くらしい。【18～39歳・女】
  - 障害者でも人間として扱ってほしい（人権）十分な職業や移動の手段を確保してほしい。経済などの充実した生活を…地域の人達との交流の場をもうけてほしい。偏見や障害者でも生活の場をお願いしたい。働く＝生活＝安定この3つを基盤として、安心した生活を送りたい。【40～64歳・男】
  - 自分がその人の立場になって、もしもこんなことがおきたら苦しい、たすかる、生きていてよかったと思えるような考え方、行動してもらいたい。1人1人考え方、育ち方はちがうけれど皆平等に24h365日あるということを忘れてはいけない。【18～39歳・女】
  - 図書館が市役所の近くにあったらいいなといつも思います。あと市内循環バスの本数が少なく、一度乗ると短い時間で用事をすませるか長時間かけて用事以外の事もするかでいつも悩む。市役所の障害窓口担当の方へ、出来ればもう少しはつきりゆっくりお話してください。早口だと聞き取りづらいです。よろしくお願いします。【40～64歳・女】
  - 文字を読むのが大変でしたが、集中するのが大変でしたが、なんとかアンケートに答えたりもります。ちゃんと内容を理解し、答えられているのかとても心配です。【18～39歳・女】
  - とても内容がむずかしく障害を持つ子のアンケートには無理があるのでは。【18～39歳・男】
  - 少人数で家族的なデイサービス、ショートステイがあるといいと思います。1人の職員が10数人も世話をするのはいいかげんな扱いで虐待したくなる気持ちもわかります。【40～64歳・男】
  - 偏見などがなくなる世の中になったらいいなと思う。【40～64歳・女】
  - 健康とだんだん年金（1月10万）がへっていくので生活の心配があります。【65歳以上・男】
  - 自転車でも歩道を通っても良いように法を改定してほしい。精神障害者が自転車で歩道を通れないのは困ります。【18～39歳・女】
  - アンケートがきたこと自体驚きを禁じえない。まず一番になにに困っているのか？それはお金の事しかないと思う。一人で暮らして病院に通えるだけの金額を月に何故くれないのか？生活保護をとればよいということですか？働けない人もいる。それにあわせて障害の等級というものが存在するのではないのですか？弱者になっている人に障害年金だけでくらしただけの金額がほしいです。減らされてしまいましたが、子供の教育にお金をさくこと、介護にお金をさくこと、障害者も同じなのです。区別しないでください。【18～39歳・女】
  - 他県から引っ越して来たのですが、病院を探すのにとっても苦労しました。あっても予約で3カ月待ち…。精神科系の病院が少ないなあと感じます。【40～64歳・女】
  - 近隣の差別を受けている。例えば、自治会活動の場で。あらぬ嫌疑をかけられて迷惑をかけられている。弱者とみて知的障害とみられていて単独で行動するとやりたい放題の嫌がらせをされる。夫に相談後、抗議しても「そんな事はしていない」とうそをつかれる。行田市にきてから10年間、嫌がらせの無い日はない。【40～64歳・女】
  - 私はある障害者で15才の頃から精神障害者ですが福祉課の職員の方々のお陰様で何とか援護を受けながら生活しております。色々とお難うございます。これからもよろしく願い申し上げます。福祉課職員御一同様。ある障害者より【65歳以上・女】
  - 高齢で介助しているため体調不良のとき介助が大変です。いつも思っていることは現在は健康で介助していますが自分が病気になったらと思うと日々不安でたまりません。【65歳以

上・女】

- 高齢で介助（2人）しているため体調不良のとき大変です。現在は健康で介助していますが自分が病気等になったらと考えると日々不安でたまりません。【40～64歳・男】
- 障害者の年金（厚生年金）を生活できる金額にしてほしい。【65歳以上・男】
- リハビリをする為に総合福祉会館へ通っているのですが、循環バスを利用して本数をもう少し増やしてほしいです。【40～64歳・女】
- タクシー券をいただいているのですが有難いことではありますが、私にとっては使いにくいです。身体のことを思い歩かなくては！と考えると外出しても使わないということになります。また、吹上駅より長野一丁目付近までタクシーを使う場合、タクシー券1枚使っても現金の支出も多い為、結局使わずにバスで帰宅。というのが現実です。今後、障害者に限らず一人暮らし世帯が増加するように思います。ひきこもりを防ぐ為にスーパーのイートインコーナーのようなところが食と直結していて良いのでは。スーパーに協力してもらい、イートインコーナーをもう少し人が集まりやすい場所にしたらどうか、しかし、何でも…で、決めたことを作り（禁煙など）ほどほどに。【40～64歳・女】
- とにかく将来が不安。年金が打ち切りになりぎりぎり会社の給料で生活している。【40～64歳・男】
- 夫の理解が得られないのが辛い…。（自分の事は自己責任なのだから自分で治せ！）とても悲しい事実で離婚も考えているが一人で生活してゆく自信が持てないのでいつもガマンガマンガマンの毎日。（夫もイライラしているから理解できないのだと思う）【65歳以上・女】
- 病が発病するまでほとんど知らない設備やサービスがほとんどなので、もっと知ってもらえる環境にして欲しい。三級の障害者だと障害者年金がもらえないので、もう少し制度の条件を緩和してほしい。【18～39歳・男】
- 古河の病院に入院して10年になりますが、3年程前消化器系の病気になり3カ月入院したのですが人間関係で問題をおこし退院しました。現在、古河の前の病院に入院中ですが（10年）精神科と外科などの総合病院に入れたらよいと希望しております。今は車椅子の生活ですが病院の方達に良くして頂き感謝しております。【40～64歳・男】
- 今は仕事をしていますが、仕事を終りにした時点で年金少ない為、生活していけなくなるのか心配です。認知症に絶対なりたくない。家族に迷惑かけたくない。【65歳以上・女】
- 平成30年度介護報酬改定及び障害福祉サービス等報酬改定で検討されている共生型サービスに向け介護・障害・医療の連携が図れるよう準備を行って欲しいと思います。また、文書のICT化促進介護ロボットの普及をすすめ、障害者の高齢化に対応できるよう整備が必要と感じています。【40～64歳・男】
- 息子は発達障害です。親である私も息子の行動が理解できず悩みました。原因がわかるまで10年かかりました。今では治療が遅れたことが悔やまれてなりません。【18～39歳・男】
- 障害者も色々ありますが、その人の病気に感ずるもの年齢に合わせたもの、似た者同士で暮らせる場が欲しい。少家族なので家でみるのも精神的・身体的負担が大きい。また1級2級の方は施設に入れない1・2級でもは入れる所を考えてみてはどうでしょうか？たいへんですけど、ぜひ願います。なるべく低料金で…。【無回答・男】
- 姉の代わりに答えさせて頂きました。現状として職場復帰がなかなか難しく、姉のように他人とコミュニケーションを取るのが苦手な人にとって、周りの理解を得ながら安定して働くということがいかに大変なことか考えさせられます。相談窓口もよくわからず、以前市役所の窓口へ行った際もあまり具体的に相談にのって頂けなかったのが、役所の中にも専門的な知識を持った方が専用の窓口を作って下さると、相談しに行きやすいかと思えます。目には見えない精神障害の方の支援の場が少しでも充実してくれればと思います。【18～39歳・女】
- 病状が安定しないと、退院及び、福祉サービスが受けられないと思うので、精神科の技術レベル、体制の向上を計ってもらいたい。私は代筆していますが、本人は何回も入退院を繰り返して、なかなかよくなりません。同じ病院に入院している人でもそのような人はたくさんいます。結局病状が安定しなければ福祉サービスが充実しても利用できないと思います。【40～64歳・女】

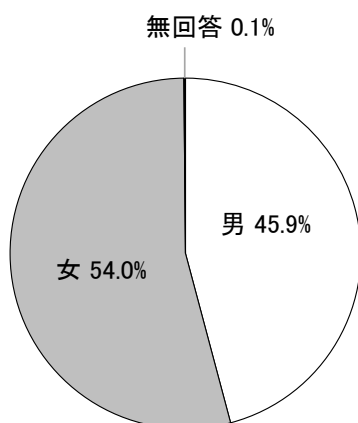
- 本人は入院中なので大変です。主人を昨年9月10日死亡しました。2人の病院に看病(見舞い)しましたので、私も疲れしました。季節の変わり目なのか身体がついていきません。少し休みを頂いて、また頑張ります。77歳母親【40～64歳・男】
- 私には、高次脳機能障害があり、なかなか採用までにはこぎつきません。高次脳機能障害の私でも、健常者と同等もしくは、それ以上に能力のあるところがあるので、国の内外に知らせて頂ければとても嬉しいです。【18～39歳・男】

### Ⅲ-4 調査結果(市民)

#### ①あなたご自身について

##### 問1 あなたの性別は。(1つに○)

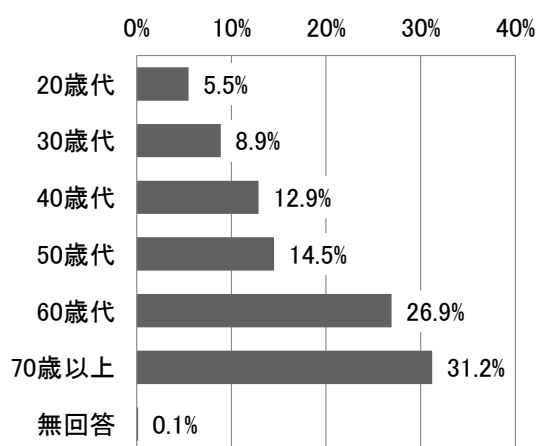
性別については、「男」が45.9%、「女」が54.0%と女性が多くなっています。



項目	n	%
男	310	45.9%
女	365	54.0%
無回答	1	0.1%
全体	676	100.0%

##### 問2 あなたの年齢は。(1つに○) 平成29年7月1日時点で

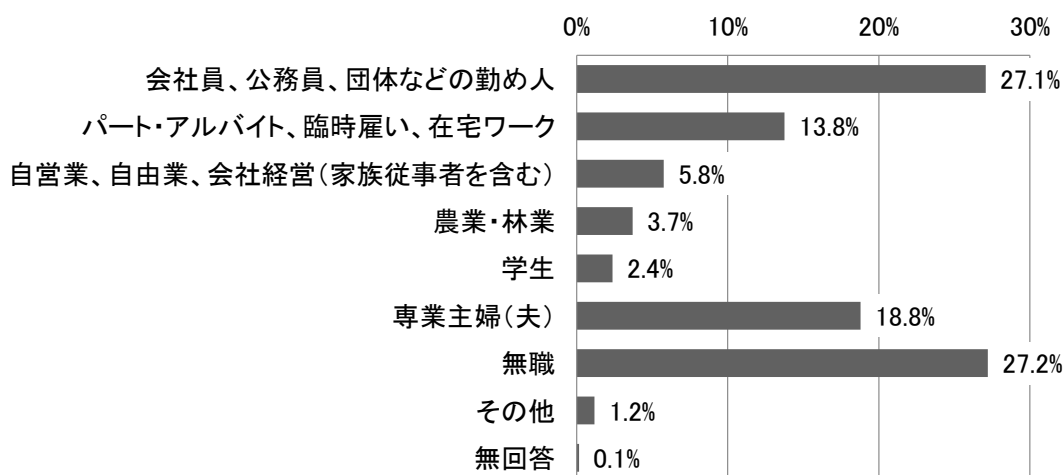
年齢については、「70歳以上」が31.2%と最も多く、次いで「60歳代」が26.9%、「50歳代」が14.5%と年齢が上がるに従い多くなっています。



項目	n	%
20歳代	37	5.5%
30歳代	60	8.9%
40歳代	87	12.9%
50歳代	98	14.5%
60歳代	182	26.9%
70歳以上	211	31.2%
無回答	1	0.1%
全体	676	100.0%

### 問3 あなたの職業は。(1つに○)

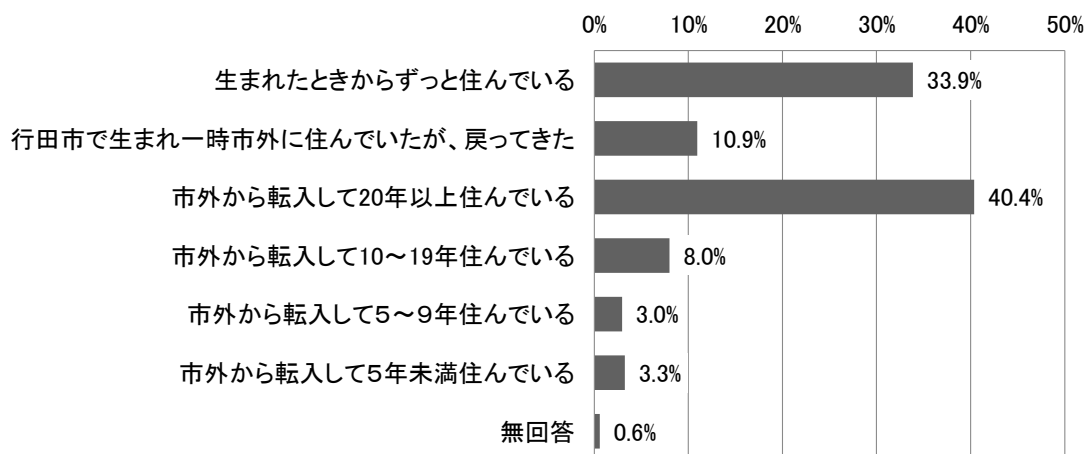
職業については、「無職」が27.2%と最も多く、次いで「会社員、公務員、団体などの勤め人」が27.1%、「専業主婦(夫)」が18.8%となっています。



項目	n	%
会社員、公務員、団体などの勤め人	183	27.1%
パート・アルバイト、臨時雇い、在宅ワーク	93	13.8%
自営業、自由業、会社経営(家族従事者を含む)	39	5.8%
農業・林業	25	3.7%
学生	16	2.4%
専業主婦(夫)	127	18.8%
無職	184	27.2%
その他	8	1.2%
無回答	1	0.1%
全体	676	100.0%

### 問4 あなたは行田市に住んでどのくらいになりますか。(1つに○)

行田市に住んでいる期間は、「市外から転入して20年以上住んでいる」が40.4%と最も多く、次いで「生まれたときからずっと住んでいる」が33.9%、「行田市で生まれ一時市外に住んでいたが、戻ってきた」が10.9%となっています。

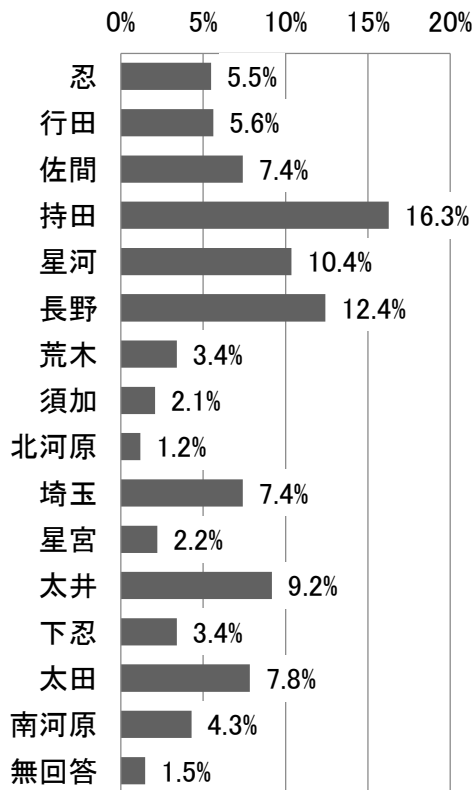




項目	n	%
生まれたときからずっと住んでいる	229	33.9%
行田市で生まれ一時市外に住んでいたが、戻ってきた	74	10.9%
市外から転入して20年以上住んでいる	273	40.4%
市外から転入して10～19年住んでいる	54	8.0%
市外から転入して5～9年住んでいる	20	3.0%
市外から転入して5年未満住んでいる	22	3.3%
無回答	4	0.6%
全体	676	100.0%

**問5 あなたの現在の住所は、市内のどちら（地区）ですか。（1つに○）**

現在の住所、市内の地区については、「持田」が16.3%と最も多く、次いで「長野」が12.4%、「星河」が10.4%となっています。



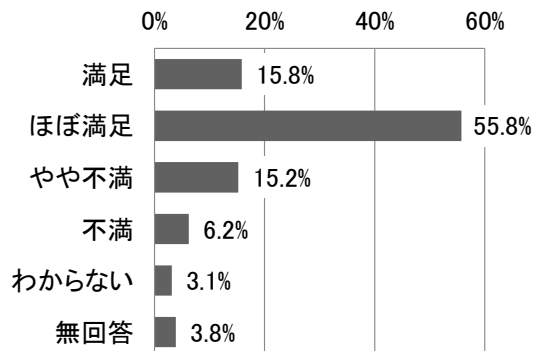
項目	n	%
忍	37	5.5%
行田	38	5.6%
佐間	50	7.4%
持田	110	16.3%
星河	70	10.4%
長野	84	12.4%
荒木	23	3.4%
須加	14	2.1%
北河原	8	1.2%
埼玉	50	7.4%
星宮	15	2.2%
太井	62	9.2%
下忍	23	3.4%
太田	53	7.8%
南河原	29	4.3%
無回答	10	1.5%
全体	676	100.0%

## ②あなたの生活について

### 問6 あなたは現在の生活に満足していますか。(1つに○)

現在の生活に満足しているかでは、「ほぼ満足」が55.8%と最も多く、「満足」と合わせると71.6%と7割以上の方が満足と回答しています。

また、「やや不満」、「不満」を合わせると21.4%となっています。

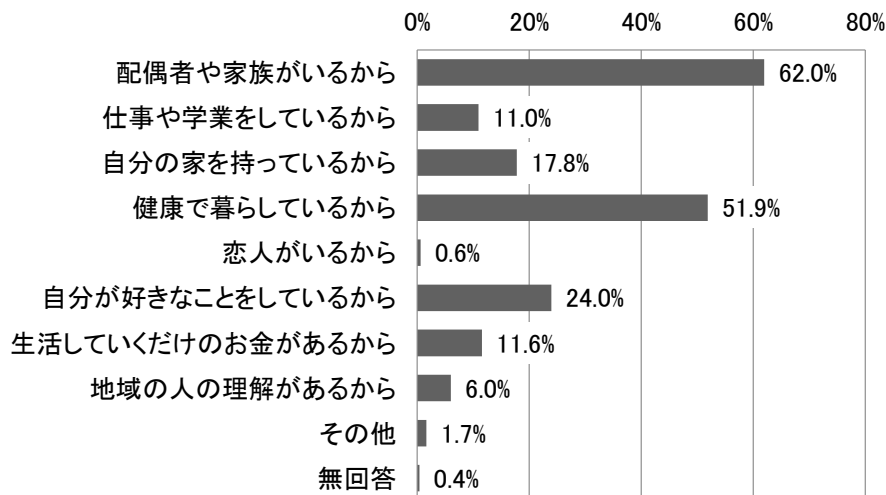


項目	n	%
満足	107	15.8%
ほぼ満足	377	55.8%
やや不満	103	15.2%
不満	42	6.2%
わからない	21	3.1%
無回答	26	3.8%
全体	676	100.0%

(問6で「1. 満足」か「2. ほぼ満足」とお答えの方へ)

### 問6-1 あなたが、生活に満足していると思う理由は何ですか。(2つまでに○)

生活に満足していると思う理由については、「配偶者や家族がいるから」が62.0%と最も多く、次いで「健康で暮らしているから」が51.9%、「自分が好きなことをしているから」が24.0%となっています。

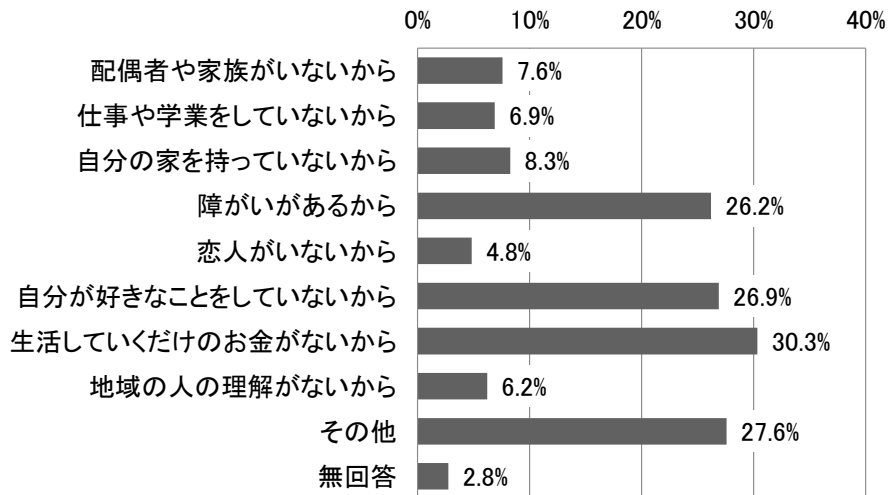


項目	n	%
配偶者や家族がいるから	300	62.0%
仕事や学業をしているから	53	11.0%
自分の家を持っているから	86	17.8%
健康で暮らしているから	251	51.9%
恋人がいるから	3	0.6%
自分が好きなことをしているから	116	24.0%
生活していくだけのお金があるから	56	11.6%
地域の人々の理解があるから	29	6.0%
その他	8	1.7%
無回答	2	0.4%
回答者数	484	
非該当	192	
全体	676	

(6で「3. やや不満」か「4. 不満」とお答えの方へ)

**問6-2 あなたが、生活に満足していないと思う理由は何ですか。(2つまでに○)**

生活に満足していないと思う理由については、「生活していくだけのお金がないから」が30.3%と最も多く、次いで「自分が好きなことをしていないから」が26.9%、「障がいがあるから」が26.2%となっています。

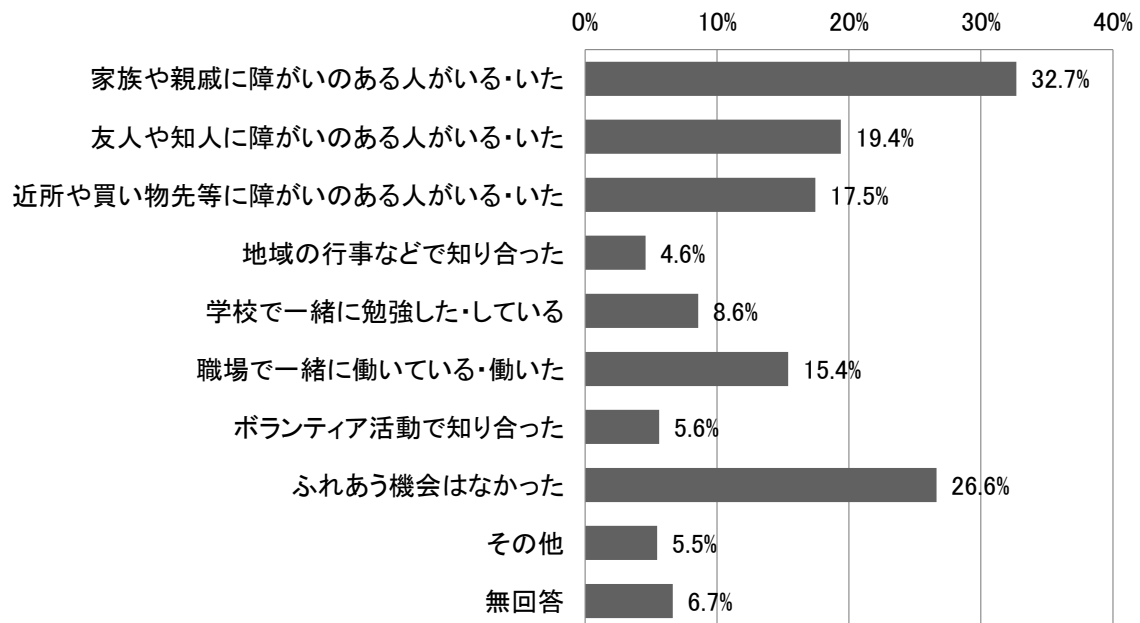


項目	n	%
配偶者や家族がいないから	11	7.6%
仕事や学業をしていないから	10	6.9%
自分の家を持っていないから	12	8.3%
障がいがあるから	38	26.2%
恋人がいないから	7	4.8%
自分が好きなことをしていないから	39	26.9%
生活していくだけのお金がないから	44	30.3%
地域の人の理解がないから	9	6.2%
その他	40	27.6%
無回答	4	2.8%
回答者数	145	
非該当	531	
全体	676	

### ③障がいのある人との交流などについて

問7 あなたは、今まで障がいのある人と、日常生活の中で接する機会がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

今まで障がいのある人と、日常生活の中で接する機会があったかでは、「家族や親戚に障がいのある人がいる・いた」が32.7%と最も多く、次いで「ふれあう機会はなかった」が26.6%、「友人や知人に障がいのある人がいる・いた」が19.4%となっています。



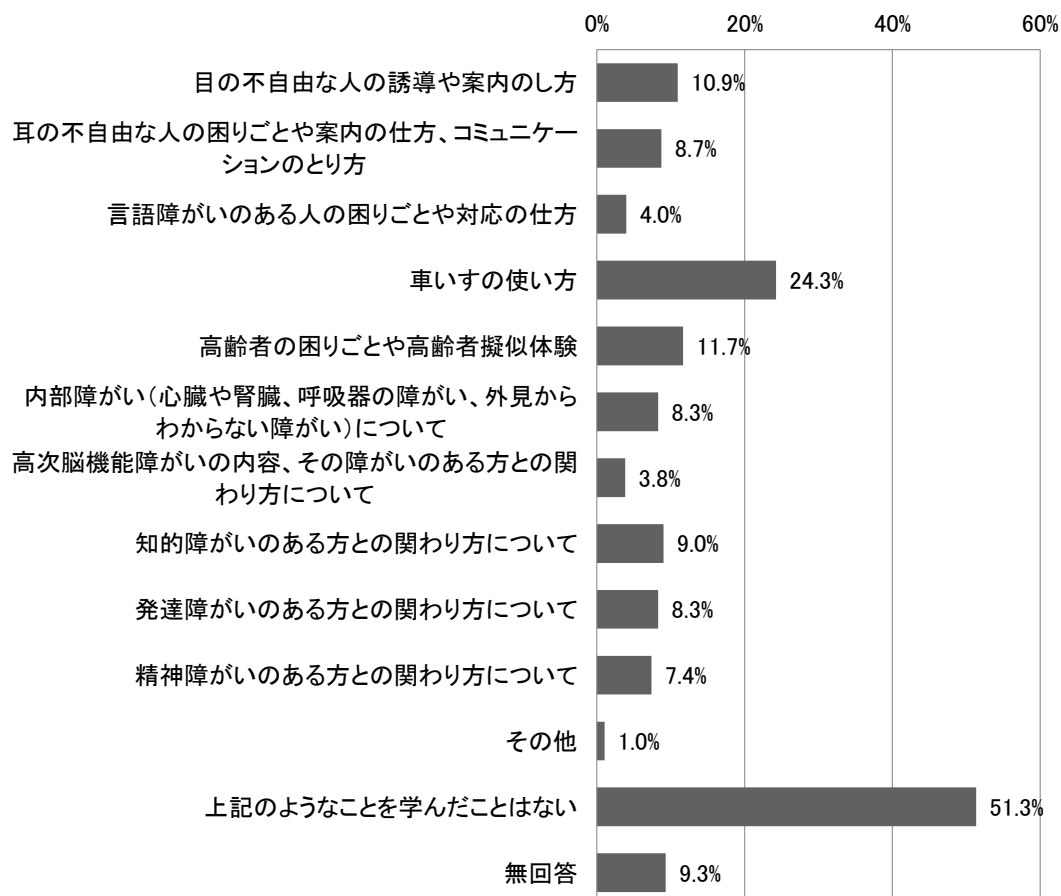
項目	n	%
家族や親戚に障がいのある人がいる・いた	221	32.7%
友人や知人に障がいのある人がいる・いた	131	19.4%
近所や買い物先等に障がいのある人がいる・いた	118	17.5%
地域の行事などで知り合った	31	4.6%
学校で一緒に勉強した・している	58	8.6%
職場で一緒に働いている・働いた	104	15.4%
ボランティア活動で知り合った	38	5.6%
ふれあう機会はなかった	180	26.6%
その他	37	5.5%
無回答	45	6.7%
全体	676	

※ここでいう「障がいのある人」とは、身体に障がいのある身体障がい者、知的発達に障がいのある知的障がい者、精神疾患のある精神障がい者、および難病患者をいいます。

**問8 あなたは、今までに下記で挙げているようなことについて学んだ経験はありますか。(あてはまるものすべてに○)**

今までに学んだ経験については、「車いすの使い方」が24.3%と最も多く、次いで「高齢者の困りごとや高齢者擬似体験」が11.7%、「目の不自由な人の誘導や案内のし方」が10.7%となっています。

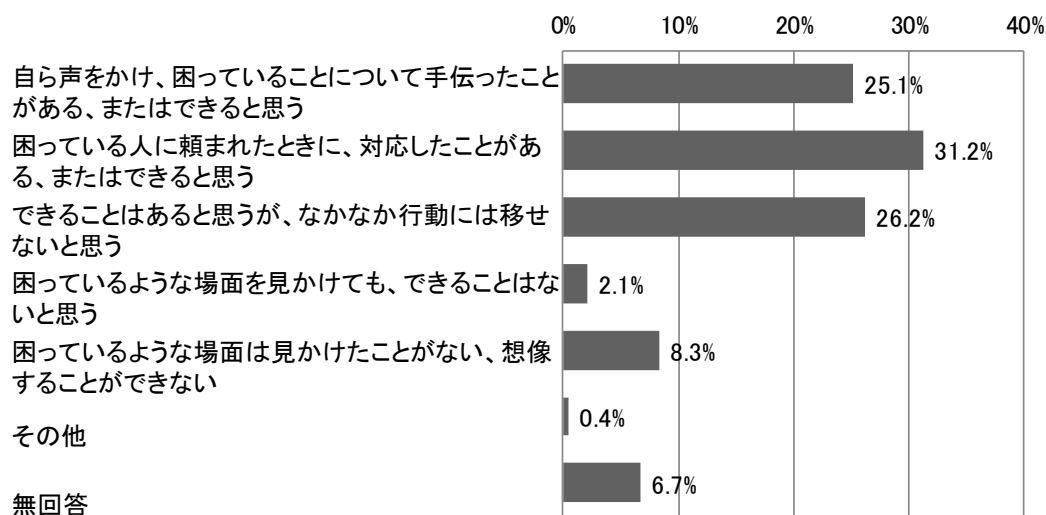
また、半数以上の方が「上記のようなことを学んだことはない」と回答しています。



項目	n	%
目の不自由な人の誘導や案内のし方	74	10.9%
耳の不自由な人の困りごとや案内の仕方、コミュニケーションのとり方	59	8.7%
言語障がいのある人の困りごとや対応の仕方	27	4.0%
車いすの使い方	164	24.3%
高齢者の困りごとや高齢者擬似体験	79	11.7%
内部障がい(心臓や腎臓、呼吸器の障がい、外見からわからない障がい)について	56	8.3%
高次脳機能障がいの内容、その障がいのある方との関わり方について	26	3.8%
知的障がいのある方との関わり方について	61	9.0%
発達障がいのある方との関わり方について	56	8.3%
精神障がいのある方との関わり方について	50	7.4%
その他	7	1.0%
上記のようなことを学んだことはない	347	51.3%
無回答	63	9.3%
全体	676	

**問9 あなたは、障がいのある人が街なかなどで実際に困っているのを見かけたとき、どのような行動をとりましたか、または見かけたときにはとれると思いますか。  
(1つに○)**

障がいのある人が街なかなどで実際に困っているのを見かけたとき、どのような行動をとれると思うかでは、「困っている人に頼まれたときに、対応したことがある、またはできると思う」が31.2%と最も多く、次いで「できることはあると思うが、なかなか行動には移せないと思う」が26.2%、「自ら声をかけ、困っていることについて手伝ったことがある、またはできると思う」が25.1%となっています。

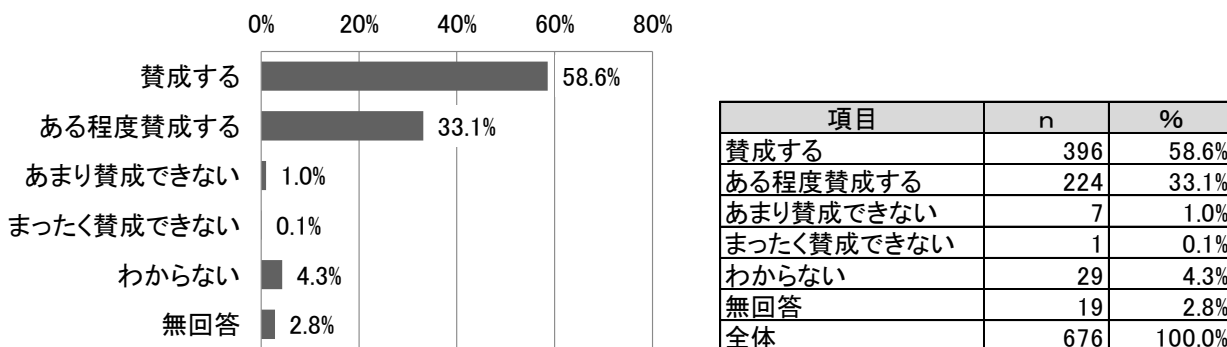


項目	n	%
自ら声をかけ、困っていることについて手伝ったことがある、またはできると思う	170	25.1%
困っている人に頼まれたときに、対応したことがある、またはできると思う	211	31.2%
できることはあると思うが、なかなか行動には移せないと思う	177	26.2%
困っているような場面を見かけても、できることはないと思う	14	2.1%
困っているような場面は見かけたことがない、想像することができない	56	8.3%
その他	3	0.4%
無回答	45	6.7%
全体	676	

**問 10 「障がいのある人もない人も、互いに人格と個性を尊重し支えあい、人々の多様な在り方を相互に認め合える社会（共生社会）を実現しよう」という考え方について、どのように思いますか。（1つに○）**

「障がいのある人もない人も、互いに人格と個性を尊重し支えあい、人々の多様な在り方を相互に認め合える社会（共生社会）を実現しよう」という考え方については、「賛成する」が58.6%と最も多く、「ある程度賛成する」と合わせると91.7%と9割以上の方が賛成すると回答しています。

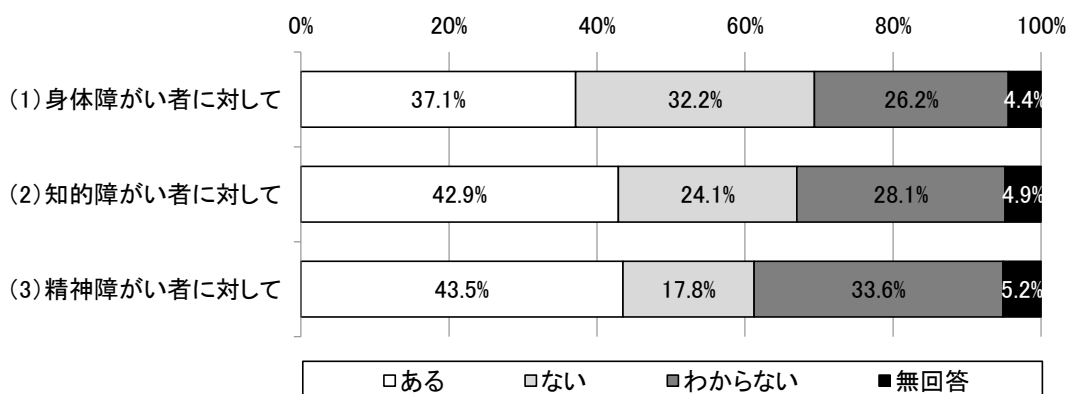
また、「あまり賛成できない」、「まったく賛成できない」を合わせると1.1%となっています。



**問 11 あなたは、地域社会の中に障がいのある人への差別・偏見があると思いますか。（それぞれ1つずつに○）**

地域社会の中に障がいのある人への差別・偏見があると思うかでは、「ある」の回答の「(3)精神障がい者に対して」が、43.5%でやや多くなっています。

また、「ない」の回答では、「(1)身体障がい者に対して」が32.2%で多くなっています。

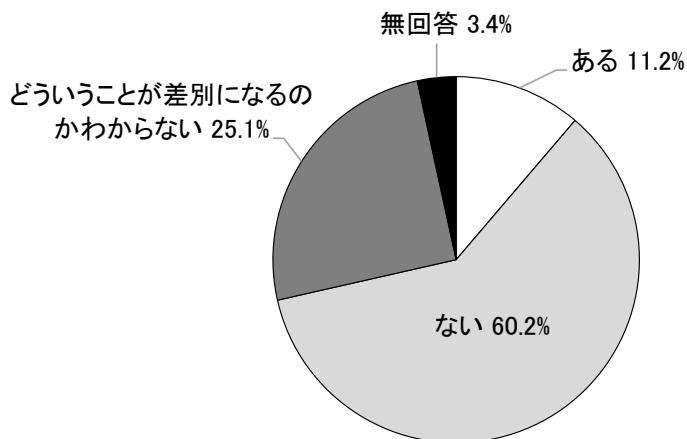


項目(n)	ある	ない	わからない	無回答	全体
(1)身体障がい者に対して	251	218	177	30	676
(2)知的障がい者に対して	290	163	190	33	676
(3)精神障がい者に対して	294	120	227	35	676

項目(%)	ある	ない	わからない	無回答	全体
(1)身体障がい者に対して	37.1%	32.2%	26.2%	4.4%	100.0%
(2)知的障がい者に対して	42.9%	24.1%	28.1%	4.9%	100.0%
(3)精神障がい者に対して	43.5%	17.8%	33.6%	5.2%	100.0%

**問 12 あなたは、今までに障がい者を差別したことがありますか。(1つに○)**

今までに障がい者を差別したことがあるかでは、「ある」が11.2%、「ない」が60.2%、「どういことが差別になるのかわからない」が25.1%となっています。

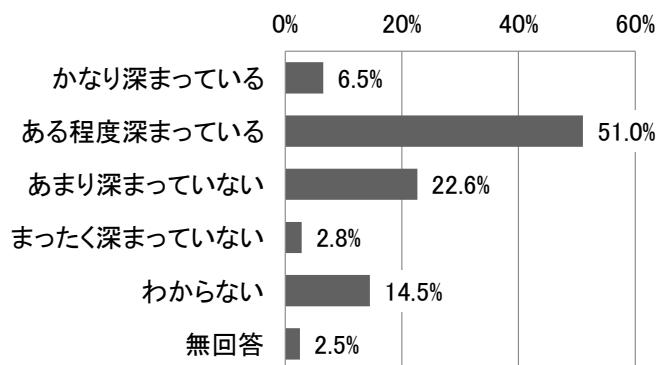


項目	n	%
ある	76	11.2%
ない	407	60.2%
どういことが差別になるのかわからない	170	25.1%
無回答	23	3.4%
全体	676	100.0%

**問 13 あなたは、ここ数年、社会の中で障がいのある人に対する理解は深まってきていると思いますか。(1つに○)**

ここ数年、社会の中で障がいのある人に対する理解は深まってきていると思うかでは、「ある程度深まっている」が51.0%と最も多く、「かなり深まっている」と合わせると57.5%となっています。

また、「あまり深まっていない」、「まったく深まっていない」を合わせると25.4%となっています。

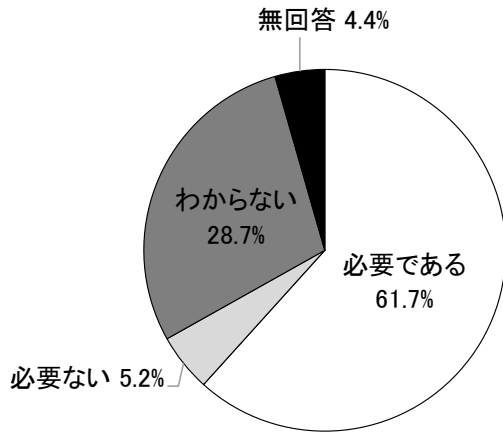


項目	n	%
かなり深まっている	44	6.5%
ある程度深まっている	345	51.0%
あまり深まっていない	153	22.6%
まったく深まっていない	19	2.8%
わからない	98	14.5%
無回答	17	2.5%
全体	676	100.0%



**問 14 今後、行田市における「障がい者差別禁止条例」の制定の必要性をどのように考えますか。(1つに○)**

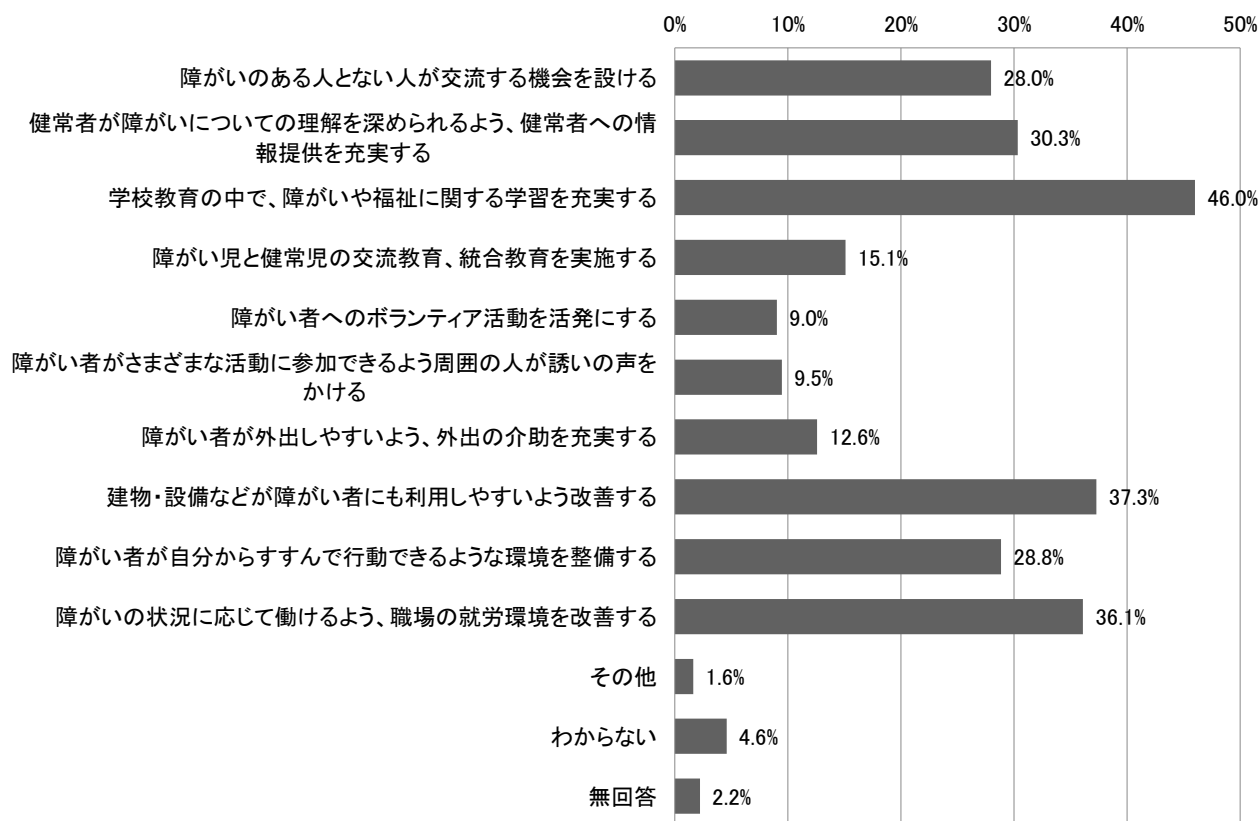
行田市における「障がい者差別禁止条例」の制定の必要性については、「必要である」が61.7%、「必要ない」が5.2%、「わからない」が28.7%となっています。



項目	n	%
必要である	417	61.7%
必要ない	35	5.2%
わからない	194	28.7%
無回答	30	4.4%
全体	676	100.0%

**問 15 障がいのある人とない人がお互いに理解しあい、共に生きる社会をつくっていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（3つまでに○）**

障がいのある人とない人がお互いに理解しあい、共に生きる社会をつくっていくために必要なことでは、「学校教育の中で、障がいや福祉に関する学習を充実する」が46.0%と最も多く、次いで「建物・設備などが障がい者にも利用しやすいよう改善する」37.3%、「障がいの状況に応じて働けるよう、職場の就労環境を改善する」が36.1%となっています。

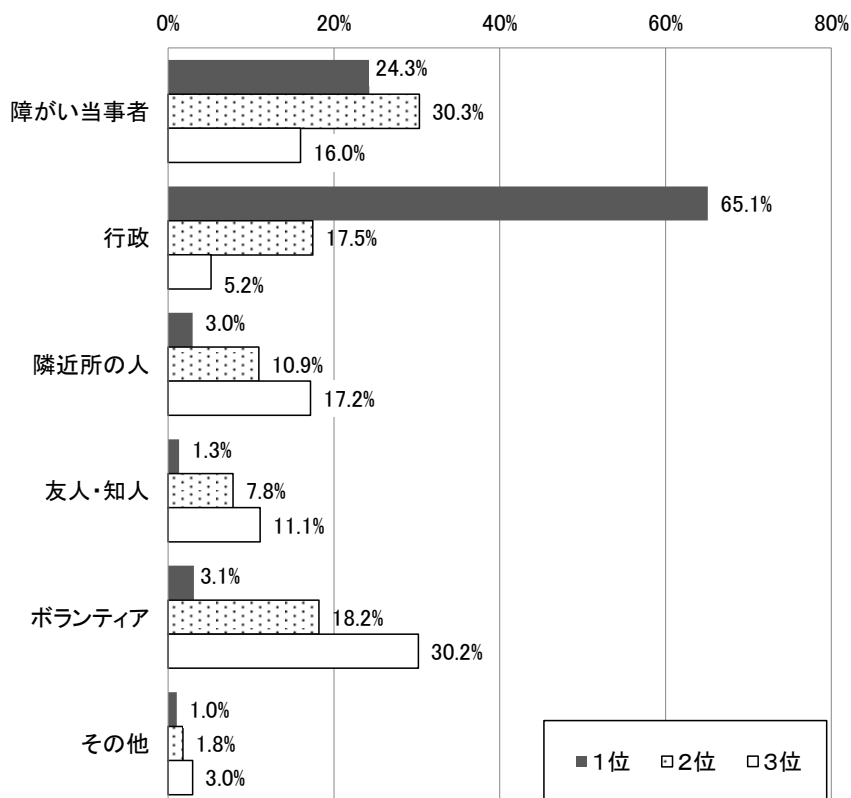


項目	n	%
障がいのある人とない人が交流する機会を設ける	189	28.0%
健全者が障がいについての理解を深められるよう、健全者への情報提供を充実する	205	30.3%
学校教育の中で、障がいや福祉に関する学習を充実する	311	46.0%
障がい児と健全児の交流教育、統合教育を実施する	102	15.1%
障がい者へのボランティア活動を活発にする	61	9.0%
障がい者がさまざまな活動に参加できるよう周囲の人が誘いの声をかける	64	9.5%
障がい者が外出しやすいよう、外出の介助を充実する	85	12.6%
建物・設備などが障がい者にも利用しやすいよう改善する	252	37.3%
障がい者が自分からすすんで行動できるような環境を整備する	195	28.8%
障がいの状況に応じて働けるよう、職場の就労環境を改善する	244	36.1%
その他	11	1.6%
わからない	31	4.6%
無回答	15	2.2%
全体	676	

#### ④福祉のまちづくりについて

問 16 あなたは、今後、障がいのある人の支援について、誰が主体になって取り組むのが望ましいと考えますか。3つまで選び、選んだ選択肢の左の欄に、重要と思われる順番に「1」「2」「3」の数字を入れてください。

障がいのある人の支援について、主体になって取り組む順位が1位とされたのは、「行政」が65.1%、「障がい当事者」が24.3%、「ボランティア」が3.1%となっています。

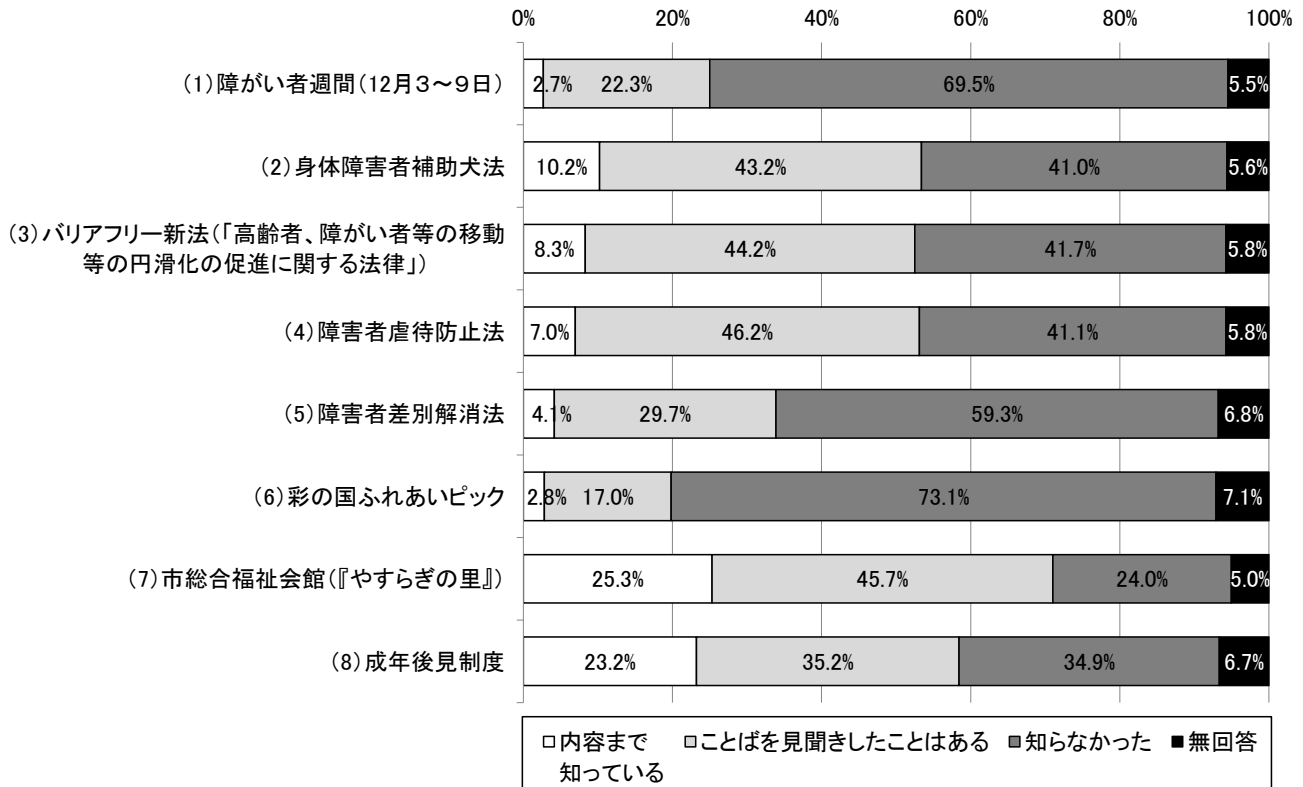


項目	1位		2位		3位		無回答	
	n	%	n	%	n	%	n	%
障がい当事者 (障がい者本人やその家族、親族)	164	24.3%	205	30.3%	108	16.0%	199	29.4%
行政	440	65.1%	118	17.5%	35	5.2%	81	12.0%
隣近所の人	20	3.0%	74	10.9%	116	17.2%	462	68.3%
友人・知人	9	1.3%	53	7.8%	75	11.1%	534	79.0%
ボランティア	21	3.1%	123	18.2%	204	30.2%	323	47.8%
その他	7	1.0%	12	1.8%	20	3.0%	634	93.8%
全体	676		676		676		676	

**問 17 あなたは、次のようなことばを知っていますか。(1)～(7)のそれぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。**

知っていることばについては、「内容まで知っている」の回答で多いのは、「(7) 市総合福祉会館（『やすらぎの里』）」、「(8) 成年後見制度」となっています。

また、「知らなかった」の回答で多いのは、「(1) 障がい者週間（12月3～9日）」、「(6) 彩の国ふれあいピック」となっています。

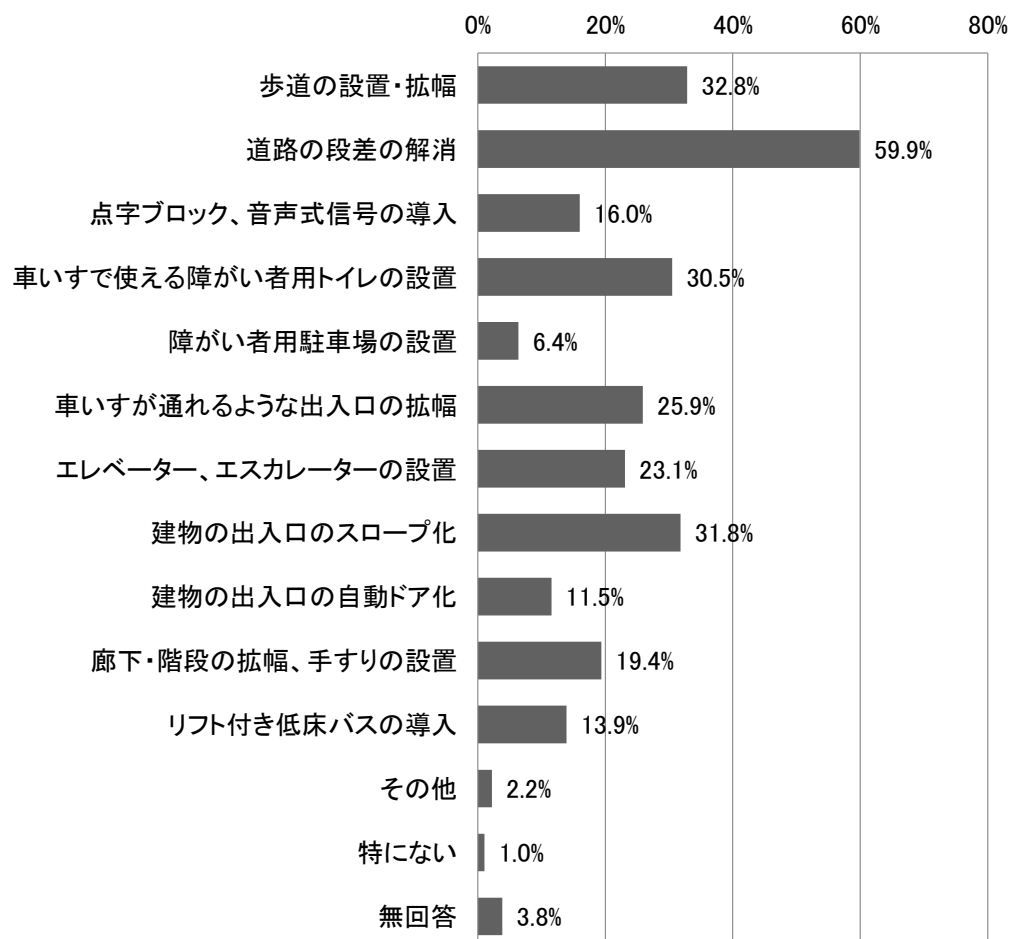


項目(n)	内容まで知っている	ことばを見聞きしたことはある	知らなかった	無回答	全体
(1) 障がい者週間(12月3～9日)	18	151	470	37	676
(2) 身体障害者補助犬法	69	292	277	38	676
(3) バリアフリー新法(「高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」)	56	299	282	39	676
(4) 障害者虐待防止法	47	312	278	39	676
(5) 障害者差別解消法	28	201	401	46	676
(6) 彩の国ふれあいピック	19	115	494	48	676
(7) 市総合福祉会館(『やすらぎの里』)	171	309	162	34	676
(8) 成年後見制度	157	238	236	45	676

項目(%)	内容まで知っている	ことばを見聞きしたことはある	知らなかった	無回答	全体
(1) 障がい者週間(12月3～9日)	2.7%	22.3%	69.5%	5.5%	100.0%
(2) 身体障害者補助犬法	10.2%	43.2%	41.0%	5.6%	100.0%
(3) バリアフリー新法(「高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」)	8.3%	44.2%	41.7%	5.8%	100.0%
(4) 障害者虐待防止法	7.0%	46.2%	41.1%	5.8%	100.0%
(5) 障害者差別解消法	4.1%	29.7%	59.3%	6.8%	100.0%
(6) 彩の国ふれあいピック	2.8%	17.0%	73.1%	7.1%	100.0%
(7) 市総合福祉会館(『やすらぎの里』)	25.3%	45.7%	24.0%	5.0%	100.0%
(8) 成年後見制度	23.2%	35.2%	34.9%	6.7%	100.0%

**問 18 市内の公共施設などを、障がいのある人や高齢者も利用しやすいようにするために特に必要だと思うのはどのようなことですか。（3つまでに○）**

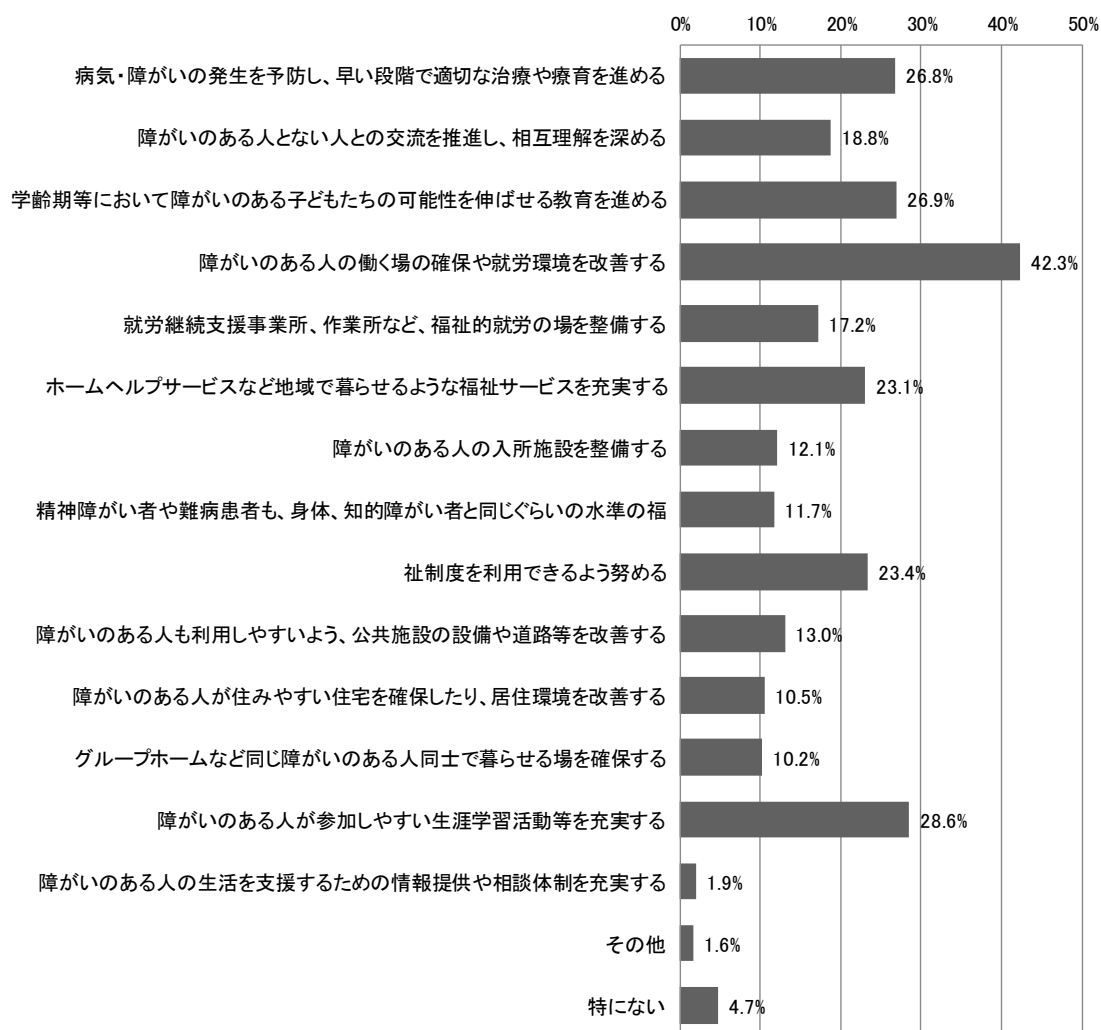
市内の公共施設などを、障がいのある人や高齢者も利用しやすいようにするために特に必要だと思うことでは、「道路の段差の解消」が 59.9%と最も多く、次いで「歩道の設置・拡幅」が 32.8%、「建物の出入口のスロープ化」が 31.8%となっています。



項目	n	%
歩道の設置・拡幅	222	32.8%
道路の段差の解消	405	59.9%
点字ブロック、音声式信号の導入	108	16.0%
車いすで使える障がい者用トイレの設置	206	30.5%
障がい者用駐車場の設置	43	6.4%
車いすが通れるような出入口の拡幅	175	25.9%
エレベーター、エスカレーターを設置	156	23.1%
建物の出入口のスロープ化	215	31.8%
建物の出入口の自動ドア化	78	11.5%
廊下・階段の拡幅、手すりの設置	131	19.4%
リフト付き低床バスの導入	94	13.9%
その他	15	2.2%
特になし	7	1.0%
無回答	26	3.8%
全体	676	

**問 19 行田市としてはこれから、障がいのある人のために、特にどのような施策に力を入れる必要があるとあなたは思われますか。(3つまでに○)**

行田市としてこれから、障がいのある人のために、特にどのような施策に力を入れる必要があると思うことでは、「障がいのある人の働く場の確保や就労環境を改善する」が 42.3%と最も多く、次いで「障がいのある人が参加しやすい生涯学習活動等を充実する」が 28.6%、「学齢期等において障がいのある子どもたちの可能性を伸ばせる教育を進め」が 26.9%、「病気・障がいの発生を予防し、早い段階で適切な治療や療育を進める」が 26.8%となっています。



項目	n	%
病気・障がいの発生を予防し、早い段階で適切な治療や療育を進める	181	26.8%
障がいのある人とない人との交流を推進し、相互理解を深める	127	18.8%
学齢期等において障がいのある子どもたちの可能性を伸ばせる教育を進める	182	26.9%
障がいのある人の働く場の確保や就労環境を改善する	286	42.3%
就労継続支援事業所、作業所など、福祉的就労の場を整備する	116	17.2%
ホームヘルプサービスなど地域で暮らせるような福祉サービスを充実する	156	23.1%
障がいのある人の入所施設を整備する	82	12.1%
精神障がい者や難病患者も、身体、知的障がい者と同じぐらいの水準の福祉制度を利用できるよう努める	79	11.7%
障がいのある人も利用しやすいよう、公共施設の設備や道路等を改善する	158	23.4%
障がいのある人が住みやすい住宅を確保したり、居住環境を改善する	88	13.0%
障がいのある人が住みやすい住宅を確保したり、居住環境を改善する	71	10.5%
グループホームなど同じ障がいのある人同士で暮らせる場を確保する	69	10.2%
障がいのある人が参加しやすい生涯学習活動等を充実する	193	28.6%
障がいのある人の生活を支援するための情報提供や相談体制を充実する	13	1.9%
その他	11	1.6%
特にない	32	4.7%
全体	676	

## ⑤自由記述

### ◎ 最後に、ご意見、ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。

- 先日公民館にて、差別と人権の講習を聞きに行き、日本はまだまだ世界から見ると遅れていると感じました。公民館等でさまざまな障がいの講演があると一般の人も理解していくのでは。時間はかかりますが、障がい者も健常者も命は1つという思いです。【男・60歳代】
- 障害者、家族等でない限り本心はわからないと思います。まずは、障害者に関係のある方のみの苦しみ、大変なことと思いきい問合わせが必要である。【女・60歳代】
- 障害者にやさしい行田市であってほしい。また、2020年東京オリンピック、パラリンピックに参加出来たら応援したいし、頑張っている姿を見る機会があったらきっと感動すると思う。【男・50歳代】
- 本来、国や自治体がやるべき（進めるべき）事を家庭や地域に委ね、それが美德のようにされているのは間違いだと思う。国が防衛費にばかり予算を使わず、社会保障に税金を使用すべきと考える。【男・60歳代】
- 歳を重ねてわかったことで、歩道の段差、そしてタイルの継ぎ目が気にかかります。若い時は何とも思わない段差は、私だけでなく友人とも話題になります。【女・60歳代】
- 身体障害者の方にもっと手を差し伸べたいのですが、私の勇気のなさ、その時の雰囲気躊躇してしまうことがある。ポイント制にしてポイントが溜まったら後で自分が利用できる制度(?)【女・60歳代】
- 市の人たちが障害者に言葉かける（話しかける姿）を市民がたびたび目にするようになると自然と市民もやさしくなるような気がします。【女・60歳代】
- 私は今、体力をつけるため自転車に乗っていますが、歩道がとても良くないように思います。車道という方法もあるようですが、高齢者にとっては歩道の整備をしていただきたいです。行田中の歩道を確認をしていただいて、よろしくお願いします。【女・60歳代】
- 家では夜寝たような状態でもデイサービスの人がとても親切で感謝しています。【男・60歳代】
- 高齢者が安心して生活できる様、循環バスをなくさないでほしい。また、乗り降りがしやすいように、運転手さんの配慮もお願いします。障害者、高齢者の相談できる場所を増やしてほしい。また、どこでどんな相談ができるのかもっと情報を提供してほしい。【女・40歳代】
- アンケート用紙は障害のある方の家族等に記入してもらおうのが一番ではと思った。普段かわりがないのでよくわからなかった。【女・50歳代】
- 障害と一言で言っても様々ですよね。これから友人が買い物援助に行くとのこと。その友人は車いすに乗ってスーパーでの商品をとって膝の上に置いたかごに入れる事は一人でもできる。でも、手首を返して、籠のとってを持つことはできないので援助に行くとのことでした。最近では公共の場など自動ドア、エレベーター、点字ブロック、専用トイレなど多くなってきましたが、健常者には想像もつかない不便、不可能なことがある事を知りました。【女・60歳代】
- 上のような言葉を健常者（行政）が作ってしまうから区別差別特別扱いの概念が生じてしまう。障害者の人たちが過ごしやすくするにはこの特別扱いを当人たちはどう思っているか考えないのでしょくか？人はすべて同じです。【男・30歳代】
- パラリンピック等で障害者についてテレビ等で目にする事が多くなっているが、まだ認識不足の事が多いし、本市においても公共の場も障害者の方々が使いやすくなっているかどうか、障害を持っている方々の意見を多く取り入れ共生できる行田市になってほしいと思います。【女・60歳代】
- 研修などで障害者の施設に行った事はありますが、知的障害のある方のいらっしゃる施設での研修は私にとっては大変な苦痛でした。大変申し訳ありませんが個人的には過度な交流や健常者への負担があるなら支持できる事ではありません。【男・20歳代】
- 障害者を意識しすぎるとスムーズな生活が難しいと思う。互いに認め合ってお付き合いや仕事をしていきたいと思う。【男・60歳代】
- 発達障害児が多くなっているような気がする。支援学級の指導で可能性を伸ばせる教育が出

来るのではないかと思われる。指導者にももっと専門的な人材をと思うのですが。【女・60歳代】

- 良い計画を策定してください。【男・50歳代】
- アンケート用紙を受け取り、本件について学ぶことが多かったです。【男・60歳代】
- 自分は87歳あまり考えたくない。【男・60歳代】
- 行政すべて回覧等で済ませる事は、行政責任の遂行ではない。行田市の行政改革を望む。【男・50歳代】
- 義父が施設に入っていますが、義母が金銭面で苦勞しています。義父の弟妹も障害があり、義母が面倒を見ています。介護疲れもあります。お金の面も大変です。もう少し補助があれば助かるのに。【女・40歳代】
- 障害の有無にかかわらず、人種職種家柄出身地など、なぜ人の心は差別を無くそうの教育を何度重ねてもなくなならない。意識を改善することができないのだろうか。障害のある方がこんにちとは何度も声をかけているのに背を向けて無視をした人の姿を見て悲しくなった。【女・50歳代】
- 若い人の発達障害が多い。外見だけではわからない障害にどうすればよいかわからない。子供はなお理解できない。どう対応すればいいか教えてほしい。【女・40歳代】
- 障害者という言葉自体がなくなればいいですね。それ自体が差別しているように思える。【男・60歳代】
- 以前に比べ障害者への偏見は少なくなったように思います。【女・60歳代】
- 障害者の働ける企業が一社でも多くなるよう期待しています。【男・50歳代】
- 自分自身に障害がないため本当に障害に対して必要なものが何かははっきりとわかりません。障害を持つ（本人）ご家族の方、福祉施設の運営者やその場所の従業員の意見も聞くことが必要だと考えます。【男・60歳代】
- 障害者について深く考えたことがありませんでした。【女・40歳代】
- 基本的な考え方として、自助・共助・公助が三位一体となって、バランスのとれた施策で進むべきだと思います。【男・60歳代】
- 某ショッピングセンターで、障害がないのに車いすを借りて危険な乗り方をして遊んでいる若い集団を見ました。障害のある方々の為に公共のものが充実していくことはとても良い事だとは思いますが、ただ充実するだけではなく何のためにという意味目的ももっとわかりやすく発信していったり管理も強化していくべきかなと思いました。【女・20歳代】
- 年齢を重ねるたびに外出も少なくなり、ご近所外出先でも障害者と出会うこともない日常です。困っている方に助けを求められたら、私にできる事は手を差し伸べたいと思います。【女・60歳代】
- 身近に気軽に相談できる場所が多くあるとよいと思う。【女・50歳代】
- この件は、是非とも社会全体で認識し、行動しなければならない。何より、障害者の働ける場、居場所がある事が大切だと思う。有名な話ですが、神奈川県のコークを作る会社のような職場がたくさんできたらと思います。必要なのは居場所です。【男・60歳代】
- 先日、都内、地下鉄駅構内トイレで、大失態をしてしまいました。水を流す際に普通に押すことのできる「白」のボタンを押したところ、それが緊急ボタンだったらしく、トイレドアの赤色灯が激しく点滅し駅の警備員がすぐさま駆けつけ大騒ぎとなってしまい、平謝りしてきました。老眼であり、また薄暗くて見えにくかったのですが、わざわざメガネを取り出すのも億劫だったので、そして「赤」や「オレンジ」ではなく「白」だったので、これかなーと思い押ししてしまいました。文字も小さくカバーもかけてもなかったので、間違えてしまいました。表示方法も工夫が大切な要素かと思いました。【女・50歳代】
- 障害のある人もない人も共に生きる社会を作ることとはとても大切で、そのための法整備も重要だと思います。とくに、身体・知的障害者への福祉サービスをより充実させてほしいと思います。精神障害については通院や投薬などを促した上で、周囲も安心してともに暮らせる環境を整えることを望みます。【女・60歳代】
- 民生委員だけでなく自治会全体で内容を知るべき守秘義務があるからと状況を知らない



緊急時に対応出来ないのが難しいと思いますが、自治会全員が知るべき中には偏見を持つ人もいると思いますが。【男・60歳代】

- 障害者が安心して自立して生活出来るような対策をお願いいたします。さまざまな相談窓口に行っても有効的な方策を講じてもらえない。【男・50歳代】
- まちづくり、就職など障がい者が自立できる環境づくりが大事だと思います。【男・50歳代】
- 問16にお答えするのはとてもむずかしくと思いますが、どんな事も自分の家族の身になって対応するように思います。行政にお任せするのではなく、出来る様に日頃、学べる機会が有っても良いのではないのでしょうか。【女・60歳代】
- 障がい者も健常者もお互い歩み寄れるような、行田市になれたらいいなと思う。【女・40歳代】
- 障がい者も健常者もお互いに理解を深め、明るく住みやすい社会を築くことが大切なことと、考えます。まずは、プラン・ドウ・チェックですね。【男・60歳代】
- 障害を持つ方々が、まず、自分たちを障がい者として見てほしいのかどうかを考えること。もしかしたら、普通の人と同じ扱いをして欲しいこともあるかもしれない。それに障がいがあるとなかろうと、何か困っているなら気を使ったり、手を差しのべるのはあたり前のこと、基本の人対人の接し方を忘れてはいけません。【男・20歳代】
- 行田市職員の採用試験では現在のところ身体障がいに限られていると思われませんが、これから積極的に（発達障がいを含む）精神障がい、知的障がい者を採用するよう検討していただきたい。【男・60歳代】
- 私は、初めてアンケートを見ました。どうぞご協力をお願いします。【女・60歳代】
- 障害について、知らないことが多かったので、今後理解を深めていきたいです。【女・30歳代】
- 息子が知的障害者支援施設で働いています。大変な仕事だと思いますが、一生懸命です。若い人達の心が折れないように、行政でも支えて欲しいです。障害（心身共に）を持つ人との関わりが少ないと思います。偏見を取り除く様なイベント等、企画して欲しいです。【女・50歳代】
- お金をもっと使える世の中にすれば、（給料を上げる）もっと、世中が良くなり、障がい者の方々にも、良い生活が出来ると思います。道路工事などの仕事をふやしたりする事により、経済も良くなると思います。【女・40歳代】
- 障がい者にやさしく、理解ある行動を取れる様、子供たちが自然に学べる場を増やして欲しいです。【女・40歳代】
- 学校教育での理解向上。そして、障がいのある人の就労環境整備が必要。【男・50歳代】
- 行政の施政を弱者目線にすえるのはとても良い事と思います。又皆がハンデの有る方々に心身共に寄り添える社会の実現を望みます。この様な行政の姿勢を応援してまいります。頑張ってください。【女・60歳代】
- 車いす専用と書いていても実際、違う人が車を止めていることに不信感が出ます。【女・30歳代】
- 私の住む地区には、障害者の助成金をもらい、生活保護をもらい、生活している人がいます。側から見ると車を乗り、仕事へ行き、健常者と同じように見えます。私からすると今の社会では生活するのも困難な障がいをもっていたり、発達障がいのある子供をかかえる家族などが自分たちの力で努力して生活しているように感じます。まず、私たちの税金が必要とされている人たちへ使われる事を望みます。南川げんきクリニックの院長先生が、5才児健診をして、発達障がいのある子供を早くみつけ、その子に合った治療をしていくというお話をされました。最近、子供たちが通う中学校でも多くみられます。少しでも早くわかれば障がいをもつ者もその家族も過ごしやすくなるはずだと思います。【女・30歳代】
- 難病患者は見た目では分かりづらく、障がいと比べて住みにくい。施設や（車イス用）駐車場を使うのをためらってしまうから。診療費などもどんどん増えてしまう。診療費だけではなく生活にも一般家庭に比べると費用もかかる（仕事も出来ないため）が支援はない。医療費では助かっているのだが不安はある。【女・40歳代】

- 障害者のことが、あまりにわかっていない？どこにどんな障害者の人がいるのか？どうすればいいのかわからない？それさえわからない？【男・60歳代】
- 図書館とスーパーを増やして頂きたいです。家ばかり多すぎです。図書館と、スーパーは、もっと、身近な所と言う意見です。【女・30歳代】
- 成年後見制度について。後見人についての選び方が、むずかしい気がする。【男・60歳代】
- 行田市におきましてもこれから障がいのある高齢者が多くなると思います。少しでも暮らし易い安心して暮らして行ける行政をお願いしたいと思います。もう少し若者が入ってこられるような環境をつくっていただきたいと思います。【女・60歳代】
- 当事者の方にはかわからない事が沢山あると思います。本当に必要な事、困っている事を一人一人方から聞いて暮らしやすい行田市にして頂きたいと思います。とても大変な事とは思いますが、必要な事がわかれば、行動してくれる市民がいると思います。宜しく願い致します。【女・40歳代】
- 3年前から飲食業の接客の仕事をはじめました。車いすの方、知的障がいの方、アスペルガーの方と接する事が多々あり、はじめから理解は難しかったが相手の立場になり、「もし自分も障がいしゃになったら」と考え、お手伝いして頂けると助かるし、人と人は助け合いながら生きる！！あたりまえの事です。【女・40歳代】
- 障がい者の車の運転免許取得用の自動車学校があるといい。家族に耳が聞きづらいが運転して会社に行きたかったけど障がい者用の教習所がなくて一般人と一緒にだったので教科についていけず、取得できなかったのでぜひお願いしたいです。【女・40歳代】
- 1. 障がいのある人たちの生活の様々な実情をない人たちに知ってもらうための情報の発信を行政で実施していき、実態の理解が必要と思う。2. どのような対象でも差別は絶対に許されないという差別意識の解消のための施策も併行して必要と思う。(障がい者差別を含めて) 3. 世の中に障がいのある人・ない人無関係に、偏見や差別意識が助長されてきている印象を受ける。そのため、すべての差別解消へも目を向けながら障害をもつ人への手をさしのべていかなければならないと思います。【男・60歳代】
- 障がい者と健常者が同じだけ、幸せな生活が出来る行田市でありますように。【女・40歳代】
- この様なアンケートをする前に、市長の考えと、私達の考えがずれていたら、市議会で、意見が反映されない。最終的には、市長だから。【男・60歳代】
- 行田市が障がいを持つ方々が安心して、楽しく暮らせるよう、知恵をしぼり考えて下さい。数年後にこのアンケートの成果だと思えるような行政になっていくことを期待します。人口減少の行田です。ぜひ魅力あるまちづくりをお願いします。【女・50歳代】
- 障がい者の人が行政を動かしてほしい！！障がい者の人でもがんばって社会に出ている者もいる。自分は障がい者だから甘えている者もいる。【男・60歳代】
- 郷土博物館には、なぜエレベーターがないのですか？昨年姉をつれて（車イス使用）入館した時上階に行くことが、出来なかった。観光バスで来られていた人の半数以上の人も上階に行けず一階に座っているだけでした。受付の人何の案内もしておらず、外観がりっぱなだけの博物館、観る事が出来ない博物館→意味がない！【女・60歳代】
- 障がいをもつ家族にとって、相談できる機関、施設、そして、本人が生きていくうえで、安心して生活できるよう、少しでも配慮していただけるような制度ができれば、よいと思います。【女・60歳代】
- 障がい者の人達の生活環境は、まだまだ閉ざされていると思います。障がいを持った人でも働けれる場所の受け入れや、自立が出来る、やりがいを見つけられる、環境作りを願っています。【女・30歳代】
- テレビ番組・ニュース等で見てみると、障がいの有る方が外出している姿が以前より多い様に思います。自分に負けないで頑張っているのだなあ、と、見えています。【女・60歳代】
- 地域包括ケアシステムの構築を機に、高齢者、障がい者だけでなく、地域の様々な人がふれあえる交流の場を設け、まちづくりをしていくべき。／設問11の障がい者への差別について、差別や偏見を抱いている人は少ないと思うが、どう接して良いのかが分からず変に気がつかってしまうところはあると思う。【女・20歳代】

- 自分の世代は学校で「障がい」に関して学ぶ機会がなかった気がする。何をすべきか、よりもまず相互理解することが大切だと思います。【男・40歳代】
- 市内に広い敷地があるにも関わらず、ショッピングなどの不便が見える。歴史のある街ならば、それをコンセプトとして地域社会も発展が見られるような形で、ショッピングセンターの誘致を行って頂きたい。ショッピングセンターと道の駅などを両方で作ってみたりすれば、市が発展していき、減りつつある人口を戻せるのではないだろうか。【男・20歳代】
- 障害あるなしに関わらず市民が笑顔でくらせる行田市でありますように。生まれも育ちも行田人としては行田を誇りに思っています。行政に頼るばかりでは申し訳ないですが期待しております。【女・50歳代】
- 加齢と共に人は誰でも身体や脳に何らかの障害を持つことになるかと思います。生まれながらにいろいろな障害を抱えている方達と共に交わりながら生活して行ける場があれば良いかしらと願いますが。【女・60歳代】
- 障がい者をもつ家族の方は肩身のせまい思いをしているようです。誰のせいでもない。命を授かった障がい者の人達又家族の人達を応援出来る世の中になれるよう祈っています。【無回答・無回答】
- 素晴らしい計画だと思いますが、実行するには難しいと思われまます。市民一人ひとりが前向きに真剣に考えなければ。障害者に対する差別、偏見を家庭・地域・社会全体で子供達に指導していかないかぎりにならないと思う。【女・60歳代】
- 税金の無駄遣いせず福祉のために使っていただければと思います。【女・60歳代】
- 障害のある人に住みやすい場所をつくってほしい。【女・50歳代】
- 若者にやさしい世の中にしてほしい。せつかくの収入もほとんどが税金、生活費で無くなり他にお金を使えない……。【男・20歳代】
- 車に貼るステッカーで、クローバーマーク、車いすマーク等ありますが、その区別が、あいまいな気が。しかもホームセンターで健常者が買って貼っている人も知っています。(便利だと言う理由で)市の福祉課で、確認の上、市町村名、許可ナンバーの入ったステッカーを交付するようにして下さい。障がいを持っている人に対して大変失礼です。障がいを持っている人の名義で車を購入←税の免除の為に、その人の病院への送迎に使うなら、ともかく1度もそういう事はないとの事※随時、無作為に調べた方がいいと思います。【女・60歳代】
- 小学4年の長男が発達障害で特別支援学級に通っています。一番の不安は、就労の事です。医師からは、知的に問題はないから高校へ入った方が良いと言われてはいますが、学校では、こだわりで学習が遅れ1～2年遅れ位のプリントなどをやったりしています。そんな「はざま」にいる子供の将来の居場所を必死で探している親もいる事を伝えておきます。【女・30歳代】
- 生活にゆとりがないと障がい者の事まで考えられない。【男・40歳代】
- 「明日は我が身」という気持ちで取り組んでください。私自身7年前に脳梗塞で身体の一部に後遺症を患いました。高齢化という理由だけでなく、事故や病気で、ある日突然「障がい者」になってしまいます。他人事とせず「我が身」のこととして取り組んでいただければ幸いです。【男・50歳代】
- 先日TVで知的障がいの方達が、日本一のチョークを作っている現場の様子を見ました。会社の方が、砂時計を使うようにしたり、様々な工夫をし、仕事ができる環境を整えてくれ、いきいきと働いている姿を見て素晴らしいと思いました。障がい者、高齢者の人々みんな、そうなれたらと思います。【女・50歳代】
- 身のまわりに障がいの方がおらずよくわからないのですが、だれもが幸せになる権利があります。良い環境が出来ればと思います。【女・60歳代】
- 市民に対するきめ細やかな対応やスピード感があり大変満足しています。長寿は大変喜ばしい事ですが将来認知症になったらとても心配です。予防出来ないものの少しでも自分らしく生活出来る様色々と考えて頂けたら安心です。【女・60歳代】
- 市役所に、福祉のことや障害のことに関係する相談をしに行く場所(ボックス)ある。(ほかの人に聞こえない。)プライバシーが守られている場所があるといいと思います。【男・60歳代】

- 行田市がもっと子供やお年寄りにとって住みやすい環境や教育、サービス（他の市 東京などは年寄りに毎年夏ひんやりタオルやOS1など配布したりしている）がないと行田市は、なくなると思う。私どもも、将来子供に行田から出て働いて欲しいと今は思っている。天下りなどもやめて、もっとよい市にしてください。他の市、県、都のことを学んで下さい。お願いします。もっと一生懸命、市のことを考えて下さる方を採用して下さい。古い考え、さぼる方はいません！【男・30歳代】
  - 日本遺産に力を入れるのも良いが福祉が充実している行政の方が良い。市民のために税金を使って頂きたいと思います。【女・40歳代】
  - アンケート結果を改定作業に組み入れて欲しい。事務的な計画（改定）だけでなく、現場の立場を十分に考慮したものにして欲しい。【男・60歳代】
  - 障がいがある方も、そうではない方も住みやすい町として「行田」がいつか有名になれば良いなと思っております。このアンケートがすこしでも役に立ちますように。【女・20歳代】
  - 夫婦共、後期高齢者で精神疾患の娘をかかえて、年金でお金もかかりますし娘が1人立ち出来るよう毎日願っていますがこういう子は働く事も出来ず、人ともあまり会いたくないで毎日家で気持ちがつ病でこの先、途方にくれています。【女・60歳代】
  - First of all I would like to say thank you very much and I should try to given right answer and choosen a good ticks mark. My Opinion is we help them from our different parts likes friends, family, society, community Government and personality. If I got Chance absolutely I help them as a volunteer up to 30 oct. 【男・30歳代】
- 《訳》第一に、本当にありがたうと言いたいと思います。私は正解を与え、良い目盛りを選んでください。私の意見は、友達、家族、社会、コミュニティの政府と人格が好きな私たちのさまざまな部分から彼らを助けることです。もし私がチャンスを得たなら、私は彼らを最大30オクターブのボランティアとして援助します。
- このアンケートは難しい言葉が多く、答えがわかりづらい質問もあった。（とくに問6、15、16、17、19）。歩けない時に社協で車いすを借りられたことは大変助かった。某ショッピングセンターの前の車いす駐車場を利用した時、車の前でタバコをすっている人がいて困ったことがある（02ボンベ、使用）。車いす用駐車場から近い入口に車いす貸し出ししている施設も多く助かっているが、ほこりがあつたりパンクしていて使えないこともある。【女・40歳代】
  - 障害者に必要なのは環境整備よりも普段から声をかけてくれる地域だと思います、健常者が理解し、手を差し伸べる社会を期待していますが、なかなか進めません。行政と地域で解決していきたいですね。【男・40歳代】
  - 最初の取り組みは大変だと思いますが、一歩ずつ行政が頑張ってください、市民も協力していきたいと思います、成功をお祈りします。【男・50歳代】
  - 障害者年金受給者にも所得制限を設ける必要があると思う、全額給料を受け取りながら年金も出るのは疑問に思う。【男・50歳代】
  - 障害のある方に接する機会がなくどうしてよいかわからない、子供の時からの教育が必要なのではないか。【女・50歳代】
  - 人はもともと違うということに偏見を持ってしまう生き物であることは否めませんが、ただそれが悪い方へエスカレートしてしまう事が一番の落とし穴であり事件の一つにつながる一歩であります一人ひとりのモラルというものの重要さにあります。【男・40歳代】
  - 何事も普通に生活できれば良いと思っています、どの程度が普通なのかといわれると難しいですが個人のものとのとらえ方ではないでしょうか？【女・60歳代】
  - 行政で使用している専門用語はたくさんあると思います、次回に解説をお願いします。【男・60歳代】
  - 近所にグループホームがあるが障害者だからと特別扱いではないと思うのだが、社会のルール、マナーを守らないのはおかしい、一方通行逆送等、だれもが安心して過ごす共に生きることのはず。【女・40歳代】
  - 健常者と障害のある者が一緒に生きていくことはなかなか大変なことだと思います、人は必

- ず自分より弱い物をいじめるとい人が多いですから。区別なくともに生活等ができればよいのですが、住みよい行田になることを希望します。【男・30歳代】
- 障害者の方も一人の人格として健常者とともに生き生きと過ごせるよう交流の場が増えると良いと思う。【女・60歳代】
  - 市内循環バスが通っていても停留所がない。【男・60歳代】
  - ちょっとした不調でいつものことの大変さが増加するのはみんな知っているが治ると忘れてしまうのでその大変さを障害者はいつもなんだよってことを教育に組み込んでいけば自然に社会に溶け込んでいく気がします。【男・40歳代】
  - 高齢者でも元気な場合は障害者との交流がないのでどこでお手伝いすればよいのかわからない、みんなで集まって何か助け合ったらよいと思います。【女・60歳代】
  - 最新の社会制度に関して学ぶ機会が少ないため、学ぶ場があれば良いと思います。また市内を歩いても障害のある方を見かけることが少ないため、もっと外に出歩ける環境にしていきたいなと思います。【女・30歳代】
  - アンケートを通してほんの少しですが福祉に対して考えることができました。特に問15、19の選択肢はどれも大切な事だと思いました。「1人を大切に」できる福祉の行田になればいいと思います。自身も福祉について学ぼうと思いました。【男・30歳代】
  - 笑顔で毎日が暮らせ過ごせる世の中であってほしい。【女・60歳代】
  - 身近な所で障害の人がいた時はたすけてあげたいと思いました。【女・40歳代】
  - 完全なバリアフリーはなかなか難しいと思います。【女・30歳代】
  - 障害は知的、精神と色々な障害があるので「障害を知る」事がスタートであると思います。特に発達障害は増えており、職場でも増えてきていると思います。かくさず認め合う心が必要、ノーマライゼーションを広めていく事が大事であると思います。【女・60歳代】
  - アンケートで終わることなく実行出来るようお願いします。【男・60歳代】
  - 障害者に直接かかわりを持った事はないが、もしそういう時に会ったら親切に接したいと思っています。【女・60歳代】
  - 市政体制ももちろん大事ですが、障害者自身の気持ち、心の持ちよりのレベルアップも大事なことと思います。受け身でなく。【男・60歳代】
  - このアンケートをやってみて、自分は障害者との関わり方や言葉など知らないことだらけでショックだった。今後学ぶ機会があったら積極的に参加したいと思う。【女・30歳代】
  - 子供が障害のある先生の講義を受けており、家庭でその様子や考え方を話してくれます。小、中学校の子供たちが福祉について学ぶことも重要ですが、授業参観、1日参観などで、保護者も同時に学ぶことで、個々の福祉への関心や認識も高まると思います。私自身も関心を持っていきたいと思っています。障害のある方が何を必要としているのかを反映していただければ・・・。【女・40歳代】
  - 小学校、中学校、高校の学校のカリキュラムに障害者との交流、補助の体験を取り入れ、慣らす事が重要だと思う。実際私は慣れていないので、障害者の手助けをしたいと思ってもどうしたらよいかわからない。【女・30歳代】
  - 福祉会館が近くあり、いろいろな催しを宣伝してほしい。各自治会に掲示板を設置する。【男・60歳代】
  - 高齢の両親の送迎をして思う事は「街の中はとても段差が多い」という事と、手伝う事について「なるべく人の手を借りたくないと思っている」ことがわかりました。親子なので当然と思い、している行為も、ありがとう、申し訳ないという気持ちでいる様子です。行政の力をもっと使いやすくアピールできる方法はありませんか？【女・50歳代】